参考資料２

# （仮称）大磯町子ども計画ニーズ調査

# 【報告書】

令和６年６月

株式会社　地域環境計画

# 目次


Ⅰ ニーズ調査等の概要 ..... 1

1. ニーズ調査実施の目的 ..... 3

2. ニーズ調査等の概要 ..... 3

3. 調査結果を見る上での注意事項 ..... 3

4. 調査項目 ..... 4

5. 前回の調査との比較・変更点 ..... 5

6. 調査全体の総括 ..... 7

【未就学児・小学生調査】 ..... 7

【若者調査】 ..... 14

Ⅱ 調査結果（未就学児） ..... 19

1. 子どもと家族の状況について ..... 20

(1)居住地区 ..... 20

(2)子どもの年齢 ..... 21

(3)子どものきょうだい数 ..... 22

(4)家族人数 ..... 23

(5)調査票回答者 ..... 23

(6)調査票回答者の配偶者の有無 ..... 23

(7)父親、母親の年齢 ..... 24

(8)子育てを主に行っている人 ..... 24

(9)配偶者の子育て協力状況 ..... 25

2. 子どもの育ちをめぐる環境について ..... 26

(1)子どもをみてもらえる親族・知人の有無 ..... 26

(2)祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況 ..... 26

(3)友人・知人に子どもをみてもらっている状況 ..... 27

(4)子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人 ..... 27

(5)子育ての仲間の有無 ..... 28

(6)安心して子育てをするために必要な地域の取組 ..... 28

(7)生活するうえでの不安や悩み ..... 29
(8)現在の住居形態 ..... 29
(9)昨年の世帯全員の合計の手取り収入 ..... 30
3. 保護者の就労状況について ..... 31
(1)父母の就労状況 ..... 31
(2)1週間当たりの就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅時間、通勤時間(片道) ..... 32
(3)フルタイムへの転換希望 ..... 35
(4)就労希望 ..... 36
4. 平日(月～金)の定期的な教育・保育事業の利用状況について ..... 37
(1)幼稚園、保育園などの「定期的な教育・保育の事業」の利用状況 ..... 37
(2)年間を通じて平日に「定期的に」利用している教育・保育の事業の種類 ..... 38
(3)平日に定期的に利用している教育・保育の事業の利用状況 ..... 39
(4)主に利用している教育・保育の事業の実施場所 ..... 41
(5)平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由 ..... 41
(6)平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由 ..... 42
(7)子どもの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業 ..... 43
(8)教育・保育の事業を利用したい場所 ..... 44
(9)幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用希望 ..... 45
(10)幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を希望する理由 ..... 45
5. 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について ..... 46
(1)土日祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望 ..... 46
(2)「定期的」な教育・保育事業を、たまに利用したい理由 ..... 47
(3)長期の休暇期間中に教育・保育事業の利用希望(幼稚園) ..... 48
(4)教育・保育事業(幼稚園)を、毎日ではなく、たまに利用したい理由 ..... 49
6. 地域の子育て支援事業の利用状況等について ..... 50
(1)地域子育て支援拠点事業の利用状況 ..... 50
(2)地域子育て支援拠点事業等を今後利用したい、あるいは利用日数を増やす希望 ..... 51
(3)地域子育て支援拠点事業等を新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない理由 ..... 53
(4)地域子育て支援拠点事業に期待すること ..... 53

(5)子育て関連事業で知っているもの、利用経験、利用意向のあるもの ..... 54
(6)ファミリー・サポート・センターを利用していない理由 ..... 57
(7)ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思うか ..... 58
(8)ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいとは思わない理由 ..... 58
7. 子どもの病気の際の対応について(平日の教育・保育の利用者のみ) ..... 59
(1)子どもが病気やけがで教育・保育の事業が利用できなかったこと ..... 59
(2)子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法..... 60
(3)父親か母親が休んだ場合「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか..... 62
(4)病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由 ..... 63
(5)子どもの病気やけがで預ける場合、望ましい事業形態 ..... 63
(6)子どもが病気やけがの場合、仕事を休んで看ることができるか ..... 64
(7)仕事を休んで看ることは難しい理由 ..... 64
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について ..... 65
(1)日中の定期的な保育や病気のため以外に、現在不定期※に利用している事業 ..... 65
(2)私用等の目的で、現在不定期に事業を利用していない理由 ..... 67
(3)保育者の私用、親の通院、不定期の就労等の目的での一時預かり等の利用希望..... 67
(4)保護者の私用、親の通院、不定期の就労の目的で子どもを預ける場合、望ましい事業形態 .... 69
(5)保育者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験. 70
9. 小学校就学後の朝と放課後の過ごし方について ..... 71
(1)就学後の朝の子どもの居場所づくり事業に登録する意向 ..... 71
(2)小学校のうちに放課後の時間を過ごさせたい場所 ..... 72
(3)放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望 ..... 74
10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について ..... 75
(1)育児休業の取得状況 ..... 75
(2)育児休業を取得していない理由 ..... 76
(3)育児休業後、職場に復帰したか ..... 77
(4)育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングであったか .. 77
(5)育児休業の利用期間 ..... 78
(6)育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用したか ..... 80

(7)短時間勤務制度を利用していない理由 ..... 80
(8)1歳もしくは2歳になったときに必ず預けられる事業があった場合の利用希望 ..... 81
(9)育児休業を2年以上利用したいと考える理由 ..... 81
11. お子さんの障がい、発達の状況について ..... 82
(1)お子さんの発達に関して医師の診断の有無 ..... 82
(2)お子さんの発達に関しての診断の内容 ..... 82
(3)お子さんの発達に関しての診断は先天性疾患によるものか ..... 83
(4)お子さんの発達、障がいについて相談している地域の相談機関 ..... 83
12. 現状での子育て環境について ..... 84
(1)最初に子どもが生まれたとき、または妊娠の際、大磯町に居住していたか ..... 84
(2)大磯町に転入した理由 ..... 84
(3)子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるか ..... 85
(4)近所の人との付き合い方 ..... 85
(5)近隣市町村に、大磯町にもあったらいいと思う「子どもを対象とした施設」 ..... 86
(6)近隣市町村に、大磯町にもあったらいいと思う「子どもを対象とした制度や仕組み」 ..... 87
(7)子どもを健やかに産み育てるために必要と思われること ..... 88
(8)子育てに関する情報の入手手段 ..... 89
(9)子育てに関して求める情報 ..... 90
(10)児童虐待にあたることの認知 ..... 90
(11)子どもと家庭ですることについて ..... 91
13. 現状での子育て環境の満足度について ..... 92
(1)子育てをしていて感じている悩み ..... 92
(2)子育てをしていて、楽しさと大変さとどちらを感じることが多いか ..... 93
(3)子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと ..... 93
(4)地域における子育ての環境や支援の満足度 ..... 93
(5)環境要因別の満足度 ..... 94
(6)今後も、大磯町で子育てをしていきたいと思うか ..... 95
(7)「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」理由 ..... 95
(8)「希望する子どもの人数」と「実際に持つことができると思う子どもの人数」 ..... 96

(9)「実際に持つことができると思う子どもの人数」が「希望する子どもの人数」より少ない理由 ..... 97
14. 子育てにかかる費用等について ..... 98
(1)1ヶ月あたりにかかる子育ての費用 ..... 98
(2)過去1年間に経済的理由により経験したこと ..... 99
(3)今後、子育て支援策として充実していけばよいこと ..... 100
Ⅲ 調査結果(小学生) ..... 101
1. 子どもと家族の状況について ..... 102
(1)居住地区 ..... 102
(2)子どもの年齢 ..... 103
(3)子どものきょうだい数 ..... 103
(4)家族人数 ..... 104
(5)同居親族等 ..... 104
(6)調査票回答者 ..... 105
(7)調査票回答者の配偶者の有無 ..... 105
(8)父親、母親の年齢 ..... 105
(9)子育てを主に行っている人 ..... 106
(10)配偶者の子育て協力状況 ..... 106
2. 子どもの育ちをめぐる環境について ..... 107
(1)子どもをみてもらえる親族・知人の有無 ..... 107
(2)子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人 ..... 107
(3)子育ての仲間の有無 ..... 108
(4)安心して子育てをするために必要な地域の取組 ..... 108
(5)生活するうえでの不安や悩み ..... 109
(6)現在の住居形態 ..... 109
(7)昨年の世帯全員の合計の手取り収入 ..... 110
3. 保護者の就労状況について ..... 111
(1)父母の就労状況 ..... 111
(2)1週間当たりの就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅時間、通勤時間(片道) ..... 112
(3)フルタイムへの転換希望 ..... 115

(4)就労希望 ..... 116
4. 放課後の過ごし方について ..... 117
(1)平日の放課後の子どもの居場所 ..... 117
(2)放課後の過ごし方に関する情報の入手先 ..... 120
(3)小学校卒業までの放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望 ..... 120
(4)放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望 ..... 121
(5)保護者から見た放課後児童クラブ(学童保育)の満足度 ..... 122
(6)放課後児童クラブ(学童保育)を利用していない理由 ..... 122
(7)放課後児童クラブ(学童保育)に今後望むこと ..... 123
(8)小学生の子どもが自宅で1人またはきょうだいのみで過ごすことへの不安 ..... 123
5. 放課後子ども教室について ..... 124
(1)放課後子ども教室の登録状況 ..... 124
(2)放課後子ども教室に登録をした理由 ..... 124
(3)放課後子ども教室の参加状況 ..... 125
(4)放課後子ども教室に参加してよかったこと ..... 125
(5)放課後子ども教室に登録をしなかった理由 ..... 125
(6)今後の放課後子ども教室に望むこと ..... 126
6. 朝の子どもの居場所づくりについて ..... 127
(1)朝の子どもの居場所づくりの登録状況 ..... 127
(2)朝の子どもの居場所づくりに登録してよかったこと ..... 127
(3)朝の子どもの居場所づくりに登録していない理由 ..... 128
(4)朝の子どもの居場所の必要性 ..... 128
7. 土曜日・休日や長期休暇中の過ごし方について ..... 129
(1)子どもの土曜日や休日の過ごし方 ..... 129
(2)学校が長期休暇期間中、子どもはどのような場所で過ごしているか ..... 130
8. 子どもの病気の際の対応について ..... 131
(1)子どもが病気やけがで学校を休まなければならなかったこと ..... 131
(2)子どもが病気やけがで学校を休んだ場合の対処方法 ..... 132
(3)父親か母親が休んだ場合「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか ..... 134

(4)病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由 135
(5)子どもの病気やけがで預ける場合、望ましい事業形態 135
(6)子どもが病気やけがの場合、仕事を休んで看ることができるか 136
(7)仕事を休んで看ることは難しい理由 136
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について 137
(1)日中の定期的な保育や病気のため以外に、現在不定期※に利用している事業 137
(2)私用等の目的で、現在不定期に事業を利用していない理由 139
(3)どのようなときに子どもを一時的に預かる事業を利用したいか 139
(4)保護者の用事により子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったこと 141
(5)子どもを預かりまたは宿泊を伴う事業として利用したいもの 142
(6)ファミリー・サポート・センターを利用したことのない理由 144
(7)今後、ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思うか 144
(8)ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいとは思わない理由 145
10. 子どもの障がい、発達の状況について 146
(1)子どもの発達に関して医師の診断の有無 146
(2)子どもの発達に関しての診断の内容 146
(3)子どもの発達、障がいについて相談している地域の相談機関 147
11. 子ども学習状況等について 148
(1)子どもの学習の理解度 148
(2)子どもの進学について 148
(3)子どもの学習塾や家庭教師の利用状況 149
(4)子どもが学習塾や家庭教師の利用をしていない理由 149
12. 現状での子育て環境について 150
(1)最初に子どもが生まれたとき、または妊娠の際、大磯町に居住していたか 150
(2)大磯町に転入した理由 150
(3)子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるか 151
(4)近所の人との付き合い方 151
(5)近隣市町村に、大磯町にもあったらいいと思う「子どもを対象とした施設」 152
(6)近隣市町村に、大磯町にもあったらいいと思う「子どもを対象とした制度や仕組み」 153

(7)子どもを健やかに産み育てるために必要と思われること……154
(8)子育てに関する情報の入手手段……155
(9)子育てに関して求める情報……155
(10)児童虐待にあたることの認知……156
(11)子どもと家庭ですることについて……156
(12)お子さんが小学校入学前に利用していた教育・保育事業……157
13. 現状での子育て環境の満足度について……158
(1)子育てをしていて感じている悩み……158
(2)子育てをしていて、楽しさと大変さとどちらを感じることが多いか……159
(3)子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと……159
(4)地域における子育ての環境や支援の満足度……160
(5)各種環境の満足度……160
(6)今後も、大磯町で子育てをしていきたいと思うか……161
(7)「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」理由……161
14. 子育てにかかる費用等について……162
(1)1ヶ月あたりにかかる子育ての費用……162
(2)過去1年間に経済的理由により経験したこと……162
(3)今後、子育て支援策として充実していけばよいこと……163
Ⅳ 調査結果(中学生以上)……164
1. 家族の状況について……165
(1)居住地区……165
(2)年齢……166
(3)家族人数……166
(4)通っている学校……167
(5)アルバイトやパートをしているか……167
(6)学校を欠席したり遅刻や早退することはあるか……168
(7)学校を欠席したり、遅刻や早退する主な理由……168
(8)普段の学校生活であてはまること……169
(9)職業……169

2. 悩みごとについて ..... 170
(1)自己肯定感 ..... 170
(2)悩みごとや心配ごと ..... 170
(3)悩みや心配事の相談先 ..... 171
(4)悩みや心配事を誰にも相談しない理由 ..... 171
(5)悩みや心配事を相談したい場所 ..... 172
3. 日常生活について ..... 173
(1)友達の有無 ..... 173
(2)友達の関係先 ..... 173
(3)安心できる場所 ..... 174
(4)行ってみたい場所 ..... 174
(5)家族との会話 ..... 175
(6)話し相手 ..... 175
(7)ふだんの外出 ..... 176
(8)現在の外出頻度になった年齢 ..... 177
(9)現在の状態になってからの年数 ..... 178
(10)現在の状態となったきっかけや、外出しない理由 ..... 179
4. 家庭や家族のことについて ..... 180
(1)家族のお世話状況 ..... 180
(2)お世話をしている内容 ..... 181
(3)一緒にお世話をしている人 ..... 182
(4)お世話をし始めた年齢 ..... 182
(5)お世話をしている頻度 ..... 183
(6)お世話をすることでした経験 ..... 183
(7)お世話について相談したことの有無 ..... 184
5. 情報収集等について ..... 185
(1)新しい情報の入手先 ..... 185
(2)スマートフォンやタブレット端末、パソコン等の利用時間 ..... 185
(3)スマートフォン等の主な利用目的 ..... 186

(4)スマートフォン等を利用した、いやな思いやトラブル……186
6. 健康について……187
(1)ふだんの起床時間と就寝時間……187
(2)自分の健康……188
(3)孤独感……188
(4)喫煙……189
(5)飲酒……189
7. 将来のことについて……190
(1)理想とする生き方……190
(2)将来に不安を感じていること……190
8. 生活の充実度について……191
(1)自分のやりたいこと……191
(2)日々の暮らしを楽しさ……191
(3)大切に思ってくれる人の存在……191
(4)頼れる人の存在……191
(5)自分の居場所や役割……191
(6)現在の幸せ度……192
9. こどもや若者の意見反映について……193
(1)町に対して自分の意見や思いを伝えたいと思ったこと……193
(2)町に対して伝えたいこと……193
(3)町に意見を伝えやすい手段や方法……194
(4)若者のために大磯町に必要な取り組み……195
(5)今後、子育て支援策として充実していけばよいこと……196
Ⅴ 自由意見のまとめ……197
1. 未就学児・小学生・若者(中学生以上)調査 要望項目別 上位順位比較……198
2. テキストマイニング分析……199
未就学児……199
小学生……207
若者調査(中学生以上)……213

Ⅵ 調査票.....219
調査票(未就学児).....221
調査票(小学生).....247
調査票(若者).....269
調査票(若者)Web 調査.....280

# Ⅰ　ニーズ調査等の概要

## １．ニーズ調査実施の目的

令和７年度から令和 11 年度を計画期間とした（仮称）大磯町こども計画を策定するにあたっての基礎資料とするため、令和５年度においてニーズ調査を実施しました。実施にあたっては、従来の調査項目により子育て支援施策等における量の確保と見込を把握するための設問や、こどもの貧困対策に係る設問のほか、新たに「子ども・若者育成支援推進法」に基づく「市町村子ども・若者計画」を包含する計画とするため、こどもや若者の現状と課題を把握し、効果的な支援策を検討する調査項目を追加しました。

なお、調査票による調査の対象となっていない、22～39 歳の若者に対しては、子ども・若者計画部分に該当する内容（引きこもりやニート、人とのかかわり方等）をウェブアンケートにて実施しました。

## ２．ニーズ調査等の概要

（１）調査票よる調査

①　調査対象者等（基準日：12 月 1 日現在）

| 調査対象者 | 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|---|---|---|---|
| 就学前児童の保護者（全件） | 1,251 件 | 503 件 | 40.20% |
| 小学生の保護者（全件） | 1,513 件 | 602 件 | 39.79% |
| 中学生～大学生相当（抽出） | 437 件 | 121 件 | 27.69% |
| 計 | 3,201 件 | 1,226 件 | 38.30% |

②　調査期間

令和５年 12 月 28 日（木）～令和６年１月 24 日（水）（約４週間）

※ 発送日：令和５年 12 月 27 日（水）

（２）ウェブアンケート調査

①　調査対象者（基準日：１月 1 日現在）

| 調査対象者 | 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|---|---|---|---|
| 22 歳～39 歳（全件） | 4,116 件 | 652 件 | 15.84% |

②　調査期間

令和６年１月 26 日（金）～令和６年２月 13 日（火）（約３週間）

※ 発送日：令和６年１月 25 日（木）

## ３．調査結果を見る上での注意事項

- 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると 100%を超える場合がある。また、小数点以下第２位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- 単純集計表は小数点以下第２位を四捨五入して表示しているため、グラフの合計数値と合わない場合がある。
- 図中のｎ（number of case）は、設問に対する回答者数のことである。
- 本文や表やグラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化して表現している場

合がある。
・　回答数が３０未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

※概要数値の見方
・　数値はそれぞれ割合(%)を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている。

※クロス集計表の見方
・　選択肢の中で、第１位の項目については　で網掛けをし、属性別にみて、市全体の数値と比べて 10 ポイント以上高い数値の項目については、太文字で表記している。

## ４．調査項目

| 調査名 | 調査項目 |
|---|---|
| １.未就学児調査 | 1.　子どもと家族の状況について<br>2.　子どもの育ちをめぐる環境について<br>3.　保護者の就労状況について<br>4.　平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について<br>5.　土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について<br>6.　地域の子育て支援事業の利用状況等について<br>7.　子どもの病気の際の対応について<br>8.　不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について<br>9.　小学校就学後の朝と放課後の過ごし方について<br>10.　育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について<br>11.　子どもの障がい、発達の状況について<br>12.　現状での子育て環境について<br>13.　現状での子育て環境の満足度について<br>14.　子育てにかかる費用等について |

| 調査名 | 調査項目 |
|---|---|
| ２.小学生児調査 | 1.　子どもと家族の状況について<br>2.　子どもの育ちをめぐる環境について<br>3.　保護者の就労状況について<br>4.　放課後の過ごし方について<br>5.　放課後子ども教室について<br>6.　朝の子どもの居場所づくりについて<br>7.　土曜日・休日や長期休暇中の過ごし方について<br>8.　子どもの病気の際の対応について<br>9.　不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について<br>10.　子どもの障がい、発達の状況について<br>11.　子ども学習状況等について<br>12.　現状での子育て環境について<br>13.　現状での子育て環境の満足度について<br>14.　子育てにかかる費用等について |

| 調査名 | 調査項目 |
|---|---|
| 3.若者調査<br>（中学生以上） | 1. 家族の状況について<br>2. 悩みごとについて<br>3. 日常生活について<br>4. 家庭や家族のことについて<br>5. 情報収集等について<br>6. 健康について<br>7. 将来のことについて<br>8. 生活の充実度について<br>9. こどもや若者の意見反映についてかかる費用等について |

## ５．前回の調査との比較・変更点

就学前児童の保護者、小学生及びその保護者については、前回のニーズ調査と同じ設問を設定し、あわせて未就学児と小学生で同じような調査項目を設定することで、前回調査時や世代間での比較等を行うことが可能とした。

また、こどもや若者の現状と課題を把握し、効果的な支援策を検討するため、新たに中学生以上に対し、自身の悩み事や、家族や友人等との関わり、外出状況、インターネットや SNS の利用について、こどもや若者に関する困難な状況（ひきこもり、ヤングケアラー等）の設問による調査を実施した。

（１）主な調査項目

（未）は、未就学児の設問、（小）は、小学生の設問

**＜共通項目・属性＞**
- こどもと家族の状況について【(未)（小）問１～15】
- 保護者の就労状況について【(未)（小）問 16】

**＜サービスの利用状況＞**
- 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について【(未）問 17～18】
- 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について【(未）問 19～20】
- 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について【(未）問 30～32】
- 不定期の宿泊を伴う一時預かり等の利用について【(小）問 32～34】
- 地域の子育て支援事業の利用状況について【(未）問 21～22】
- こどもの病気の際の対応について【(未)（小）問 27～29】

**＜休みや放課後の過ごし方について＞**
- 放課後の過ごし方について【(小）問 17～20】
- 放課後子ども教室について【(小）問 21～22】
- 朝の子どもの居場所づくりについて【(小）問 23～24】
- 土曜日・祝日、長期休暇中の過ごし方について【(小）問 25～26】
- 小学校就学後の朝と放課後の過ごし方について【(未）問 33～34】

**＜こどもが抱える困難や課題＞**
- こどもの障がい、発達の状況について【(未）問 36、(小）問 35】
- こどもの学習状況等について【(小）問 36～38】
- 子育てにかかる費用等について【(未）問 54～55、(小）問 56～57】

＜その他＞
・子育て環境について【(未) 問 37～問 46、(小) 問 39～48】
・小学校就学前の教育・保育事業の利用【(小) 問 49】
・現状での子育て環境の満足度について【(未) 問 47～53、(小) 問 50～55】
・育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について【(未) 問 35】

（2）追加した設問項目

こどもや若者の現状と課題に関する設問としては、「子ども・若者計画」に対応する項目として、「かながわ子ども・若者支援指針」を参考に、こどもや若者が抱える困難や課題を抽出するため、将来のこと、生活状況、健康状態、悩み、友だち、情報収集、ヤングケアラーなどの設問を新たに追加した。

＜こども・若者の現状と課題＞（中学生以上）
悩み事について
家族や友人等との関わり、外出状況について
情報通信環境、インターネットや SNS の利用について
こどもや若者に関する困難な状況について（ひきこもり、ヤングケアラー等）

## ６．調査全体の総括

### 【未就学児・小学生調査】

#### （１）家庭の状況について(未就学児・小学生)

子どものきょうだいの数は、未就学児では「１人」が 25.4%、「３人以上」が 25.3%、前回(平成 30 年度実施)の結果と比較して、「１人」が減少(前回 29.4%)し、「３人以上」が増加（前回 18.9%）しており、小学生では「１人」が 16.8%、「３人以上」が 29.3%、前回(平成 30 年度実施)の結果と比較して、「１人」が減少(前回 20.1%)し、「３人以上」が増加（前回 24.2%)しています。

家庭での子育ての状況をみると、子育てを主に行っている人は、未就学児・小学生ともに前回調査では「主に母親」が「父母ともに」より上回っていたのが、逆転し、未就学児では「父母ともに」が「主に母親」を 13.0%上回り 55.9%、小学生では、「父母ともに」と「主に母親」が４割台で拮抗しており、父親の子育て参加が進んでいる傾向がうかがえます。

配偶者の子育て協力状況をみると、未就学児・小学生ともに「よくやっている」と「時々やっている」を合わせた＜よくやっている＞はそれぞれ 87.9%、70.9%と７割以上が夫婦で協力して子育てしている傾向がうかがえます。

子育てに関する周囲の協力状況として、未就学児・小学生ともに＜みてもらえる人がいる＞は８割台となっており、いざという時には親族や知人からの協力が得られる家庭環境にあるといえます。しかし一方で、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は未就学児では２割台後半、小学生では３割台となっており、日常的な協力を得ている家庭は少数派です。この傾向は、前回（平成 30 年度実施）の結果と大きな差はありません。

気軽に相談できる人では、未就学児では「祖父母等の親族」と「友人や知人」が７割以上で高く、小学生では「友人や知人」が７割、「祖父母等の親族」が６割台挙げられていること、子育ての仲間については９割以上の人が＜いる＞としていることから、身近な親族知人友人といった存在の大きさがうかがえます。また、安心して子育てをするために必要な地域の取り組みとして、未就学児では、「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」が６割弱、「地域の大人たちが連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる」が４割強となっていることなどからも、地域ぐるみの子育て支援は今後も重要な課題となっています。この傾向は、前回（平成 30 年度実施）の結果と大きな差はありません。

ひとり親家庭（本調査結果では２%、10 名）では、両親のいる家庭に比べて「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」割合が１割(両親のいる家庭は２割～３割)と低く、「いない」が 1 割いること、相談できる人が「いない」も 1 割いることなどは地域支援に関する注目すべき結果であり、孤立させないための支援をより一層充実していくことも課題といえます。

生活するうえでの不安や悩みでは、未就学児・小学生ともに「教育費に関すること」が６割台、「子育て・教育に関すること」が５割台、「生活費に関すること」が未就学児では５割台、小学生では４割台の方が挙げています。

#### （２）保護者の就況について(未就学児・小学生)

保護者の就況をみると、父親では未就学児・小学生ともにフルタイム就労が９割以上を占めています。

母親では、未就学児は「以前は就労していたが、現在は就労していない」は 32.2%(前回調査 44.1%)、

＜フルタイム就労(育休中の 14.5%を含む)＞が 41.9%（前回調査 32.0%)、＜パート・アルバイト就労(育休中の 2.8%を含む)＞が 23.7%（前回調査 19.5%）となっており６割以上が何らかの形で就労しています。母親の就労している割合を経年で比較すると、前々回調査(33.8%)、前回調査(51.5%)、今回調査（65.6%）と大きく増加しています。**小学生では、**＜パートアルバイト就労(育休中の 1.7%を含む)＞が 44.7%（前回調査 42.0%）と多く、就労している母親が 72.5%と７割以上を占めています。

以下、父母の就形態等を考慮した「家族類型」を次の形で区分しました。

| 区　分 | 内　容 | 未就学児 | 小学生 |
|---|---|---|---|
| ひとり親家庭 | ひとり親(就労形態に関わらず) | 2.0% | 4.2% |
| フルタイム就労 | 両親ともにフルタイムで就労 | 39.2% | 24.3% |
| フルタイムパート | 両親のいずれかがフルタイム、いずれかがパートタイム就労 | 22.7% | 42.9% |
| 専業主婦(夫) | 両親のいずれかがフルタイムで就労している | 33.0% | 26.6% |
| パート・パート | 両親ともにパート | 0.0% | 0.0% |
| 無職 | 両親ともに無職 | 0.0% | 0.0% |
| 分類不能 | 不明 | 3.2% | 2.0% |

就労状況を経年変化で比較すると、「専業主婦(夫)」家庭が前々回調査(59.5%)、前回調査(45.1%)、今回調査（未就学児 33.0%、小学生 26.6%）と大きく減少している一方、「フルタイム就労」家庭が前々回調査（17.1%)、前回調査（30.2%)、今回調査（未就学児 39.2%、小学生 24.3%)、「フルタイムパート」家庭も前々回調査（12.1%)、前回調査（19.6%)、今回調査（未就学児 22.7%、小学生 42.9%）と、この 10 年の間に確実に共働き家庭が大きく増加しており、この変化に対応した施策を検討していく必要があります。

### （ ３ ）平日の定期的な教育保育事業の利用況と利用希望について(未就学児)

**＜利用状況＞**

平日の幼稚園、保育所などの「定期的な教育保育の事業」を利用しているのは 68.6%、利用内容は「幼稚園」が 42.3%、「認可保育所」が 27.5%、「認定こども園」が 22.0%となっています。前回調と比べると、利用者は 64.2%から 68.6%へと増加し、利用内容では「認定こども園」が前回より 5.2 ポイント増加、「幼稚園」と「認定保育所」がそれぞれ 6.9 ポイントと 1.7 ポイント減少しており、平成 28 年度以降、町に「認定こども園」２園が新設された成果が現れています。

利用状況を子どもの年齢別にみると、０歳、１歳、２歳では「認可保育所」がそれぞれ 60.0%、38.9%、50.0%、３歳、４歳、５歳では「幼稚園」がそれぞれ 41.5%、58.7%、46.4%で高くなっています。

**＜利用希望＞**

「定期的に利用したいと考えている事業」としては、「幼稚園」が 53.3%と多く、「認可保育所」は 43.5%、「認定こども園」は 40.6%、「幼稚園の預かり保育」は 39.8%となっています。前回調査と比べると、「幼稚園」が前回（61.3%）から 8.0 ポイント減少していますが、その分「認定こども園」が前回(31.8%)から 8.8 ポイント、「認可保育所」は前回（36.5%）から 7.0 ポイント大きく増加しています。

利用希望を子どもの年齢別にみると、０歳では「認可保育所」が 61.2%で最も多くなっていますが、「幼稚園」も 57.1%と高くなっています。それ以外の年齢では「幼稚園」が最も高くなっています。また、０歳から２歳で「認定こども園」が、４歳、５歳で「幼稚園の預かり保育」が４割を超え

ており、「認定こども園」や「幼稚園の預かり保育」の潜在的な需要の高さがうかがえる結果となっています。

**（ ４ ） 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育保育事業の利用希望について（未就学児）**

土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育保育事業の利用希望は、「ほぼ毎週定期的に利用したい」と「月に１～２回は定期的に利用したい」を合わせた＜利用したい＞は土曜日では 26.1%、日曜日・祝日では 12.3%となっています。

家族類型別にみると「ひとり親家庭」では土曜日に「ほぼ毎週定期的に利用したい」が全体より 12.0 ポイント高くなっています。

土曜日・休日に毎週ではなく、たまに利用したい理由としては、「月に数回仕事が入るため」が 62.0%で最も高く、就労就況に応じた柔軟な対応が求められます。

**（ ５ ） 地域子育て支援点事業について（未就学児）**

地域子育て支援点事業（つどいの広場、子育て支援総合センター）の利用状況は 30.8%（前回調査 26.0%）、「利用していない、」が 66.2%（前回調査 69.2%）と前回調査より 4.8 ポイント利用が増えています。また、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」は 68.6%となっており、その理由は「幼稚園や保育施設等に通っており、時間がない」が 68.1%で最も高くなっています。

地域子育て支援点事業に期待することは、「いつでも気軽に立ち寄れる」、「子どもの（または親子の）遊び場の提供」が主な意見となっており、立ち寄りやすい環境の整備や遊び場としての機能が期待されています。

家族類型別にみると「ひとり親家庭」では「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が全体より 16.3 ポイント高くなっています。

**（ ６ ） 子どもの病気の際の対応について（未就学児・小学生）**

未就学児の子どもが病気やけがで教育・保育の事業が利用できなかったことが「あった」家庭が８割以上を占めています。また、その場合の方法としては、「母親が仕事を休んで子どもを看た」が 71.0%を占める一方、「父親が仕事を休んで子どもを看た」も 46.9%と高くなっています。そのうち 37.0%が「できれば病児病後児保育施設等を利用したい」という利用意向を示しています。

小学生でも同様の傾向であり、病気の際には「母親が仕事を休んで子どもを看た」が 45.0%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」が 41.6%と多くなっています。一方「父親が仕事を休んで子どもを看た」は 12.0%と低くなっています。また、病児病後児保育の利用意向も 14.3%にとどまっています。

子どもが病気やけがの場合「仕事を休んで看ることができる」という回答は、未就学児で 67.0%、小学生で 63.8%と未就学児・小学生ともに６割以上の回答がありました。

病児・病後児の対応に関しては、家庭の状況により様々な形態が考えられ、柔軟な対応が期待されますが、利用したいと思わなかった理由として「利用方法・制度等がわからない」が１割以上あり、制度の周知理解にも改善の余地があります。

**（ ７ ） 不定期の子どもの預かりや宿泊を伴う一時預かり等について（未就学児・小学生）**

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業は、未就学児では「幼稚園の預かり保育」が 13.3%、「一時預かり」が 6.2%となっています。不定期利用については約７割の方

は「利用していない」としており、その理由としても「特に利用する必要がない」が７割以上を占めています。一方、利用している方の現在の利用日数をみると、「一時預かり」と「幼稚園の預かり保育」ともに 30 日以上という方も多く、日常的・定期的な預かりへの潜在的な需要があるものとうかがえます。

小学生においては、９割以上が利用していないのが現状ですが、私用やリフレッシュ、冠婚葬祭などで1～２割の利用意向を示しています。

**（ ８ ）保護者の用事により子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったことについて(未就学児・小学生)**

この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、「お子さん」を泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことは、未就学児・小学生ともに「みてもらうことはなかった」が８割以上を占めていますが、「親戚・知人にみてもらった」が未就学児では 12.7%、小学生では 9.0%と１割程度ありました。

**（ ９ ）朝と放課後の子どもの居場所について(未就学児・小学生)**

未就学児における、就学後の「朝の子どもの居場所づくり事業」の登録意向は、「利用したい」が２割台となっています。小学生の登録状況としては、「登録していない」が９割以上を占めていますが、５割以上が「必要」と回答しています。未就学児では「事業を知らない」家庭も１割台となっており、事業の周知も必要です。

未就学児における、放課後の時間を過ごさせたい場所は、低学年・高学年ともに「習い事」が６割程度で最も高く、次いで「自宅」が５割台、第３位は低学年で「放課後児童クラブ」、高学年で「放課後子ども教室」となっています。

小学生における、**平日の放課後の居場所**については「自宅」が８割台、「学習塾や習い事」が７割を超えて高くなっているほか、「公園など、屋外で遊んでいる」が５割台、「放課後子ども教室」、「放課後童クラブ(学童保育)」、「祖父母宅や友人・知人宅」が２割台となっています。「放課後童クラブ(学童保育)」では、前回調査の 40.5%から 18.9 ポイント大きく減少しています。

小学校卒業までの「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望を学年別にみると、「利用したい」は 1 年生が 45.5%で最も高く、学年が上がるほど利用希望は減少し５年生、６年生では１割を切って少なくなります。「放課後児童クラブ(学童保育)」の長期休暇期間中の利用については、高学年になっても利用したいという意向が 67.7%と前回調査（37.0%）と比べて 30.7 ポイントも高くなっていることから、保護者の就労が進んでいることがうかがわれます。

「放課後子ども教室」については、「登録している」が 33.2%と前回調査（38.1%）より 4.9 ポイント減少しています。参加してよかったこととしては「遊びの幅、興味の幅が広がった」という回答が 49.0%となっており、参加者から一定の評価を得ています。

**（ 10 ）子どもの障がい、発達の状況について(未就学児・小学生)**

未就学児で子どもの発達に関して診断を受けたことが「ある」は 5.2%となっています。受けた診断の種類としては「発達障がい(学習障がいなど)」が６割を超えています。先天性によるものは４割台で、相談先には「町子育て支援総合センター（めばえ)・子育て支援センター（すくすく)」が５割、かかりつけの医師が４割台、「町保健センター」、「町障害福祉センター」、「児童相談所」、「障がい児童相談支援事業所」が３割台と多様な機関に相談されています。

小学生では、診断を受けたことが「ある」は 10.0%となっています。受けた診断の種類としては

「発達障がい(学習障がいなど)」が７割を超えています。相談先には「学校」が５割台で最も高く、「かかりつけの医師」が４割台となっています。子どもの発達を切れ目なく支援できるよう、関連機関と連携し、早期発見早期支援へとつなげていくことが必要です。

### （ 11 ） 育休業や短時間勤務制度について(未就学児)

育休業の取得況については、父親は「取得していない」が約８割（75.9%）を占めていますが、前回調査(89.0%)より 13.1 ポイント減少しています。「利用した(利用中)」は 20.5%と前回調査(4.8%)より 15.7 ポイント増加し、父親の育児休暇取得が進んでいることがうかがわれます。

母親は「利用した（利用中)」、「働いていなかった」がそれぞれ 47.1%、41.0%で拮抗しており、前回調査 35.1%、46.9%と比較すると母親の就労が進んでいることがうかがわれます。

育休業を利用していない理由としては、父親では「仕事が忙しかった」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が約４割、一方、母親では「職場に育児休業の制度がなかった」が２割台、「子育てや家事に専念するために退職した」が３割台となっています。

育児休業からの職場復帰後に短時間勤務制度を利用したのは、母親では６割を超えている一方で、「利用していない」も３割弱となっています。利用しなかった理由としては、「短時間勤務にすると給与が減額される」が５割台、「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると保育所に入りにくい」が２割台で挙げられています。

仕事と子育ての両立を支援する制度整備に伴い、その利用は着実に増加していますが、依然として低い父親の育休業取得や、制度利用をためらわせる要因が挙げられていることなど、社会全体として解消していくべき課題が示される結果となっています。

### （ 12 ） 子育て環境や支援の満足度について(未就学児・小学生)

子育てをしていて感じる悩みは、未就学児・小学生ともに「子どもの教育・しつけ」が最も高く，未就学児では「子どもの食生活」、「自分の時間が持てない」と続き、小学生では「子育てに伴う経済的な負担」、「子どもの食生活」が挙げられています。

家庭類型別にみると未就学児・小学生ともに「ひとり親」で多岐に渡る項目で全体より高いポイントで悩みが挙がっています。

子育てをしていて感じる、楽しさと大変さは、未就学児・小学生ともに「楽しさを感じることが多い」、と「どちらかといえば楽しさを感じることが多い」、「楽しさと大変さを同等に感じる」がそれぞれ２～３割で拮抗しており、未就学児では９割以上が、小学生では８割以上が何かしらの“楽しさ”を感じています。

子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは、未就学児・小学生ともに「子どもの成長」、「子育てを通じ自分も成長できたこと」、「子どもを持つ喜びが実感できたこと」が上位３位に挙げられています。

子育て環境や支援の満足度について、「満足度が高い」と「満足度がやや高い」を合わせた＜満足している＞の値でみると、未就学児では 25.1%、小学生では 23.1%となっています。前回の結果と比較すると、＜満足している＞は未就学児では前回の３割台から今回は２割台へ、小学生では前回の２割台後半から２割台前半へと下降しています。

環境要因別の満足度を＜満足している＞の値でみると、未就学児・小学生ともに「自然環境」が約８割で最も高く、「住環境」が６割台、次いで未就学児では「事故や犯罪に対する安全性」、「小学生では「保育所・幼稚園などの入りやすさ」が３割台で挙げられており、恵まれた自然環境を活かした遊

びの場など、安全安心でのびのびと子育てできる環境をさらに充実していく必要があります。

今後も大磯町で子育てをしたいという人(「ずっと」と「当分の間」の合計)は、未就学児で 89.3%、小学生で 92.3%とともに９割近くに達しています。また、「当分の間」という人からはその**理由**として、「子育ての利便性は高いが、生活に不便を感じる」や「就学後の子どもの居場所に不安がある」といった回答が少なからず寄せられています。

子どもの人数の理想と現実(未就学児)をみると、希望としては２人や３人が４割台で多いものの、現実としては２人と考えている人が 54.7%と多くなっています。希望と現実のギャップが生じる理由としては、「育児の経済負担が大きい」や「将来の教育費の負担が不安」という経済的理由が７割台に達しているほか、「育児の体力的な問題」が挙げられています。このような背景の中、必要な子育て支援策(未就学児)には、出産から未就学児、小学生にわたるライフステージを意識した切れ目のない、多面的な子育て環境づくりが求められています。

**( 13 ) 1か月あたりにかかる子育ての費用について(未就学児・小学生)**

1 か月あたりにかかる子育ての費用は、未就学児・小学生ともに「２～４万円未満」が最も多く、４万円台未満が７割以上となっています。

**( 14 ) 学習状況について(小学生)**

学習状況については、「十分理解している」と「まあ理解している」を合わせた＜理解している＞が 58.8%を占め、「まったく理解していない」と「あまり理解していない」を合わせた＜理解していない＞は1割程度に留まっています。

学年別にみると、「1 年生から 5 年生までは「まあ理解している」が最も高く、６年生では「ふつう」が最も高くなっています。

学年別に学習塾や家庭教師の利用況をみると「利用している」は１～２年生で２割弱、３～４年生で２割台、５～６年生で４割台と高くなっています。

また、家庭でお子さんの勉強をみる頻度は、１年生で「ほぼ毎日」が最も多くを占めていますが、２年生以上では「週に１～２回」が多くなっており、子どもの成長段階に応じて学習環境や、必要とされる支援が変化していることがうかがえます。

**( 15 ) 情報の入手先等について(未就学児・小学生)**

情報の入手手段や媒体は様々ですが、未就学児・小学生ともに「隣近所の人、知人、友人」といった地域の繋がりから情報を得る割合が６割以上と高く、これに「インターネット(スマートフォン)J が５割台、小学生では「町の広報やパンフレット」、未就学児では「親族（親、兄弟姉妹など)」が４割台で続いています。

子育てに関して求める情報は、未就学児では「子どもの遊び場に関する情報 j と「町で行っているイベントや催し物の情報」が６割台、「幼児教育や習いごとに関する情報」が５割台で続いています。小学生では「町で行っているイベントや催し物の情報」と「子どもの遊び場に関する情報」が５割台、「子どもの保健・医療に関する情報」が３割台で続いています。

**( 16 ) 児童虐待にあたることについて(未就学児・小学生)**

児童虐待にあたることについては、未就学児・小学生ともに「しつけとして身体を叩くこと」、「夜間、子どもだけを置いて家をあけること」、「大声で怒鳴るなど言葉で子どもを追い詰めること」を児

童虐待と認知している割合が約９割と高く、「こどもの目の前で夫婦喧嘩をすること」は７割程度の認知度に留まっているので、周知が必要な項目だと思われます。

**（ 17 ）子どもと家庭ですることについて（未就学児・小学生）**

子どもと家庭ですることについては、未就学児では「お子さんと一緒に家の中で遊ぶ」は「ほぼ毎日」が６割台で最も高く、小学生では「お子さんの勉強をみている」が２割台で最も高くなっています。

**【若者調査】**

**（１）回答者の幅広い年齢層**

今回の若者調査の回答者は、中学生から 38 歳の成人まで、年齢層の幅が広いことから、分析に当たって、中学生、高校生、大学生の「学生」と、22 歳以降の「成人」との比較から生活状況の違いや考え方の違いに焦点を当ててみました。

また、本来は大人が担うべき家事や世話を日常的に行うことで、権利が守られていない子どもとして位置づけられている「若者ケアラー（注）」に焦点を当てて、学業や友人関係等の影響を分析してみました。アンケート結果では、世話をしている家族が「いる」と回答があったのは 43 件で、全回答数 773 件の 5.6%でした。母数が少ないので統計的な意味よりは回答をいただいた方々の現状を知るという視点で見ていただきたいと思います。

（注）18 歳未満の場合はヤングケアラーと言われますが、20 代 30 代までの子どもも含める場合は若者ケアラーと呼びます。

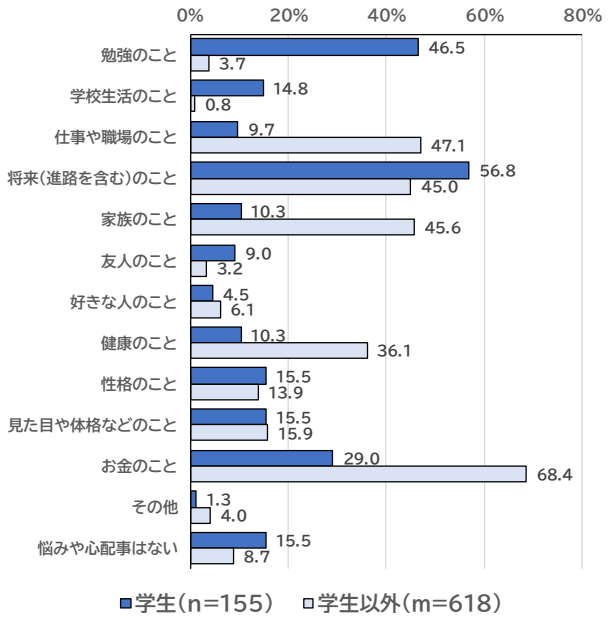
**（２）悩み事や心配事と相談**

現在抱えている悩み事や心配事の上位 3 位は、学生では、「将来（進路を含む）のこと」、「勉強のこと」、「お金のこと」、成人では、「お金のこと」、「仕事や職場のこと」、「家族のこと」となっています。

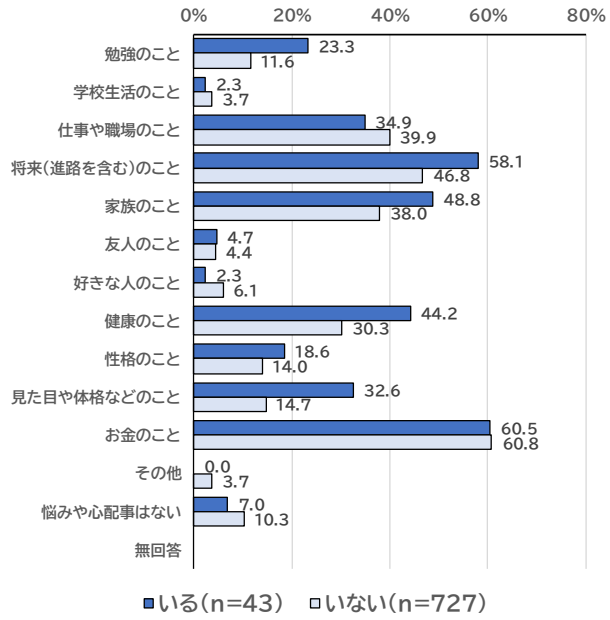
世話をする家族がいる人では、「お金のこと」、「将来（進路を含む）のこと」、「家族のこと」、世話をする家族がいない人では、「お金のこと」、「将来（進路を含む）のこと」、「仕事や職場のこと」となっています。世話をする家族がいる人では、いない人に比べて、上位 3 位以外に、「健康のこと」、「見た目や体格などのこと」の割合が高くなっています。

**悩み事や心配事**

**学生・成人別**



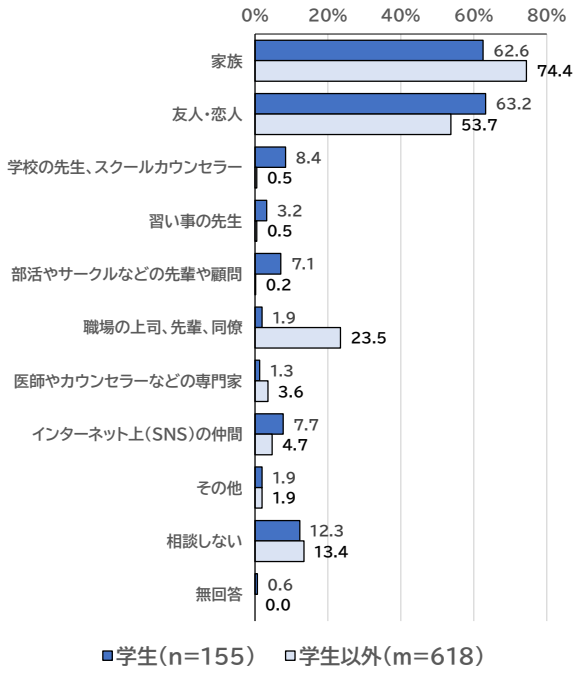

**世話をする家族の存在別**



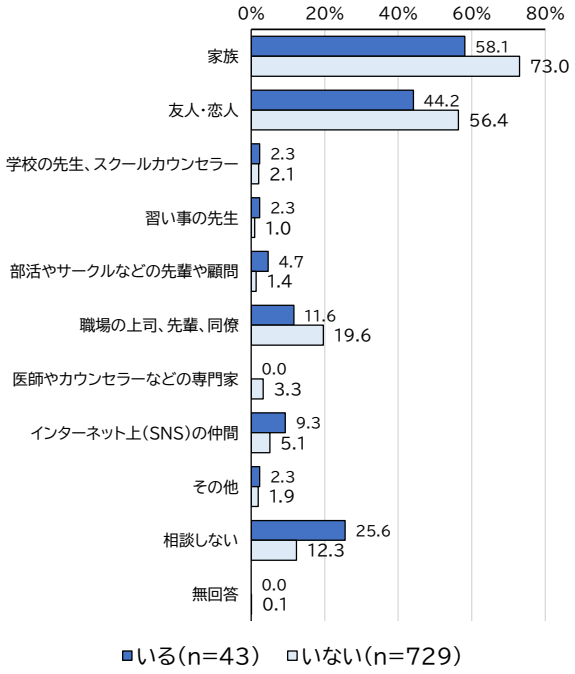
悩み事や心配事があるときに相談する人は、いずれも「家族」、「友人・知人」が多くなっていますが、学生では「家族」よりも「友人･知人」の方が多くなっています。「相談しない」とする割合は学生も成人も世話をする家族がいない人も 1 割程度ですが、世話をする家族がいる人では 25.6%と高くなっています。相談しない理由は、学生では「自分一人で解決すべきと思うから」、成人及び世話をする家族がいない人では「相談しても解決できないから」、世話をする家族がいる人では「自分一人で解決すべきと思うから」、「相談しても解決できないから」が第 1 位となっていますが、「相談できる人がいないから」の割合が他に比べて高くなっています。

## 相談する人

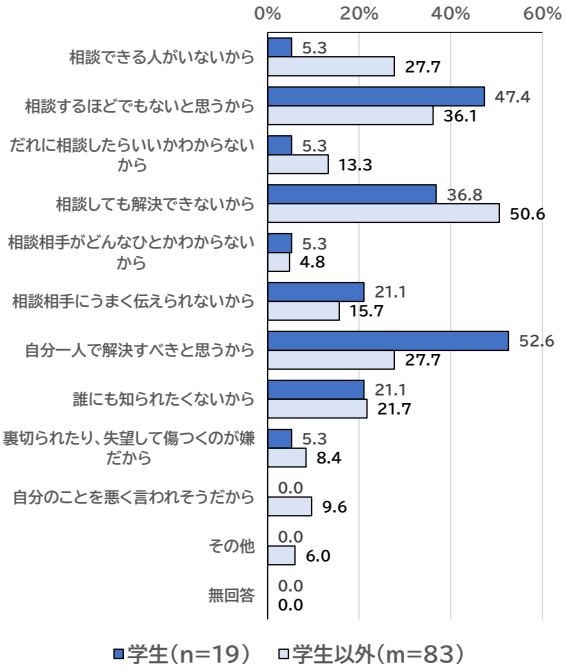
### 学生・成人別

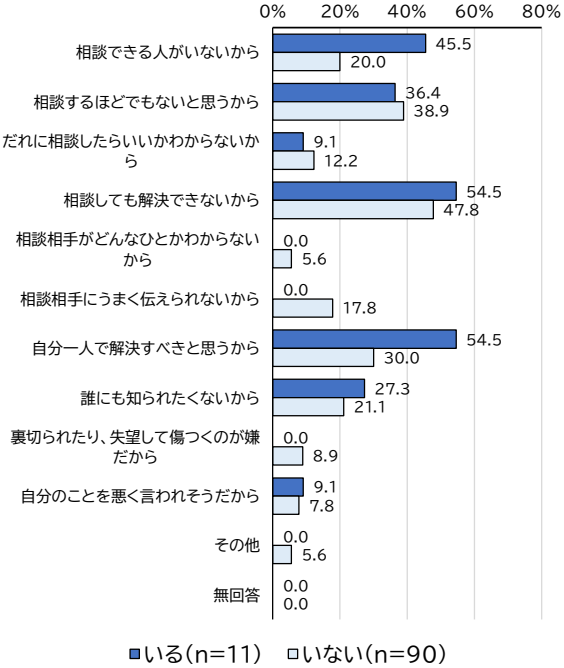



### 世話をする家族の存在別




## 相談しない理由

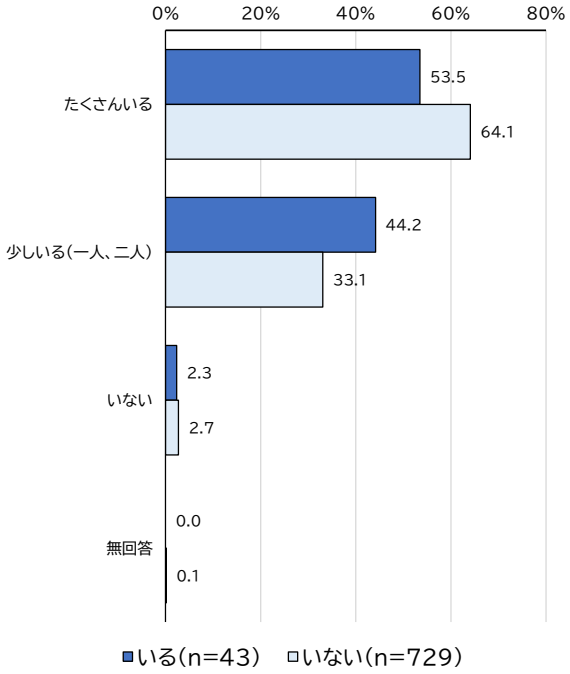


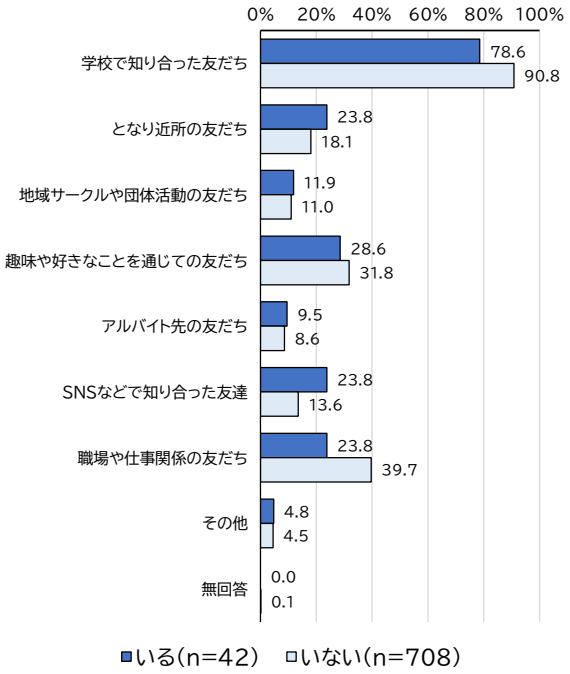
### （３）友達

友達はいるかとの問では、世話をする家族がいる人はいない人に比べて、「たくさんいる」割合が低く、「少しいる(一人二人)」の割合が高くなっています。友達はどのような人かの問では、「学校で知り合った友達」の割合が最も高いですが、世話をする家族がいる人は、いない人に比べて「となり近所の友だち」、「SNS などで知り合った友達」の割合が高くなっています。

友達はいるか




友達はどのような人か

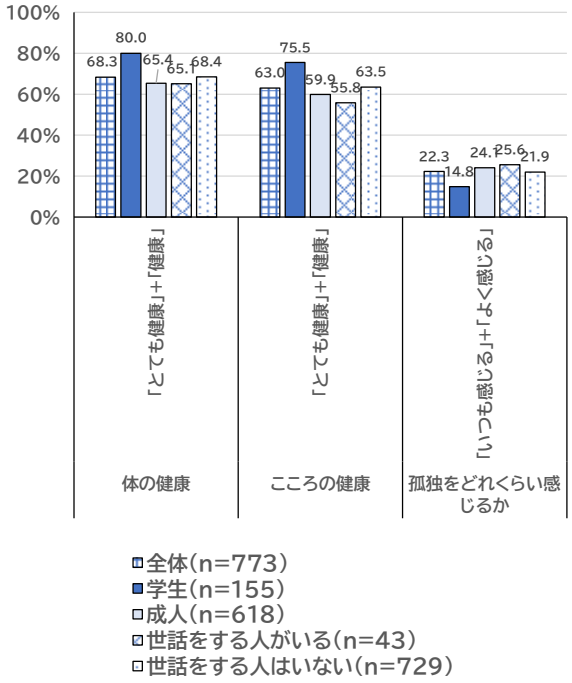



### （４）家族の世話

世話をする家族がいる人では、「お父さん」、「お母さん」の世話をしている人が半数以上で、世話をしている内容は、「家事（食事の準備や掃除など)」が最も多く、次いで「買い物や散歩に一緒に行く」が多くなっています。世話をしている頻度は「ほぼ毎日」と「週に 3～5 日」を合わせると 6 割以上であり、世話をすることで「自分の時間が取れない」の割合が最も多く、自分の時間が犠牲になっていることがうかがわれます。

**（５）健康**

「体の健康」、「こころの健康」ともに、学生では＜健康＞（「とても健康」と「健康」の合計）とする割合が高く、世話をする家族がいる人もいない人も「体の健康」はほぼ同じ程度となっていますが、「こころの健康」では、世話をする家族がいる人の＜健康＞とする割合がやや低く、「孤独を感じる」割合もやや高くなっています。




**（６）生き方、将来への不安**

理想の生き方について重視することでは、成人では「家族と幸せに暮らすこと」が第１位であるのに対して、学生は「自分の好きなように暮らすこと」が第１位となっています。

世話をする家族がいない人では、「家族と幸せに暮らすこと」が第１位であるのに対して、世話をする家族がいる人では、「自分の好きなように暮らすこと」が第１位となっています。

将来に不安を感じていることでは、成人では「収入･生活費」が第１位であるのに対して、学生は「就職･仕事」が第１位となっています。

世話をする家族がいない人も、世話をする家族がいる人も、「収入･生活費」が第１位となっています。

### （７）生活の充実度

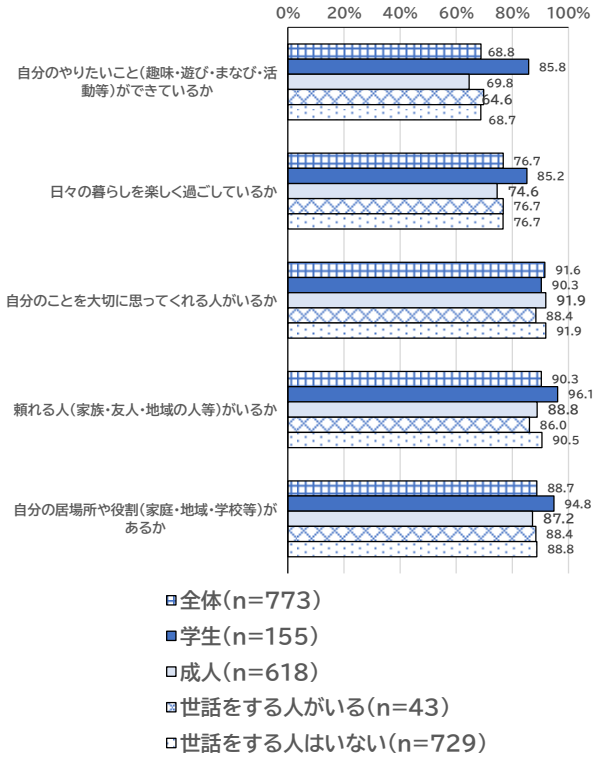
生活の充実度に関する設問5項目、「自分のやりたいこと」、「日々の暮らしの楽しさ」、「大切に思ってくれる人の存在」、「頼れる人の存在」、「自分の居場所や役割」について、「そう思う」と「どちらかというとそう思う」を合わせた＜思う＞割合をみると、いずれの項目も「学生」でその割合が高い特徴がみられます。

世話をする家族がいない人と、世話をする家族がいる人の比較では大きな差はみられませんが、「頼れる人の存在」で、世話をする家族がいる人の割合が少し低くなっています。

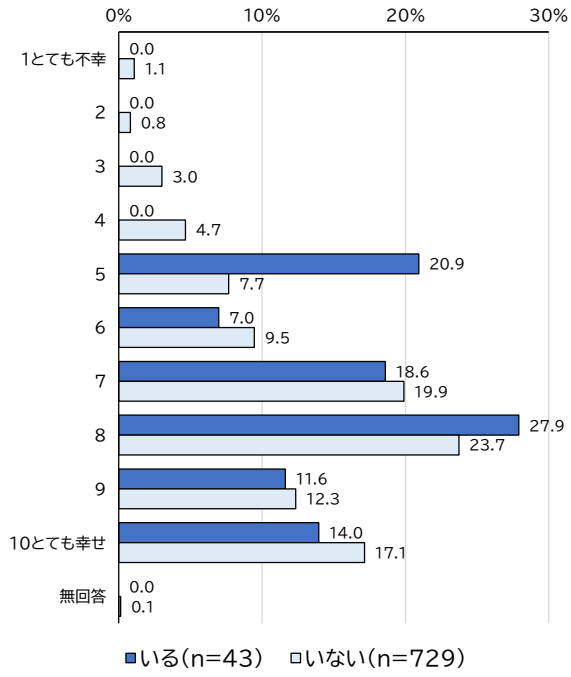
現在の「幸せ度」では、世話をする家族がいる人の中に『幸せ度４～とても不幸１』を回答した人はいませんでした。「若者ケアラー」と言われる方々は、日々、自らの時間と生活を犠牲にして家族の世話をしていることになりますが、多くの方が生活の充実感を得ており、家族の世話をしているからといって「幸せではない」と感じている方はいないようです。

若者ケアラーへは、自分の時間が少しでも多く持てるような、周囲の支え、地域支援が求められていると考えられます。

生活の充実度(「そう思う」+「どちらかというとそう思う」)




現在の幸せ度

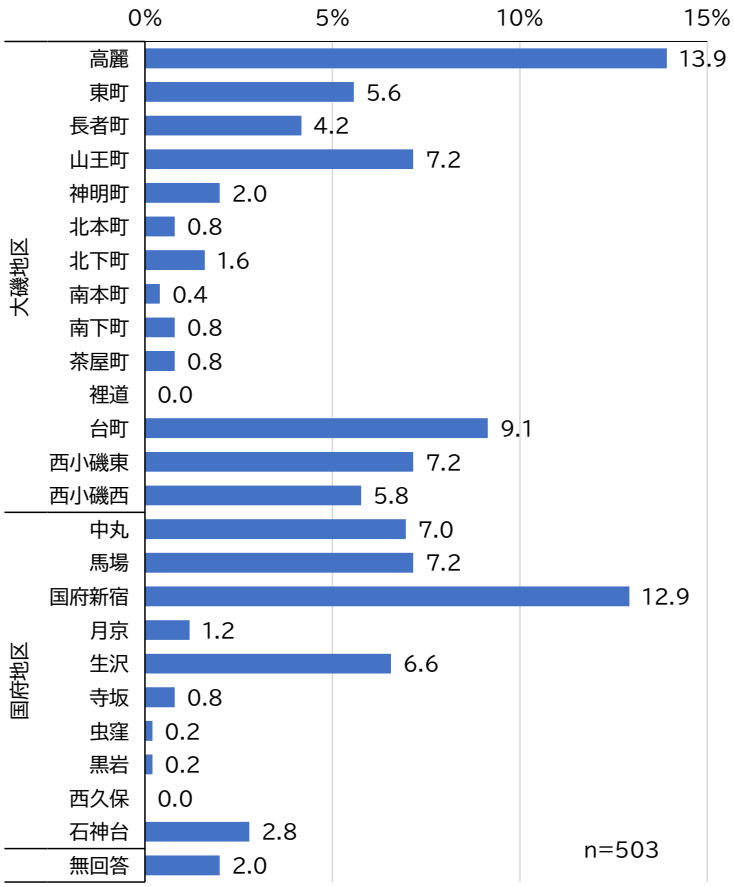


# Ⅱ　調査結果（未就学児）

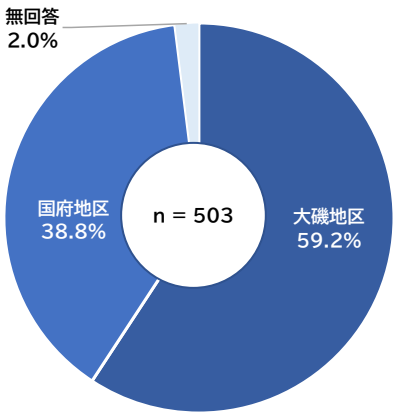
## １．子どもと家族の状況について

### （１）居住地区

**問１　お住まいの地区はどこですか。（○は１つ）**




| 大磯地区 | 国府地区 |
|---|---|
| 高麗、東町、長者町、山王町、神明町、北本町、北下町、南本町、南下町、茶屋町、裡道、台町、西小磯東、西小磯西 | 中丸、馬場、国府新宿、月京、生沢、寺坂、虫窪、黒岩、西久保、石神台 |

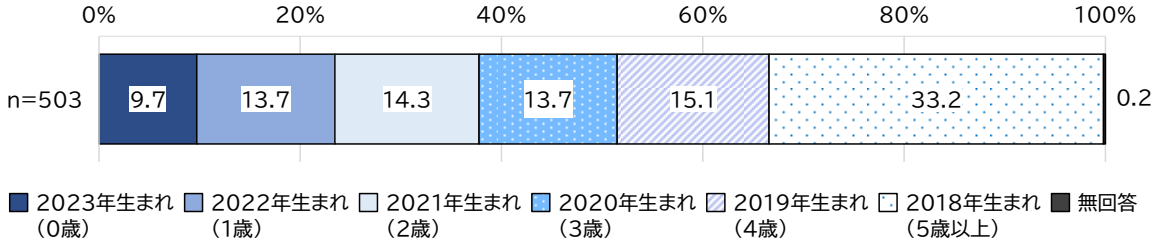



居住地区は「高麗」が 13.9%で最も高く、次いで「国府新宿」が 12.9%、「台町」が 9.1%となっている。

地区別にみると、「大磯地区」が 59.2%、「国府地区」が 38.8%となっている。

### （２）子どもの年齢

**問２　「お子さん」の生年月をご記入ください。（数字で記入）**

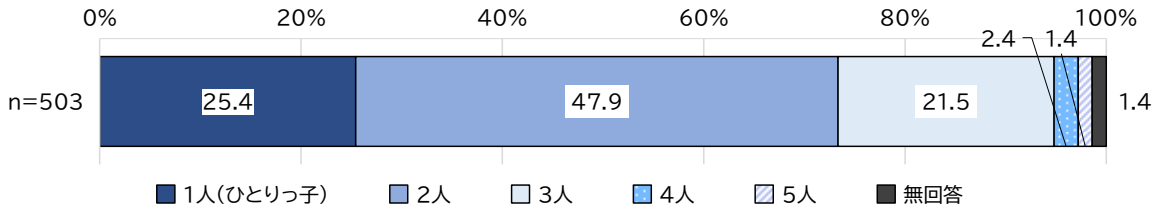



子どもの年齢は、「2018 年生まれ（５歳以上）」が 33.2％で最も高く「2023 年生まれ（０歳）」が 9.7％で最も低くなっている。１歳～４歳の各年齢で 13％～16％とほぼ同じ割合となっている。

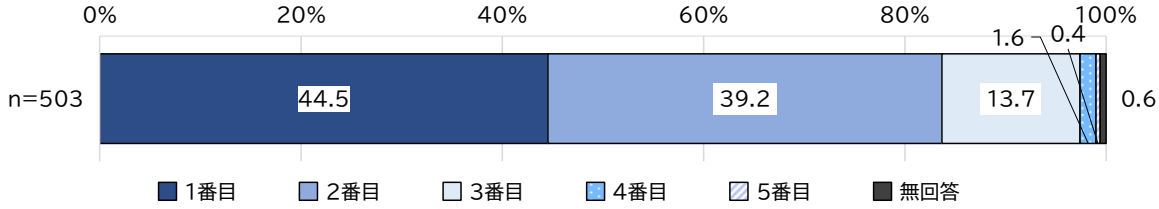
### （３）子どものきょうだい数

**問３　「お子さん」のきょうだいは、「お子さん」を含めて何人ですか。また、「お子さん」は、何番目のお子さんですか。２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。（数字で記入）**　（きょうだいの数には、「お子さん」も含めてください。）

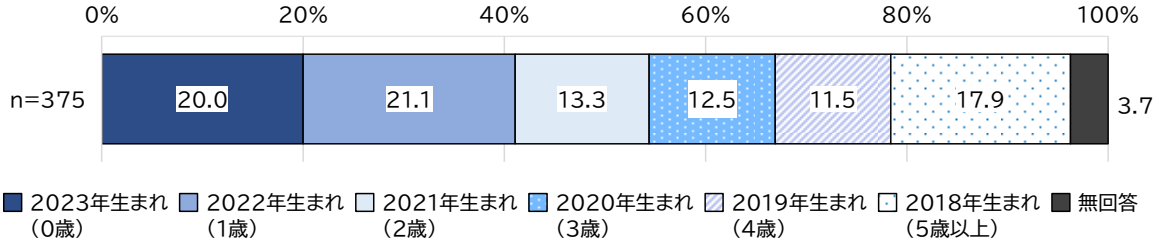
【きょうだいの数】




【きょうだい（何番目）】




【末子の年齢】※きょうだいが２人以上いる方



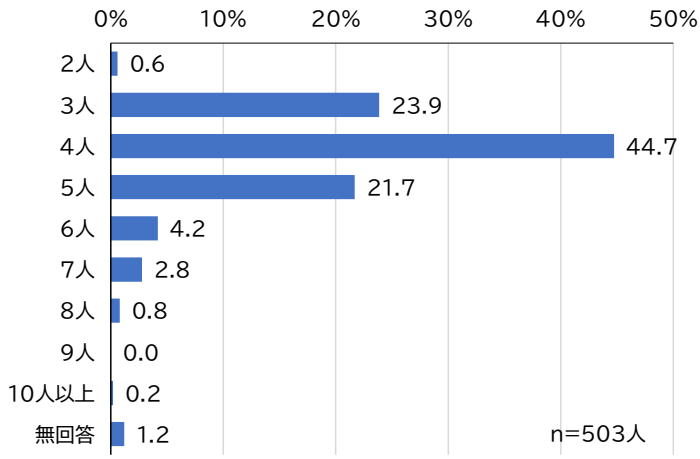

きょうだい数は、「２人」が 47.9％で最も高く、次いで「１人（ひとりっ子）」が 25.4％、「３人」が 21.5％となっている。

あて名のお子さんは、「１番目」が 44.5％で最も高く、次いで「２番目」が 39.2％、「３番目」が 13.7％となっている。

末子の年齢は、「2022 年生まれ（１歳）」が 21.1％で最も高く、次いで「2023 年生まれ（０歳）」が 20.0％、「2018 年生まれ（５歳以上）」が 17.9％となっている。

### （４）家族人数

**問４　「お子さん」を含めた、家族全員の人数は何人ですか。（○は１つ）（単身赴任やひとり暮らしのお子さんなど、別居していても生計を一緒にする方はすべて含みます。）**




家族人数は、「４人」が 44.7%で最も高く、次いで「３人」が 23.9%、「５人」が 21.7%となっている。

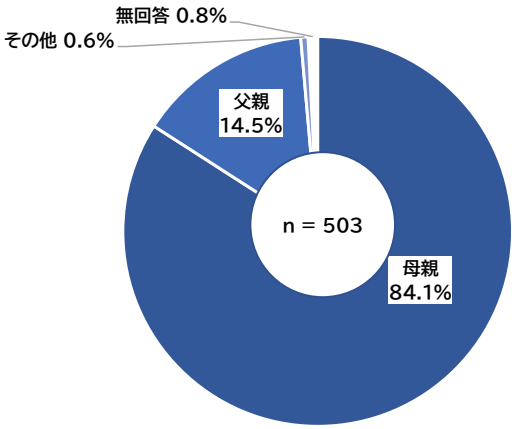
### （５）調査票回答者

**問５　この調査票にご回答いただいている方は、「お子さん」からみてどなたですか。（○は１つ）**

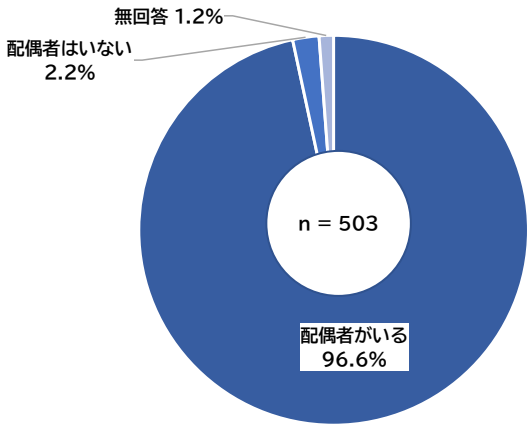
### （６）調査票回答者の配偶者の有無

**問６　この調査票にご回答いただいている方に、配偶者はいらっしゃいますか。（○は１つ）**

【調査票回答者】




【調査票回答者の配偶者の有無】



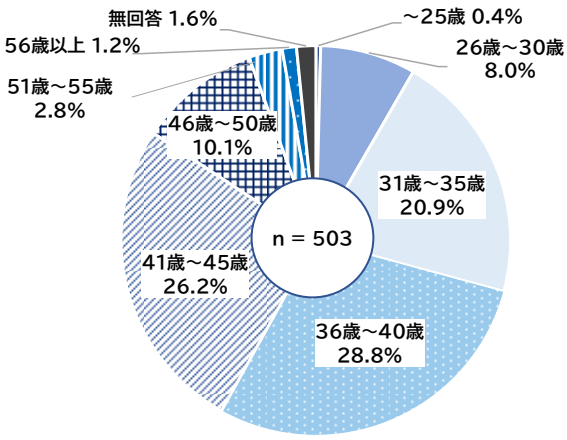

調査票回答者は、「母親」が 84.1%、「父親」が 14.5%となっている。

調査票回答者の配偶者の有無は、「配偶者がいる」が 96.6%、「配偶者はいない」は 2.2%となっている。

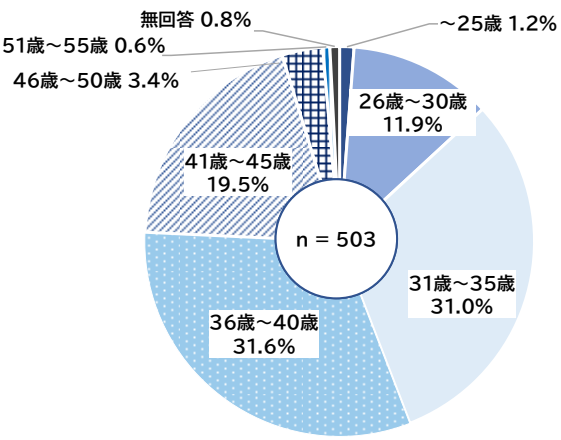
### （７）父親、母親の年齢

**問７　父親、母親の年齢（令和５年４月１日現在の年齢）を伺います。該当する年齢層を下から選び番号をご記入ください。（数字で記入）※ひとり親家庭の場合は、養育している親の年齢のみご記入ください。**

【父親の年齢】




【母親の年齢】

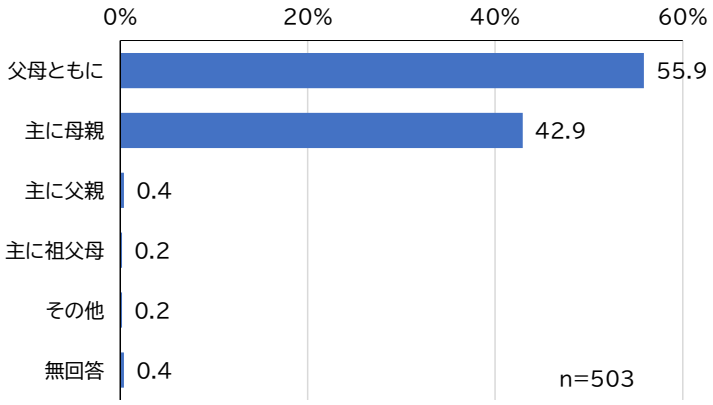


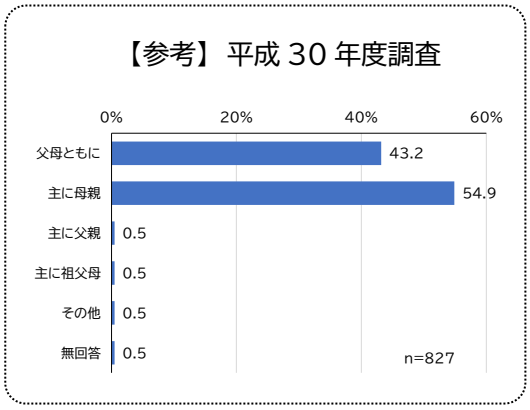

父親の年齢は、「36 歳～40 歳」が 28.8%で最も高く、次いで「41 歳～45 歳」が 26.2%、「31 歳～35 歳」が 20.9%、「20 歳～30 歳」は 8.0%となっている。

母親の年齢は、「36 歳～40 歳」が 31.6%で最も高く、次いで「31 歳～35 歳」が 31.0%、「41 歳～45 歳」が 19.5%、「20 歳～30 歳」は 11.9%となっている。

### （８）子育てを主に行っている人

**問８「お子さん」の子育て（教育を含む）を主に行っているのは、「お子さん」からみてどなたですか。（◯は１つ）**



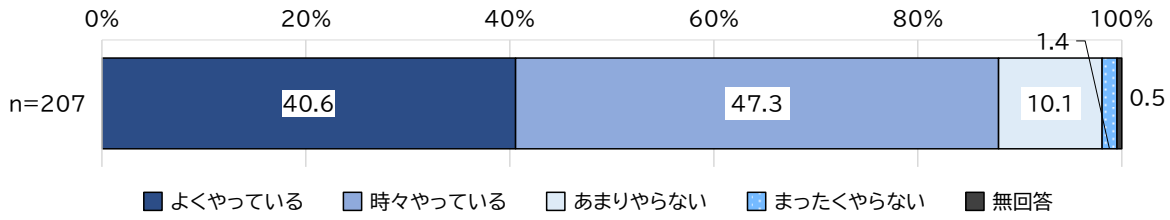




子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が 55.9%で最も高く、次いで「主に母親」が 42.9%となっている。

平成 30 年度調査と比較すると、「主に母親」と「父母ともに」の割合が逆転している。

### （９）配偶者の子育て協力状況

**【問８で「主に母親」もしくは「主に父親」に回答された方（ひとり親家庭の場合は回答不要）】**
**問８-1 その配偶者は、子育ての分担を協力して行っていますか。（◯は１つ）**

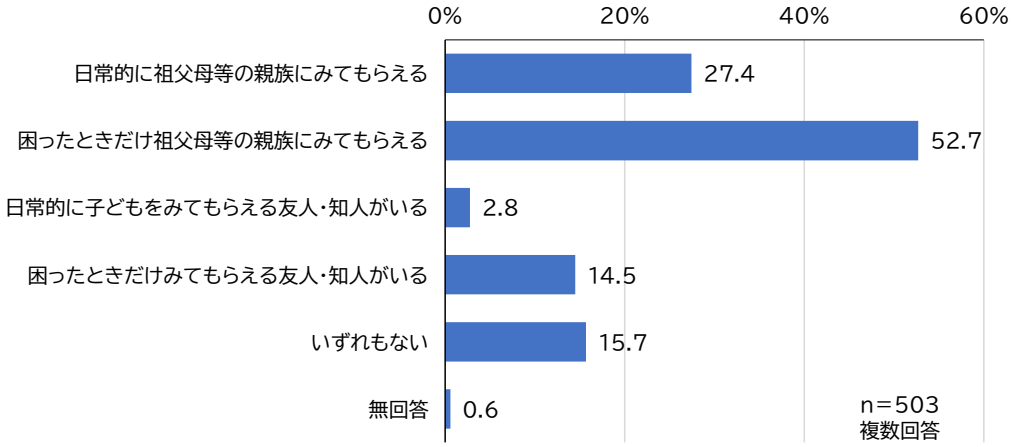



配偶者の子育て協力状況は、「時々やっている」が 47.3%で最も高く、次いで「よくやっている」が 40.6%となっている。

## ２．子どもの育ちをめぐる環境について

### （１）子どもをみてもらえる親族・知人の有無

**問９　日頃、「お子さん」をみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）**

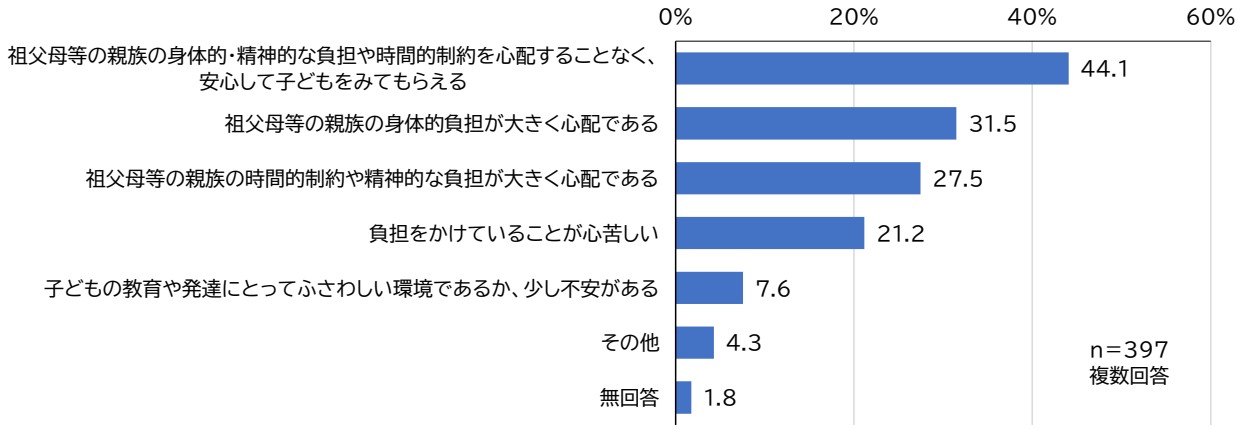



子どもをみてもらえる親族･知人の有無は、「困ったときだけ祖父母等の親族にみてもらえる」が 52.7%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 27.4%、「困ったときだけみてもらえる友人・知人がいる」が 14.5%となっている。一方「いずれもいない」は 15.7%となっている。

### （２）祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

**【問９で「日常的」または「緊急時もしくは用事の際」には、祖父母等の親族にみてもらえると回答された方】**

**問９-1　祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）**

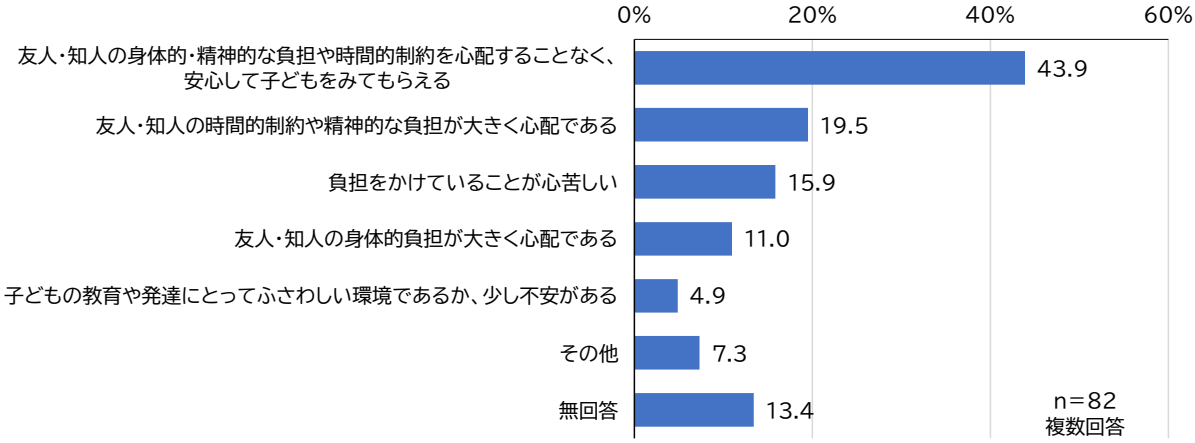



祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 44.1%で最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 31.5%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 27.5%となっている。

### （３）友人・知人に子どもをみてもらっている状況

**【問９で「日常的」または「緊急時もしくは用事の際」には、子どもをみてもらえる友人・知人がいると回答された方】**

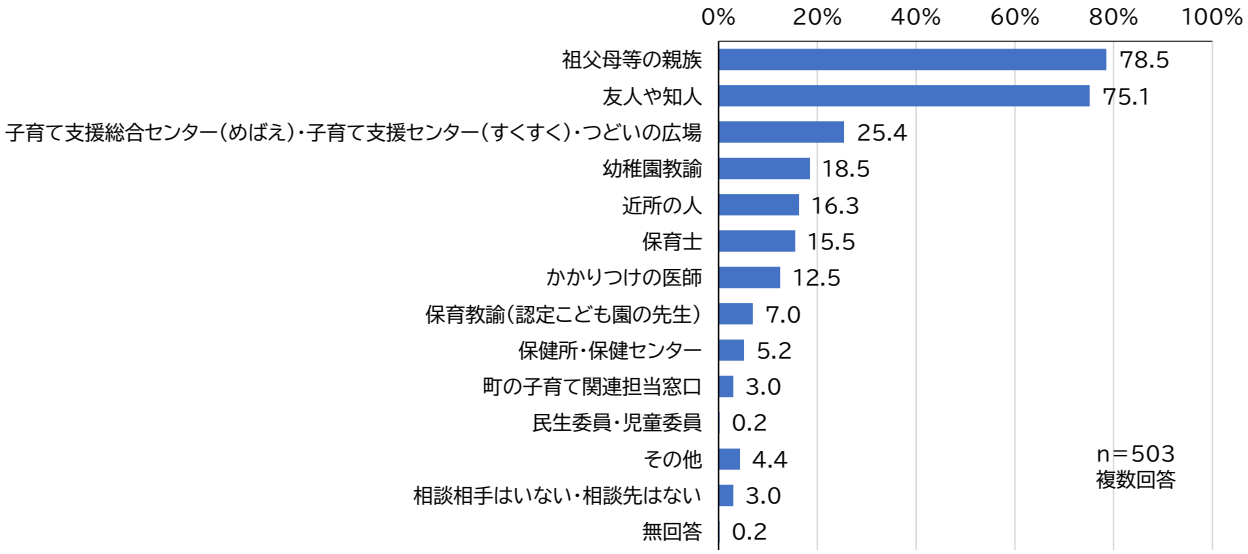
**問９－２　友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）**




友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 43.9％で最も高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 19.5％、「負担をかけていることが心苦しい」が 15.9％となっている。

### （４）子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人

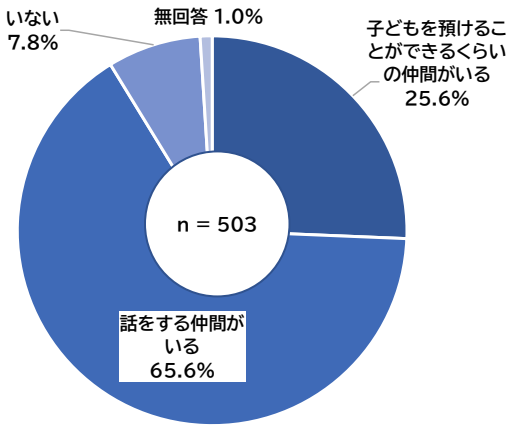
**問 10　「お子さん」の子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（あてはまるものすべてに○）**




子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人は、「祖父母等の親族」が 78.5％で最も高く、次いで「友人や知人」が 75.1％、「子育て支援総合センター（めばえ）・子育て支援センター（すくすく）・つどいの広場」が 25.4％となっている。一方、「相談相手はいない・相談先はない」は 3.0％となっている。

### （５）子育ての仲間の有無

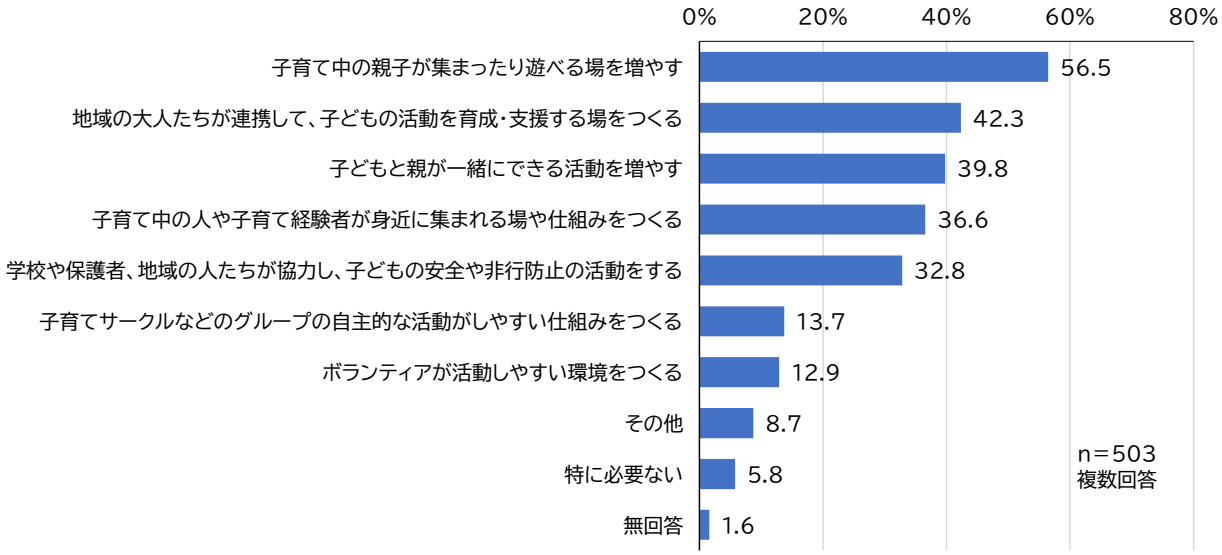
**問 11　あなたの周りには子育ての仲間がいますか。（◯は１つ）**




子育ての仲間の有無は、「話をする仲間がいる」が 65.6%で最も高く、次いで「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」が 25.6%となっている。一方、「いない」は 7.8%となっている。

### （６）安心して子育てをするために必要な地域の取組

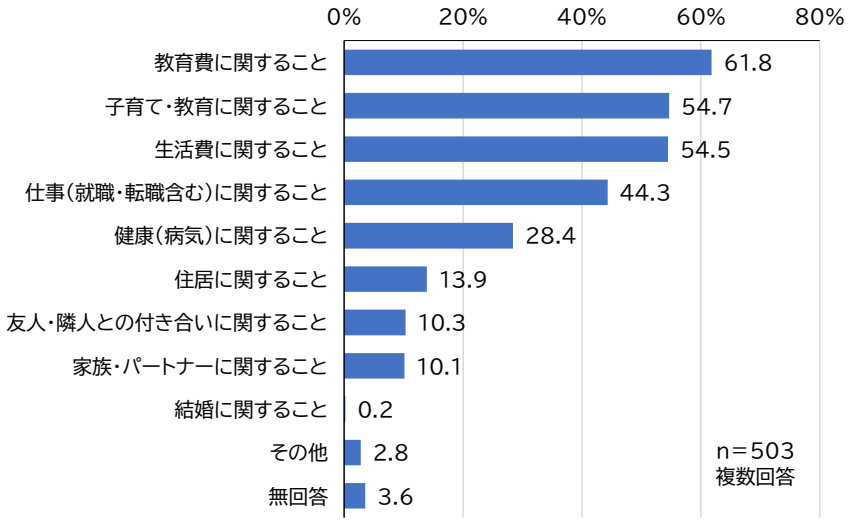
**問 12　安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに◯）**




安心して子育てをするために必要な地域の取組は、「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」が 56.5%で最も高く、次いで「地域の大人たちが連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる」が 42.3%、「子どもと親が一緒にできる活動を増やす」が 39.8%となっている。一方、「特に必要ない」は 5.8%となっている。

### （７）生活するうえでの不安や悩み

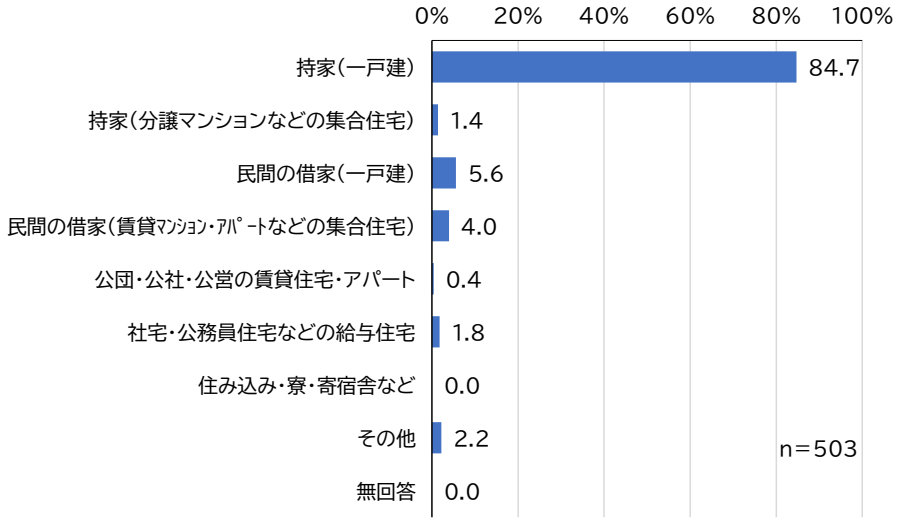
**問 13　生活するうえで、どのような不安や悩みをもっていますか。（あてはまるものすべてに○）**




生活するうえでの不安や悩みは、「教育費に関すること」が 61.8％で最も高く、次いで「子育て・教育に関すること」が 54.7％、「生活費に関すること」が 54.5％、「仕事（就職・転職含む）に関すること」が 44.3％となっている。

### （８）現在の住居形態

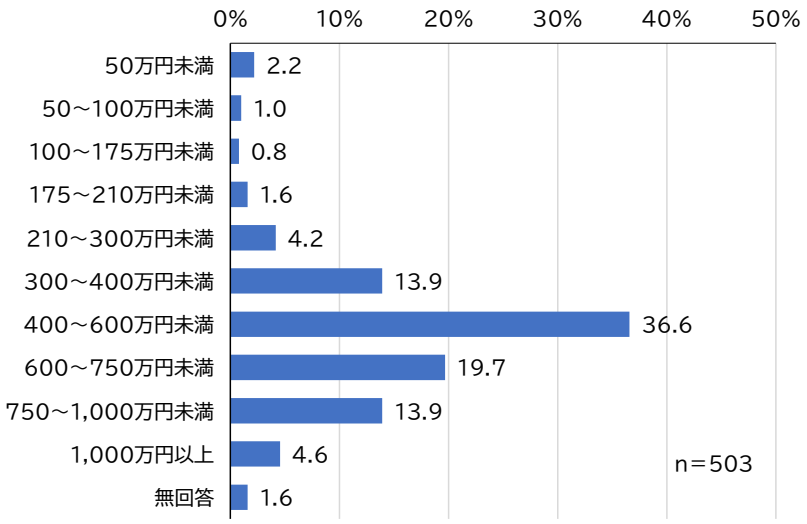
**問 14　現在のお住まいは、次のうちどれにあたりますか。（○は１つ）**




現在の住居形態は、「持家（一戸建）」が 84.7％で最も高く、次いで「民間の借家（一戸建）」が 5.6％、「民間の借家（賃貸マンション・アパートなどの集合住宅）」が 4.0％となっている。

### （９）昨年の世帯全員の合計の手取り収入

**問 15　昨年の世帯全員の合計の手取り収入（税金や保険料を引いた、実際に手元に入ってくるお金）は、次のうちどれにあたりますか。（◯は１つ）**

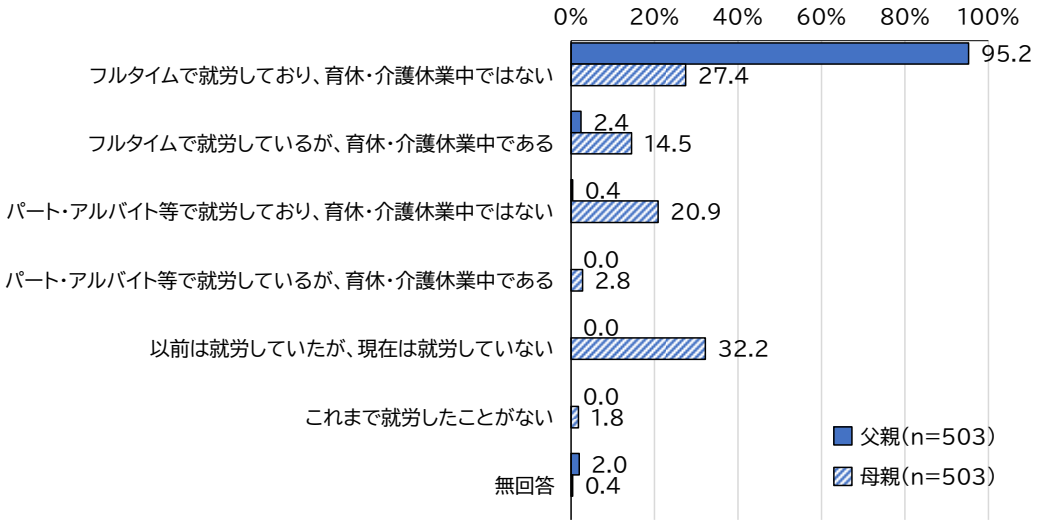



昨年の世帯全員の合計の手取り収入は、「400～600 万円未満」が 36.6%で最も高く、次いで「600～750 万円未満」が 19.7%、「300～400 万円未満」と「750～1,000 万円未満」が同率で 13.9%となっている。

## ３．保護者の就労状況について

### （１）父母の就労状況

**問 16　「お子さん」の保護者のそれぞれの就労状況等は、次のうちどれにあたりますか。（自営業、家族従事者を含む）（それぞれに◯は１つ）**




父親の就労状況等は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 95.2％と９割以上を占めている。

母親の就労状況等は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 32.2％で最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 27.4％、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 20.9％となっている。

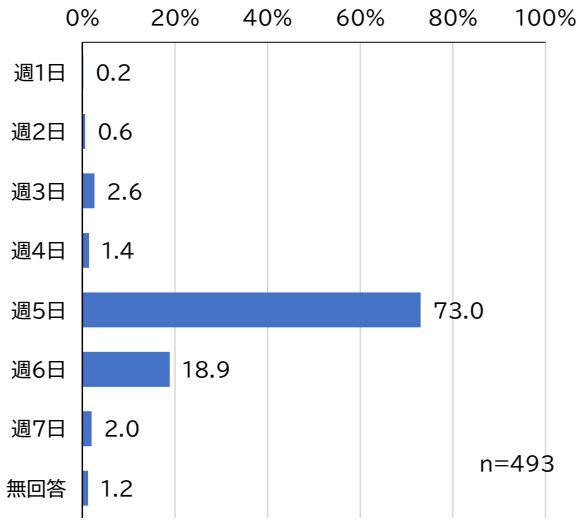
## （２） １週間当たりの就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅時間、通勤時間（片道）

**【問 16 で「フルタイム」または「パート・アルバイト等」で就労していると回答された方】**

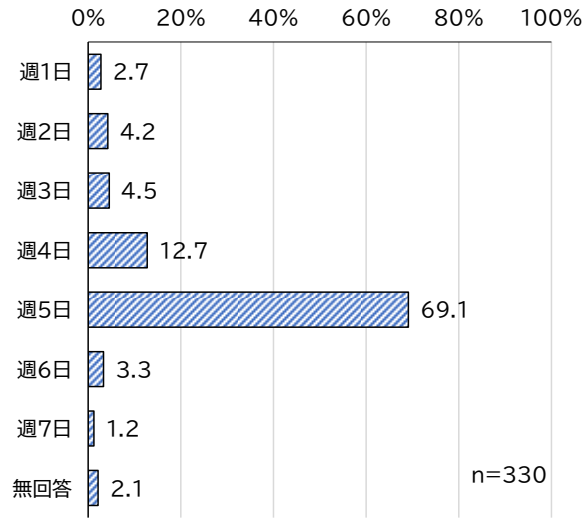
**問 16-1　「１週間当たりの就労日数」と「１日当たりの就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」「帰宅時間」「通勤時間（片道）」は、どれくらいですか。（数字で記入）**

※　就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※　産休･育休･介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数字を記入）
※　時間は必ず 24 時間制でお答えください。（例）18 時 30 分

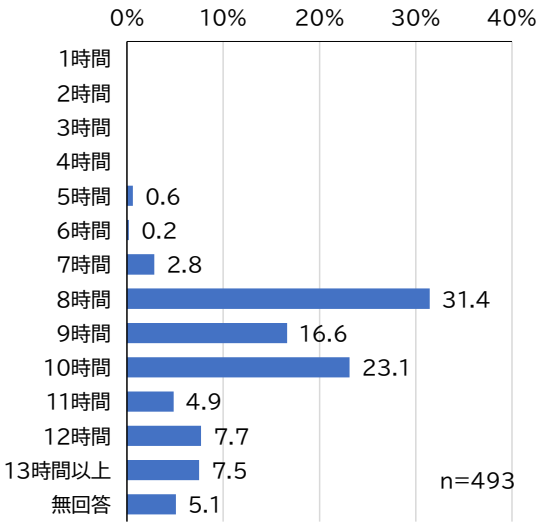
【父親の就労日数】



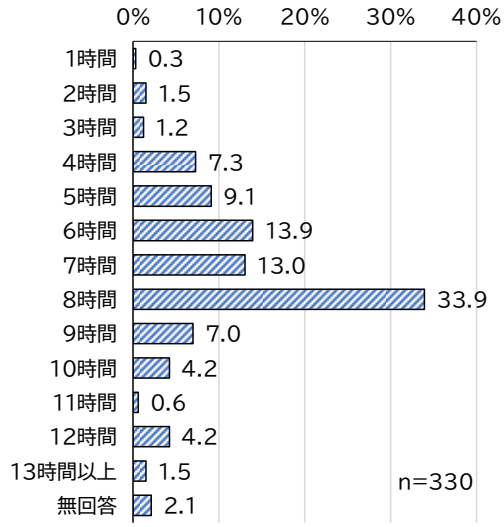

【母親の就労日数】



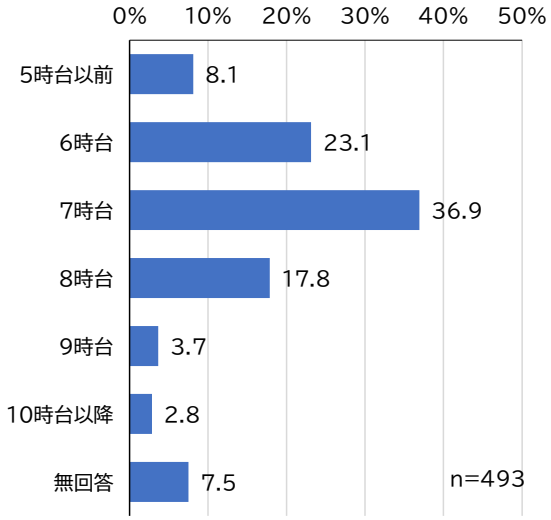

【父親の就労時間】



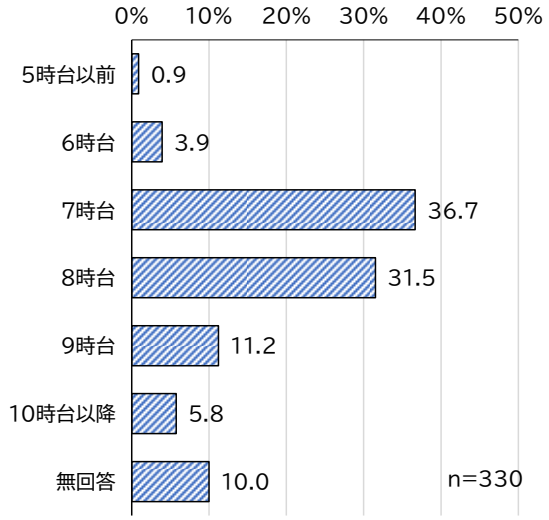

【母親の就労時間】



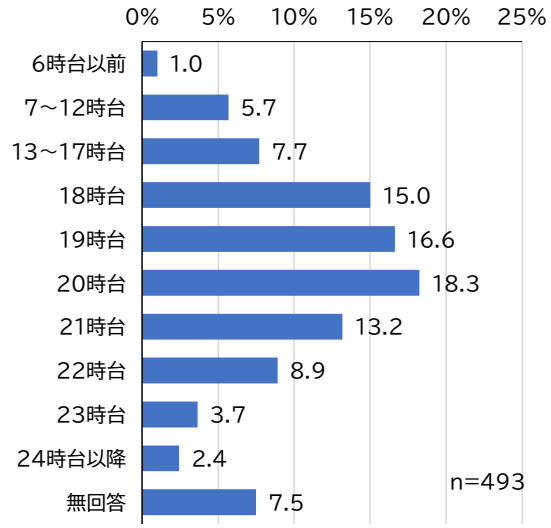
【父親の家を出る時間】



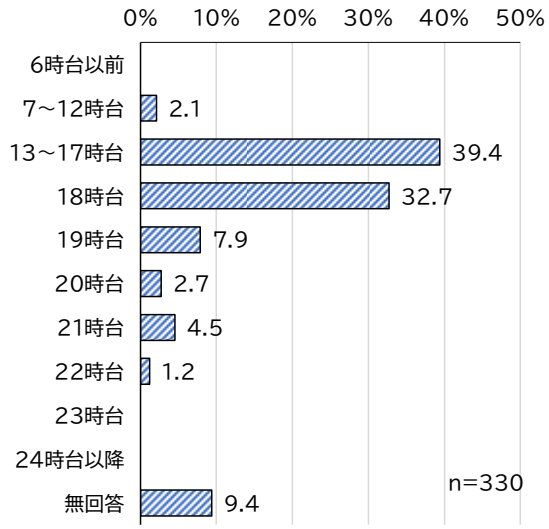

【母親の家を出る時間】



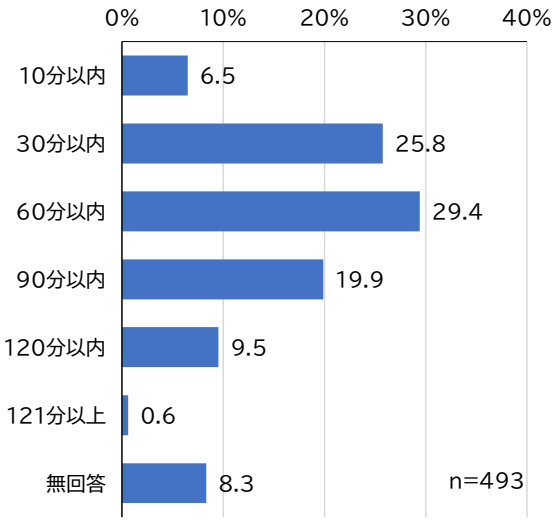

【父親の帰宅時間】



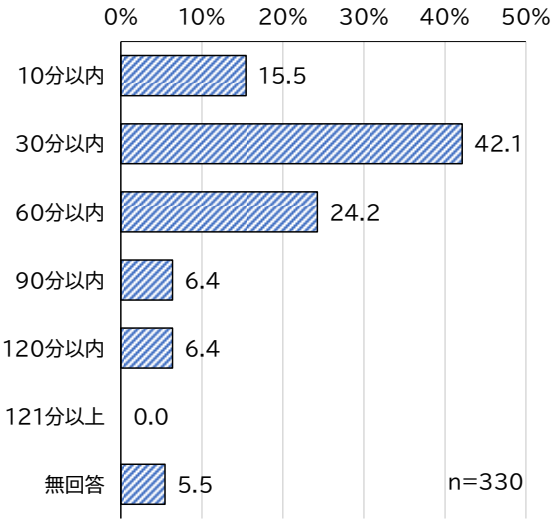

【母親の帰宅時間】




【父親の通勤時間（片道）】




【母親の通勤時間（片道）】



父親の就労日数は、「週５日」が 73.0％で最も高く、次いで「週６日」が 18.9％となっている。

父親の就労時間は、「８時間」が 31.4％で最も高く、次いで「10 時間」が 23.1％、「９時間」が 16.6％となっている。

父親の家を出る時間は、「７時台」が 36.9％で最も高く、次いで「６時台」が 23.1％、「８時台」が 17.8％となっている。

父親の帰宅時間は、「20 時台」が 18.3％で最も高く、次いで「19 時台」が 16.6％、「18 時台」が 15.0％となっている。

父親の通勤時間は、「60 分以内」が 29.4％で最も高く、次いで「30 分以内」が 25.8％、「90 分以内」が 19.9％となっている。

母親の就労日数は、「週５日」が 69.1％で最も高く、次いで「週４日」が 12.7％となっている。

母親の就労時間は、「８時間」が 33.9％で最も高く、次いで「６時間」が 13.9％、「７時間」が 13.0％となっている。

母親の家を出る時間は、「７時台」が 36.7％で最も高く、次いで「８時台」が 31.5％、「９時台」が 11.2％となっている。

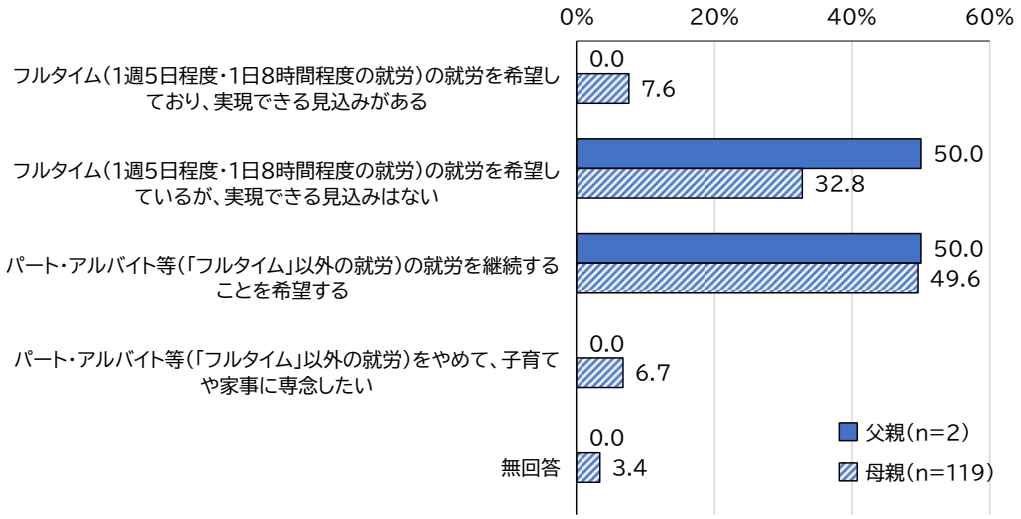
母親の帰宅時間は、「13～17 時台」が 39.4％で最も高く、次いで「18 時台」が 32.7％、「19 時台」が 7.9％となっている。

母親の通勤時間は、「30 分以内」が 42.0％で最も高く、次いで「60 分以内」が 24.2％、「10 分以内」が 15.5％となっている。

### （３）フルタイムへの転換希望

**【問 16 で「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」で就労していると回答された方】**

**問 16-2　今後の就労希望をお聞かせください。（それぞれに◯は１つ）**



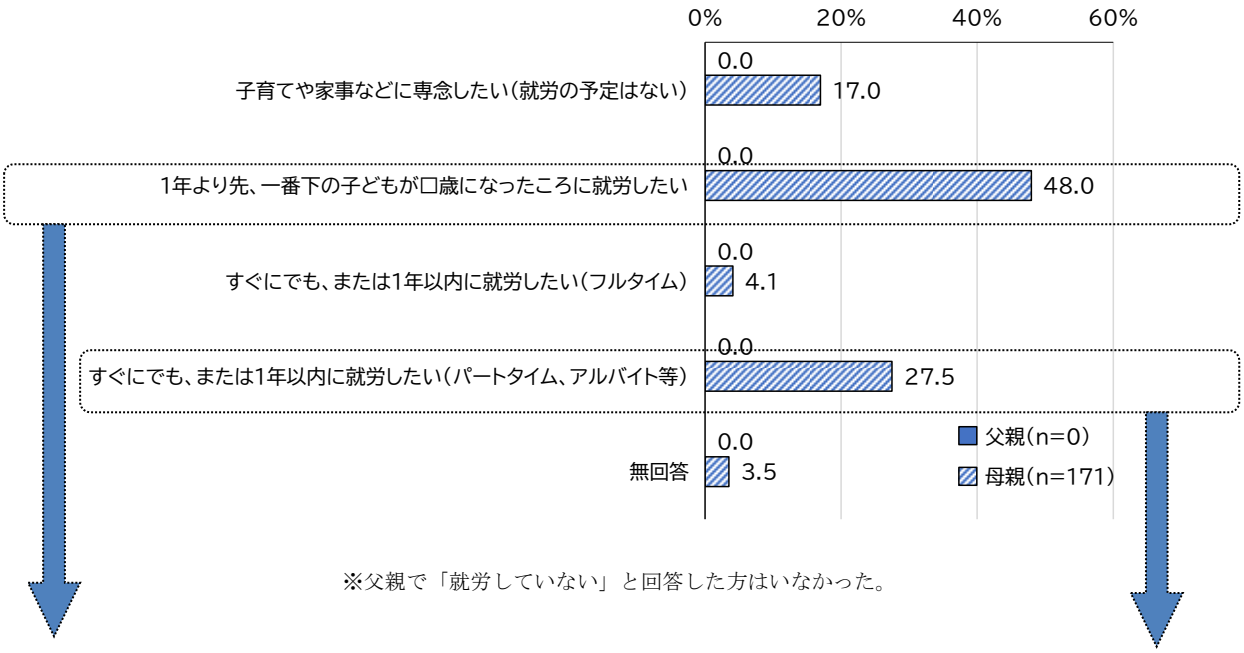

※父親のフルタイムへの転換希望は、回答数が２人のため傾向を見るにとどめる。

母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を継続することを希望する」が 49.6％で最も高く、次いで「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）の就労を希望しているが、実現できる見込みはない」が 32.8％となっている。一方、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）をやめて、子育てや家事に専念したい」は 6.7％となっている。

### （４）就労希望

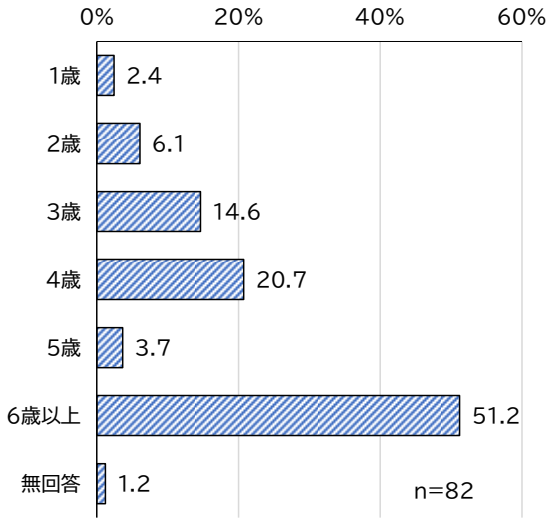
**【問 16 で「就労していない」と回答された方】**

**問 16-3　今後の就労希望はありますか。（それぞれに○は１つ）**

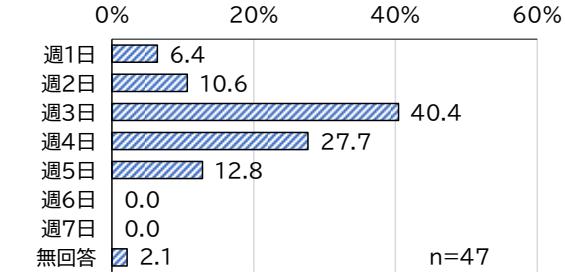



※父親で「就労していない」と回答した方はいなかった。

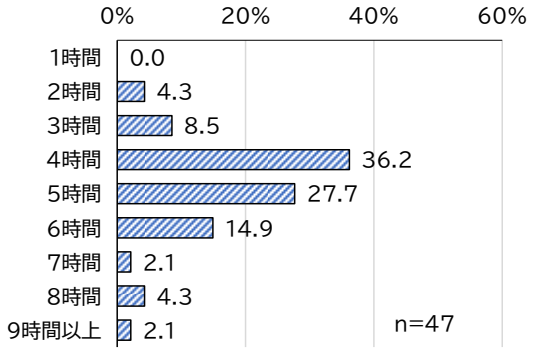
**【母親　就労希望時期（末子の年齢）】**




**【母親のアルバイトの就労希望日数】**




**【母親のアルバイトの就労希望時間】**




母親の就労希望は、「１年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」が 48.0%で最も高く、次いで「すぐにでも、または１年以内に就労したい（パートタイム、アルバイト等）」が 27.5%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 14.7%となっている。

母親の就労を希望する時期は、子どもが「６歳以上になったら」が 51.2%で最も高くなっている。

母親の「すぐにでも、または１年以内に就労したい（パートタイム、アルバイト等）」の就労希望日数は、「週３日」が最も高く 40.4%、次いで「週４日」が 27.7%となっている。

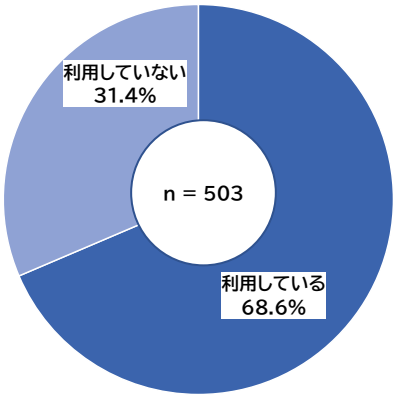
就労時間は、「４時間」が 36.2%で最も高く、次いで「５時間」が 27.7%となっている。

## ４．平日（月～金）の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 17-1 に示す事業が含まれます。

### （１）幼稚園、保育園などの「定期的な教育・保育の事業」の利用状況

**問 17　「お子さん」は現在、幼稚園、保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（◯は１つ）**

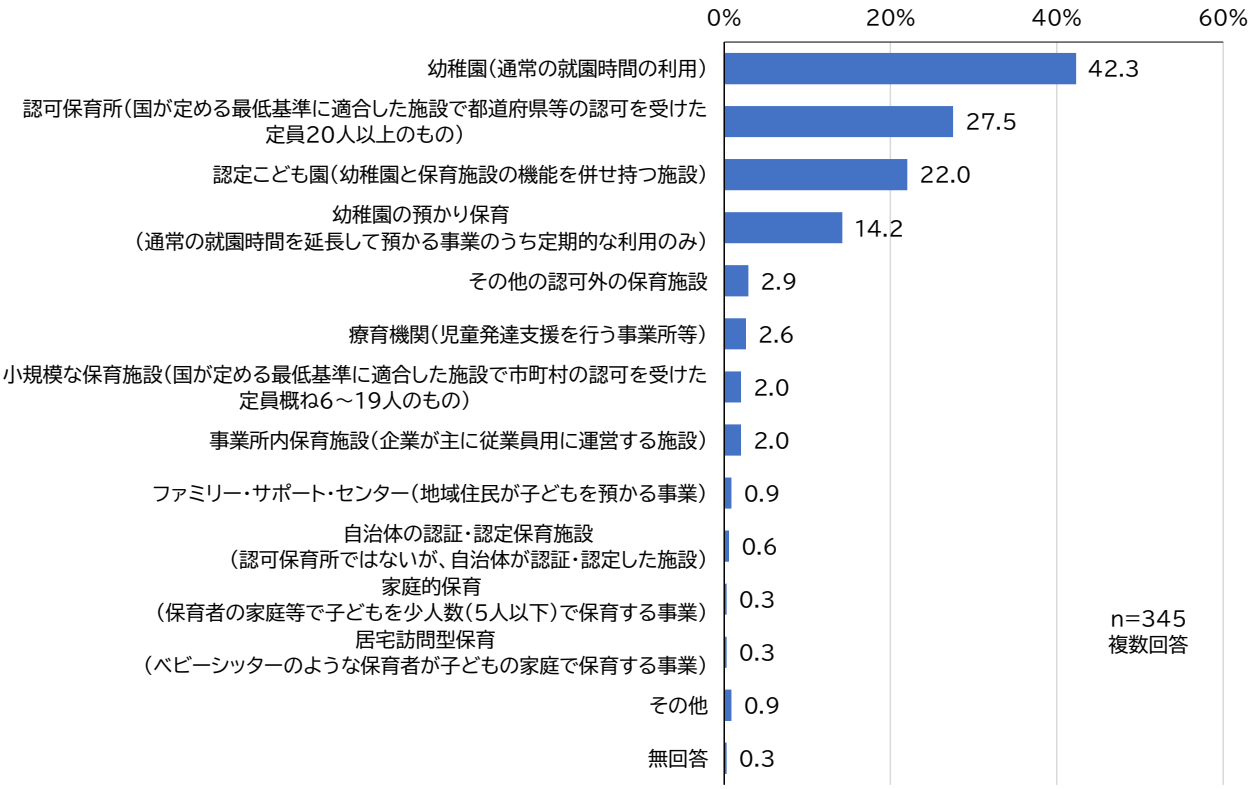



幼稚園、保育園などの「定期的な教育・保育の事業」の利用状況は、「利用している」が 68.6%、「利用していない」が 31.4%となっている。

### （２）年間を通じて平日に「定期的に」利用している教育・保育の事業の種類

**【問 17 で「利用している」と回答された方】**

**問 17-1　平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答え下さい。（あてはまるものすべてに○）**




平日に「定期的に」利用している教育・保育の事業の種類は、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 42.3％で最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」が 27.5％、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が 22.0％となっている。

### （３）平日に定期的に利用している教育・保育の事業の利用状況

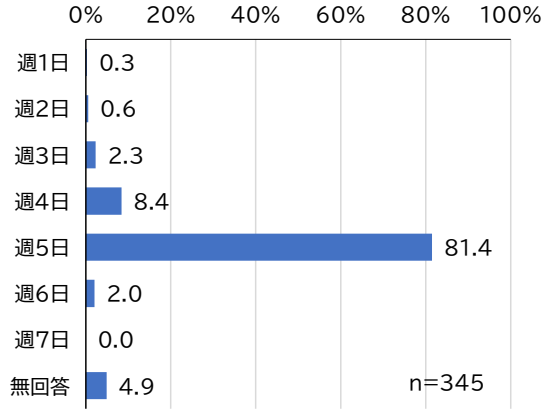
**【問 17 で「利用している」と回答された方】**

**問 17-2　平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか（問 17-1 で複数選択した場合は、合計をご記入ください）。また、１週当たり何日、１日当たり何時間（何時から何時まで）かご記入ください。（数字を記入）**

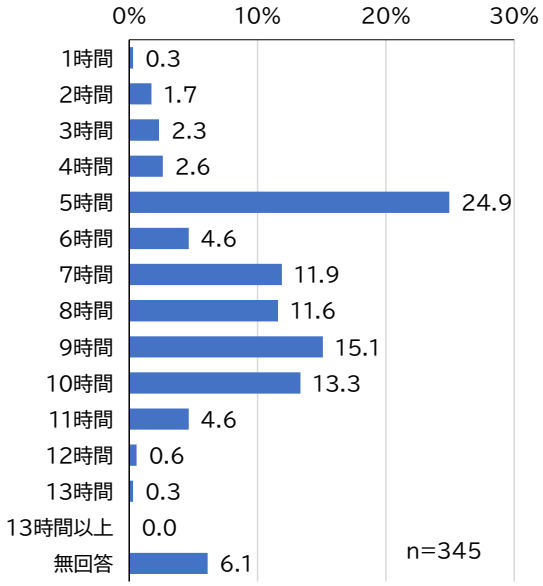
※　なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

#### １） 現在の状況

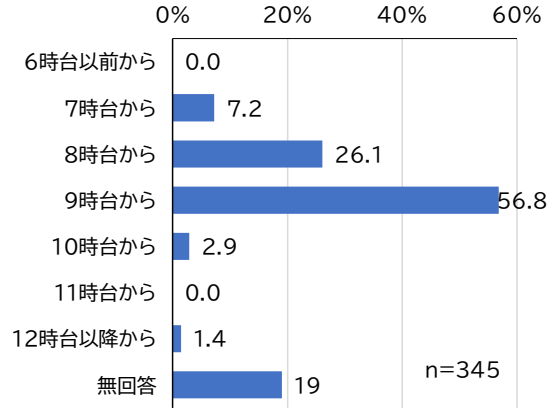
【利用日数】



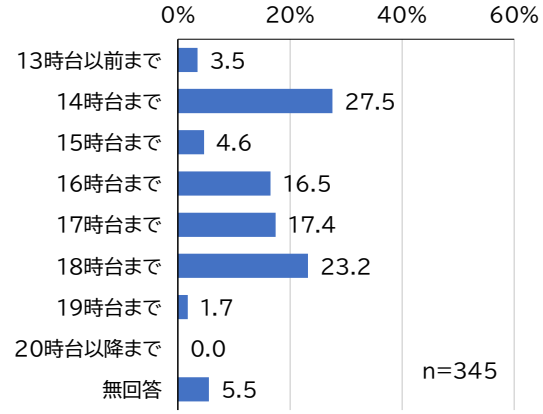

【利用時間】




【利用開始時間】




【利用終了時間】




平日に定期的に利用している教育・保育の事業の現在の利用日数は、「週５日」が 81.4%で８割以上を占めている。

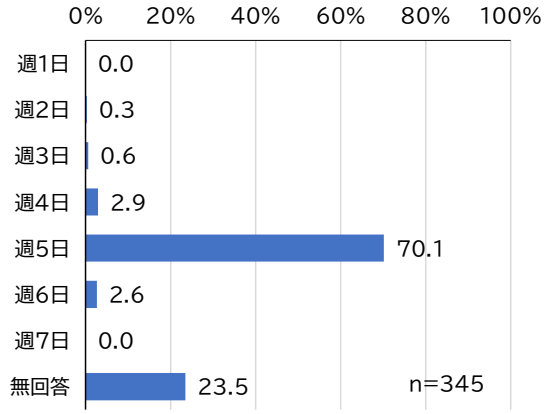
利用時間は、「５時間」が 24.9%で最も高く、次いで「９時間」が 15.1%となっている。

利用開始時間は、「９時台から」が 56.8%で最も高く、次いで「８時台から」が 26.1%となっている。

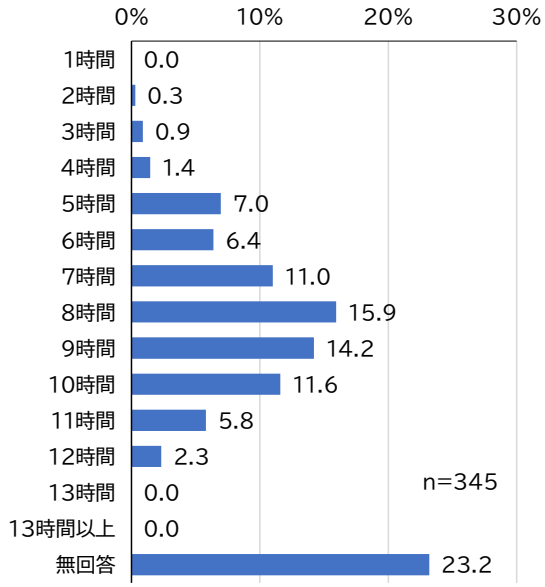
利用終了時間は、「14 時台まで」が 27.5%で最も高く、次いで「18 時台まで」が 23.2%、「17 時台まで」が 17.4%となっている。

### ２） 現在の希望

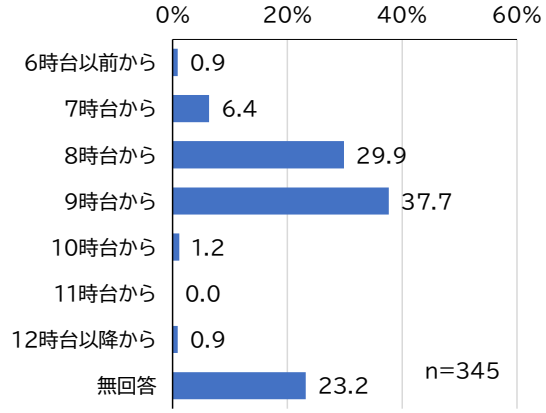
【希望利用日数】



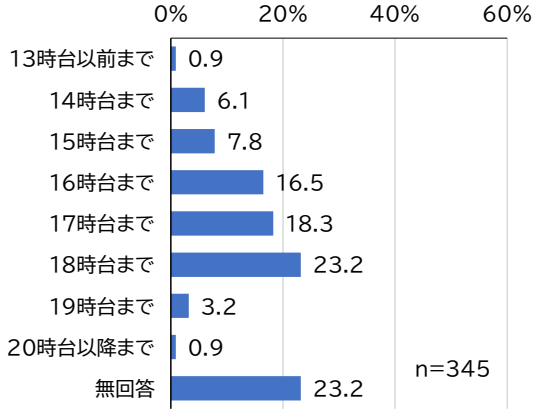

【希望利用時間】




【希望利用開始時間】




【希望利用終了時間】




平日に定期的に利用している教育・保育の事業の現在の希望利用日数は、「週５日」が 70.1%となっている。

希望利用時間は、「８時間」が 15.9%で最も高く、次いで「９時間」が 14.2%となっている。

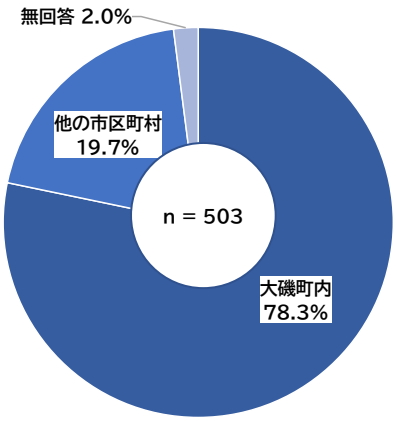
希望利用開始時間は、「９時台から」が 37.7%で最も高く、次いで「８時台から」が 29.9%となっている。

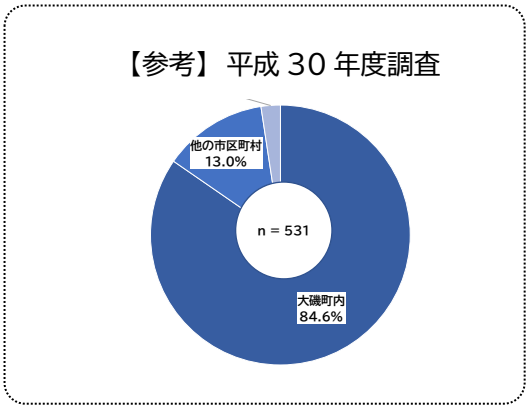
希望利用終了時間は、「18 時台まで」が 23.2%で最も高く、次いで「17 時台まで」が 18.3%、「16 時台まで」が 16.5%となっている。

### （４）主に利用している教育・保育の事業の実施場所

**【問 17 で「利用している」と回答された方】**

**問 17-3　現在、主に利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。（○は１つ）**



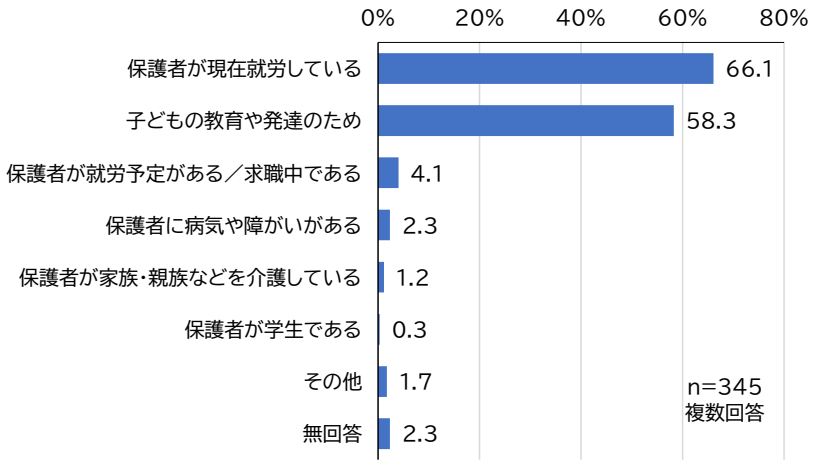

主に利用している教育・保育の事業の実施場所は、「大磯町」が 78.3%、「他の市区町村」が 19.7%となっている。

平成 30 年度調査と比較すると、「大磯町」の割合が 6.3 ポイント減少し、「他の市区町村」の割合が 6.7 ポイント増加している。

### （５）平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由

**【問 17 で「利用している」と回答された方】**

**問 17-4　平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

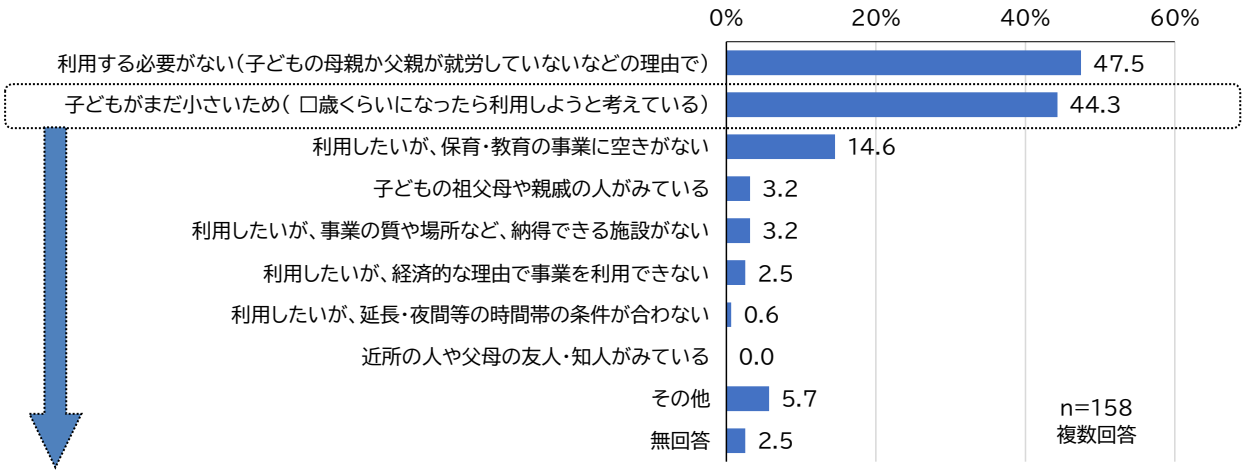



平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由は、「保護者が現在就労している」が 66.1%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 58.3%となっている。

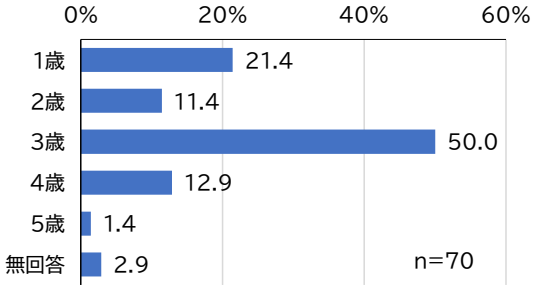
### （６）平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由

**【問 17 で「利用していない」と回答された方】**

**問 17-4　平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**




【事業の利用を希望する子どもの年齢】




平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由は、「利用する必要がない（子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）」が 47.5%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため（ □歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 44.3%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が 14.6%となっている。

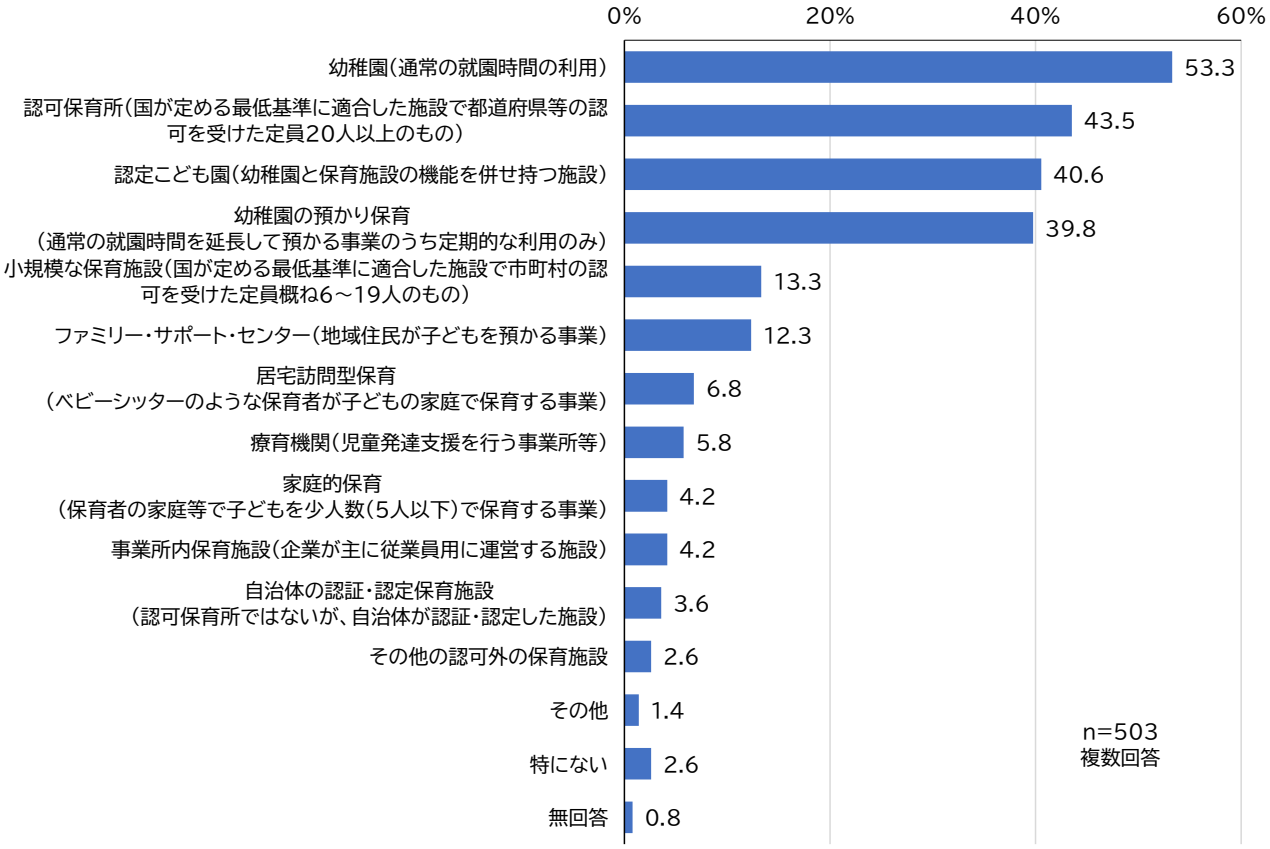
子どもがまだ小さいため（ □歳くらいになったら利用しようと考えている）と回答された方の事業の利用を希望する子どもの年齢は、「３歳」が 50.0%で最も高く、次いで「１歳」が 21.4%、「４歳」が 12.0%となっている。

### （７）子どもの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業

**【すべての方】**

**問 18　現在、利用している、利用していないにかかわらず、「お子さん」の平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）**

※　これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。




子どもの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業は、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 53.3％で最も高く、次いで「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」が 43.5％、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が 40.6％、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」が 39.8％となっている。

利用希望を子どもの年齢別にみると、０歳では「認可保育所」が 61.2％で最も高く、「幼稚園」も 57.1％と高くなっており、それ以外の年齢では「幼稚園」が最も高くなっている。また、０歳から２歳で「認定こども園」が、４歳、５歳で「幼稚園の預かり保育」が４割を超えており、「認定こども園」や「幼稚園の預かり保育」の潜在的な需要の高さがうかがえる結果となっている。

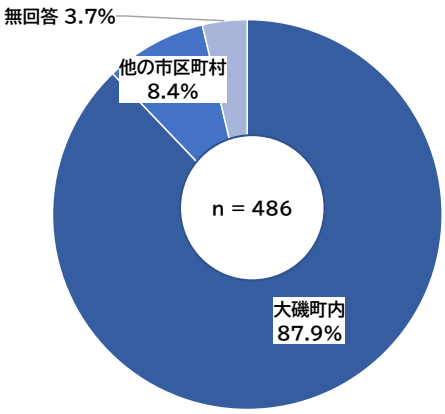
## 子どもの年齢別　×　平日「定期的」に利用したい教育・保育の事業

| | | 合計 | 問18【希望】平日「定期的に」利用したい教育・保育の事業 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 幼稚園 | 幼稚園の預かり保育 | 認可保育所 | 認定こども園 | 小規模な保育施設 | 家庭的保育 | 事業所内保育施設 | 自治体の認証・認定保育施設 | その他の認可外の保育施設 | 居宅訪問型保育 | ファミリー・サポート・センター | 療育機関 | その他 | 特にない | 無回答 |
| 全体 | | 503 | 53.3 | 39.8 | 43.5 | 40.6 | 13.3 | 4.2 | 4.2 | 3.6 | 2.6 | 6.8 | 12.3 | 5.8 | 1.4 | 2.6 | 0.8 |
| 子どもの年齢 | 2023年生（0歳） | 49 | 57.1 | 36.7 | 61.2 | 44.9 | 16.3 | 6.1 | 10.2 | 4.1 | 2.0 | 6.1 | 16.3 | 6.1 | 0.0 | 0.0 | 2.0 |
| | 2022年生（1歳） | 69 | 50.7 | 30.4 | 49.3 | 47.8 | 24.6 | 1.4 | 1.4 | 2.9 | 0.0 | 8.7 | 13.0 | 0.0 | 1.4 | 7.2 | 0.0 |
| | 2021年生（2歳） | 72 | 55.6 | 40.3 | 50.0 | 54.2 | 19.4 | 4.2 | 5.6 | 5.6 | 6.9 | 6.9 | 15.3 | 2.8 | 1.4 | 2.8 | 0.0 |
| | 2020年生（3歳） | 69 | 56.5 | 37.7 | 34.8 | 43.5 | 10.1 | 4.3 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 5.8 | 11.6 | 8.7 | 2.9 | 2.9 | 0.0 |
| | 2019年生（4歳） | 76 | 61.8 | 43.4 | 34.2 | 32.9 | 10.5 | 7.9 | 5.3 | 5.3 | 3.9 | 14.5 | 14.5 | 6.6 | 0.0 | 1.3 | 0.0 |
| | 2018年生（5歳以上） | 167 | 47.3 | 43.7 | 41.3 | 32.9 | 7.8 | 3.0 | 3.0 | 2.4 | 1.2 | 3.0 | 9.0 | 7.8 | 1.8 | 1.8 | 1.2 |

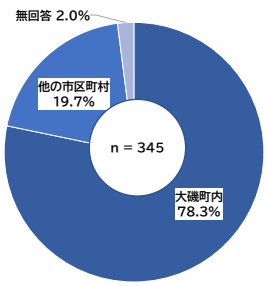
### （８）教育・保育の事業を利用したい場所

**【問 18 でいずれかの「定期的に」利用したい事業を選択した方】**

**問 18-1　教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。（◯は１つ）**




【再掲】 現在、「定期的に」
教育・保育事業を利用している場所



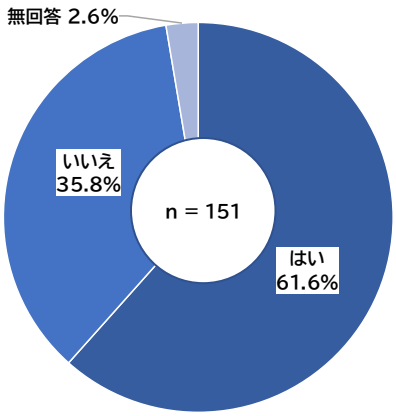

教育・保育の事業を利用したい場所は、「大磯町内」が 87.9%、「他の市区町村」が 8.4%となっている。

現在、利用している場所と比較すると、「大磯町内」を希望する割合は、現在の利用より 9.6 ポイント高くなっている。

### （９）幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用希望

**【問 18 で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつその他の事業にも○をつけた方】**

**問 18-2　特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（◯は１つ）**




幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用希望は、「はい」が 61.6%、「いいえ」が 35.0%となっている。

### (10) 幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を希望する理由

**【問 18-2 で「はい」と回答された方】**

**問 18-3　その理由は何ですか。（自由記述）**

82 名の方から 85 件の意見をいただきました。

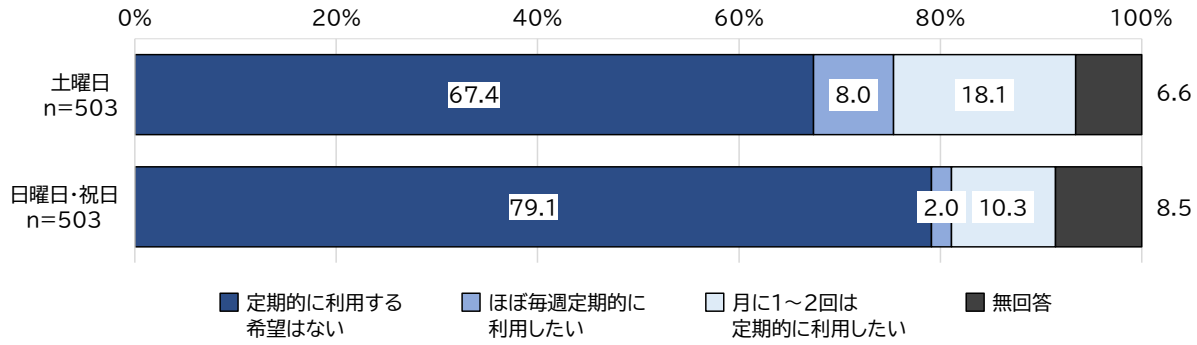
| 幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を希望する理由 | 件数 |
|---|---|
| 仕事との両立・就労のため | 22 |
| 教育的な内容が多く、子どもがおだやかに育つイメージがあるため | 17 |
| 同年代の子との交流の場として家庭では出来ない集団生活での成長のため | 8 |
| 保育園に入れない・空きがないから | 5 |
| 一人の時間も儲けたい（家事・買い物・美容院・親の通院など） | 4 |
| 働いてない・すぐに就労の予定が無いため | 3 |
| 上の子が通っていて幼稚園に親しみと安心感があるため | 3 |
| 体制がしっかりしていて安心だと感じるため | 3 |
| 幼稚園にもそれぞれ特色があるため幼稚園選びには苦労した | 2 |
| 幼稚園の方が親同士の繋がりが強く、小学校にあがる時に心強い | 2 |
| できれば保育園やこども園を希望だが、幼稚園の預かり保育利用が現実的なため | 2 |
| 保育園より幼稚園の生活が子どもに合っているから | 2 |
| 無償だから | 2 |
| 自分自身が幼稚園で働いた経験があるため | 1 |
| 子どもに対して、保護者も多く関われると思ったから | 1 |
| 町立の幼稚園の先生方の経験豊富な保育に安心感があるから | 1 |
| 発達に関して心配があるから | 1 |
| 幼稚園の預かり保育がない日があるため | 1 |
| 立地が恵まれているため | 1 |
| 現在通園しているので | 1 |
| 保育園ではフルタイムでないと入れないので幼稚園を利用 | 1 |
| 年少で幼稚園へ行かせたいから | 1 |
| 働きたいが、幼稚園の時間を考えると就労がきびしいため | 1 |
| 合計 | 85 |

## ５．土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

### （１）土日祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

**問 19　「お子さん」について、土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（◯は１つ）。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）**

※　教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。
※　これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。




土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「定期的に利用する希望はない」が 67.4％で最も高く、次いで「月に１～２回は定期的に利用したい」が 18.1％となっている。

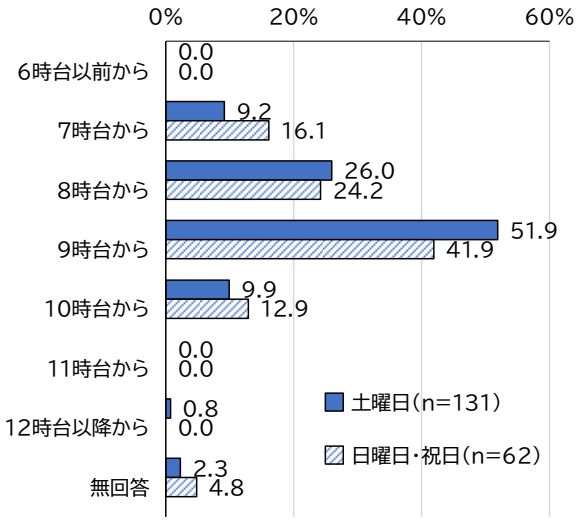
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業利用希望でも、「定期的に利用する希望はない」が 79.1％で最も高く、次いで「月に１～２回は定期的に利用したい」が 10.3％となっている。

家族類型別にみると「ひとり親家庭」では土曜日に「ほぼ毎週定期的に利用したい」が全体より 12.0 ポイント高くなっている。

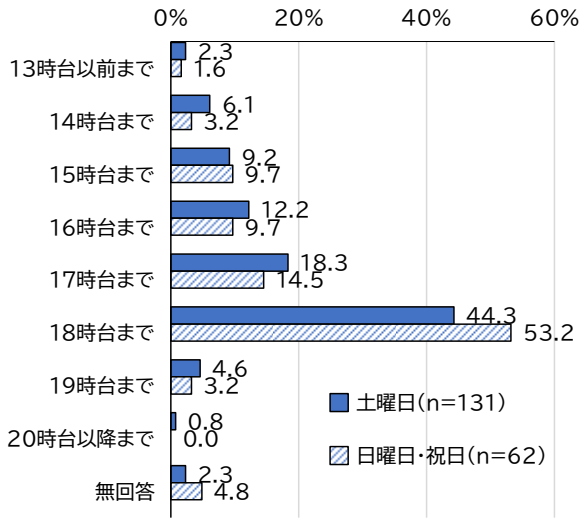
**家族類型別　×　平日「定期的に」利用したい教育・保育の事業**

| | | 合計 | 問19(1)【土曜日】定期的な教育・保育事業の利用希 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 定期的に利用する希望はない | ほぼ毎週定期的に利用したい | 月に１～２回は定期的に利用したい | 無回答 |
| 全体 | | 503 | 67.4 | 8.0 | 18.1 | 6.6 |
| 現在の家庭類型 | ひとり親（就労形態に関わらず） | 10 | 60.0 | 20.0 | 20.0 | 0.0 |
| | 両親ともにフルタイムで就労 | 197 | 66.5 | 7.6 | 19.3 | 6.6 |
| | 両親のいずれかがフルタイム、いずれかがパートタイム就労 | 114 | 61.4 | 9.6 | 21.1 | 7.9 |
| | 両親のいずれかがフルタイムで就労している | 166 | 73.5 | 7.2 | 12.7 | 6.6 |
| | 分類不能 | 16 | 62.5 | 0.0 | 37.5 | 0.0 |

【利用希望開始時間】




【利用希望終了時間】

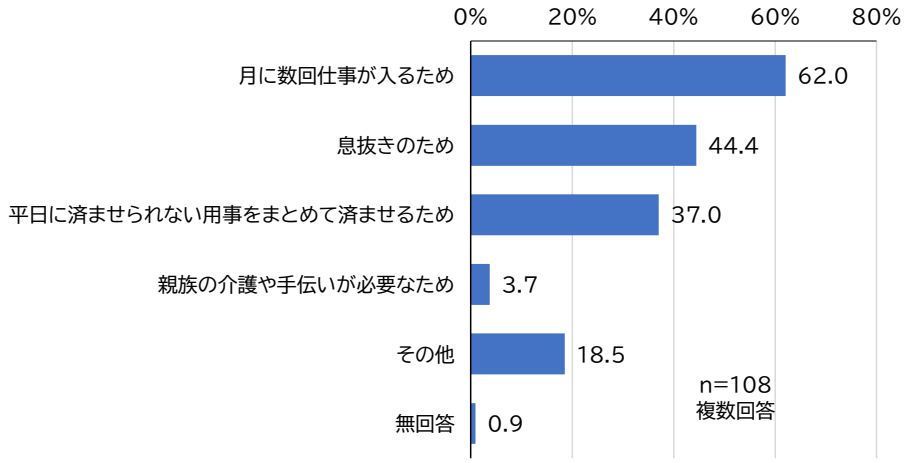



利用希望開始時間は、「９時台から」が土曜日で 51.9%、日曜日・祝日で 41.9%とともに最も高い。
利用希望終了時間は、「18 時台まで」が土曜日で 44.3%、日曜日・祝日で 53.2%とともに最も高い。

### （２）「定期的」な教育・保育事業を、たまに利用したい理由

**【問 19 の土曜日または日曜日・祝日で「月に１～２回は定期的に利用したい」と回答された方】**

**問 19-1　毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**




「定期的」な教育・保育事業を、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が 62.0%で最も高く、次いで「息抜きのため」が 44.4%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 37.0%となっている。

【再掲】現在、「定期的に」
教育・保育事業を利用している場所

### （３）長期の休暇期間中に教育・保育事業の利用希望（幼稚園）

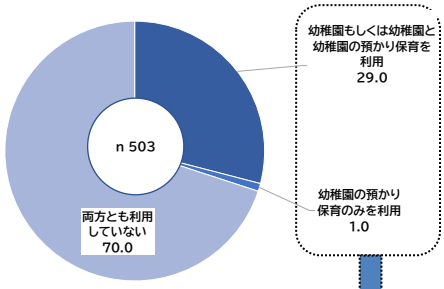
**【「幼稚園」を利用されている方】**

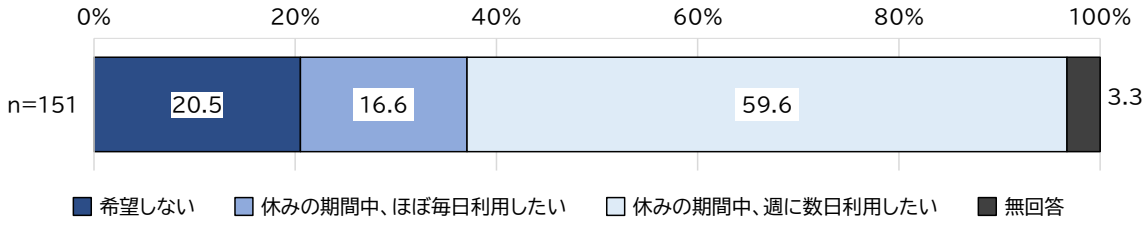
**問 20　「お子さん」について、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に教育・保育事業の利用を希望しますか。（○は１つ）また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）**

※　これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

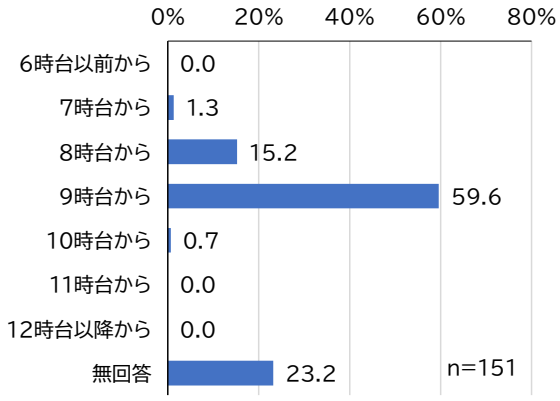
【「幼稚園」を利用されている方】

問 17-1 で「幼稚園」もしくは「幼稚園の預かり保育」に回答されている方

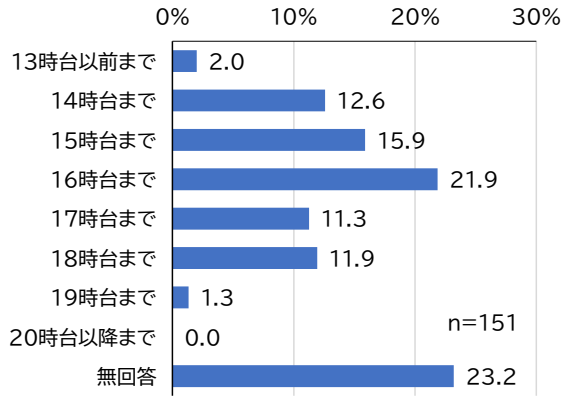



【利用希望開始時間】




【利用希望終了時間】




長期の休暇期間中に教育・保育事業の利用を希望するかについて、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 59.6%で最も高く、次いで「希望しない」が 20.5%となっている。

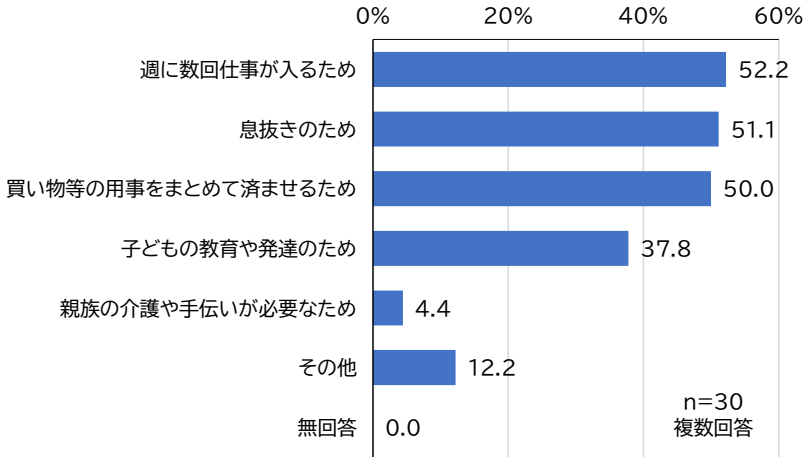
利用希望開始時間は、「９時台から」が 59.6%で最も高く、次いで「８時台から」が 15.2%となっている。

利用希望終了時間は、「16 時台まで」が 21.9%で最も高く、次いで「15 時台まで」が 15.9%となっている。

### （４）教育・保育事業（幼稚園）を、毎日ではなく、たまに利用したい理由

**【問 20 で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答された方】**

**問 20-1　毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに◯）**

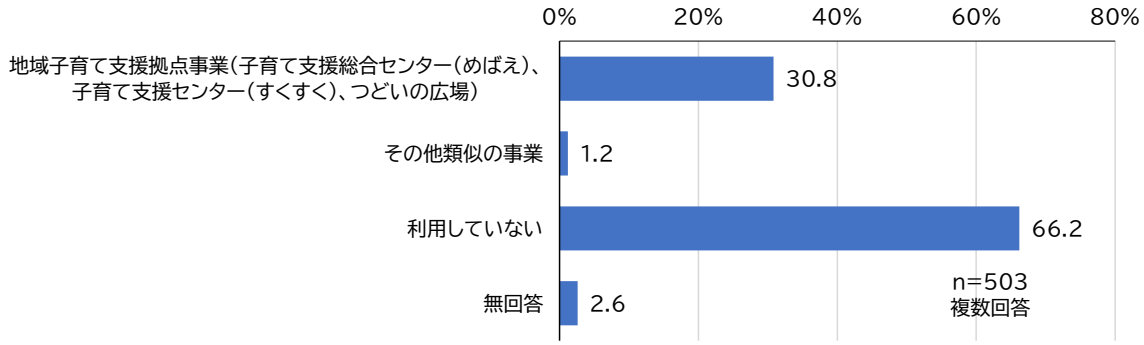



長期の休暇期間中に、教育・保育事業（幼稚園）を毎日ではなく、たまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」、「息抜きのため」、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」がそれぞれ 52.2%、51.1%、50.0%と半数以上の方に挙げられている。

## ６．地域の子育て支援事業の利用状況等について

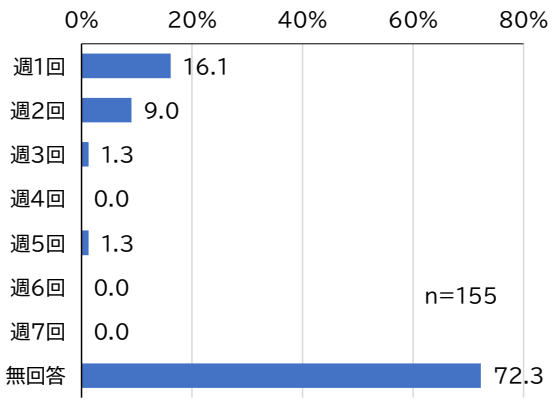
### （１）地域子育て支援拠点事業の利用状況

**問 21　「お子さん」は、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援総合センター（めばえ）」、「子育て支援センター（すくすく）」、「つどいの広場」等と呼ばれています）を利用していますか。（あてはまるものすべてに○）また、利用されている場合は、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。（数字を記入）**

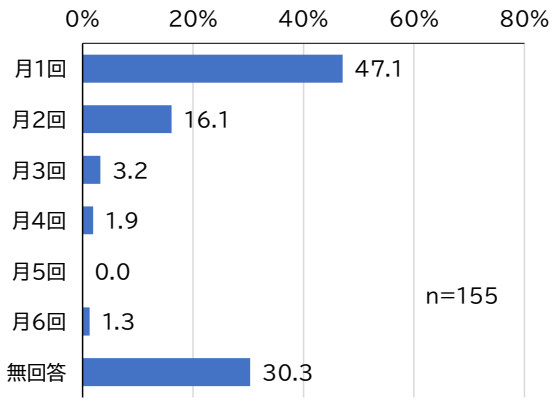



地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が 66.2%、「地域子育て支援拠点事業（子育て支援総合センター（めばえ）、子育て支援センター（すくすく）、つどいの広場）」は 30.8%となっている。

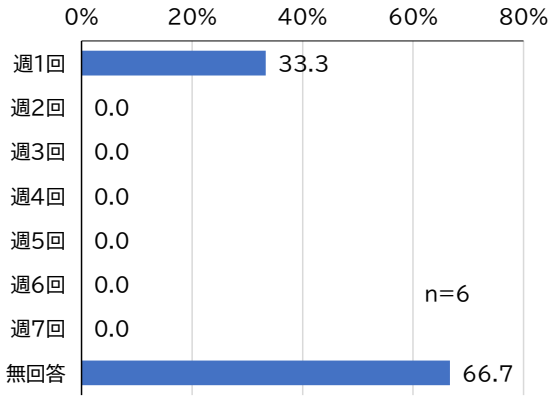
【地域子育て支援拠点事業の利用状況（週）】



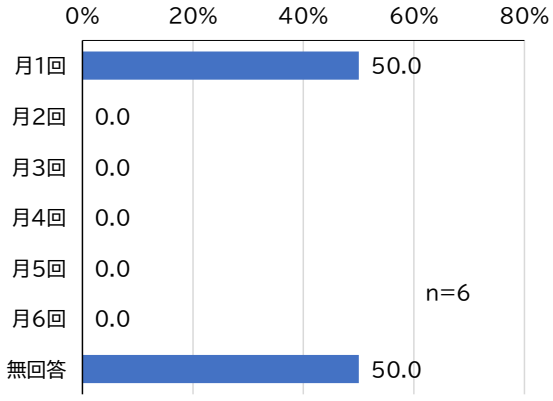

【地域子育て支援拠点事業の利用状況（月）】




【その他の類似事業の利用状況（週）】

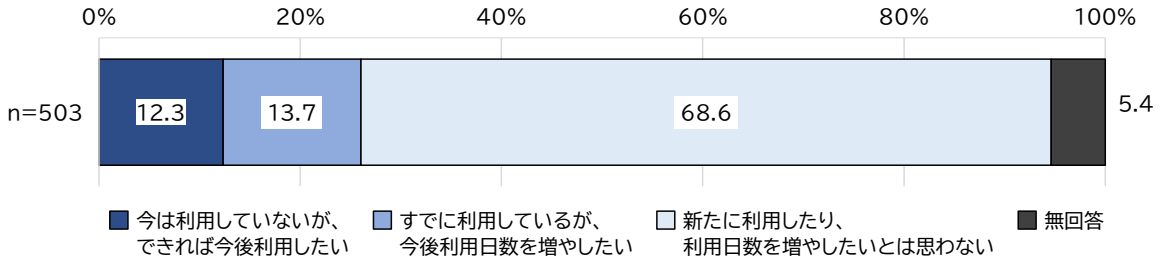



【その他の類似事業の利用状況（月）】



### （２）地域子育て支援拠点事業等を今後利用したい、あるいは利用日数を増やす希望

**問 22　地域子育て支援拠点事業（子育て支援総合センター（めばえ）、子育て支援センター（すくすく）、つどいの広場）について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（◯は１つ）また、おおよその利用希望回数（頻度）をご記入ください。（数字を記入）**



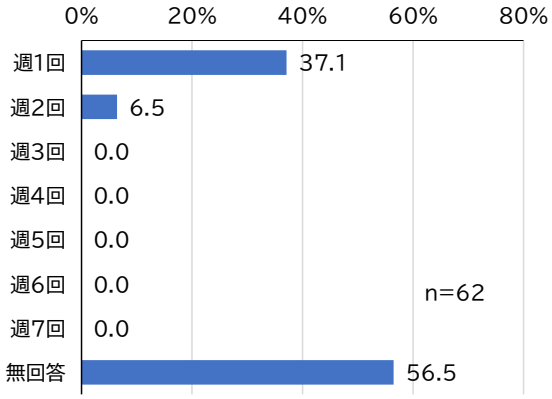

地域子育て支援拠点事業を今後利用したい、あるいは利用日数を増やす希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 68.6%で最も高く、次いで「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 13.7%、「今は利用していないが、できれば今後利用したい」が 12.3%となっている。

家族類型別にみると「ひとり親家庭」では「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が全体より 16.3 ポイント高くなっている。

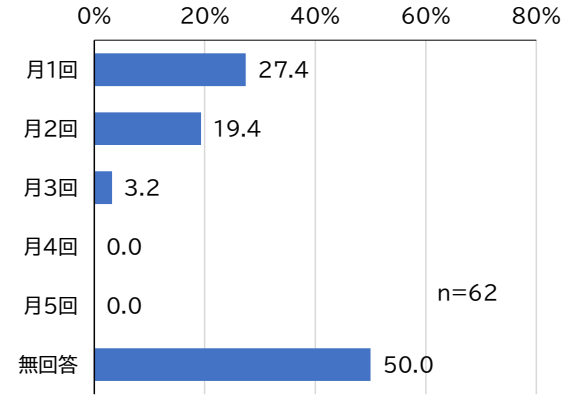
**家庭類型別　×　地域子育て支援拠点事業等を今後利用したい、あるいは利用日数を増やす希望**

| | | 合計 | 問22【希望】地域子育て支援拠点事業の利用希望 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 今は利用していないが、できれば今後利用したい | すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい | 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない | 無回答 |
| 全体 | | 503 | 12.3 | 13.7 | 68.6 | 5.4 |
| 現在の家庭類型 | ひとり親（就労形態に関わらず） | 10 | 20.0 | 30.0 | 50.0 | 0.0 |
| | 両親ともにフルタイムで就労 | 197 | 10.7 | 12.7 | 72.6 | 4.1 |
| | 両親のいずれかがフルタイム、いずれかがパートタイム就労 | 114 | 8.8 | 14.9 | 67.5 | 8.8 |
| | 両親のいずれかがフルタイムで就労している | 166 | 16.3 | 13.3 | 66.3 | 4.2 |
| | 分類不能 | 16 | 12.5 | 12.5 | 62.5 | 12.5 |

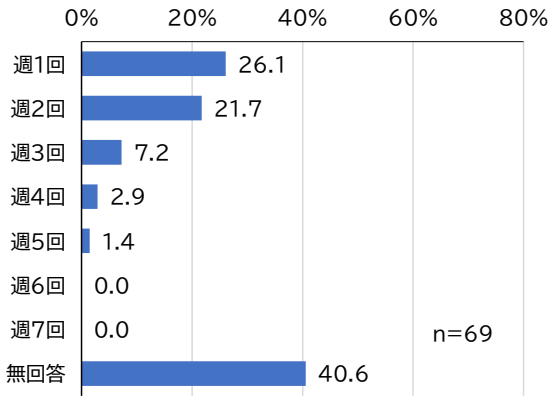
【地域子育て支援拠点事業の利用希望（週）】



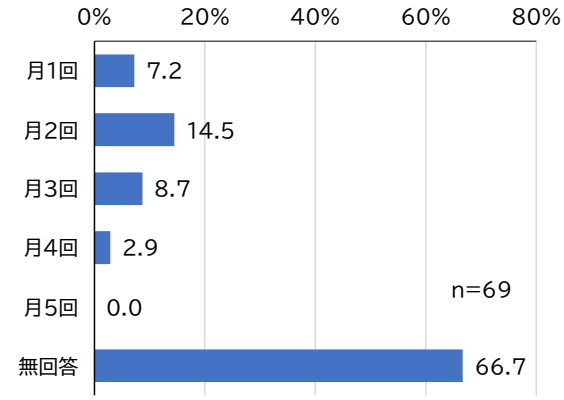

【地域子育て支援拠点事業の利用希望（月）】




【その他の類似事業の利用希望（週）】



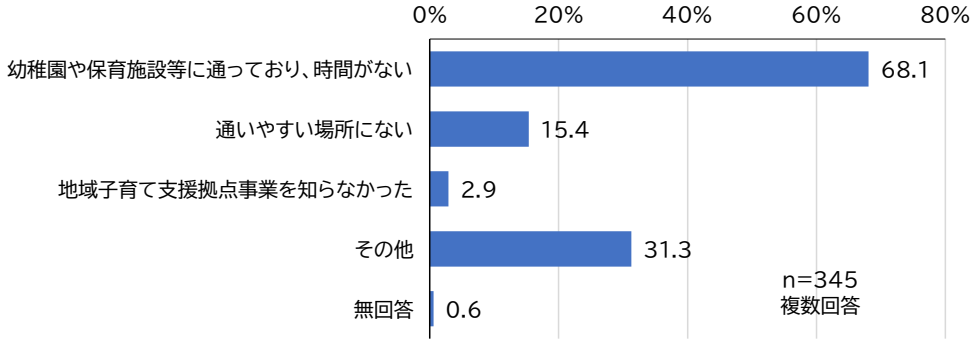

【その他の類似事業の利用希望（月）】



### （３）地域子育て支援拠点事業等を新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない理由

**【問 22 で「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」に回答された方】**

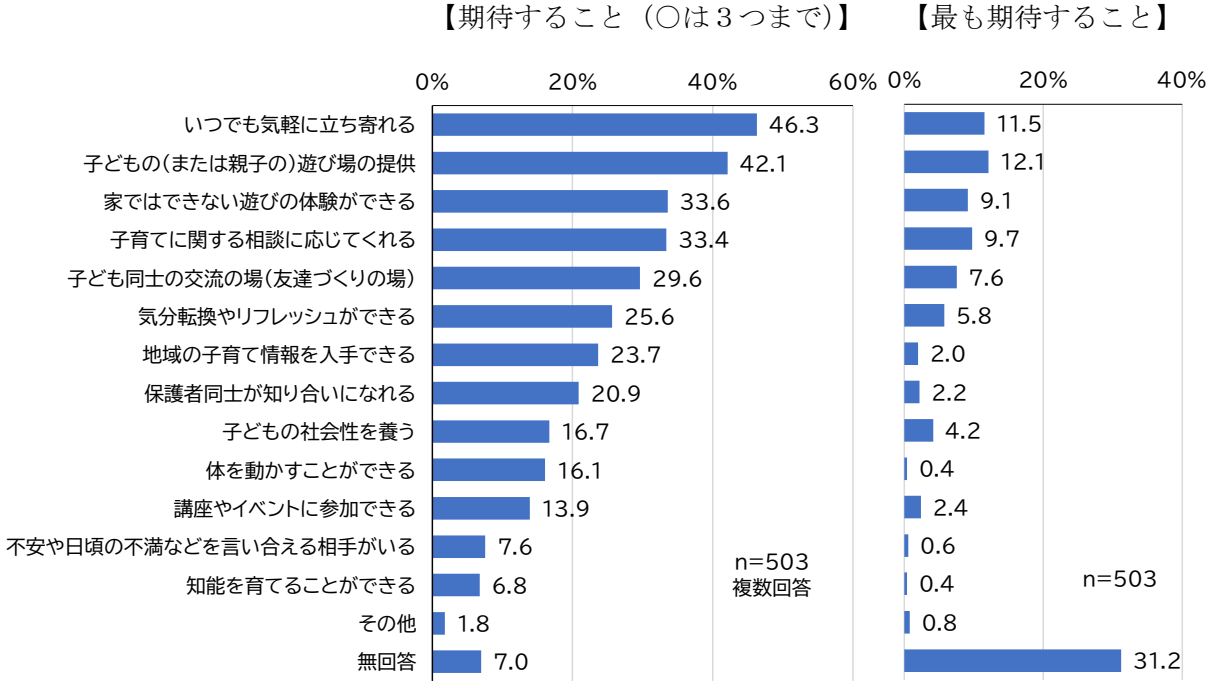
**問 22-1　その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**




地域子育て支援拠点事業等を新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない理由は、「幼稚園や保育施設等に通っており、時間がない」が 68.1%で最も高く、次いで「通いやすい場所にない」が 15.4%、「地域子育て支援拠点事業を知らなかった」が 2.9%となっている。

### （４）地域子育て支援拠点事業に期待すること

**問 23　地域子育て支援拠点事業（子育て支援総合センター（めばえ）、子育て支援センター（すくすく）、つどいの広場）に期待することは、次のどれですか。（○は３つまで、最も期待する番号を１つ枠内にご記入ください）**



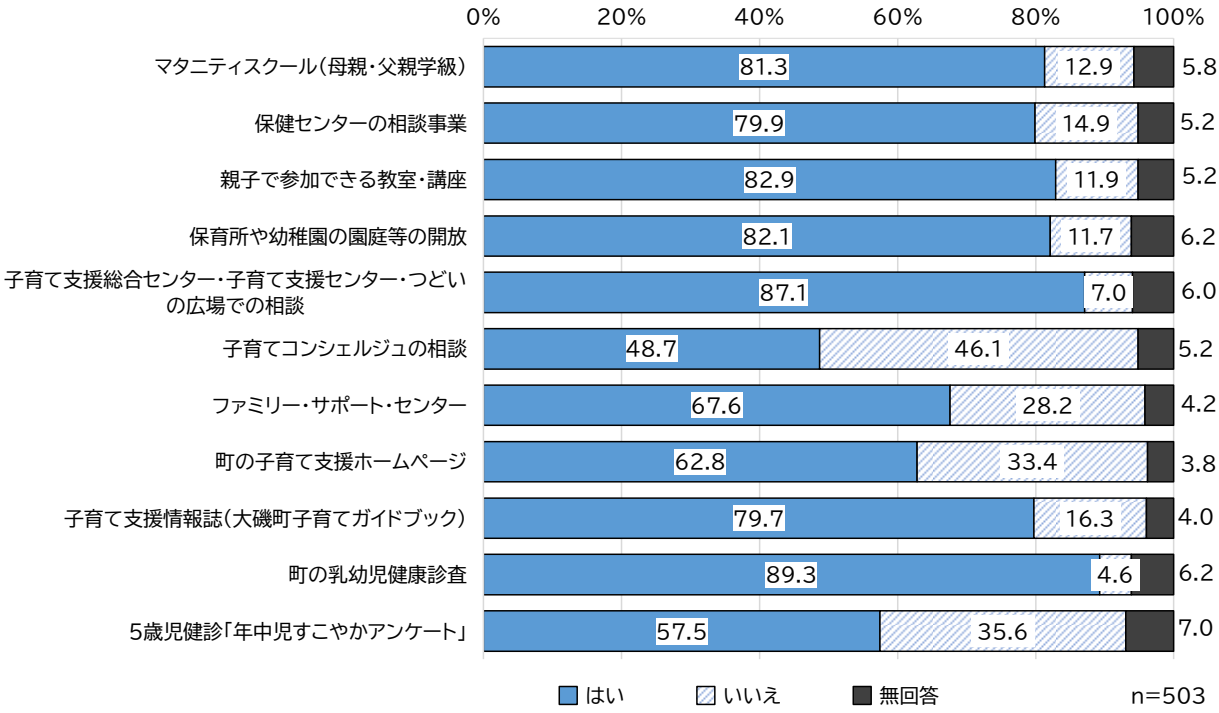

地域子育て支援拠点事業に期待することは、「いつでも気軽に立ち寄れる」が 46.3%で最も高く、次いで「子どもの（または親子の）遊び場の提供」が 42.1%、「家ではできない遊びの体験ができる」が 33.6%%、「子育てに関する相談に応じてくれる」が 33.4%となっている。

最も期待することでは、「子どもの（または親子の）遊び場の提供」が 12.1%で最も高く、次いで「いつでも気軽に立ち寄れる」が 11.5%、「子育てに関する相談に応じてくれる」が 9.7%となっている。

### （５）子育て関連事業で知っているもの、利用経験、利用意向のあるもの

**問 24　子育て関連事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答え下さい。（事業ごとにお答えください。）なお、事業によっては、大磯町で実施されていないものもあります。**

【知っている事業】

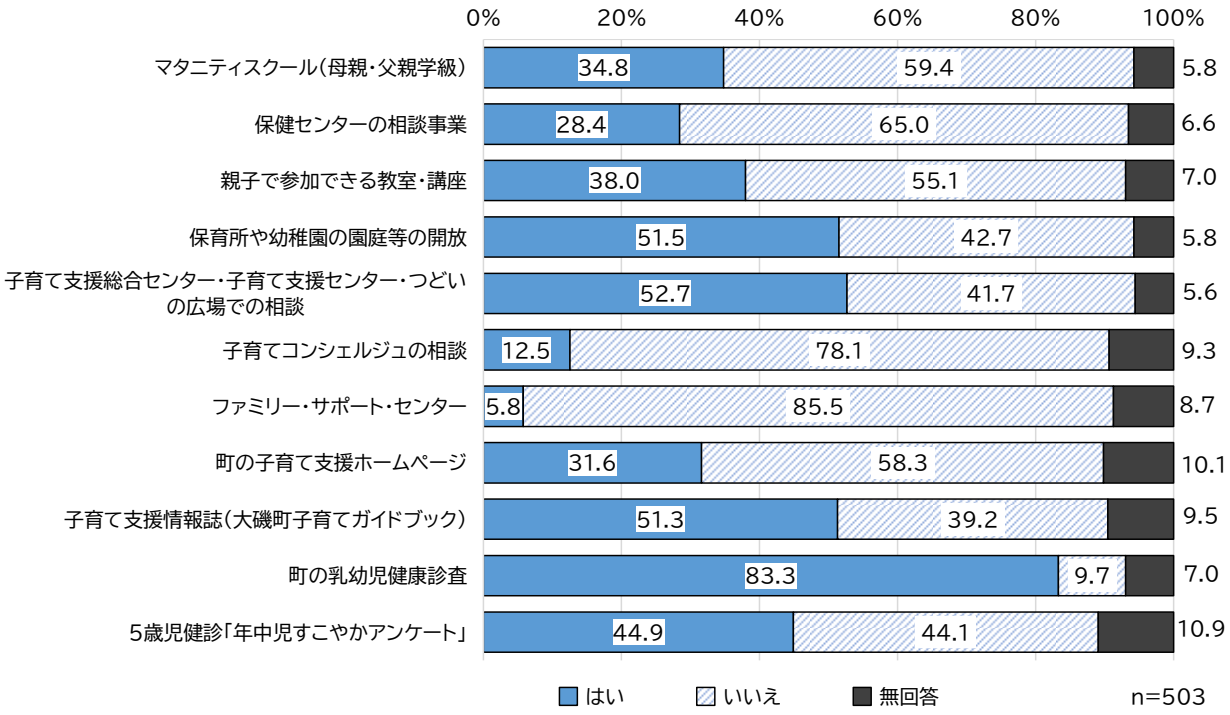



※「年中児すこやかアンケート」とは、満５歳児に対してお子さんの発達や行動・生活状況について実施するアンケート

子育て関連事業で知っている事業については、「町の乳幼児健康診査」が 89.3%で最も高く、次いで「子育て支援総合センター・子育て支援センター・つどいの広場での相談」が 87.1%、「親子で参加できる教室・講座」が 82.9%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が 82.1%と８割を超えて認知されている。

一方、知らない事業は、「子育てコンシェルジュの相談」が 46.1%で最も高く、次いで「５歳児健診「年中児すこやかアンケート」が 35.6%、「町の子育て支援ホームページ」が 33.4%となっている。

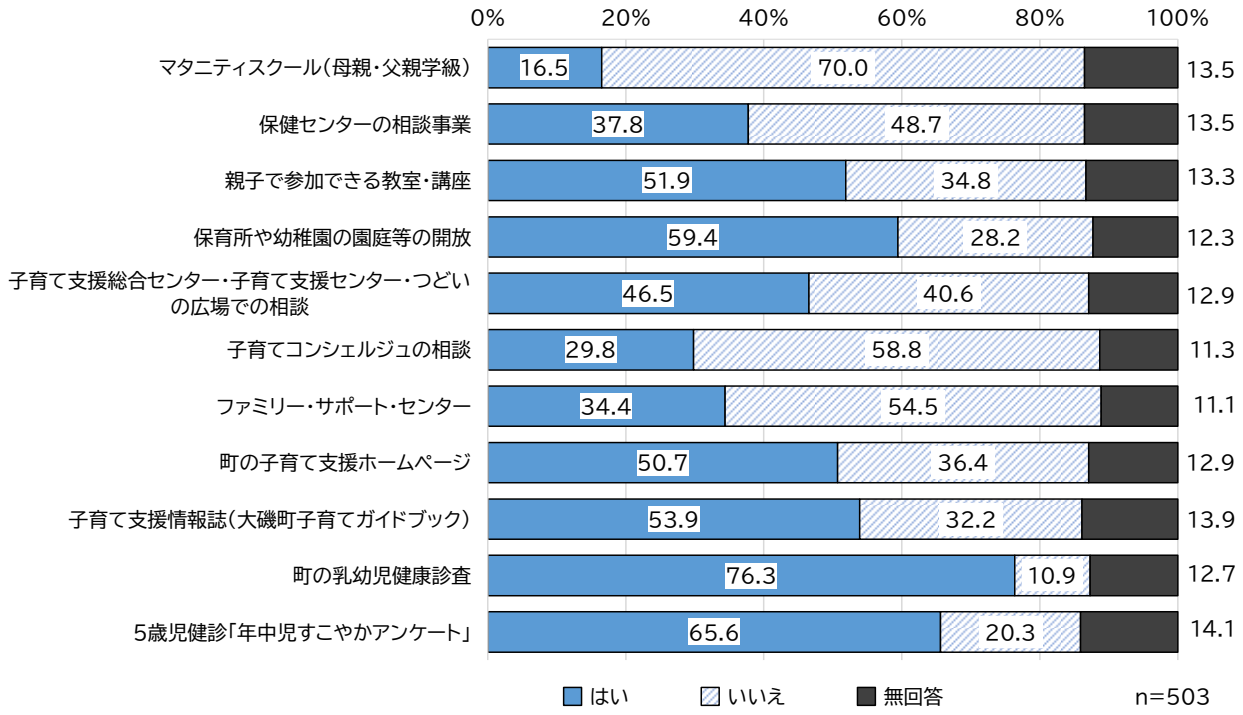
【これまでに利用したことがある事業】




これまでに利用したことがある事業については、「町の乳幼児健康診査」が 83.3%で最も高く、次いで「子育て支援総合センター・子育て支援センター・つどいの広場での相談」が 52.7%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が 51.5%、「子育て支援情報誌（大磯町子育てガイドブック）」が 51.3%と半数以上の方が利用されている。

一方、利用したことがない事業は、「ファミリー・サポート・センター」が 85.5%で最も高く、次いで「子育てコンシェルジュの相談」が 78.1%、「保健センターの相談事業」が 65.0%となっている。

【今後利用したい事業】



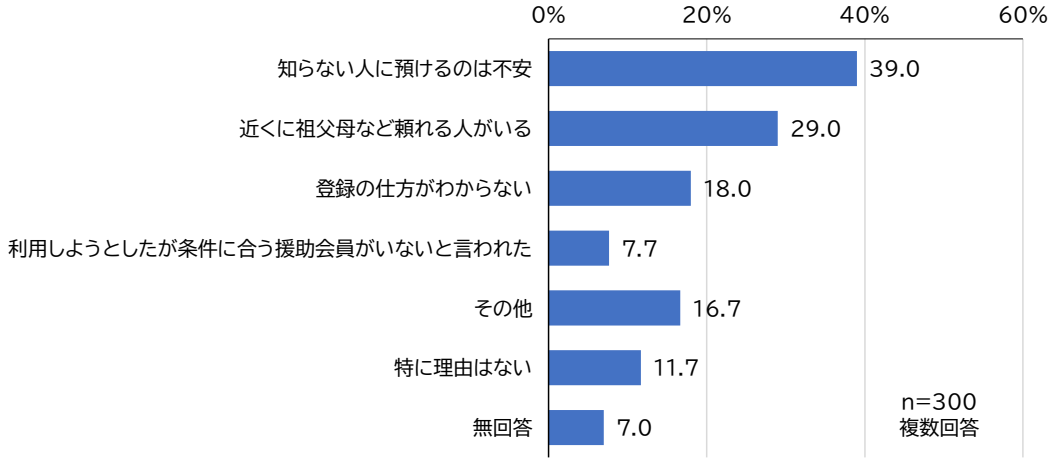

今後利用したい事業については、「町の乳幼児健康診査」が 76.3%で最も高く、次いで「５歳児健診「年中児すこやかアンケート」が 65.6%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が 59.4%となっている。

一方、今後利用したいと思わない事業は、「マタニティスクール（母親・父親学級）」が 70.0%で最も高く、次いで「子育てコンシェルジュの相談」が 58.8%、「ファミリー・サポート・センター」が 54.5%となっている。

### （６）ファミリー・サポート・センターを利用していない理由

**【問 24 でファミリー・サポート・センターを「知っている」を選択し、かつ「これまでに利用したことがない」に回答された方】**

**問 24-1　現在まで、利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

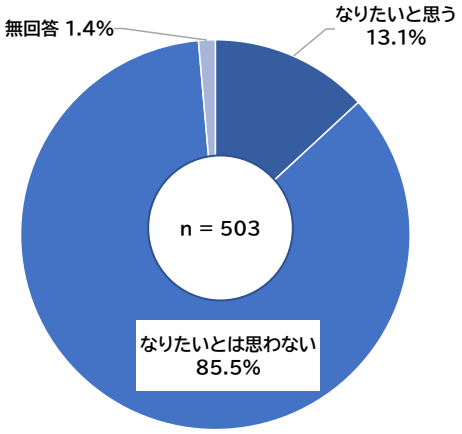



ファミリー・サポート・センターを利用していない理由は、「知らない人に預けるのは不安」が 39.0%で最も高く、次いで「近くに祖父母など頼れる人がいる」が 29.0%、「登録の仕方がわからない」が 18.0%となっている。

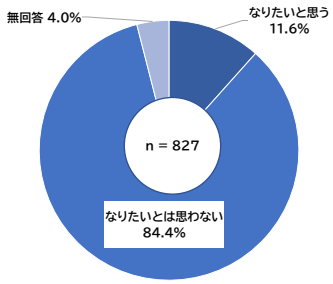
### （７）ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思うか

**問 25　今後、ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思いますか。（◯は１つ）**

※　援助会員とは保育ニーズのある保護者からお子さんを預かり、自宅で保育したり、保育所・学童等への送迎の援助等を行う活動です。




【参考】平成 30 年度調査



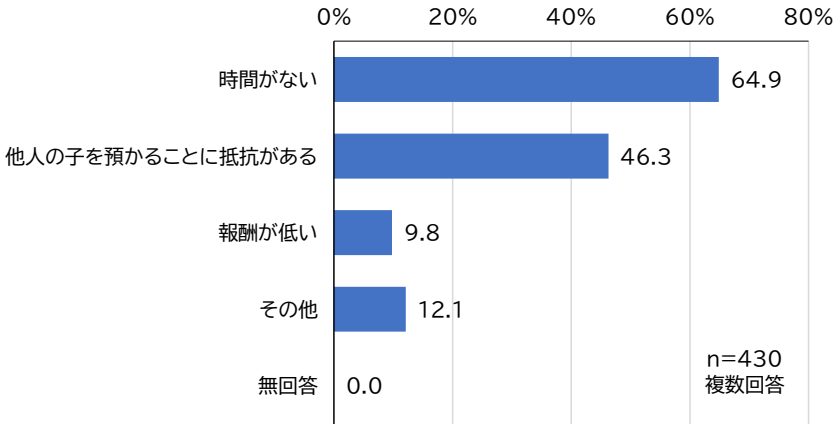

ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思うかは、「なりたいとは思わない」が 85.5%で８割以上を占めている。一方、「なりたいと思う」は 13.1%となっている。

平成 30 年度調査と比較すると、「なりたいと思う」の割合が 1.5 ポイント高くなっている。

### （８）ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいとは思わない理由

**【問 25 で「なりたいとは思わない」に回答された方】**

**問 25-1　その理由は何ですか（あてはまるものすべてに◯）**



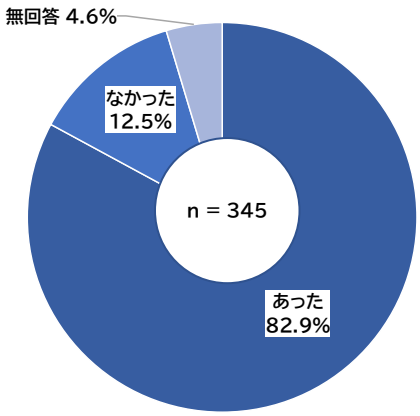

ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいとは思わない理由は、「時間がない」が 64.9%で最も高く、次いで「他人の子を預かることに抵抗がある」が 46.3%となっている。

## ７．子どもの病気の際の対応について（平日の教育・保育の利用者のみ）

### （１）子どもが病気やけがで教育・保育の事業が利用できなかったこと

**【問 17 で、平日の定期的な教育・保育事業を利用していると回答された方】**

**問 26　この 1 年間に「お子さん」が病気やけがで教育・保育の事業が利用できなかったことはありましたか。（◯は１つ）**



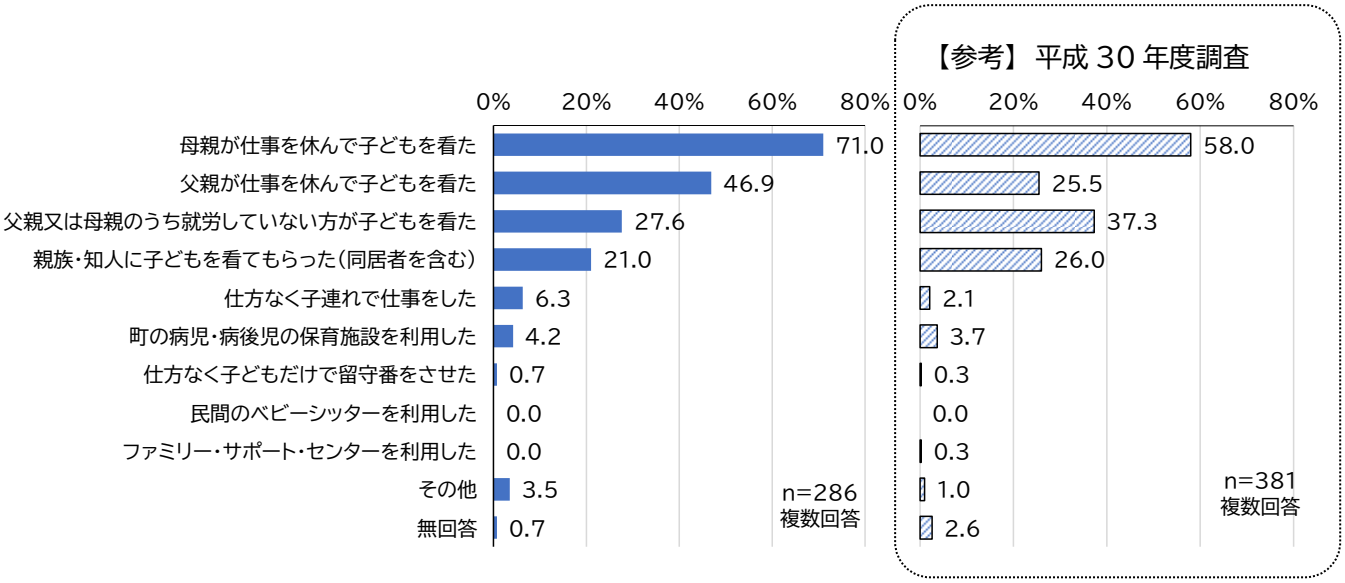

子どもが病気やけがで教育・保育の事業が利用できなかったことは、「あった」が 82.9%、「なかった」が 12.5%となっている。

### （２）子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法

**【問 26 で、この１年間に「お子さん」が病気やけがで教育・保育の事業が利用できなかったことが「あった」と回答された方】**

**問 26-1　「お子さん」が病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法をお答えください。（あてはまるものすべてに○）また、それぞれの日数もご記入ください。（数字を記入）**

※　半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。

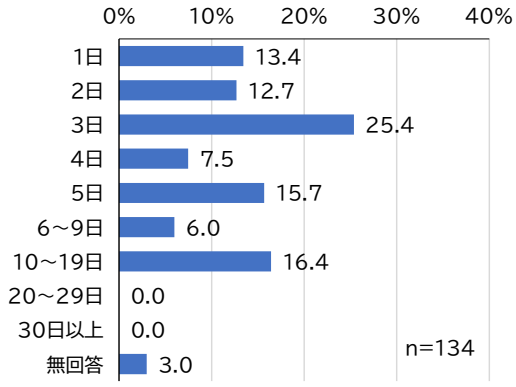



子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が仕事を休んで子どもを看た」が 71.0%で最も高く、次いで「父親が仕事を休んで子どもを看た」が 46.9%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」が 27.6%、「親族・知人に子どもを看てもらった（同居者を含む）」が 21.0%となっている。

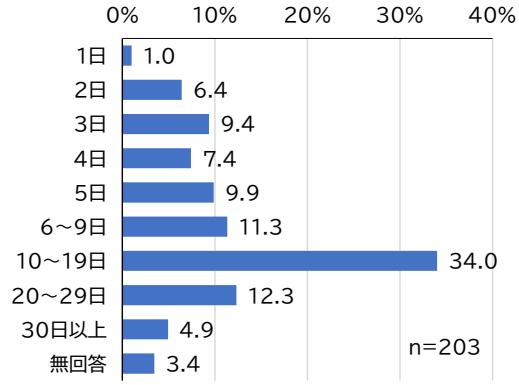
平成 30 年度調査と比較すると、「母親が仕事を休んで子どもを看た」、「父親が仕事を休んで子どもを看た」がそれぞれ 13.0 ポイント、21.4 ポイント増加している。一方、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」、「親族・知人に子どもを看てもらった（同居者を含む）」はそれぞれ 9.7 ポイント、5.0 ポイント減少している。

**○対処の日数（年間）**

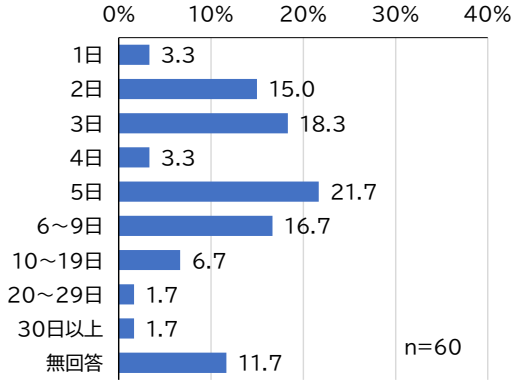
【父親が仕事を休んで子どもを看た】



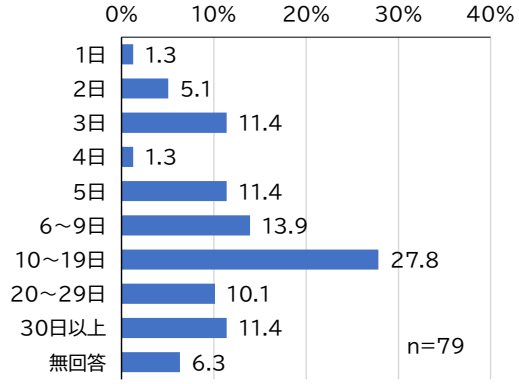

【母親が仕事を休んで子どもを看た】



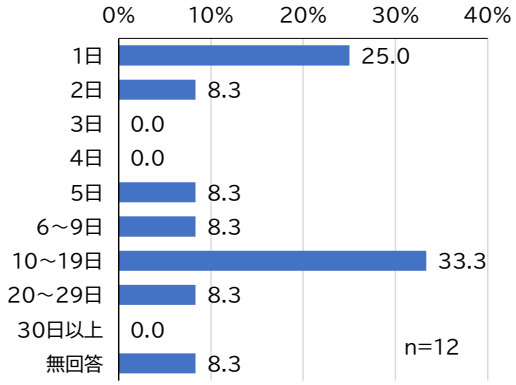

【親族・知人に子どもを看てもらった】



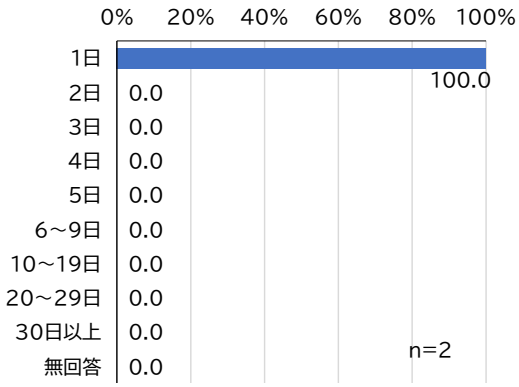

【父親又は母親のうち就労していない方が看た】



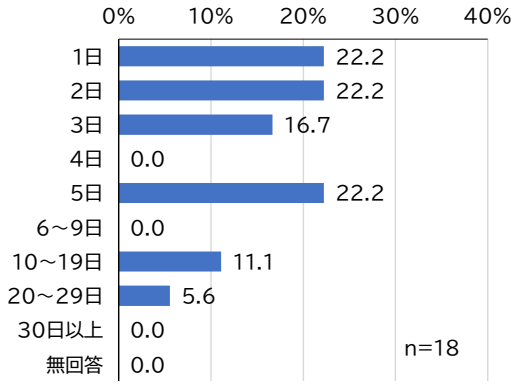

【町の病児・病後児の保育施設を利用した】



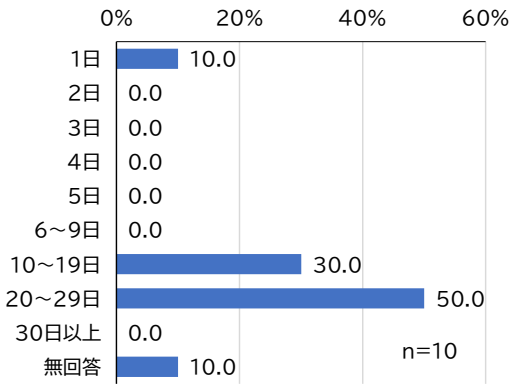

【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】




【仕方なく子連れで仕事をした】




【その他】



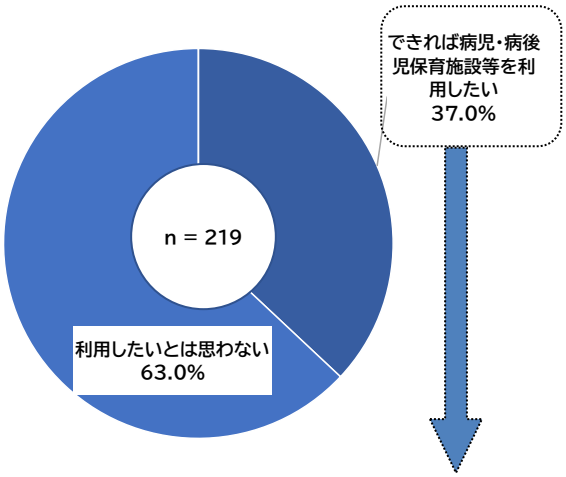

※「ファミリー・サポート・センターを利用した」、「民間のベビーシッターを利用した」は回答者なしのため図を省略している。

### （３）父親か母親が休んだ場合「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか

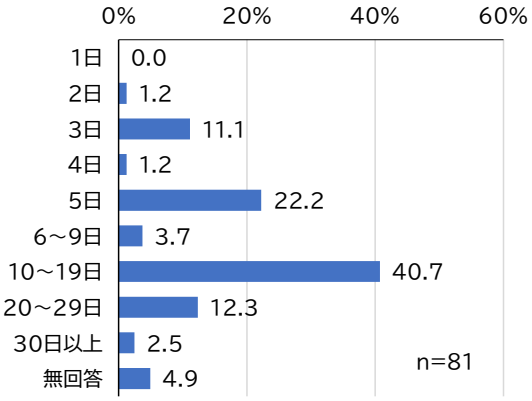
**【問 26-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答された方】**

**問 26-2　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。（◯は１つ）また、利用したいと思う日数もご記入ください。（数字を記入）**

※　病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医等の受診が必要となります。




【利用希望日数（年間）】



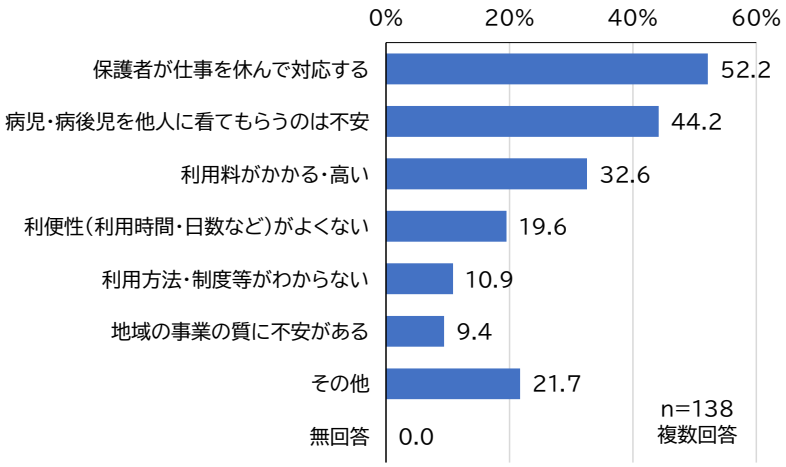

父親か母親が休んだ場合「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかは、「利用したいとは思わない」が 63.0%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は 37.0%となっている。

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と回答した方の利用希望日数は、年間「10～19 日」が 40.7%で最も高く、次いで「５日」が 22.2%となっている。

### （４）病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

**【問 26-2 で「利用したいとは思わない」に回答された方】**

**問 26-3　そう思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

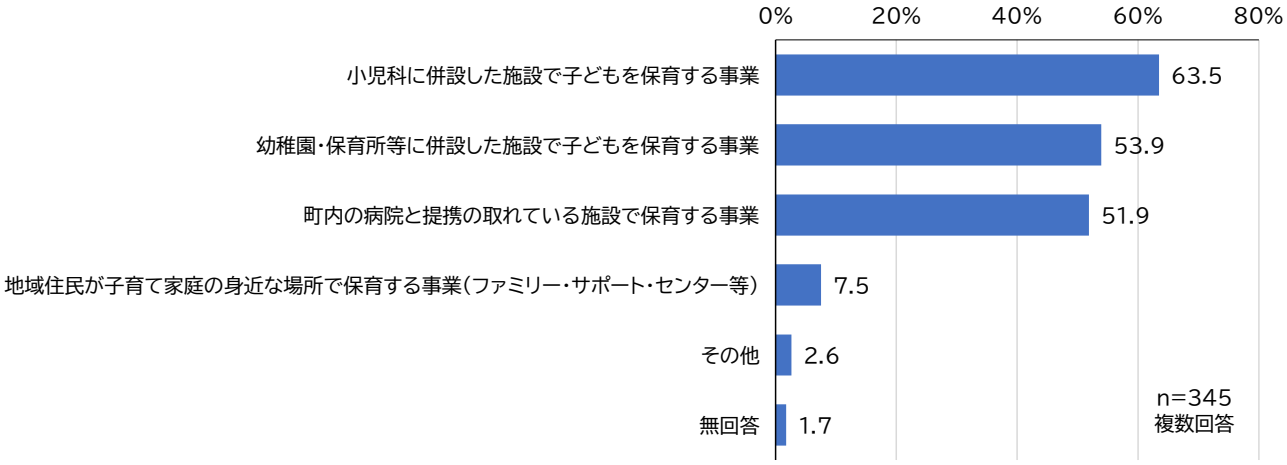



病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「保護者が仕事を休んで対応する」が 52.2%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 44.2%、「利用料がかかる・高い」が 32.6%となっている。

### （５）子どもの病気やけがで預ける場合、望ましい事業形態

**【問 17 で、平日の定期的な教育・保育事業を利用していると回答された方】**

**問 27　病気やけがで「お子さん」を預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）**

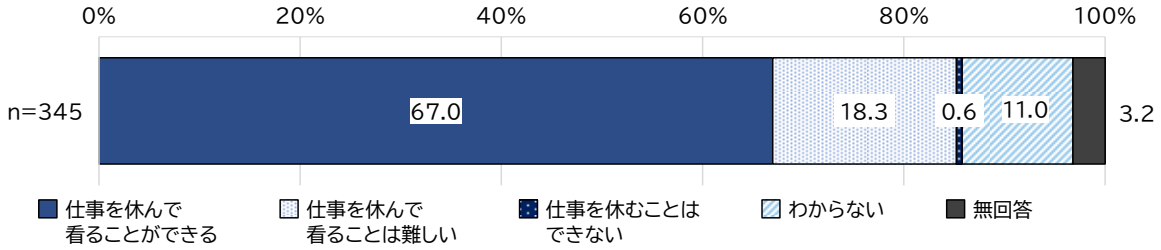



子どもの病気やけがで預ける場合、望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 63.5%で最も高く、次いで「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 53.9%、「町内の病院と提携の取れている施設で保育する事業」が 51.9%となっている。

### （６）子どもが病気やけがの場合、仕事を休んで看ることができるか

**【問 17 で、平日の定期的な教育・保育事業を利用していると回答された方】**

**問 28　「お子さん」が病気やけがの場合に、仕事を休んで看ることができますか。（◯は１つ）**

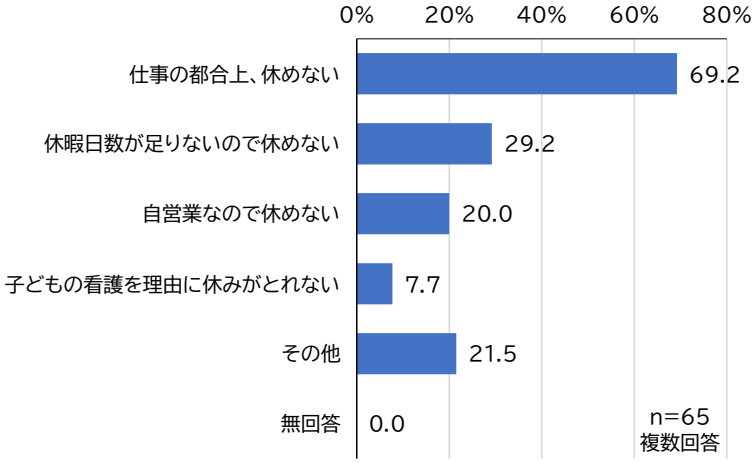



子どもが病気やけがの場合、仕事を休んで看ることができるかは、「仕事を休んで看ることができる」が 67.0%、「仕事を休んで看ることは難しい」が 18.3%、「わからない」が 11.0%となっている。

### （７）仕事を休んで看ることは難しい理由

**【問 28 で「仕事を休んで看ることは難しい」もしく「仕事を休むことはできない」に回答された方】**

**問 28-1　その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに◯）**




仕事を休んで看ることは難しい理由は、「仕事の都合上、休めない」が 69.2%で最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が 29.2%、「自営業なので休めない」が 20.0%となっている。

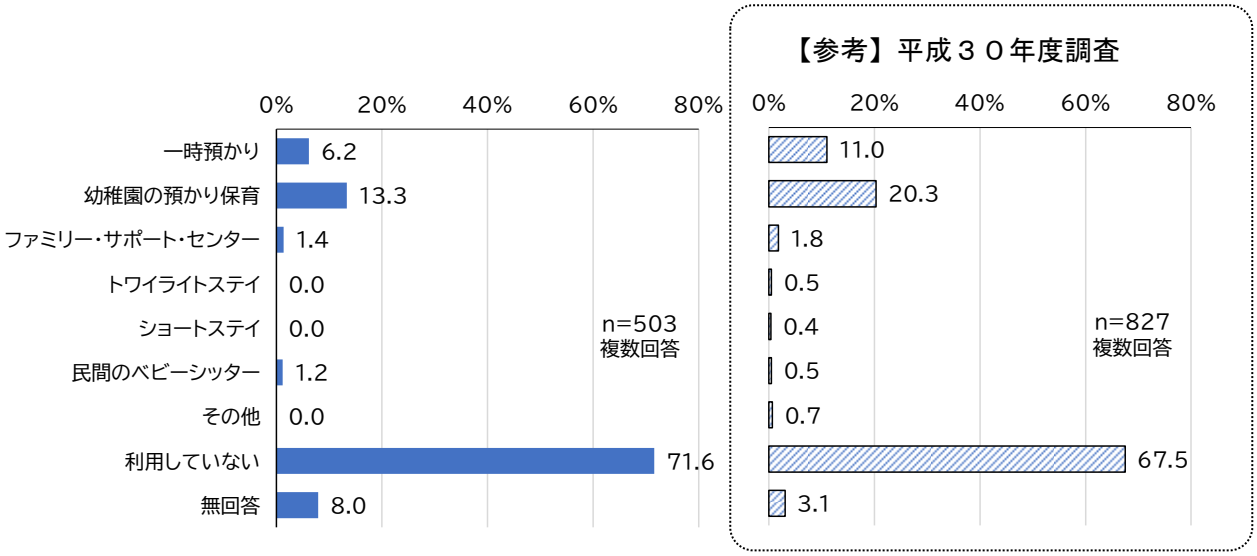
## ８．不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

### （１）日中の定期的な保育や病気のため以外に、現在不定期※に利用している事業

※ 私用、親の通院、不定期の就労等の目的

**問 29　「お子さん」について、 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、現在不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものすべてに○）また、その場合の１年間の利用日数（おおよそ）及び希望する利用日数もご記入ください。（数字を記入）**

※　事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。
※　事業によっては大磯町で実施されていないものもあります。

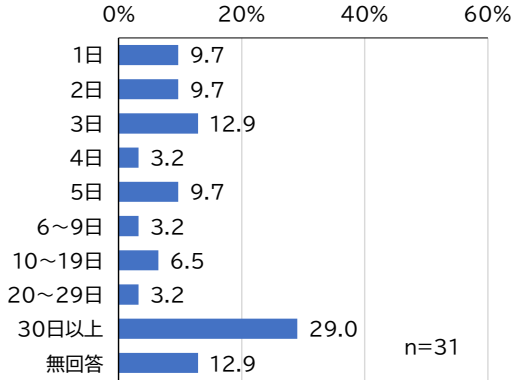



日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で現在不定期に利用している事業は、「幼稚園の預かり保育」が 13.3％で最も高く、次いで「一時預かり」が 6.2％、「ファミリー・サポート・センター」が 1.4％となっている。一方、「利用していない」は 71.6％となっている。

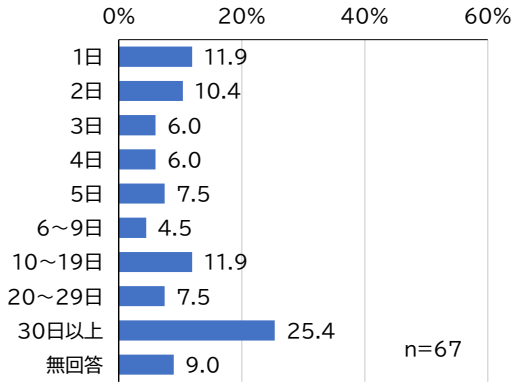
平成 30 年度調査と比較すると、「幼稚園の預かり保育」、「一時預かり」ともにそれぞれ 7.0 ポイント、4.8 ポイント減少し、「利用していない」は 4.1 ポイント増加している。

## ○現在の利用日数（年間）

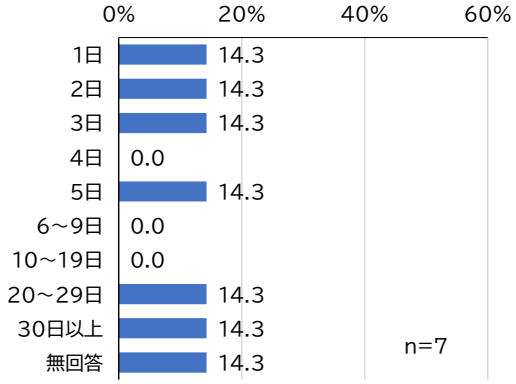
【一時預かり】



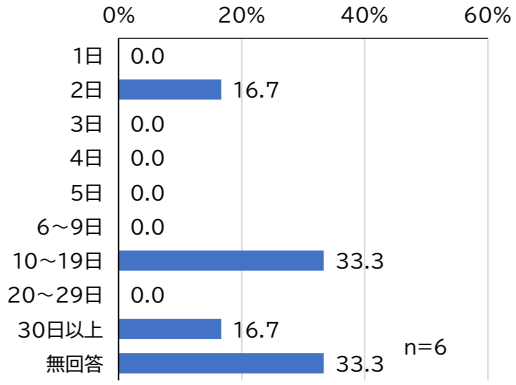

【幼稚園の預かり保育】




【ファミリー・サポート・センター】

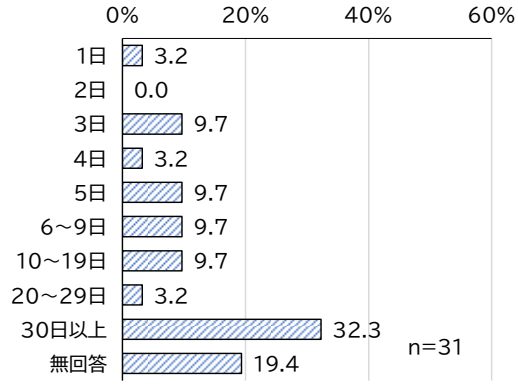



【民間のベビーシッター】

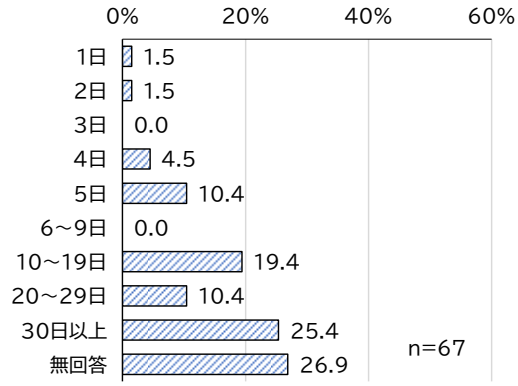



## ○希望の利用日数（年間）

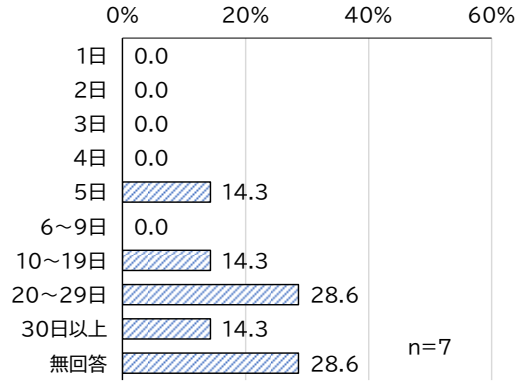
【一時預かり】



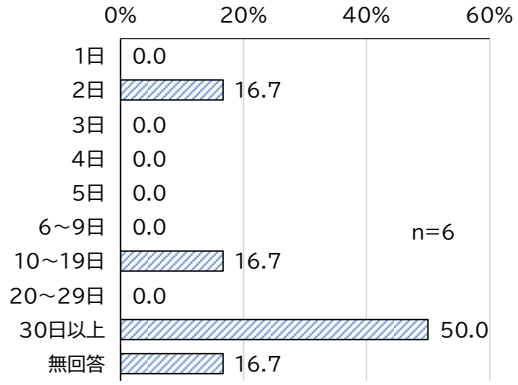

【幼稚園の預かり保育】




【ファミリー・サポート・センター】




【民間のベビーシッター】

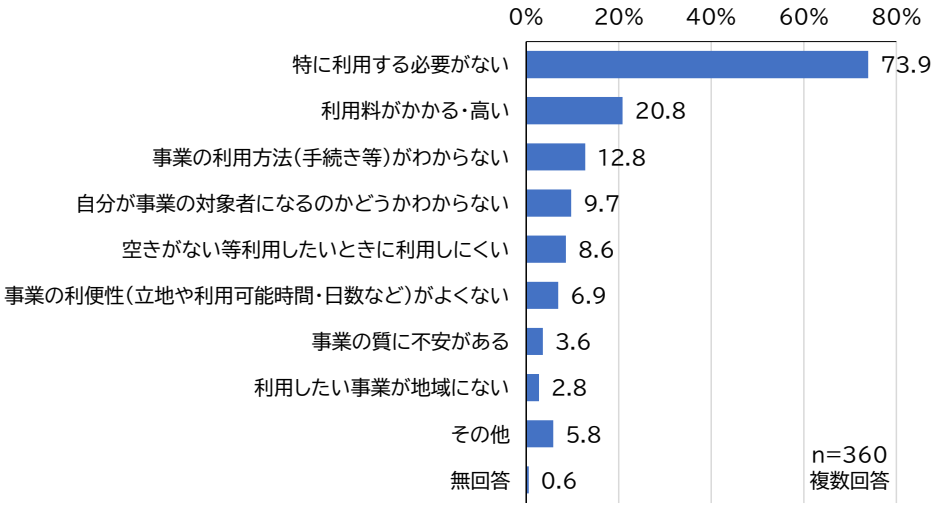



※「トワイライトステイ」、「ショートステイ」、「その他」は回答者なしのため図を省略している。

### （２）私用等の目的で、現在不定期に事業を利用していない理由

**【問 29 で「利用していない」に回答された方】**

**問 29-1　現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

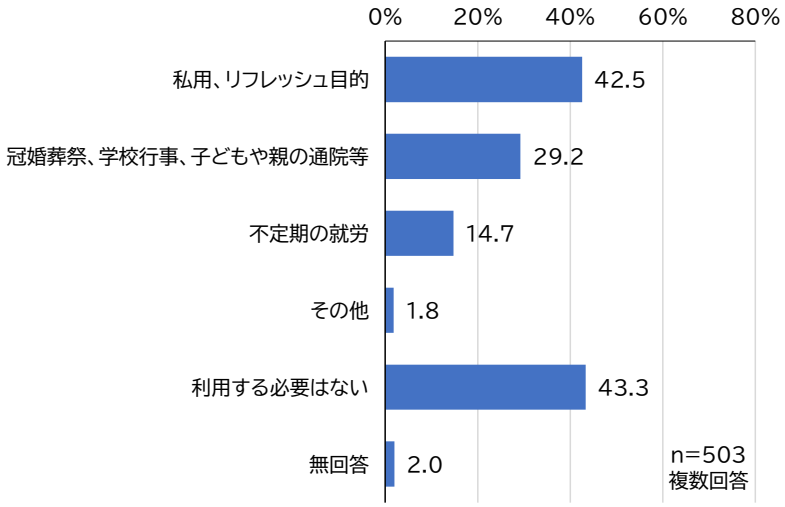



日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、現在不定期に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 73.9%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 20.8%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 12.8%となっている。

### （３）保育者の私用、親の通院、不定期の就労等の目的での一時預かり等の利用希望

**問 30　「お子さん」について、保護者の私用、親の通院、不定期の就労の目的で、一時預かり等を利用する希望がありますか。ある場合、その利用の目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）また、ある場合は必要な日数もご記入ください。（数字を記入）**

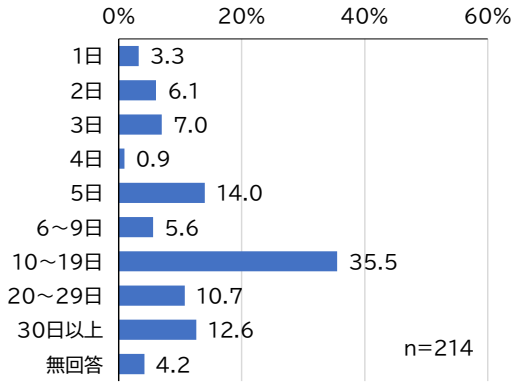
※　事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。



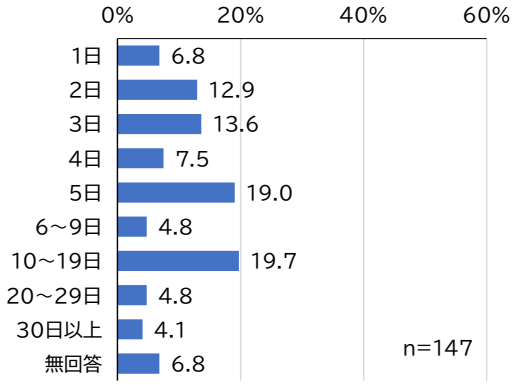

保育者の私用、親の通院、不定期の就労等の目的での一時預かり等の利用希望は、「私用、リフレッシュ目的」が 42.5%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 29.2%、「不定期の就労」が 14.7%となっている。一方、「利用する必要はない」は 43.3%となっている。

**○必要な日数（年間）**

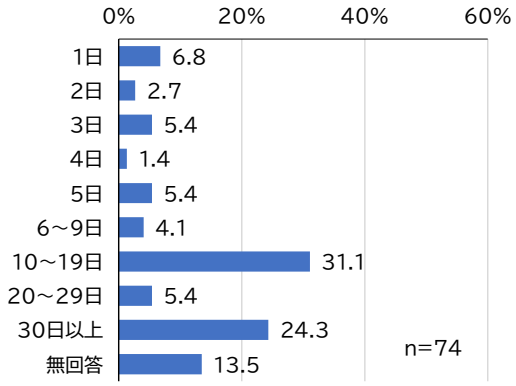
【私用・リフレッシュ目的】



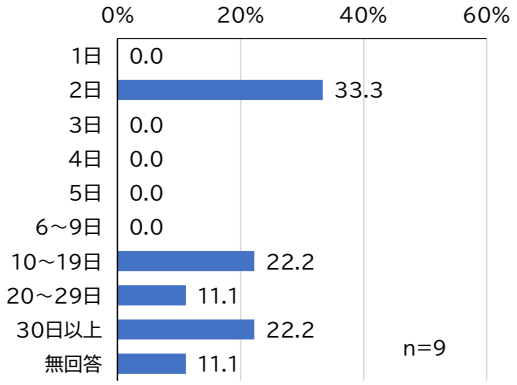

【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】




【不定期の就労】



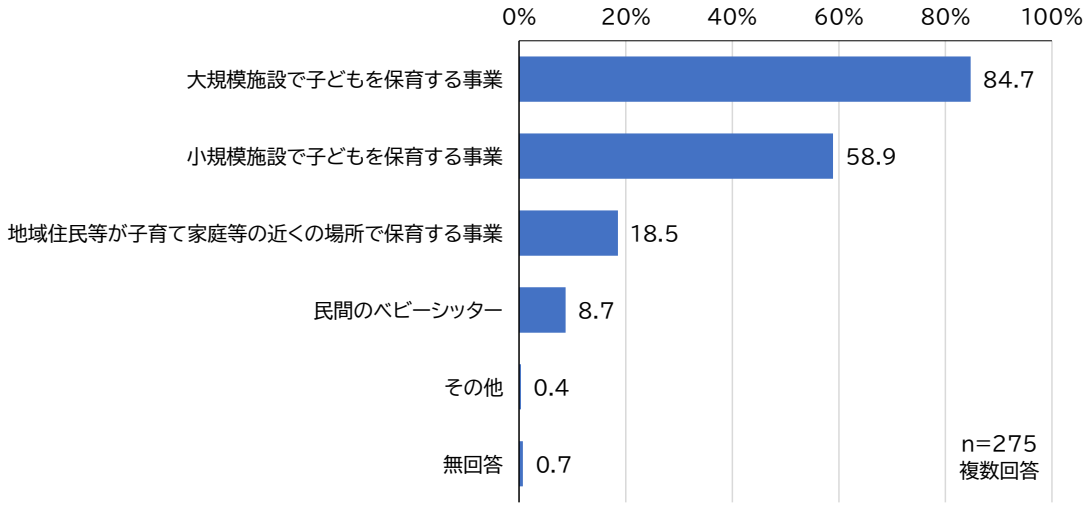

【その他】



### （４）保護者の私用、親の通院、不定期の就労の目的で子どもを預ける場合、望ましい事業形態

**【問 30 で「保護者の私用」「親の通院」「不定期の就労」等の目的で、一時預かり等を利用する希望があるに回答された方】**

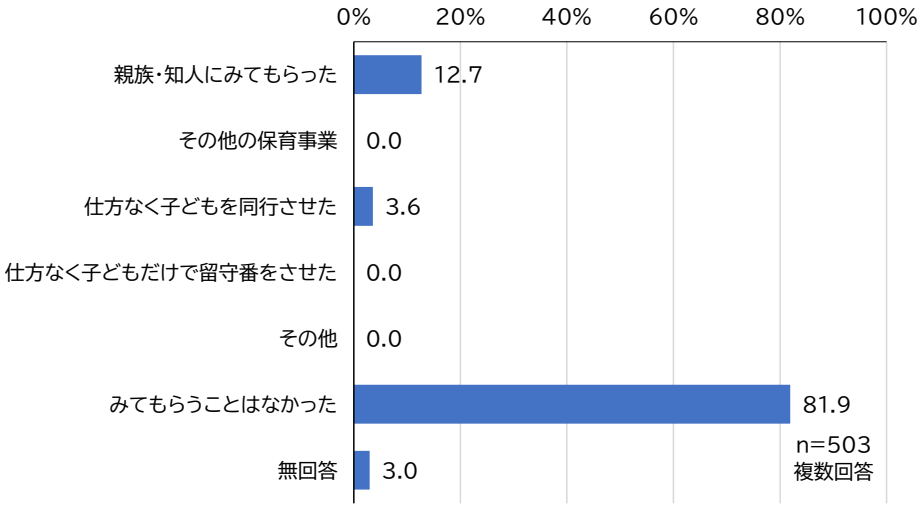
**問 30-1　問 30 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）**




保護者の私用、親の通院、不定期の就労の目的で子どもを預ける場合、望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 84.7%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 58.9%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 18.5%となっている。

### （５）保育者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験

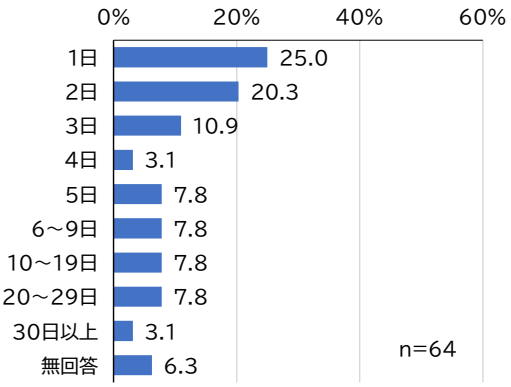
**問 31　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、「お子さん」を泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（あてはまるものすべてに○）（預け先が見つからなかった場合も含みます）また、ある場合は日数もご記入ください。（数字を記入）**



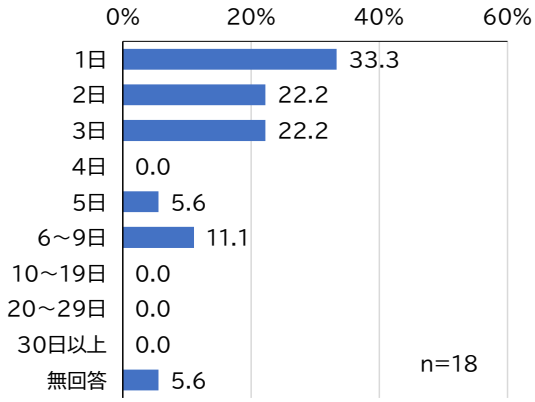

保育者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験は、「みてもらうことはなかった」が 81.9%で８割を超え高くなっている。一方、みてもらわなければならなかった経験は、「親族・知人にみてもらった」が 12.7%で高くなっている。

**○実際に経験した日数（年間）**

【親族・知人にみてもらった】




【仕方なく子どもを同行させた】




※「その他の保育事業」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」、「その他」は回答者なしのため図を省略している。

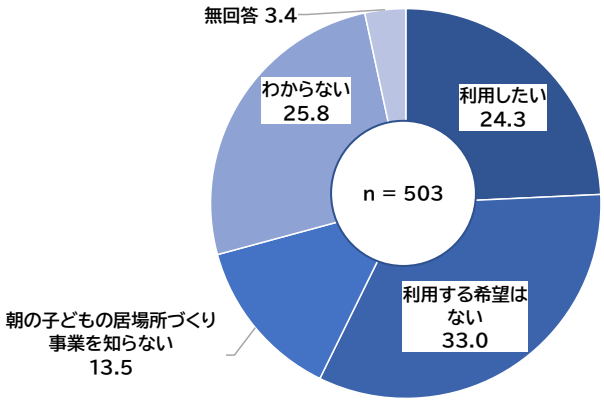
## ９．小学校就学後の朝と放課後の過ごし方について

朝の子どもの居場所づくり事業とは、

地域のボランティア等の協力のもと、小学校の始業前（7：15～8：30）に学童施設を利用して子どもたちが安全・安心に過ごすことのできる居場所を設け、保護者の就労の有無に関わらず、全ての小学生が利用することができる事業です。（利用には、事前登録と登録保険料が必要です。また、利用の際は、保護者が実施場所に送り届ける必要があります。）

### （１）就学後の朝の子どもの居場所づくり事業に登録する意向

**問 32　「お子さん」について、就学後、朝の子どもの居場所づくり事業に登録する意向はありますか。（◯は１つ）**

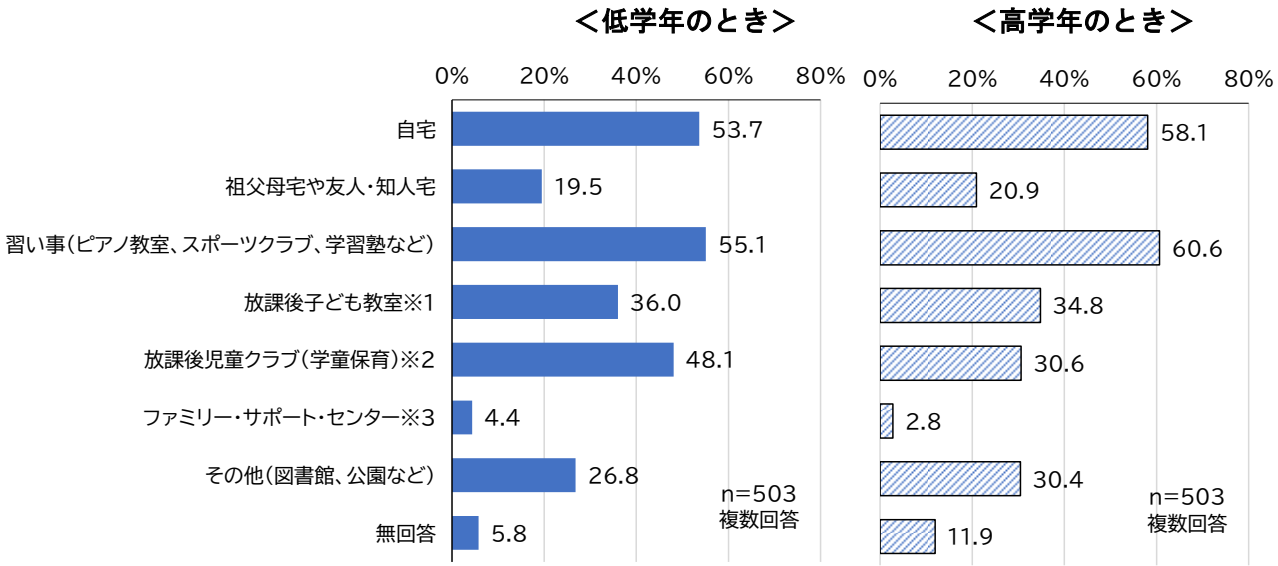



就学後の朝の子どもの居場所づくり事業に登録する意向は、「利用する希望はない」が 33.0%、「利用したい」が 24.3%となっている。一方、「朝の子どもの居場所づくり事業を知らない」は 13.5%となっている。

### （２）小学校のうちに放課後の時間を過ごさせたい場所

**問 33　「お子さん」について、小学校のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）また、低学年のとき、高学年のときそれぞれ希望する週当たりの日数をご記入ください。（数字を記入）**

※　事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。




※１　「放課後子ども教室」　･･･地域の方々の協力を得て、放課後に小学校等で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※２　「放課後児童クラブ」･･･地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

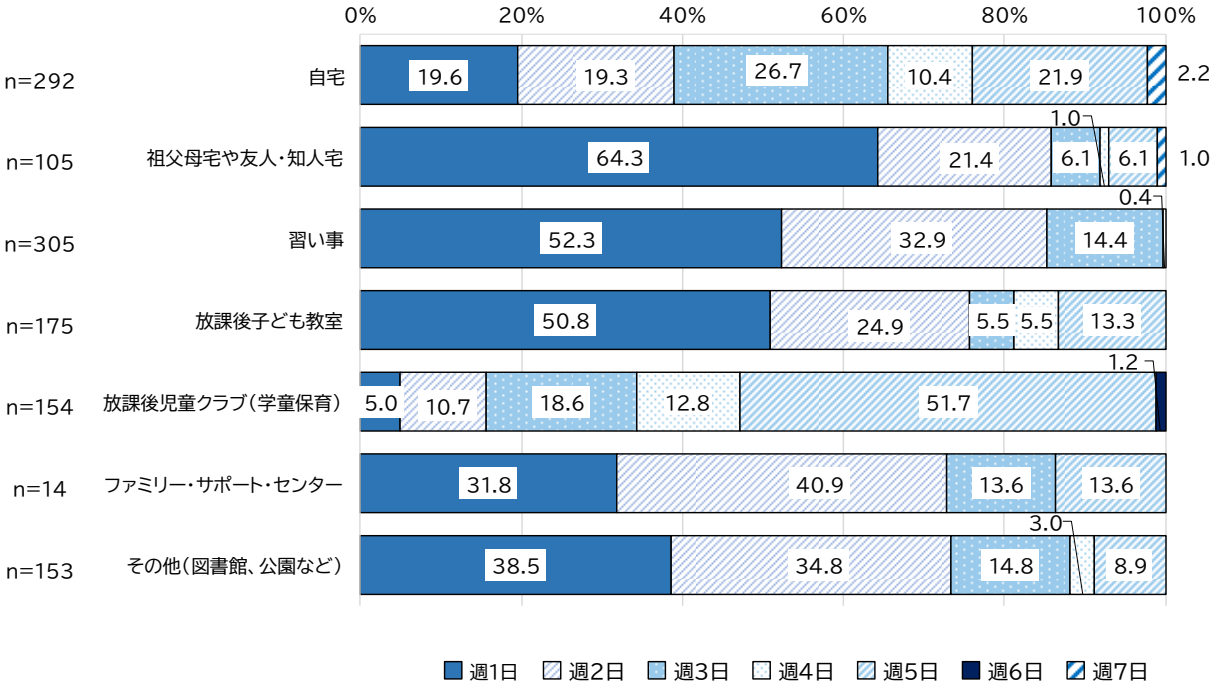
※３　「ファミリー・サポート・センター」･･･保育所、習い事への送迎や自宅での育児ができないときに、一時的に子どもの預かりなどのお手伝いをします。（有料）

小学校低学年のときに、放課後の時間を過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾な）」が 55.1％で最も高く、次いで「自宅」が 53.7％、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 48.1％となっている。

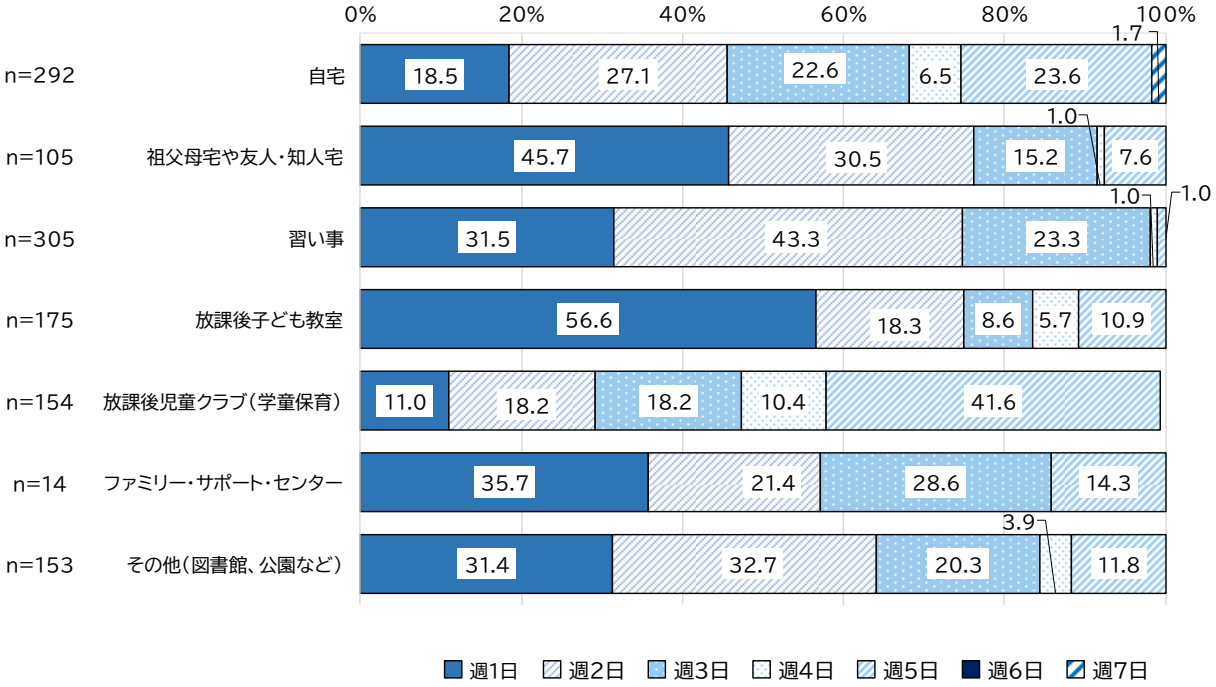
小学校高学年のときに、放課後の時間を過ごさせたい場所は、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾な）」が 60.6％で最も高く、次いで「自宅」が 58.1％、「放課後子ども教室」が 34.8％となっている。

**○利用希望日数**

【小学校低学年のとき】




【高学年のとき】

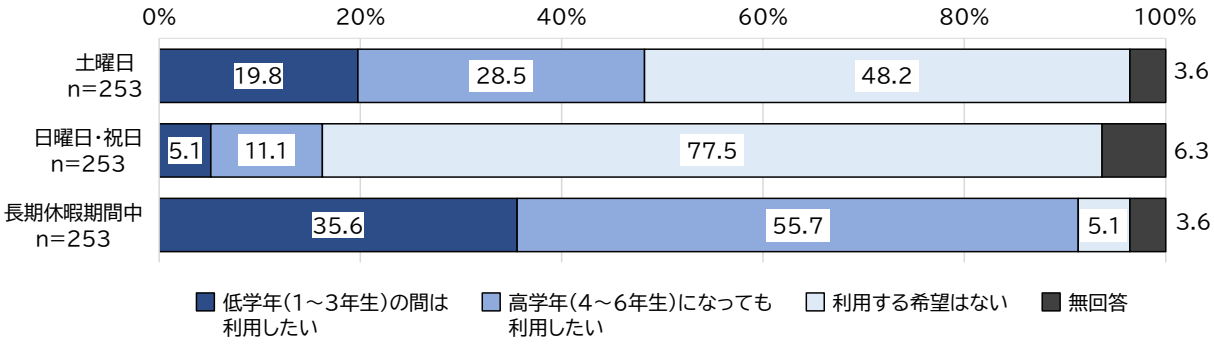


### （３）放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

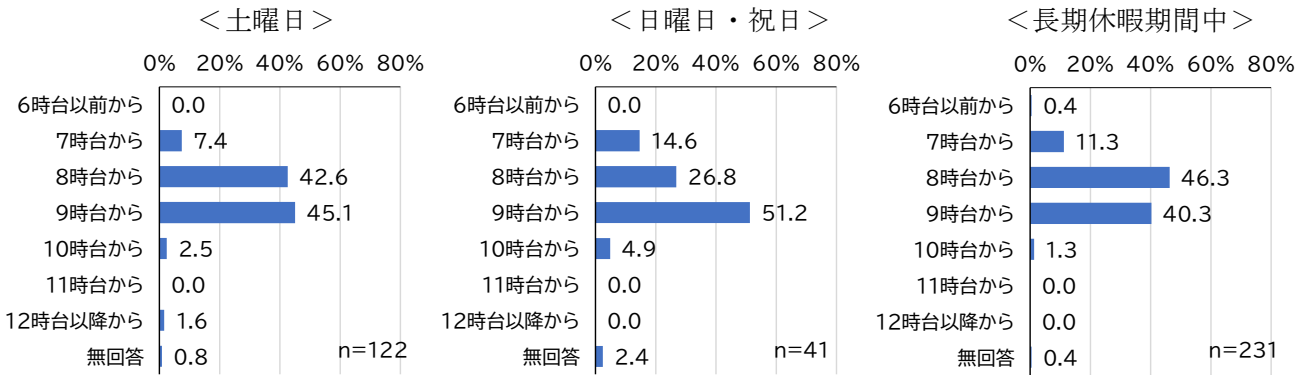
**【問 33 で「放課後児童クラブ（学童保育）」に回答した方】**

**問 33-1　土曜日と日曜日・祝日や夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。【（１）（２）（３）それぞれ◯は１つ】また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）**

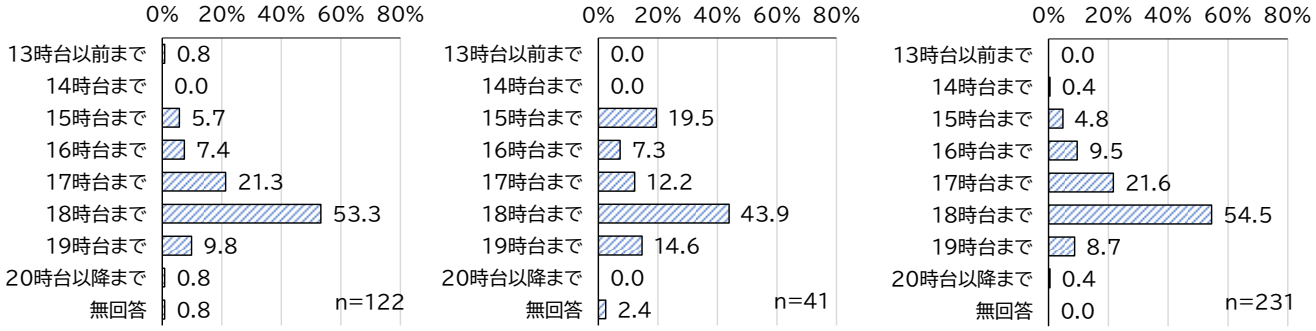
※　事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。




【希望利用開始時間】




【希望利用終了時間】




放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する希望はない」が最も高くなっている。特に日曜日・祝日は 77.5％と高くなっている。

夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望は、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 55.7％で最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 35.6％となっている。

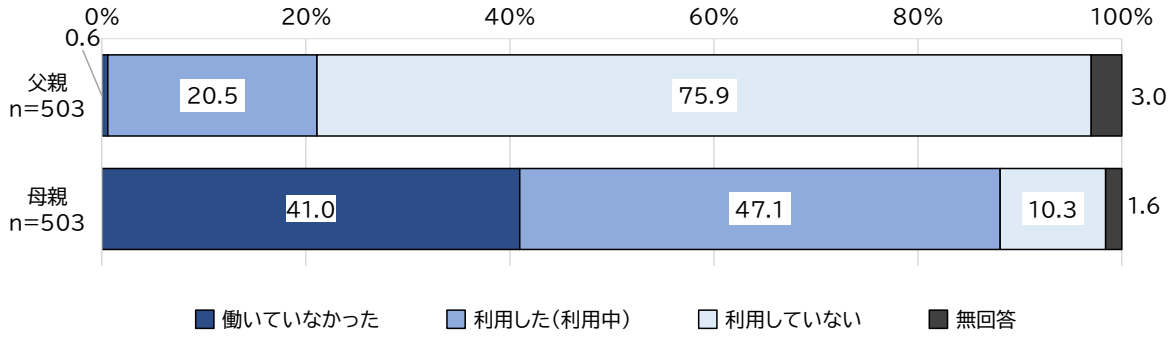
希望利用開始時間は、土曜日、日曜日・祝日は「９時台から」が、長期休暇期間中は「８時台から」が最も高くなっている。

希望利用終了時間は、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中ともに、「18 時台まで」が最も高くなっている。

## 10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

### （１）育児休業の取得状況

**問 34　「お子さん」が生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（母親、父親それぞれに◯は１つ）**

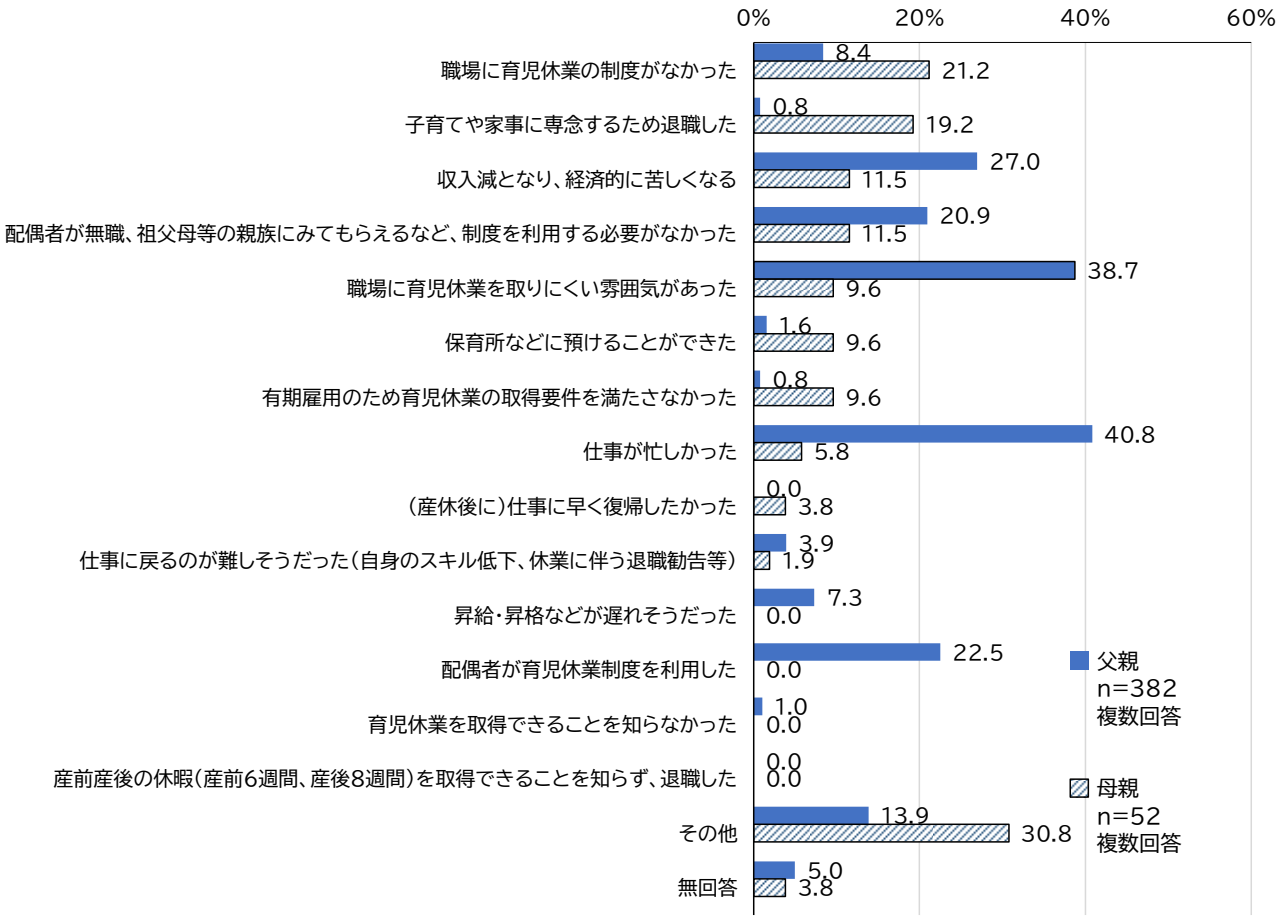



育児休業の取得状況について、父親は「利用していない」が 75.9%で最も高く、次いで「利用した（利用中)」が 20.5%となっている。

母親では、「利用した（利用中)」が 47.1%で最も高く、次いで「働いていなかった」が 41.0%で拮抗している。

### （２）育児休業を取得していない理由

**問 34　育児休業を取得していない方はその理由を下記から選んでご記入ください。（いくつでも）**



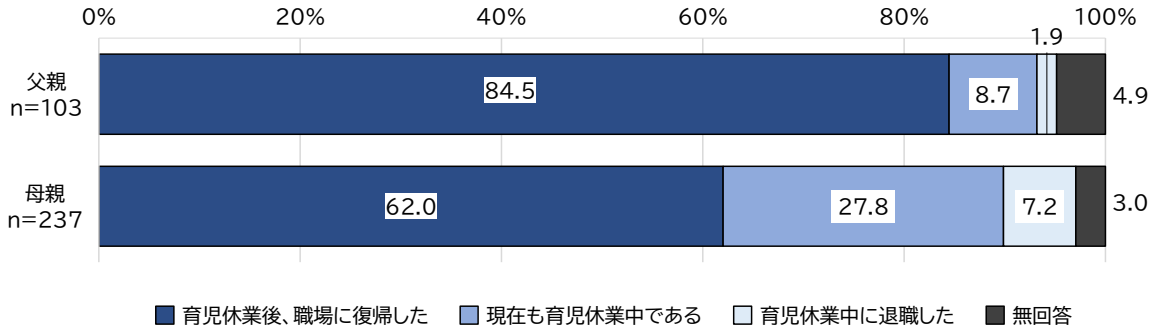

母親の育児休業を取得していない理由は、「職場に育児休業の制度がなかった」が 21.2%で最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が 19.2%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」と「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 11.5%で同率となっている。

父親の育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が 40.8%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 38.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 27.0%となっている。

### （３）育児休業後、職場に復帰したか

**【問 34 で「利用した（利用中）」に回答された方】**

**問 34-1　育児休業後、職場に復帰しましたか。（母親、父親それぞれに◯は１つ）**




父親が育児休業後、職場に復帰したかは、「育児休業後、職場に復帰した」が 84.5%で８割を超え最も高くなっている。

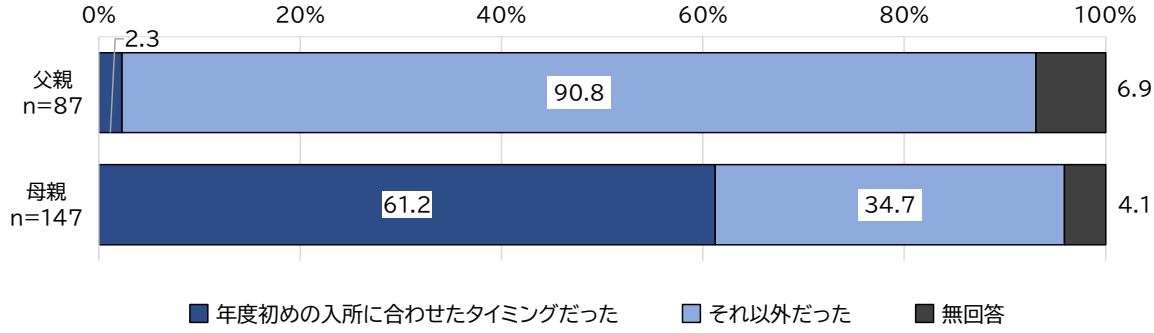
母親が育児休業後、職場に復帰したかは、「育児休業後、職場に復帰した」が 62.0%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が 27.8%となっている。

### （４）育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングであったか

**【問 34-1 で「育児休業後、職場に復帰した」に回答された方】**

**問 34-2　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（母親、父親それぞれに◯は１つ）**

※　年度初めでの認可保育所入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「１」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「１」を選択してください。




父親が育児休業後、職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングであったかは、「それ以外だった」が 90.8%で９割以上を占めている。

母親が育児休業後、職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングであったかは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 61.2%で６割を超え高くなっており、一方「それ以外だった」は 34.7%となっている。

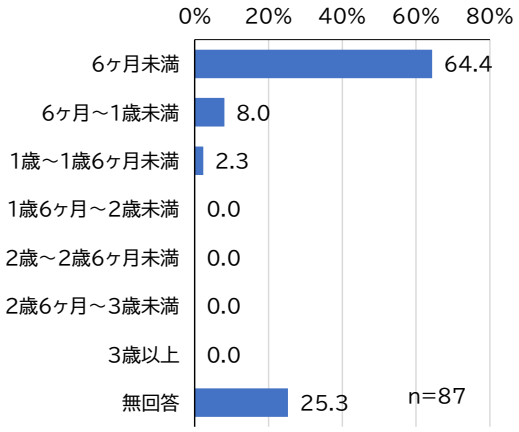
## （５）育児休業の利用期間

**【問 34-1 で「育児休業後、職場に復帰した」に回答された方】**

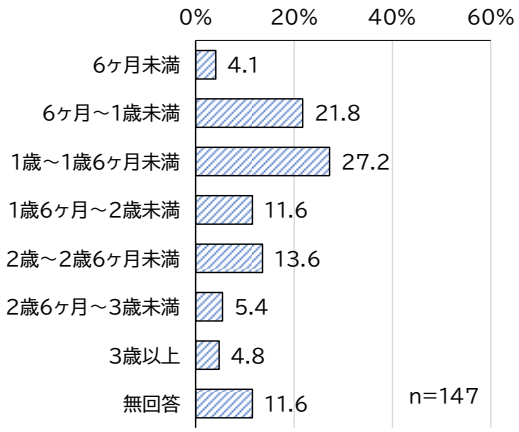
**問 34-3　育児休業の利用期間等についてお答えください。（母親、父親それぞれに数字を記入）**

### １）　お子さんが何歳何ヶ月の時に職場復帰しましたか。

【父親】




【母親】

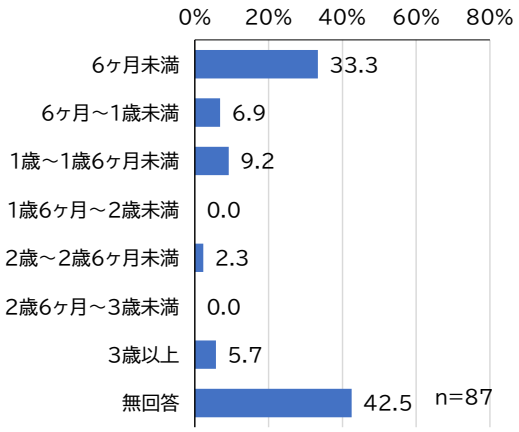



お子さんが何歳何ヶ月の時に職場復帰したかは、父親は、「６ヶ月未満」が 64.4％で最も高くなっている。

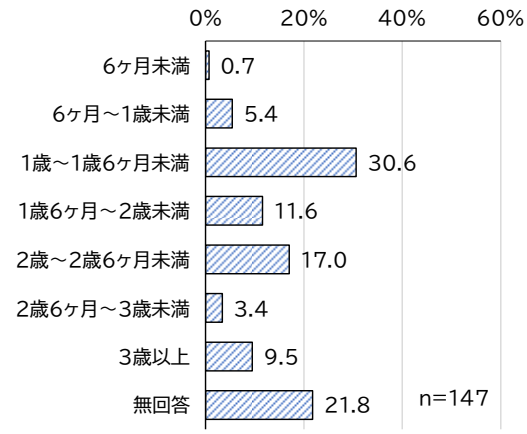
母親は、「１歳～１歳６ヶ月未満」が 27.2％で最も高く、次いで「６ヶ月～１歳未満」が 21.8％、「２歳～２歳６ヶ月未満」が 13.6％となっている。

### ２）　お勤め先の育児休業の制度の期間内で、希望としては何歳何ヶ月の時まで育児休業を利用したかったですか。

【父親】




【母親】

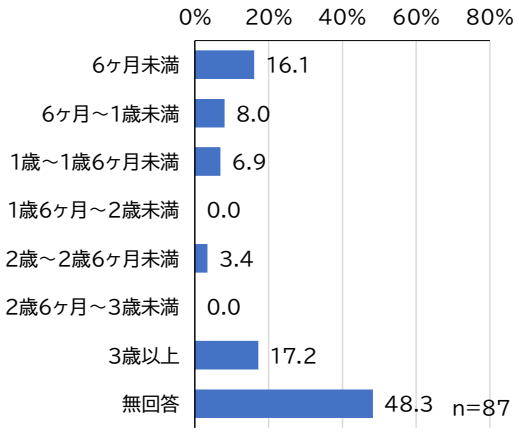



希望としては、何歳何ヶ月の時まで育児休業を利用したかったかは、父親は、「６ヶ月未満」が 33.3％で最も高くなっている。

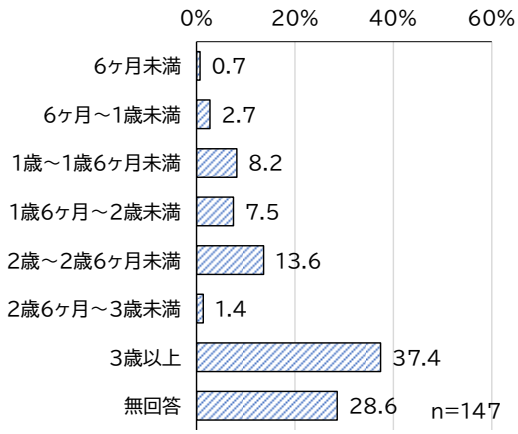
母親は、「１歳～１歳６ヶ月未満」が 30.6％で最も高く、次いで「２歳～２歳６ヶ月未満」が 17.0％、「１歳６ヶ月～２歳未満」が 11.6％となっている。

**３）　お勤め先に育児休業を３歳まで利用できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。**

【父親】




【母親】



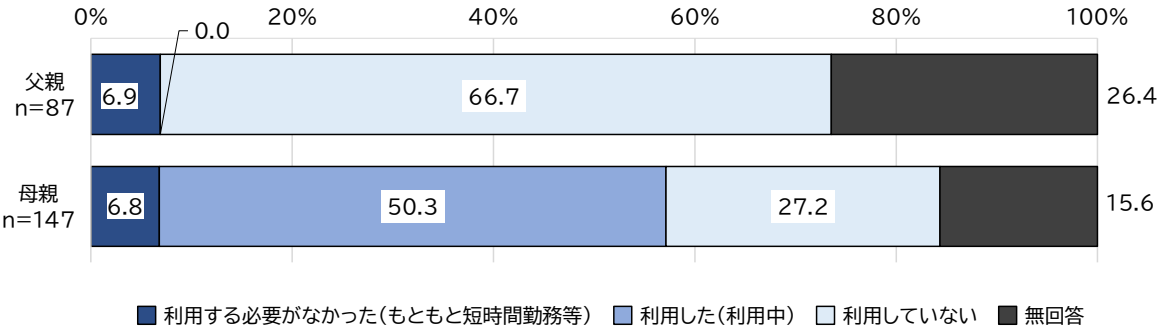

育児休業を３歳まで利用できる制度があった場合、何歳何ヶ月のときまで取りたかったかは、父親は、「３歳以上」が 16.1％で最も高く、次いで「６ヶ月未満」が 16.1％となっている。

母親は、「３歳以上」が 37.4％で最も高く、次いで「２歳６ヶ月～３歳未満」が 13.6％、「１歳～１歳６ヶ月」が 8.2％となっている。

### （６）育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用したか

**【問 34-1 で「育児休業後、職場に復帰した」に回答された方】**

**問 34-4　育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（母親、父親それぞれに○は１つ）**



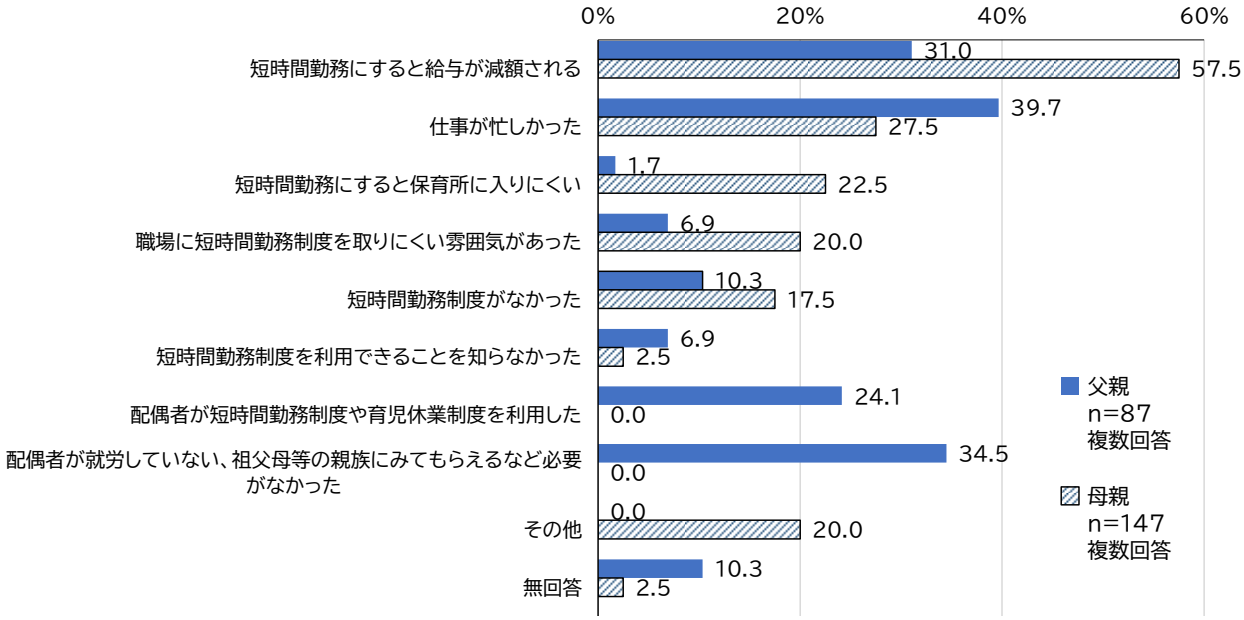

父親が育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用したかは、「利用していない」が 66.7%で６割を超えている。

母親が育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用したかは、「利用した（利用中）」が 50.3%で最も高く、次いで「利用していない」が 27.2%となっている。

### （７）短時間勤務制度を利用していない理由

**【問 34-1 で「育児休業後、職場に復帰した」に回答された方】**

**問 34-4　育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を取得していない方はその理由を下記から選んでご記入ください。（いくつでも）**



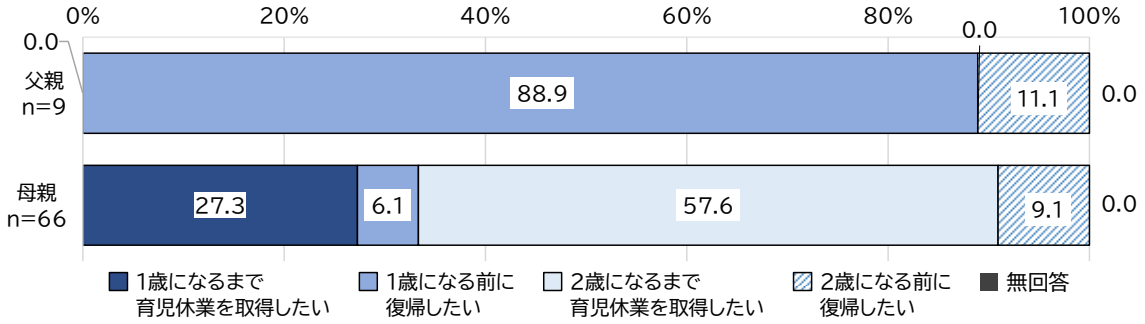

父親が育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用していない理由は、「仕事が忙しかった」が 39.7%で最も高く、次いで「配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど必要がなかった」が 34.5%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が 31.0%となっている。

母親が育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用していない理由は、「短時間勤務にすると給与が減額される」が 57.5%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が 27.5%、「短時間勤務にすると保育所に入りにくい」が 22.5%となっている。

### （８）１歳もしくは２歳になったときに必ず預けられる事業があった場合の利用希望

**【問 34-1 で「現在も育児休業中である」に回答された方】**

**問 34-5　「お子さん」が１歳もしくは２歳になったときに必ず預けられる事業があれば、１歳もしくは２歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳もしくは２歳になる前に復帰しますか。（母親、父親それぞれに◯は１つ）**



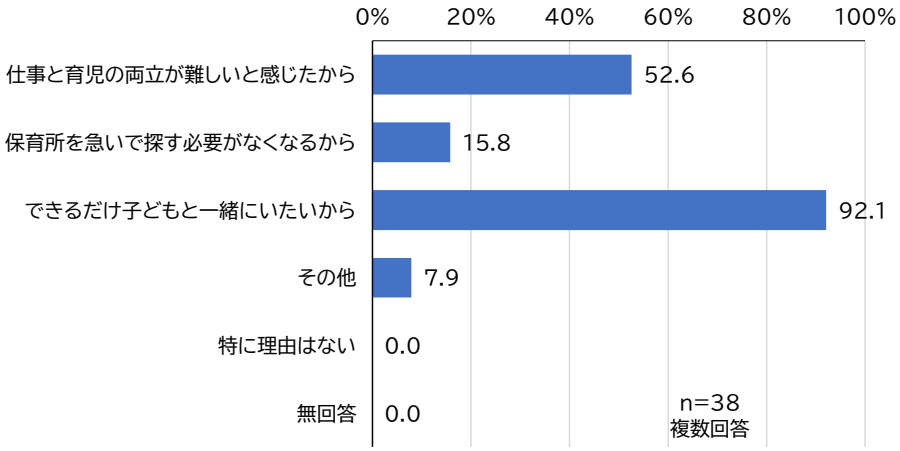

父親では、子どもが１歳もしくは２歳になったときに必ず預けられる事業があった場合、利用希望は、「１歳になる前に復帰したい」が 88.9%で最も高い。

母親では、子どもが１歳もしくは２歳になったときに必ず預けられる事業があった場合、利用希望は、「２歳になるまで育児休業を取得したい」が 57.6%で最も高く、次いで「１歳になるまで育児休業を取得したい」が 27.3%となっている。

### （９）育児休業を２年以上利用したいと考える理由

**【問 34-5 で「２歳になるまで育児休業を取得したい」に回答された方】**

**問 34-6　あなたが育児休業を２年以上利用したいと考える理由は何ですか。（あてはまるものすべてに◯）**

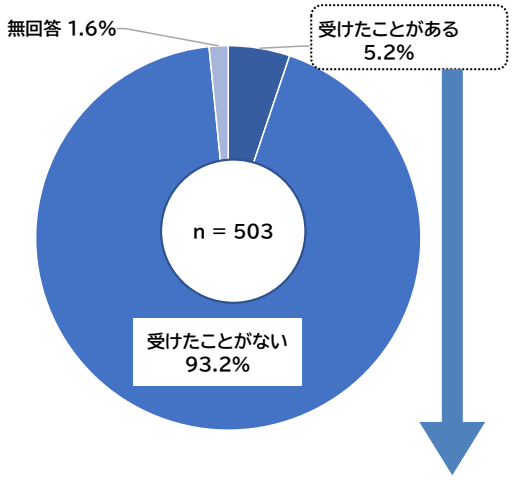



育児休業を２年以上利用したいと考える理由は、「できるだけ子どもと一緒にいたいから」が 92.1%で最も高く、次いで「仕事と育児の両立が難しいと感じたから」が 52.6%、「保育所を急いで探す必要がなくなるから」が 15.8%となっている。

## 11. お子さんの障がい、発達の状況について

### （１）お子さんの発達に関して医師の診断の有無

**問 35　これまで、「お子さん」の発達に関して、何らかの医師の診断を受けたことがありますか。（○は１つ）**

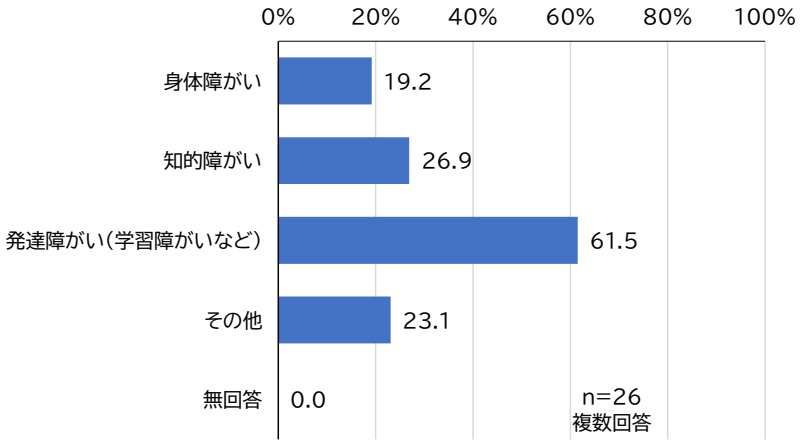



お子さんの発達に関して医師の診断の有無については、「受けたことがない」が 93.2%、「受けたことがある」が 5.2%となっている。

### （２）お子さんの発達に関しての診断の内容

**【問 35 で「受けたことがある」に回答された方】**

**問 35-1　それはどんな診断ですか。（あてはまるものすべてに○）**

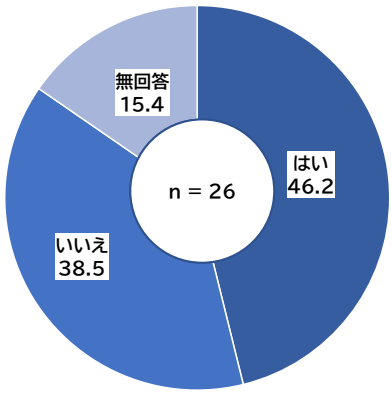



お子さんの発達に関しての診断の内容は、「発達障がい(学習障がいなど)」が 61.5%で最も高く、次いで「知的障がい」が 26.9%、「身体障がい」が 19.2%となっている。

### （３）お子さんの発達に関しての診断は先天性疾患によるものか

**【問 35 で「受けたことがある」に回答された方】**

**問 35-2　回答した診断は、先天性疾患によるものですか。（◯は１つ）**

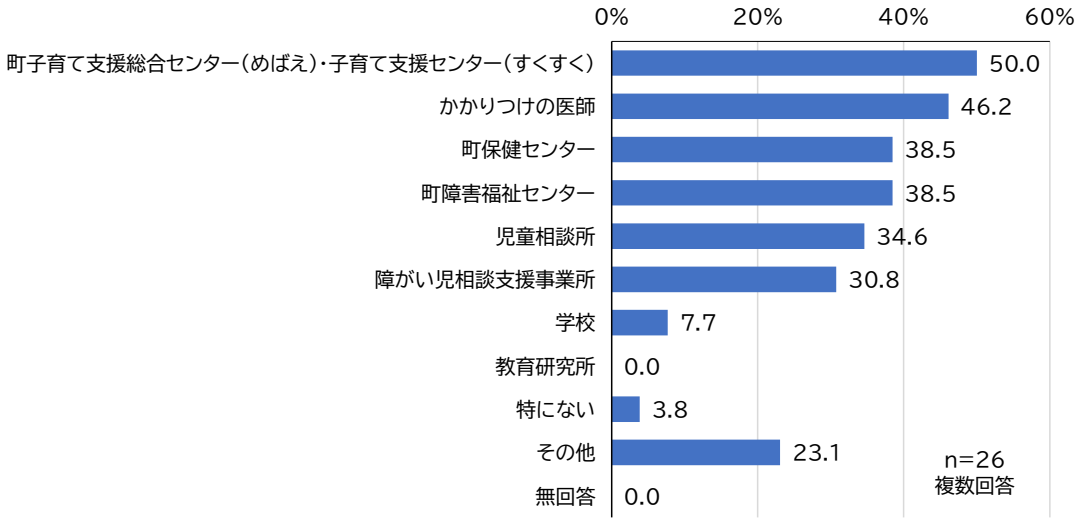



お子さんの発達に関しての診断は先天性疾患によるものかについては、「はい」が 46.2%、「いいえ」が 38.5%となっている。

### （４）お子さんの発達、障がいについて相談している地域の相談機関

**【問 35 で「受けたことがある」に回答された方】**

**問 35-3　お子さんの発達、障がいについて相談している地域の相談機関はどちらですか。（あてはまるものすべてに◯）**

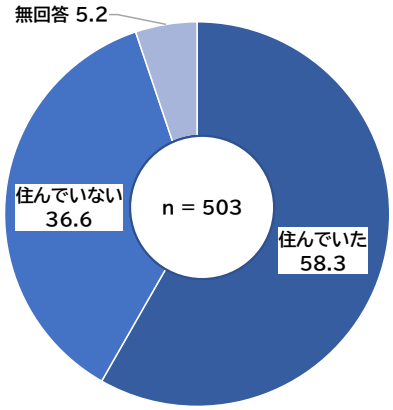



お子さんの発達、障がいについて相談している地域の相談機関は、「町子育て支援総合センター（めばえ）・子育て支援センター（すくすく）」が 50.0%で最も高く、次いで「かかりつけの医師」が 46.2%、「町保健センター」と「町障害福祉センター」が同率で 38.5%となっている。

## 12. 現状での子育て環境について

### （１）最初に子どもが生まれたとき、または妊娠の際、大磯町に居住していたか

**問 36　最初にお子さんが生まれたとき、又は妊娠の際、大磯町にお住まいでしたか。（◯は１つ）**

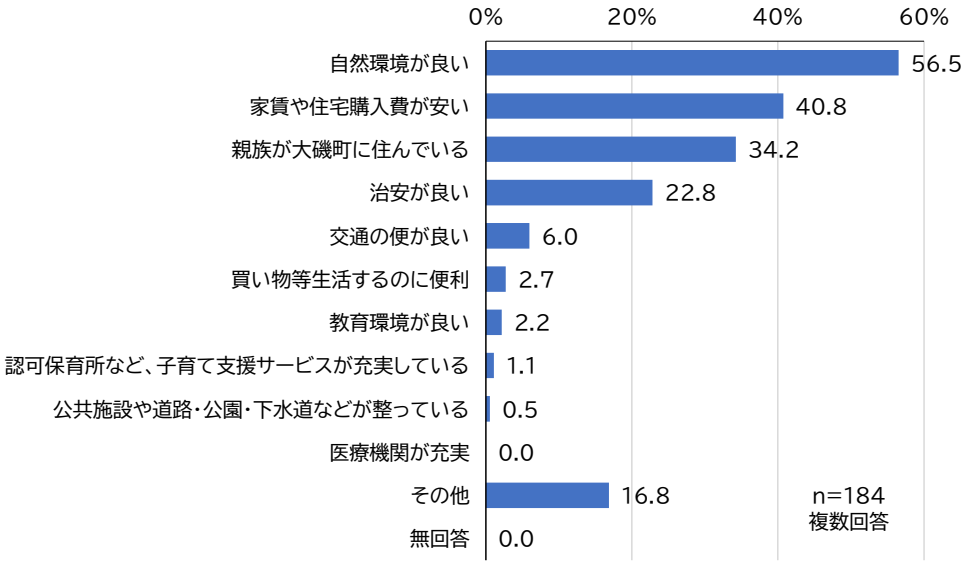



最初に子どもが生まれたとき、または妊娠の際、大磯町に居住していたかは、「住んでいた」が 58.3%、「住んでいない」が 36.6%となっている。

### （２）大磯町に転入した理由

**【問 36 で「住んでいない」に回答した方】**

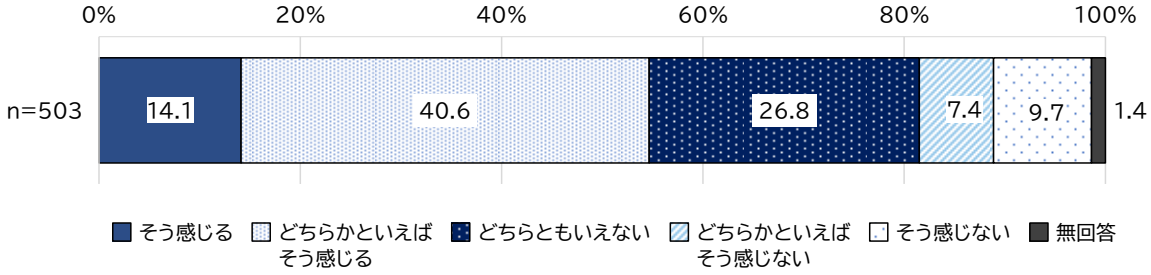
**問 36-1　大磯町に転入した理由をお聞かせください。（あてはまるものすべてに◯）**




大磯町に転入した理由は、「自然環境が良い」が 56.5%で最も高く、次いで「家賃や住宅購入費が安い」が 40.8%、「親族が大磯町に住んでいる」が 34.2%、「治安が良い」が 22.8%となっている。

### （３）子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるか

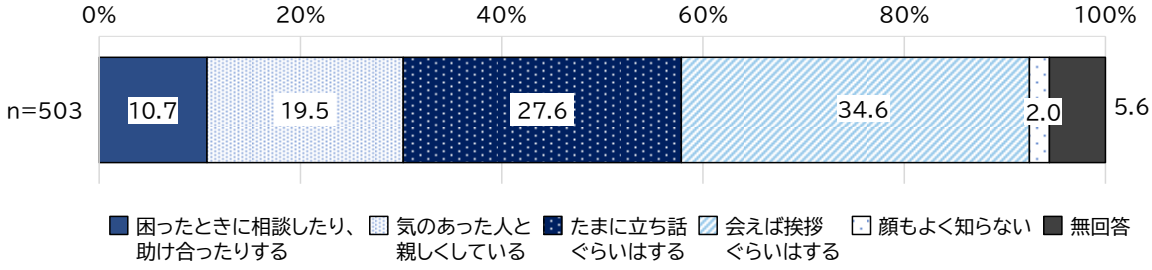
**問 37　子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じますか（◯は１つ）**




子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるかは、「どちらかといえばそう感じる」が 40.6％で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 26.8％となっている。

### （４）近所の人との付き合い方

**問 38　最近、近所の人とどのような付き合い方をしていますか（◯は１つ）**




近所の人との付き合い方は、「会えば挨拶ぐらいはする」が 34.6％で最も高く、次いで「たまに立ち話ぐらいはする」が 27.6％となっている。

## （５）近隣市町村に、大磯町にもあったらいいと思う「子どもを対象とした施設」

**問 39　近隣市町村に、大磯町にもあったらいいなと思う「子どもを対象とした施設」が有りましたら、「施設名」と「所在地（市区町村名）」を１つ記入してください。**

211 名の方から 233 件の意見をいただきました。

| 所在地（市区町村名） | 子どもを対象とした施設名 | 件数 |
|---|---|---|
| 平塚市 | 平塚総合公園 | 53 |
| | こどもの家(大野・みなと・城山) | 32 |
| | 湘南あそびマーレ | 12 |
| | ららぽーと湘南平塚 | 7 |
| | 総合公園温水プール | 7 |
| | 病児保育　麦・もんもん | 3 |
| | トッケイセキュリティ平塚総合体育館 | 2 |
| | 平塚美術館・博物館 | 2 |
| | あそびのスタジオ Pepika(ペピカ) | 1 |
| | 花水さくら保育園 | 1 |
| | 湯の蔵ガーデン | 1 |
| | 児童発達支援室くれよん | 1 |
| 二宮町 | 生涯学習センター　ラディアン | 6 |
| | 東大果樹園跡地、はらっぱ広場(プレイパーク) | 3 |
| | 二宮温水プール | 2 |
| | にのみや子ども自然塾 | 1 |
| 茅ヶ崎市 | 柳島スポーツ公園 | 2 |
| | 柳島しおさい公園(じゃぶじゃぶ池のようなプール) | 1 |
| | 温水プール | 1 |
| 藤沢市 | 地域子どもの家 | 5 |
| | 辻堂海浜公園 | 3 |
| | 鋸っ子ランド | 3 |
| | あそびのせかい テラスモール湘南店(ポーネルランド) | 2 |
| | ココテラス湘南 | 2 |
| | KidsDuo | 1 |
| | 片瀬こどもランド | 1 |
| | 神奈川県立スポーツセンター | 1 |
| | 藤沢小年の森 | 1 |
| 小田原市 | 小田原こどもの森公園わんぱくらんど | 4 |
| | 小田原市川東タウンセンター　マロニエ | 2 |
| | フォレストアドベンチャー・小田原 | 1 |
| | ショッピングモール(小田原ダイナシティ・小田原シティーモール) | 1 |
| | おだぴよ子育て支援センター | 1 |
| 大和市 | シリウス(げんきっこ広場) | 4 |
| | 大和市子育て支援施設　きらきらぼし | 1 |
| | 大和市市民交流拠点ポラリス | 1 |

| 所在地（市区町村名） | 子どもを対象とした施設名 | 件数 |
|---|---|---|
| 横浜市 | (NPO法人)Umiのいえ(無料カウンセリング) | 1 |
| | こども園 | 1 |
| | 野毛山動物園 | 1 |
| | こまちカフェ(戸塚区) | 1 |
| | 洋光台子ども ログハウス | 1 |
| 川崎市 | 子ども夢パーク | 4 |
| 秦野市 | 秦野市カルチャーパーク | 3 |
| | 秦野NITTAパークおおね(おおね公園) | 2 |
| | 秦野市交通公園 | 1 |
| | 秦野市丹沢野外活動センター | 1 |
| 伊勢原市 | 伊勢原市立子ども科学館 | 2 |
| | 伊勢原総合公園 | 2 |
| 海老名市 | あそびパーク+ | 1 |
| 相模原市 | 相模川ふれあい科学館　アクアリウムさがみはら | 1 |
| 足柄上郡 | 神奈川県立山北つぶらの公園 | 1 |
| 高座郡 | 高座施設組合屋内温水プール | 1 |
| 中井町 | 中井町中央公園 | 1 |
| | 中井中央公園遊びの広場 | 2 |
| 東京都江東区 | team Lab Planets TOKY(豊洲) | 1 |
| 東京都大田区 | パルクール鬼ごっこ オニバト | 1 |
| 東京都港区 | 港区立みなと科学館 | 1 |
| 東京都府中市 | こどもの国ポムポム | 1 |
| 静岡県甲府市 | ヴァンフォーレおしろらんど | 1 |
| 静岡県焼津市 | 公園 | 1 |
| 三重県津市 | げいのう わんぱーく | 1 |
| 宮城県白石市 | こじゅろうキッズランド | 1 |
| 山形県東根市 | けやきホール(さくらんぼタントクルセンター内) | 1 |
| 大磯町にあると良いと思う施設 | 室内プール | 4 |
| | 室内遊び場 | 2 |
| | 小学生が過ごせる屋内の施設・児童館 | 2 |
| | 病児保育 | 2 |
| | 保育所 | 2 |
| | 子ども食堂 | 2 |
| | こどもの家 | 1 |
| | 科学館 | 1 |
| | カフェ併設のプレイルーム | 1 |
| | 西松屋 | 1 |
| | 森の幼稚園 | 1 |
| | 動物園 | 1 |
| | 安全な大きい公園(東小磯) | 2 |
| | コンビニ(西小磯) | 1 |
| | 小児科(月京・新宿) | 2 |
| 合計 | | 233 |

## （６）近隣市町村に、大磯町にもあったらいいと思う「子どもを対象とした制度や仕組み」

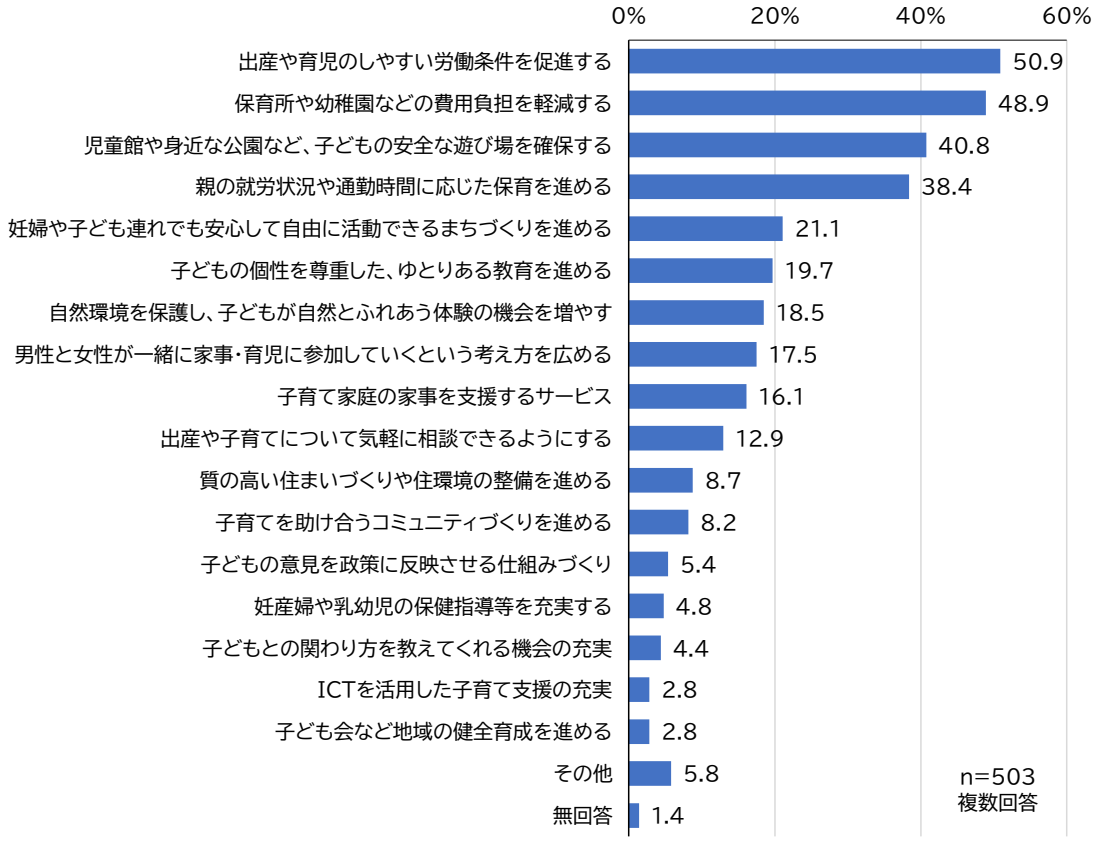
**問 40　近隣市町村に、大磯町でもあったらいいなと思う「子どもを対象とした制度や仕組み」が有りましたら、「制度や仕組みの内容」と「実施市区町村名」１つ記入してください**

146 名の方から 167 件の意見をいただきました。

| 所在地(市区町村名) | 制度や仕組み | 件数 | 所在地(市区町村名) | 制度や仕組み | 件数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 平塚市 | 中学校の完全給食 | 5 | 厚木市 | 紙おむつ・おしりふき支給や代金補助 | 15 |
| | ヘルメット購入時の助成金 | 4 | | 厚木市子育て日常生活支援事業 | 3 |
| | 病児保育の対象が、小学3年生や小学6年生までな点 | 3 | | 自転車購入費・ヘルメット代補助 | 3 |
| | 小学校の放課後に利用できる習い事(送迎含む) | 1 | | 子育てパスポートAYUCO<br>(子育て世帯が店舗で割引や特典などあり) | 2 |
| | 子どもの家 | 1 | | チャイルドシートレンタル | 1 |
| | 通学バス、又はバス代の補助 | 1 | 秦野市 | 児童手当ての手厚さ | 1 |
| | 「学校へ行く前に、どんな準備をしたら良いの?」講習会 | 1 | 海老名市 | 出産時におむつの支給 | 1 |
| | 7ヶ月検診 | 1 | 中井町 | おむつの補助 | 1 |
| | 桜ヶ丘幼稚園での預かり時間終了後、親のお迎えまでの時間に園で習い事を受けることができる(有料) | 1 | 寒川町 | 子供が産まれたら1年分ゴミ袋プレゼント | 1 |
| | 学童保育の預かり時間19時まで | 1 | 湯河原町 | 産救車 | 1 |
| | 子ども大学ひらつか | 1 | 愛甲郡清川村 | 通学費、通学用自転車購入費の助成 | 1 |
| | 産前産後ヘルパー | 1 | 兵庫県明石市 | 五つの無料化(所得制限なし)<br>・18才までの医療費<br>・第2子以降の保育料<br>・中学校の給食費<br>・公共施設の遊び場<br>・おむつ定期便(0才児見守り訪問)) | 7 |
| | 不妊治療の補助金 | 1 | | | |
| 二宮町 | 中学校給食 | 4 | | | |
| | にのみや子ども自然塾 | 3 | | | |
| | 支援センターでの一時お預かり保育 | 1 | | | |
| | 産後ケア事業(宿泊や自宅訪問) | 1 | | | |
| | うみのほし(園から送迎付きの学び、習い事へ通える制度) | 1 | | 病児保育施設 | 1 |
| | 自然の中での保育(おひさまが丘) | 1 | 大阪府 | 収入、子どもの数に関係なく高・大学の授業料免除、又は支援金 | 2 |
| | あそび場「さとっこ」 | 1 | | 紙おむつの支給 | 2 |
| 藤沢市 | 電動自転車、ヘルメット補助金 | 3 | | 大阪市習い事・塾代助成事業 | 1 |
| | 保育園の入園申請に関する妊娠出産要件の点数の引き上げ | 1 | | 所得制限なしの高校無償化 | 1 |
| | おむつのゴミ無料 | 1 | | 子どもの年齢に関係なく第3子以降の中・高・大の授業料免除、又は支援金 | 1 |
| | 出産前での保育園申し込み(年度始めの) | 1 | 木更津市 | 地域通貨「アクアコイン」で支払いの1%がオーガニック給食に還元 | 2 |
| 藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市など | 帰りのチャイムの時刻が早い(大磯町に比べ、夏季冬季共に30分～1時間早く防犯対策になる) | 1 | 松戸市 | 預かり保育利用料の補助(現在の制度とは別に) | 1 |
| 小田原市 | 保育園の入園申請に関する妊娠出産要件の点数の引き上げ | 1 | 千葉県 いすみ市 | 学校給食費を全額補助 | 1 |
| | 子育て世代が無料で参加できるイベントの実施、施設利用 | 1 | 流山市 | たかさごスクールおおたかの森(幼保連携認定こども園)のスクールバス　駅前に分園があり、親はそこで預けと迎えができる | 1 |
| | 幼稚園に入所する子どもへの無償化 | 1 | 埼玉県 さいたま市 | 赤ちゃんや子どもと楽しめる絵本をプレゼント(ブックスタート) | 1 |
| 大和市 | 24時間365日小児科医が常駐　市立病院 | 2 | 戸田市 | 幼稚園、保育園の給食費無償化 | 1 |
| | 寺子屋 | 1 | 群馬県前橋市 | こども園～習い事(水泳や英語教室)が連携されており送迎 | 1 |
| | 子育てに必要なものへの給付金(ヘルメット、本など) | 1 | 山梨県山梨市 | ベビー用品レンタル事業 | 1 |
| 大和市・厚木市・藤沢市など | 教育時間の前後に預かり保育を実施する「送迎ステーション」 | 1 | 山口県和木町 | 中学生まで給食無償化 | 1 |
| 横浜市 | 横浜市私立幼稚園等預かり保育事業 | 1 | 富山県立山町 | 新入学児に通学用リュックを無償配布(希望者に) | 1 |
| 横浜市 | 色々な習い事(スイミング、塾、体操、英語など)が集まった施設 | 1 | 福岡県 福岡市 | 紙おむつの支給 | 2 |
| 鎌倉市 | 第2子保育料無料 | 2 | 北九州市 | 保育所等の同時利用や子の年齢にかかわらず第2子以降の保育料無償化 | 1 |
| 川崎市 | 物価高騰のための子育て支援給付金 | 1 | 大磯町にあると良いと思う施設 | こども食堂・フードサポート、住居サポート | 3 |
| | 子ども文化センター(多摩区) | 1 | | 中学校給食 | 2 |
| 東京都 | 子どもの年齢に関係なく第3子以降の中・高・大の授業料免除、又は支援金 | 1 | | 所得制限なしで給付金 | 2 |
| | 018サポート(18才以下に所得制限無しで月5000円) | 5 | | 0～3才の幼稚園無償化 | 1 |
| | 全高校の授業料実質無償化 | 3 | | 1歳から聴きに行けるコンサート | 1 |
| | 収入、子どもの数に関係なく高・大学の授業料免除、又は支援金 | 2 | | 通学時のバス料金の補助や無料で乗れる券など | 1 |
| | 赤ちゃんファースト | 1 | | 保育園から時短の人は午後からの利用でお昼ご飯は出ないのに同じ料金なのは不公平 | 1 |
| | 第2子保育料無償化 | 1 | | 母乳相談外来 | 1 |
| | 認可外保育施設利用のための補助事業(0～2歳児も対象),事業 | 1 | | コンビニ | 1 |
| | 放課後教室無料 | 1 | | 学校にプール | 1 |
| 世田谷区 | 第2子以降保育料無償化 | 1 | | 駅まで保育園バスが送迎 | 1 |
| 港区 | 保育園給食費無償化 | 1 | | オーガニック給食の実現中学校給食(おいしいので) | 1 |
| 千代田区・北区 | ふたご助っ人くじ | 2 | | オムツのサブスク | 1 |
| 江東区 | 出産応援ギフトの上乗せ補助 | 2 | | 子育てに関わる人がジェンダーバイアスをしれる仕組み | 1 |
| 江東区 | 施設おむつ交換台設置 | 2 | | こども園(給食あり、駐車場あり) | 1 |
| 江東区・荒川区・三鷹市など | 妊娠届出時に商品券付与(ゆりかご面接) | 2 | | 児童館 | 1 |
| 目黒区 | ヘルパー援助制席 | 1 | | 小学生の登校班 | 1 |
| 中野区 | 子ども食堂 | 1 | | 幼稚園に給食 | 1 |
| 北区 | 小児ぜんそく治療費助成・無償化 | 1 | | 幼稚園の通常保育の後に体操教室や習いごとができる所 | 1 |
| 町田市 | 子ども会議 | 1 | 合計 | | 167 |
| 八王子市 | おムツゴミ袋無料 | 1 | | | |

### （７）子どもを健やかに産み育てるために必要と思われること

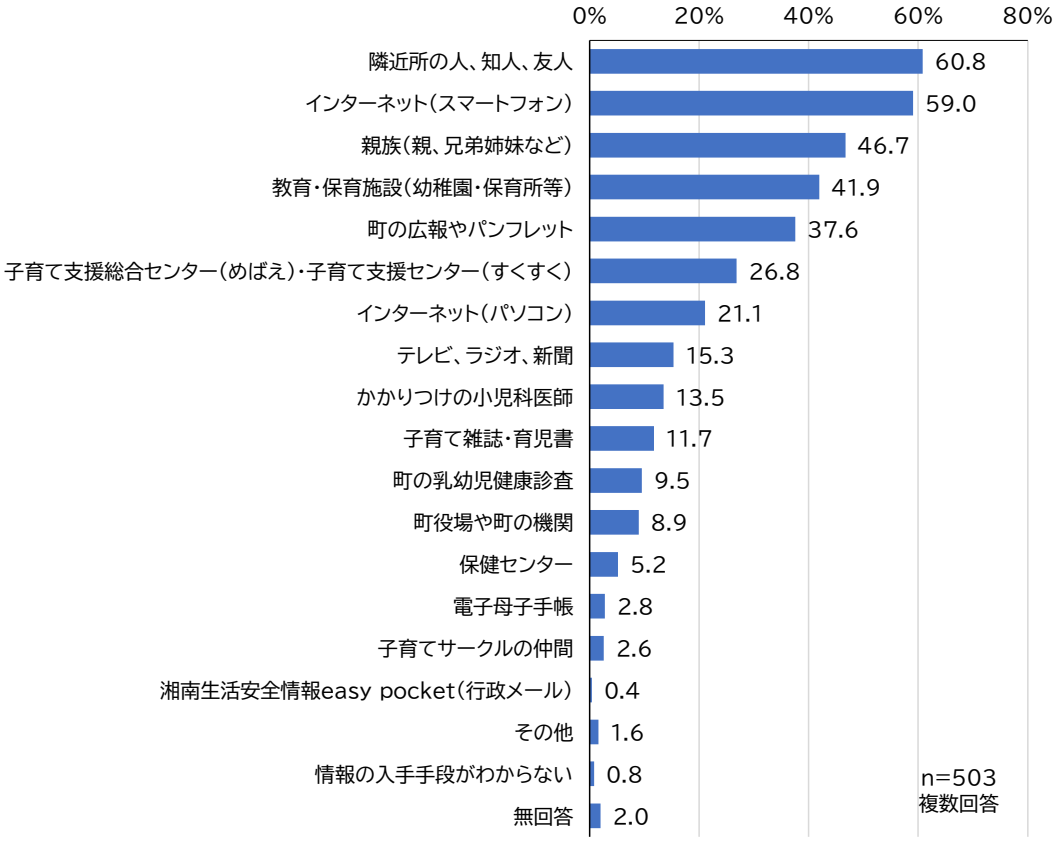
**問 41　子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることは、どのようなことですか。（◯は３つまで）**




子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることは、「出産や育児のしやすい労働条件を促進する」が 50.9%で最も高く、次いで「保育所や幼稚園などの費用負担を軽減する」が 48.9%、「児童館や身近な公園など、子どもの安全な遊び場を確保する」が 40.8%、「親の就労状況や通勤時間に応じた保育を進める」が 38.4%となっている。

### （８）子育てに関する情報の入手手段

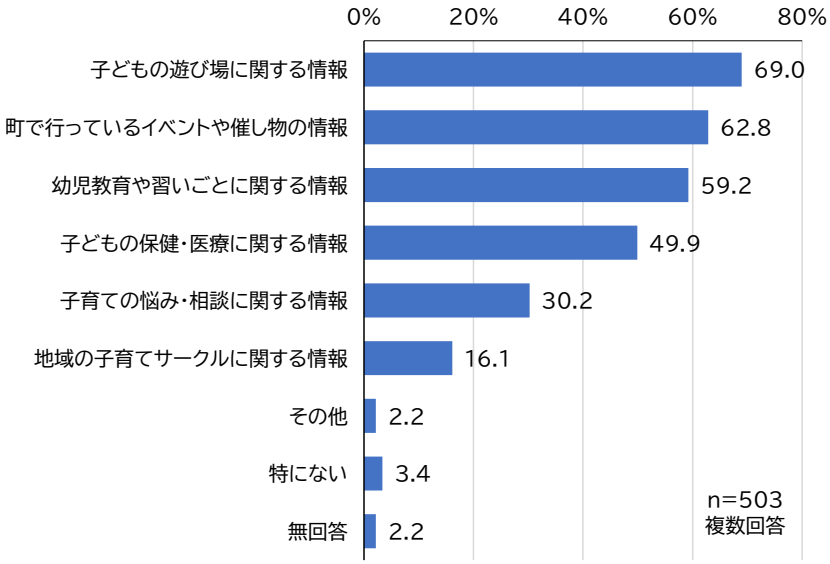
**問 42　子育てに関する情報をどのように入手していますか。（あてはまるものすべてに○）**




子育てに関する情報の入手手段は、「隣近所の人、知人、友人」が 60.8％で最も高く、次いで「インターネット（スマートフォン）」が 59.0％、「親族（親、兄弟姉妹など）」が 46.7％、「教育・保育施設（幼稚園・保育所等）」が 41.9％となっている。一方、「情報の入手手段がわからない」は 0.8％となっている。

### （９）子育てに関して求める情報

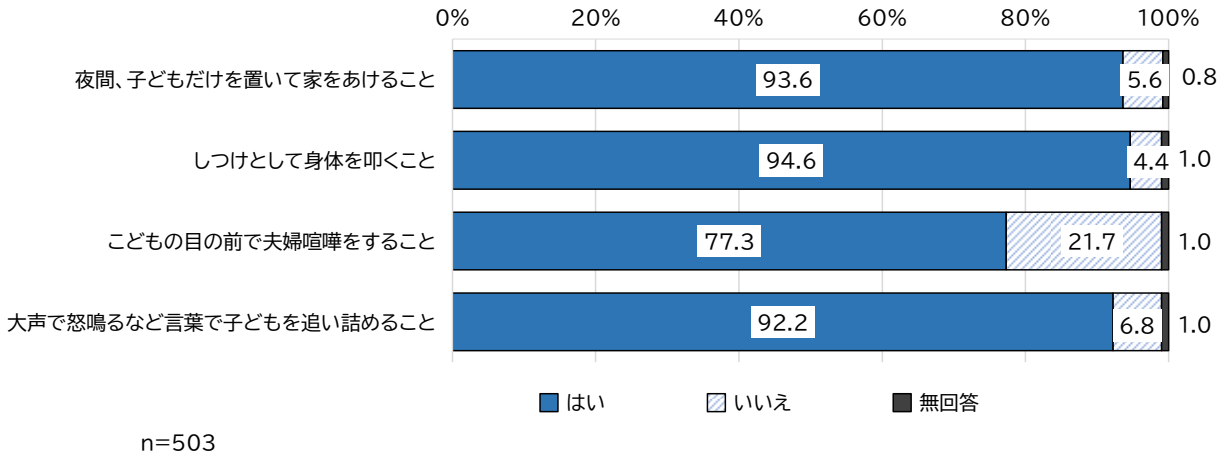
**問 43　子育てに関してどのような情報があればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）**




子育てに関して求める情報は、「子どもの遊び場に関する情報」が 69.0％で最も高く、次いで「町で行っているイベントや催し物の情報」が 62.8％、「幼児教育や習いごとに関する情報」が 59.2％となっている。一方、「特にない」は 3.4％となっている。

### （10）児童虐待にあたることの認知

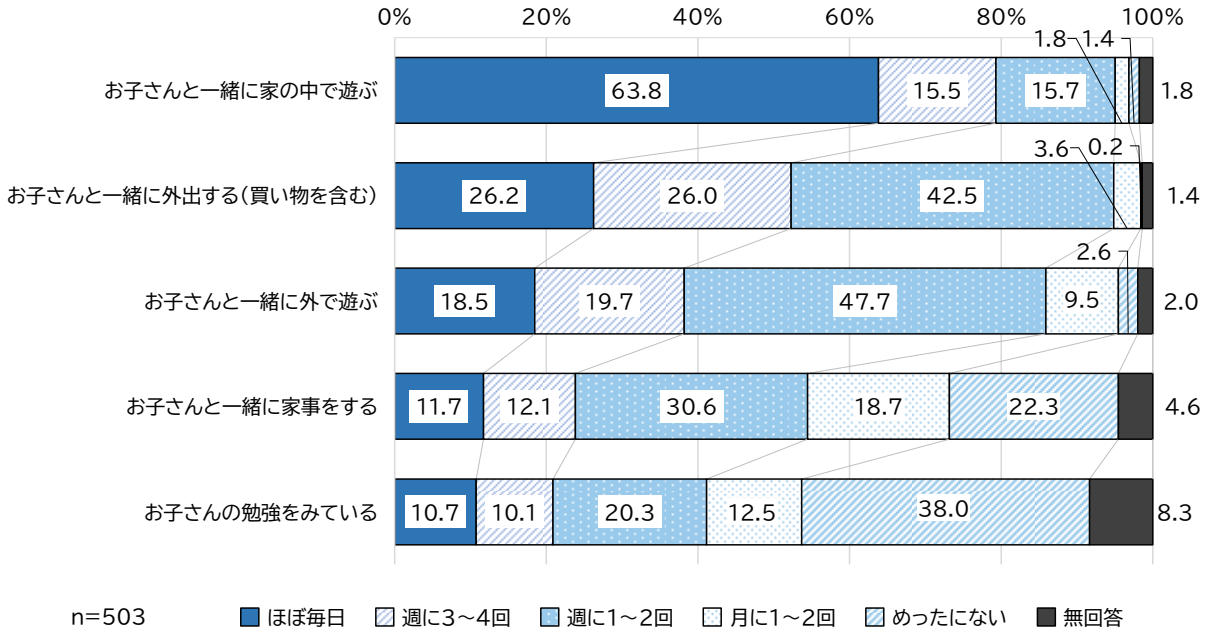
**問 44　各項目が児童虐待にあたることを知っていますか。（それぞれに○は１つ）**




児童虐待にあたることの認知について、「夜間、子どもだけを置いて家をあけること」、「しつけとして身体を叩くこと」、「大声で怒鳴るなど言葉で子どもを追い詰めること」を児童虐待にあたると認知している割合は９割を超えて高くなっている。一方、「こどもの目の前で夫婦喧嘩をすること」は、77.3％と他に比べて低くなっている。

### （11）子どもと家庭ですることについて

**問 45　あなたのご家庭では、「お子さん」と次のことをすることがありますか。（それぞれに◯は１つ）**

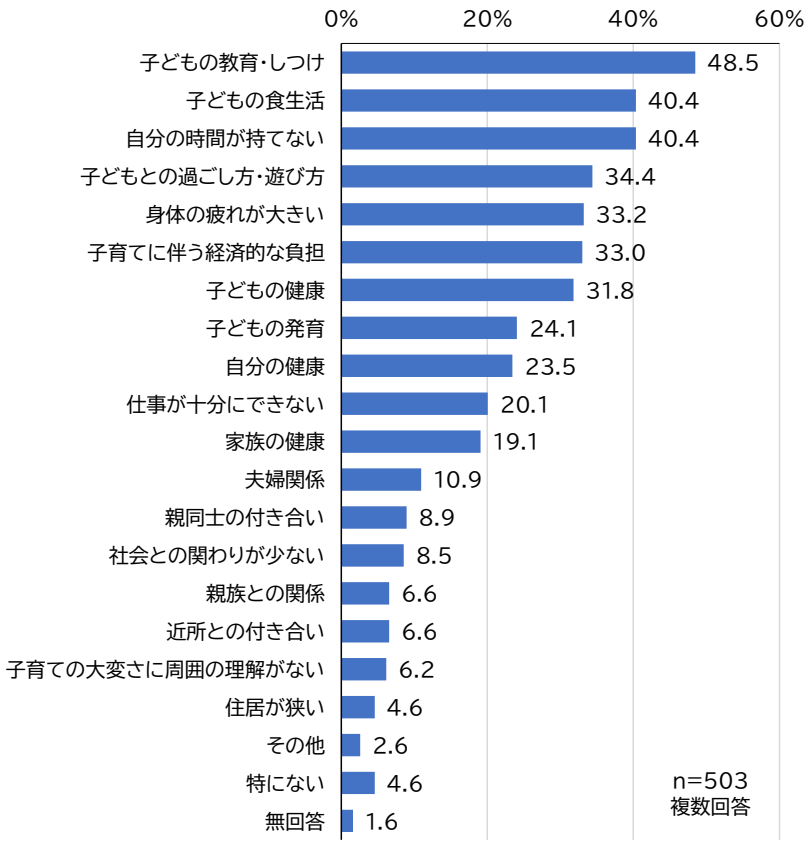



子どもと家庭ですることについて、『お子さんと一緒に家の中で遊ぶ』は、「ほぼ毎日」が 63.8%で最も高く、『お子さんと一緒に外出する（買い物を含む)』、『お子さんと一緒に外で遊ぶ』、『お子さんと一緒に家事をする』は、「週に１～２回」が最も高く、『お子さんの勉強をみている』は、「めったにない」が最も高くなっている。

## 13. 現状での子育て環境の満足度について

### （1）子育てをしていて感じている悩み

**問 46　現在、子育てをしていて感じている悩みは何ですか。（あてはまるものすべてに○）**




子育てをしていて感じている悩みは、「子どもの教育・しつけ」が 48.5%で最も高く、次いで「子どもの食生活」と「自分の時間が持てない」が同率で 40.4%となっている。一方、「特にない」は 4.6%となっている。

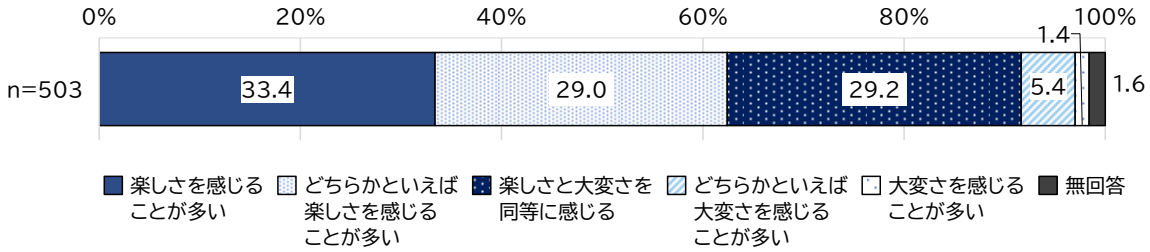
家庭類型別にみると、「ひとり親」では「子どもとの過ごし方・遊び方」、「子どもの教育・しつけ」、「夫婦関係」、「親族との関係」、「社会との関わりが少ない」、「仕事が十分にできない」、「子育てに伴う経済的な負担」で全体より 10 ポイント以上高くなっている。

**家庭類型別　×　現在、子育てをして感じる悩み**

| | | 合計 | 問46 現在、子育てをしていて感じている悩み | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 子どもの食生活 | 子どもとの過ごし方・遊び方 | 子どもの健康 | 子どもの教育・しつけ | 子どもの発育 | 夫婦関係 | 親族との関係 | 親同士の付き合い | 自分の健康 | 家族の健康 | 社会との関わりが少ない | 近所との付き合い | 住居が狭い | 子育ての大変さに周囲の理解がない | 仕事が十分にできない | 自分の時間が持てない | 子育てに伴う経済的な負担 | 身体の疲れが大きい | その他 | 特にない | 無回答 |
| | 全体 | 503 | 40.4 | 34.4 | 31.8 | 48.5 | 24.1 | 10.9 | 6.6 | 8.9 | 23.5 | 19.1 | 8.5 | 6.6 | 4.6 | 6.2 | 20.1 | 40.4 | 33.0 | 33.2 | 2.6 | 4.6 | 1.6 |
| 現在の家庭類型 | ひとり親（就労形態に関わらず） | 10 | 40.0 | **20.0** | 20.0 | **40.0** | 30.0 | **40.0** | **20.0** | 10.0 | 10.0 | 10.0 | **30.0** | 10.0 | 0.0 | 10.0 | **30.0** | 30.0 | **50.0** | 20.0 | 10.0 | 0.0 | 10.0 |
| | 両親ともにフルタイムで就労 | 197 | 37.6 | 28.4 | 29.9 | 46.2 | 18.3 | 11.2 | 2.5 | 7.1 | 21.8 | 15.2 | 9.1 | 3.6 | 5.1 | 5.1 | 19.8 | 39.6 | 32.0 | 33.0 | 3.0 | 5.6 | 2.0 |
| | 両親のいずれかがフルタイム、いずれかがパートタイム就労 | 114 | 39.5 | 30.7 | 30.7 | 50.0 | 21.9 | 7.9 | 6.1 | 10.5 | 22.8 | 21.1 | 4.4 | 7.9 | 2.6 | 6.1 | 20.2 | 40.4 | 32.5 | 31.6 | 2.6 | 2.6 | 0.9 |
| | 両親のいずれかがフルタイムで就労している | 166 | 44.0 | 44.0 | 34.9 | 51.2 | 32.5 | 9.6 | 9.6 | 10.2 | 26.5 | 22.3 | 10.2 | 9.6 | 4.8 | 7.8 | 18.7 | 41.0 | 33.7 | 34.9 | 1.8 | 4.8 | 1.2 |
| | 分類不能 | 16 | 43.8 | 43.8 | 37.5 | 43.8 | 18.8 | 25.0 | 18.8 | 6.3 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | 0.0 | 31.3 | 50.0 | 31.3 | 37.5 | 0.0 | 6.3 | 0.0 |

### （２）子育てをしていて、楽しさと大変さとどちらを感じることが多いか

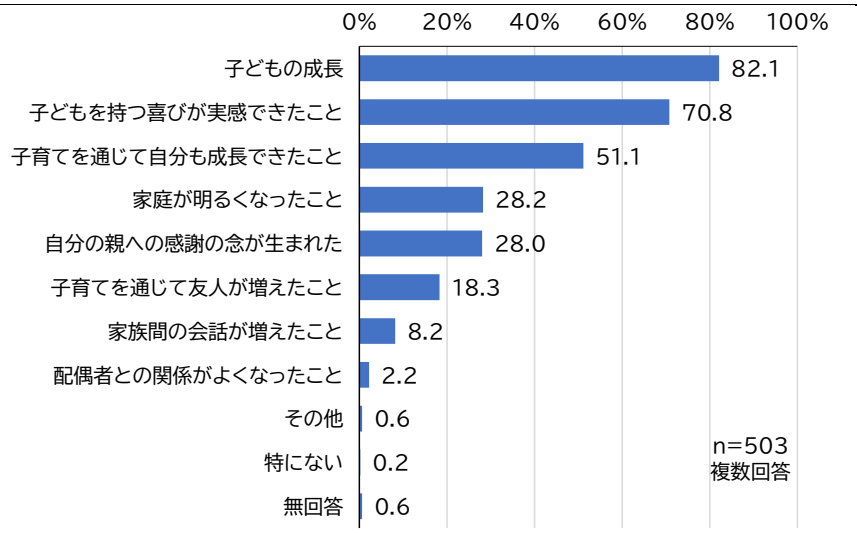
**問 47　現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じることが多いですか。（◯は１つ）**




子育てをしていて、楽しさと大変さとどちらを感じることが多いかは、「楽しさを感じることが多い」が 33.4%で最も高く、次いで「楽しさと大変さを同等に感じる」が 29.2%、「どちらかといえば楽しさを感じることが多い」29.0%となっており、９割以上の方は、楽しさを感じている。

### （３）子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと

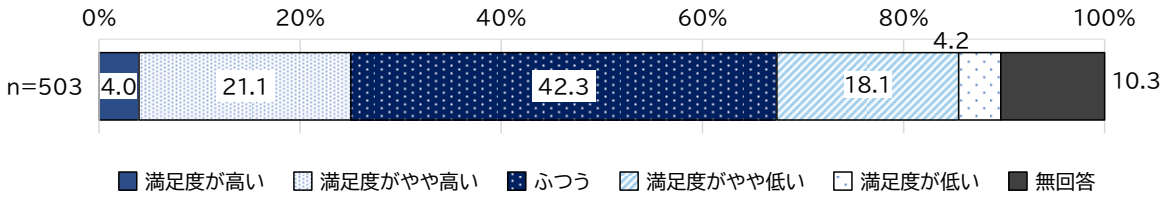
**問 48　子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは何ですか。（◯は３つまで）**




子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは、「子どもの成長」が 82.1%で最も高く、次いで「子どもを持つ喜びが実感できたこと」が 70.8%、「子育てを通じて自分も成長できたこと」が 51.1%となっている。

### （４）地域における子育ての環境や支援の満足度

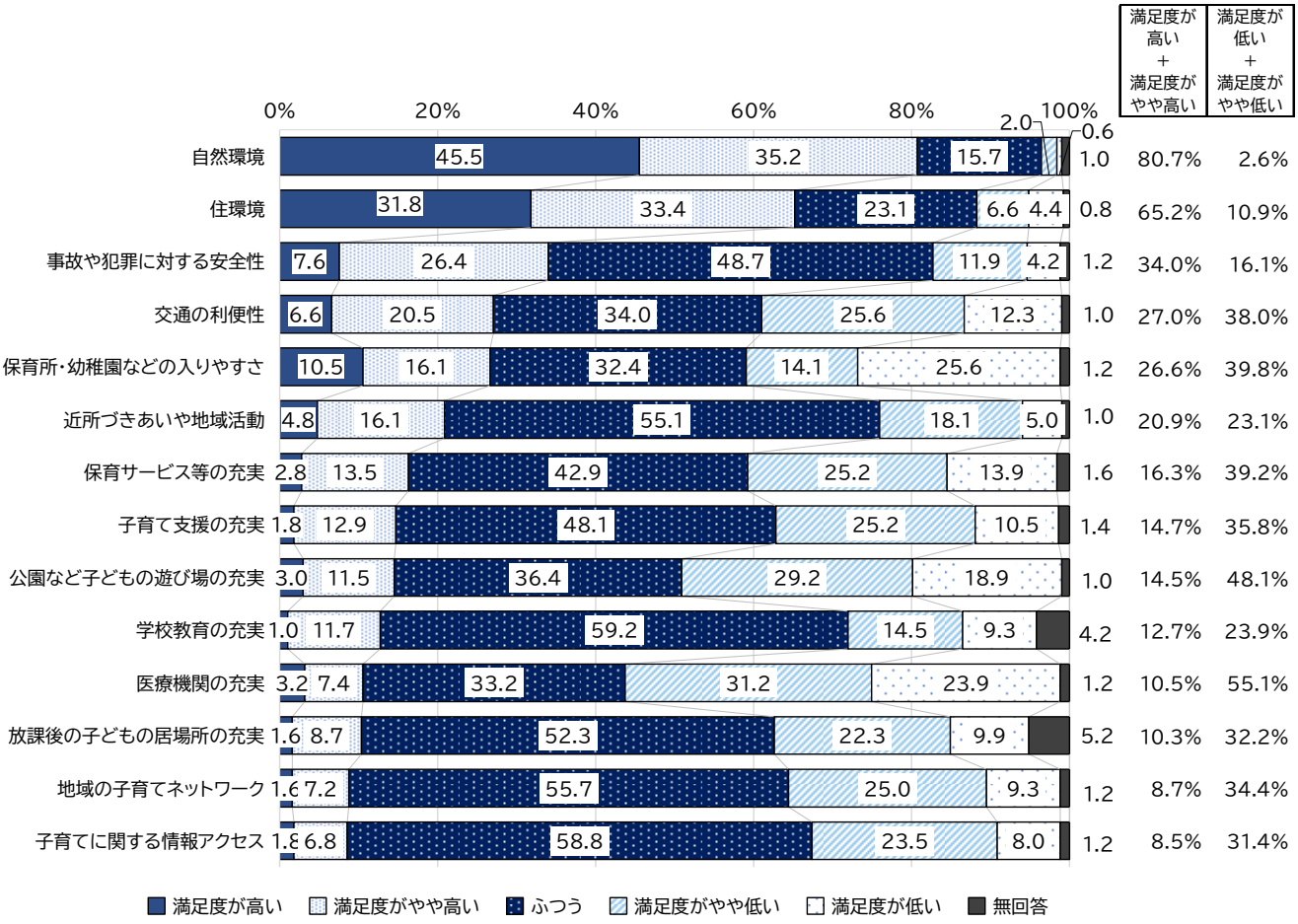
**問 49　お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。（◯は１つ）**




地域における子育ての環境や支援の満足度は、「ふつう」が 42.3%で最も高く、次いで「満足度がやや高い」が 21.1%、「満足度がやや低い」が 18.1%となっている。

### （５）環境要因別の満足度

**問 50　各項目の満足度を教えてください。（それぞれ「１～５」のいずれかに○を１つ）**

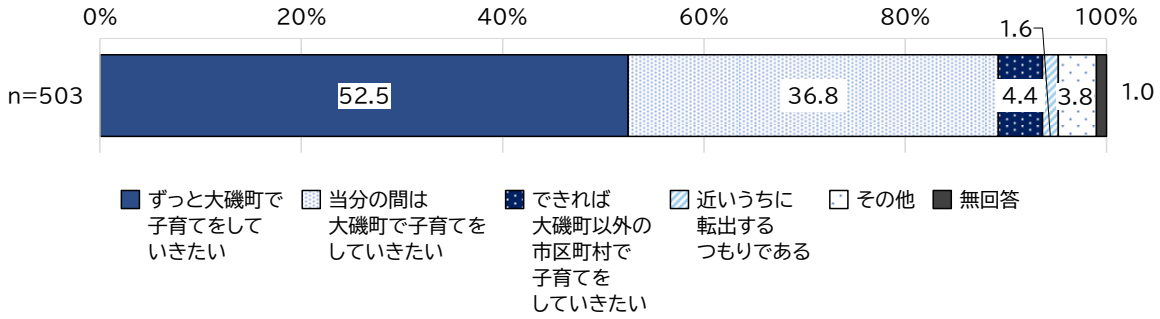



環境要因別の満足度は、「満足度が高い」と「満足度がやや高い」を足した『満足度が高い』割合は、「自然環境」が 80.7%で最も高く、次いで「住環境」が 65.2%、「事故や犯罪に対する安全性」が 34.0%となっている。

一方、「満足度が低い」と「満足度がやや低い」を足した『満足度が低い』割合は、「医療機関の充実」が 55.1%で最も高く、次いで「公園など子どもの遊び場の充実」が 48.1%、「保育所・幼稚園などの入りやすさ」が 39.8%となっている。

### （６）今後も、大磯町で子育てをしていきたいと思うか

**問 51　今後も、大磯町で子育てをしていきたいと思いますか。（◯は１つ）**

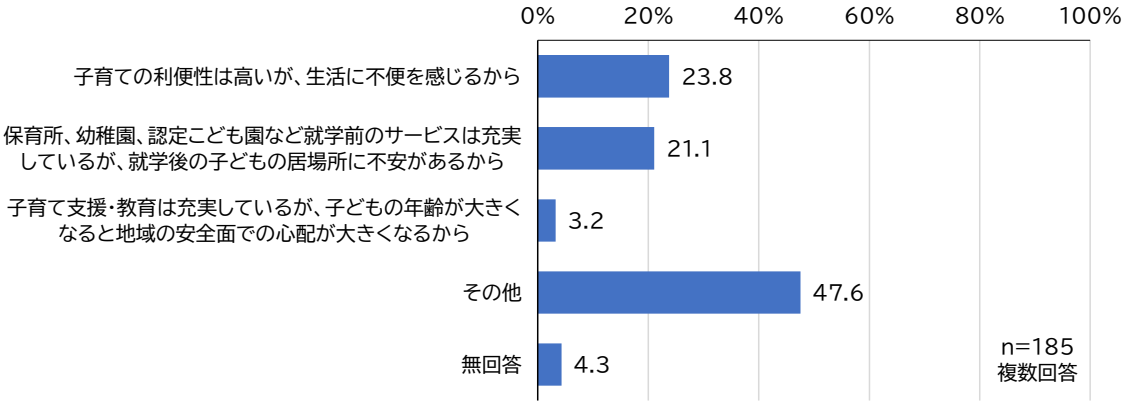



今後も、大磯町で子育てをしていきたいと思うかは、「ずっと大磯町で子育てをしていきたい」が 52.5%で最も高く、次いで「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」が 36.8%となっている。

### （７）「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」理由

**【問 51 で「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」に回答した方】**

**問 51-1　「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」と思う理由は何ですか。（◯は１つ）**



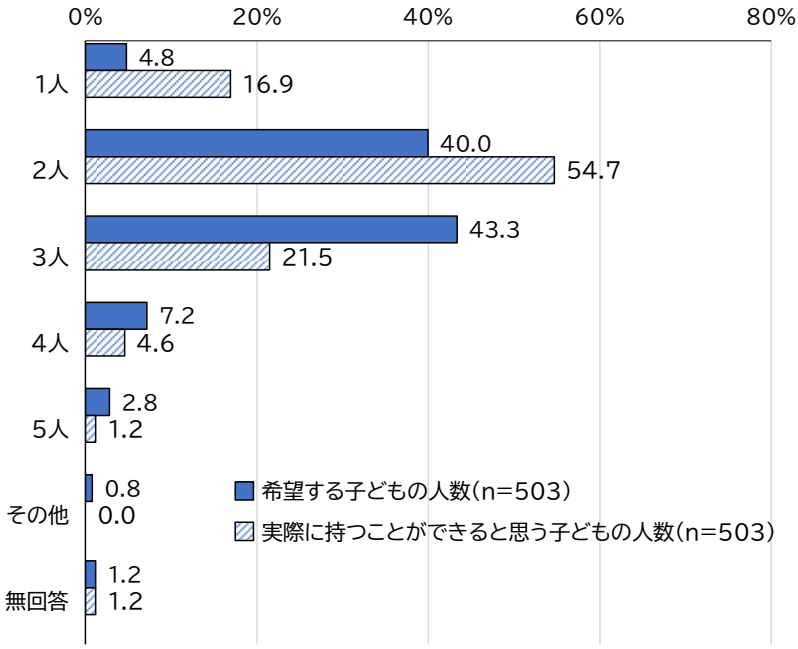

「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」理由は、「子育ての利便性は高いが、生活に不便を感じるから」が 23.8%で最も高く、次いで「保育所、幼稚園、認定こども園など就学前のサービスは充実しているが、就学後の子どもの居場所に不安があるから」が 21.1%となっている。

その他では、72 名の方から 77 件の意見が挙げられました。

| その他内容 | 件数 | その他内容 | 件数 |
|---|---|---|---|
| 家を買った | 10 | 町の政策が変わりすぎて | 4 |
| 状況に適した所に住みたいため | 8 | （不安大磯幼稚園がこども園になる計画がなくなるなど） | |
| 子どもの支援・教育サービスが不十分 | 8 | 生活が不便だから | 4 |
| 子どもの成長に合わせて考えたい | 6 | 危ないところが多い | 3 |
| 実家があるため | 5 | 小児科がないため | 2 |
| 仕事の都合（転勤の可能性） | 5 | 教育面が不安 | 2 |
| 先のことはわからない | 5 | お金 | 1 |
| 学校が子どもに合わなかったら引越す | 4 | 災害時に不安 | 1 |
| 小学校の良い噂をきかないため | 4 | 狭い町でプライバシーが守れない | 1 |
| 中学校以降の選択肢が少ない | 4 | 合計 | 77 |

### （８）「希望する子どもの人数」と「実際に持つことができると思う子どもの人数」

**問 52　「希望する子どもの人数」と「実際に持つことができると思う子どもの人数」について伺います。（それぞれに○は１つ）**



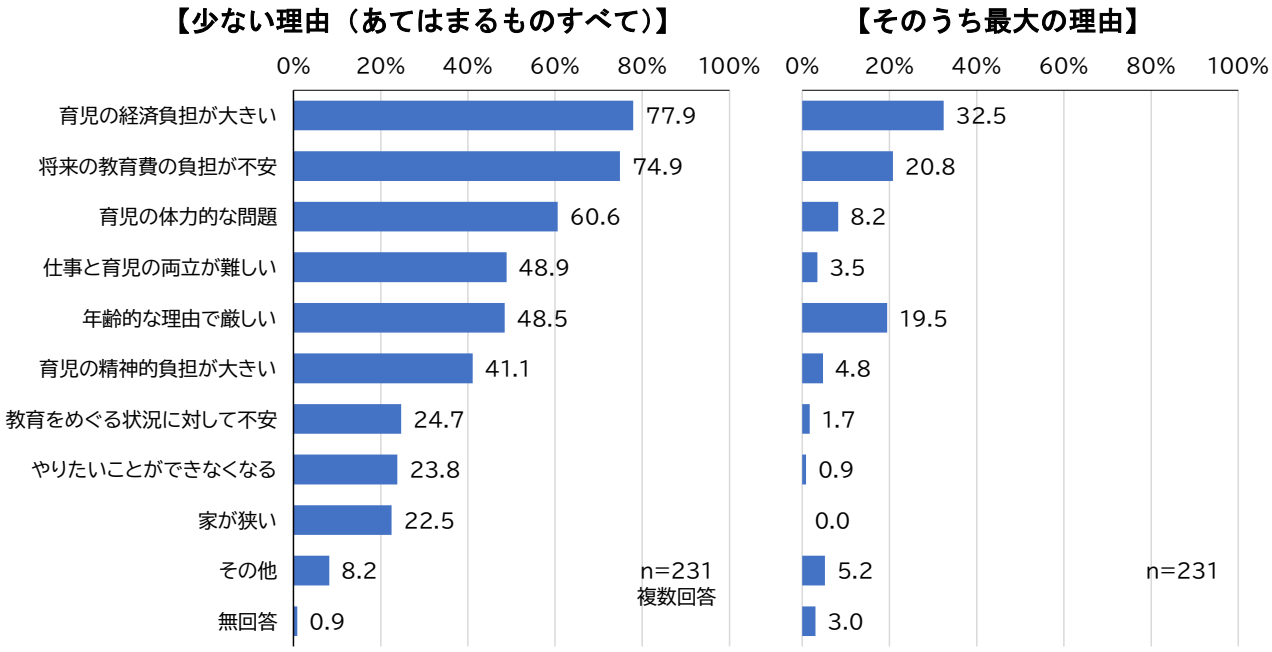

「希望する子どもの人数」は、「３人」が 43.3%で最も高く、次いで「２人」が 40.0%となっている。

「実際に持つことができると思う子どもの人数」は、「２人」が 54.7%で最も高く、次いで「３人」が 21.5%となっている。

### （９）「実際に持つことができると思う子どもの人数」が「希望する子どもの人数」より少ない理由

**【問 52 で「実際に持つことができると思う子どもの数」が「希望する子どもの数」より少なかった方】**

**問 52-1　あてはまる理由をお選びください。（あてはまるものすべてに○）なかでも最大の理由をお選びください。（○は１つ）**



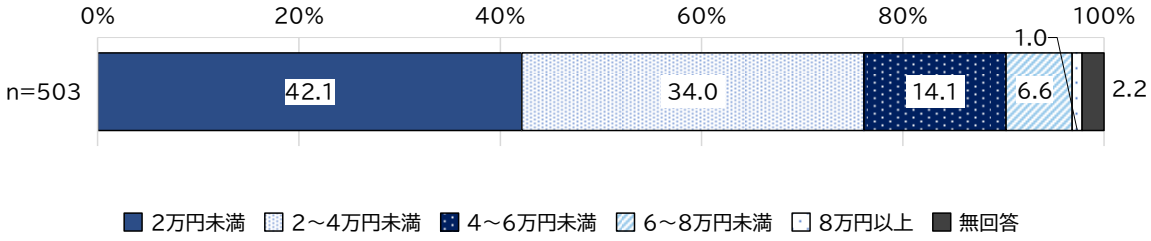

「実際に持つことができると思う子どもの人数」が「希望する子どもの人数」より少ない理由は、「育児の経済負担が大きい」が 77.9％で最も高く、次いで「将来の教育費の負担が不安」が 74.9％、「育児の体力的な問題」が 60.6％となっている。

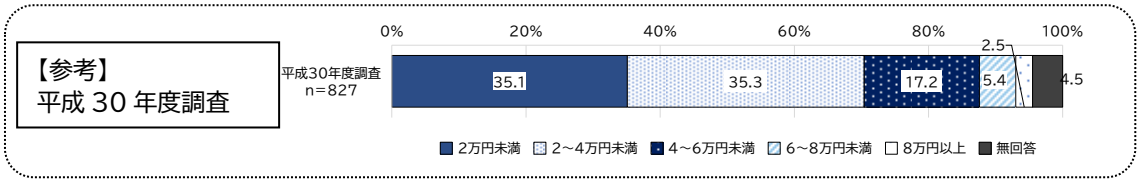
少ない理由のうちで最大の理由は、「育児の経済負担が大きい」が 32.5％で最も高く、次いで「将来の教育費の負担が不安」が 20.8％、「年齢的な理由で厳しい」が 19.5％となっている。

## 14. 子育てにかかる費用等について

### （1） 1ヶ月あたりにかかる子育ての費用

**問 53　「お子さん」の子育てにかかっている費用は１カ月いくら位ですか。食費は除いてください。（◯は１つ）**



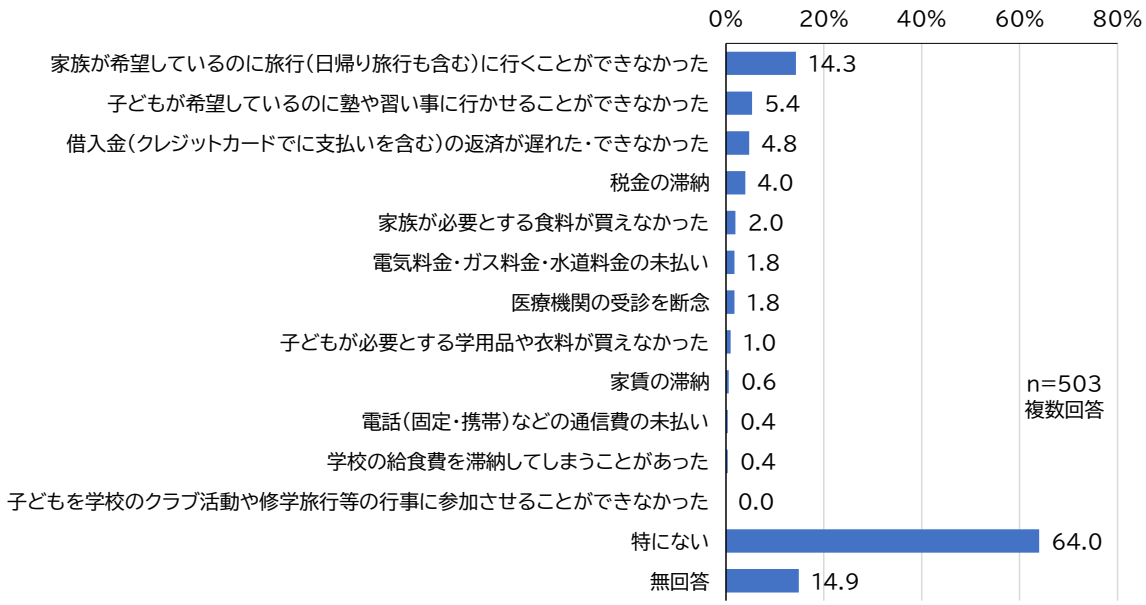




1ヶ月あたりにかかる子育ての費用は、「2 万円未満」が 42.1%で最も高く、次いで「2～4 万円未満」が 34.0%、「4～6 万円未満」が 14.1%となっている。

平成 30 年度調査と比較すると、「2 万円未満」が 7 ポイント増加し、「4～6 万円未満」が 3.1 ポイント減少している。

### （２）過去１年間に経済的理由により経験したこと

**問 54　「お子さん」の世帯では、過去１年間に経済的理由により、次のような経験をしたことはありますか。（あてはまるものすべてに○）**




過去１年間に経済的理由により経験したことは、「特にない」が 64.0％で最も高くなっている。

経験をしたことについては、「家族が希望しているのに旅行（日帰り旅行も含む）に行くことができなかった」が 14.3％で最も高く、次いで「子どもが希望しているのに塾や習い事に行かせることができなかった」が 5.4％、「借入金（クレジットカードでに支払いを含む）の返済が遅れた・できなかった」が 4.8％、「税金の滞納」が 4.0％となっている。

### （3）今後、子育て支援策として充実していけばよいこと

**問 55　最後に今後、子育て支援策として、どのようなことが充実していけばよいとお考えですか。ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。**

自由記述では、311 名の方から 764 件の意見をいただきました。

| 意見内容 | 件数 | 意見内容 | 件数 |
|---|---|---|---|
| 保育園・幼稚園、こども園の充実、改善（待機児童問題含む） | 110 | 交流の推進（地域住民、保護者、他世代） | 7 |
| 経済的に苦しい、経済的支援、無償化 | 70 | 広報、広聴の充実 | 7 |
| 公園の充実、整備、増設 | 57 | ほかの自治体を参考にしてほしい | 7 |
| 医療の充実 | 51 | 図書館の充実 | 6 |
| 学童、預け先の充実（臨時、長期休暇） | 51 | 高齢者視点からの脱却、子ども中心 | 5 |
| 児童館、子ども関連施設の設置、充実 | 32 | 乳児を連れて外出できる環境 | 5 |
| 子育て世代への協力、子育てしやすい環境 | 28 | スポーツ環境の充実 | 5 |
| 遊び場の充実 | 20 | 学校や地域役員の負担軽減、見直し | 5 |
| 給食の充実（中学校給食、無償化） | 18 | 障害児の支援、発達障害児支援・療育の充実 | 4 |
| 移動支援、送迎 | 18 | IT化（オンライン化、デジタル化） | 4 |
| 習い事の充実 | 17 | 道路、歩道の整備 | 4 |
| 第2子以降への支援（多胎児支援含む） | 16 | 大磯らしさ、魅力を活かす | 3 |
| 雇用環境の改善、働きやすく休みやすく | 16 | 学校からの情報発信、連携 | 3 |
| 商業施設（物販、飲食）の充実、誘致 | 15 | 教員、保育者の資質向上 | 3 |
| 病児保育 | 13 | 幼・保・小・中の連携 | 3 |
| 教員、保育者の増員、負担軽減 | 12 | 勉強できる環境、場所の充実 | 3 |
| 妊娠、出産、周産期支援 | 11 | 交通安全対策 | 3 |
| 防犯・防災対策、安全安心 | 11 | 駐車場・駐輪場の充実 | 3 |
| イベントの開催、体験学習など | 10 | 多様なニーズに基づいた支援 | 3 |
| 豊かな自然環境を活かす | 10 | 学用品・制服（高い、再利用・リサイクルしたい） | 2 |
| 公共交通機関の充実 | 9 | 親の資質向上、保護者への教育 | 2 |
| 教員、保育者の待遇改善 | 8 | 子どもが成長してから（小・中・高・大学生）の子育て支援 | 1 |
| 親（特に母親）の負担軽減 | 8 | 子ども食堂 | 1 |
| 学校環境の整備、改善、充実 | 7 | 公共施設の充実 | 1 |
| 行政サービスの充実、職員の資質向上 | 7 | 父親の意識改革、ジェンダーレス | 1 |
| 教育内容の充実、学力向上（行事、部活含む） | 6 | アンケートについて | 21 |
| 相談（法律相談、トラブル解決、いじめ等） | 6 | その他 | 9 |
| 学校の増設、学区の見直し | 6 | 合計 | 764 |

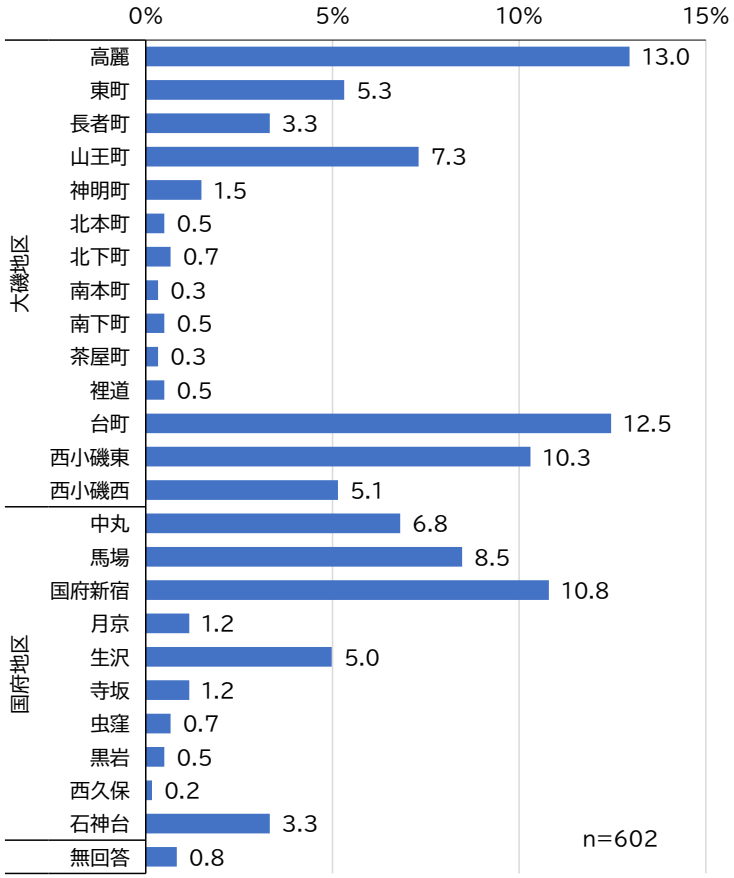
今後、子育て支援策として充実していけばよいことは、「保育園・幼稚園、こども園の充実、改善（待機児童問題含む）」に関することが 110 件で最も高く、次いで「経済的に苦しい、経済的支援、無償化」が 70 件、「公園の充実、整備、増設」が 57 件の順となっている。

# Ⅲ　調査結果（小学生）

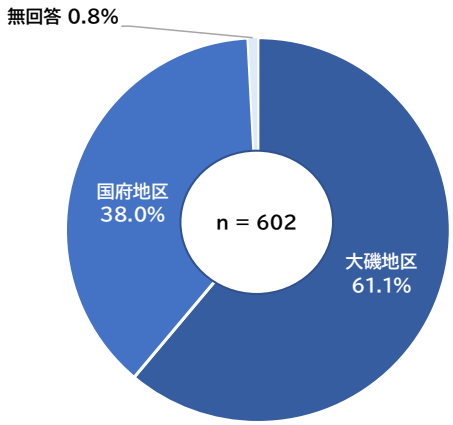
## １．子どもと家族の状況について

### （１）居住地区

**問１　お住まいの地区はどこですか。（○は１つ）**




| 大磯地区 | 国府地区 |
|---|---|
| 高麗、東町、長者町、山王町、神明町、北本町、北下町、南本町、南下町、茶屋町、裡道、台町、西小磯東、西小磯西 | 中丸、馬場、国府新宿、月京、生沢、寺坂、虫窪、黒岩、西久保、石神台 |

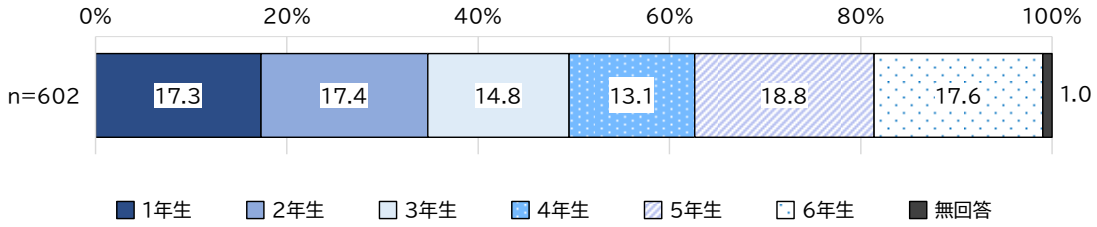



居住地区は「高麗」が 13.0％で最も高く、次いで「台町」が 12.5％、「国府新宿」が 10.8％となっている。

地区別にみると、「大磯地区」が 61.1％、「国府地区」が 38.0％となっている。

### （２）子どもの年齢

**問２　「お子さん」の生年月をご記入ください。（数字で記入）**

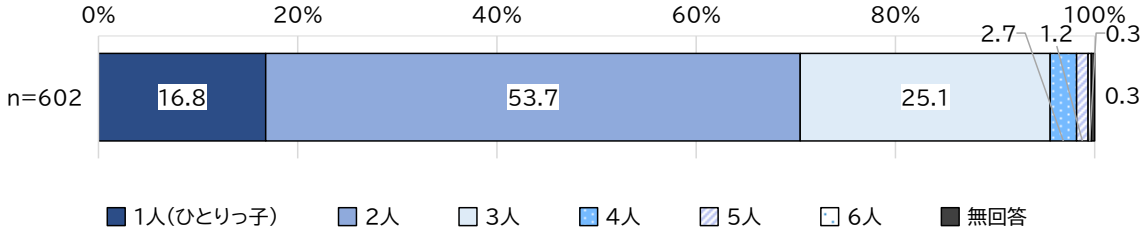



子どもの年齢は、「小学校５年生」が 18.8%で最も高く「小学校４年生」が 13.1%で最も低くなっている。

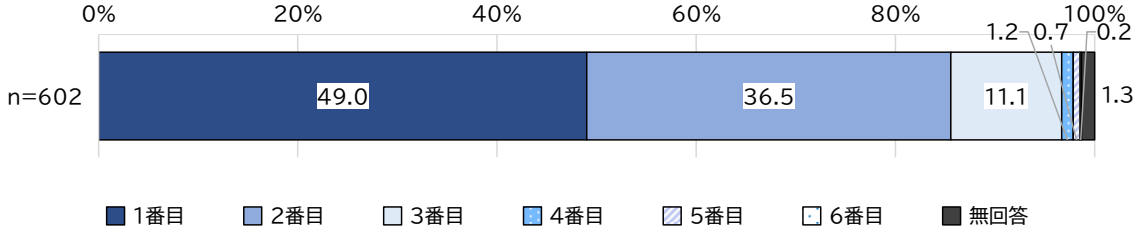
### （３）子どものきょうだい数

**問３　「お子さん」のきょうだいは、「お子さん」を含めて何人ですか。また、「お子さん」は、何番目のお子さんですか。２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。（数字で記入）**　（きょうだいの数には、「お子さん」も含めてください。）

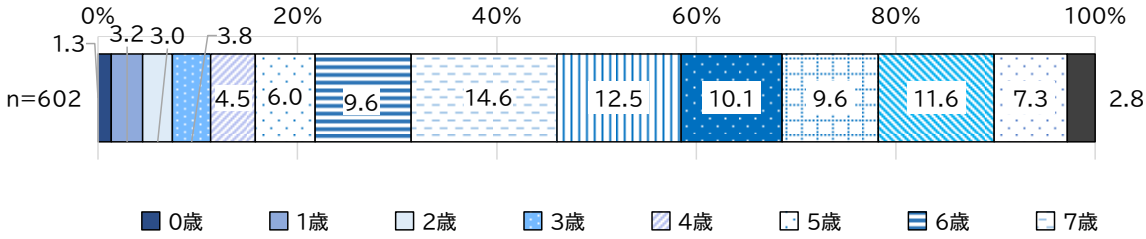
【きょうだいの数】




【きょうだい（何番目）】




【末子の年齢】※きょうだいが２人以上いる方



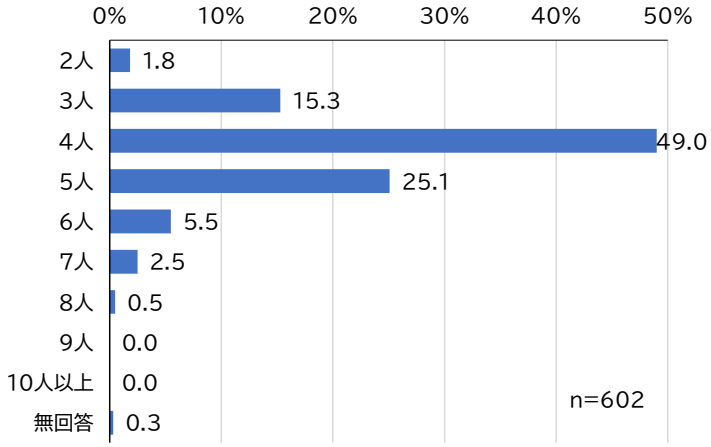

きょうだい数は、「２人」が 53.7%で最も高く、次いで、「３人」が 25.1%、「１人（ひとりっ子）」が 16.8%となっている。

あて名のお子さんは、「１番目」が 49.0%で最も高く、次いで「２番目」が 36.5%、「３番目」が 11.1%となっている。

末子の年齢は、「７歳」が 14.6%で最も高く、次いで「８歳」が 1.4%、「11 歳」が 11.6%となっている。

### （４）家族人数

**問４　「お子さん」を含めた、家族全員の人数は何人ですか。（○は１つ）（単身赴任やひとり暮らしのお子さんなど、別居していても生計を一緒にする方はすべて含みます。）**

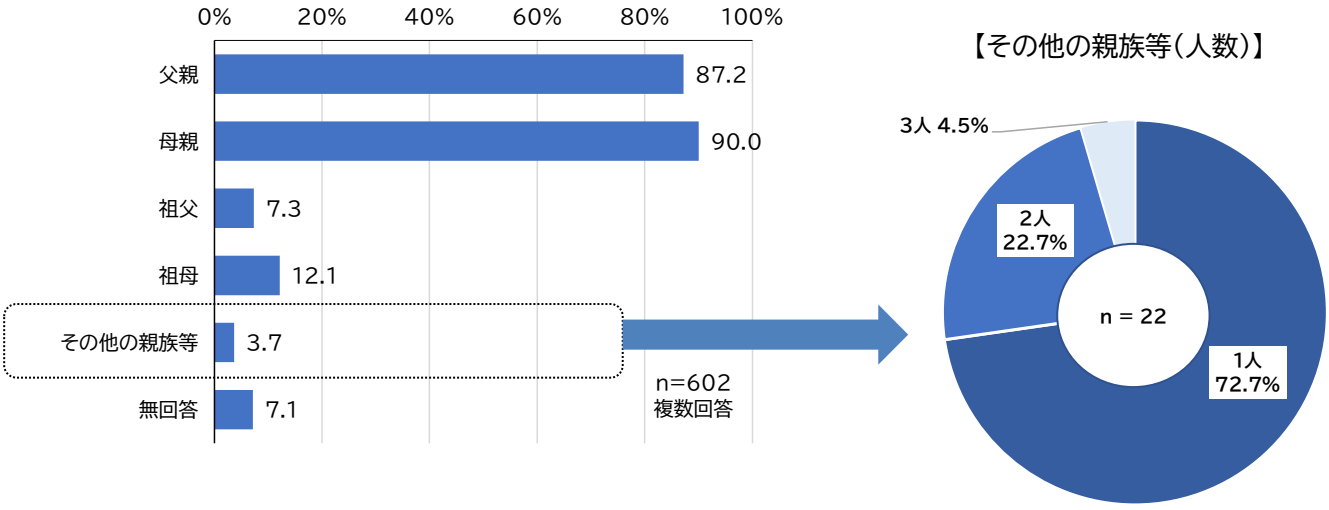



家族人数は、「４人」が 49.0%で最も高く、次いで「５人」が 25.1%、「３人」が 15.3%となっている。

### （５）同居親族等

**問４-1　同居されている親族等（きょうだい以外）は、どなたがいますか。（あてはまるものすべてに○）**

※ 父親、母親が単身赴任等の仕事の都合で別居している場合は同居しているものとしてお答えください。




同居親族等は、「母親」が 90.0%で最も高く、次いで「父親」が 87.2%、「祖母」、「祖父」がそれぞれ 12.1%、7.3%となっている。

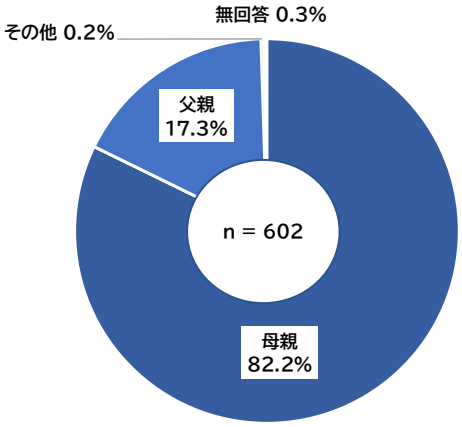
### （６）調査票回答者

**問５　この調査票にご回答いただいている方は、「お子さん」からみてどなたですか。（○は１つ）**

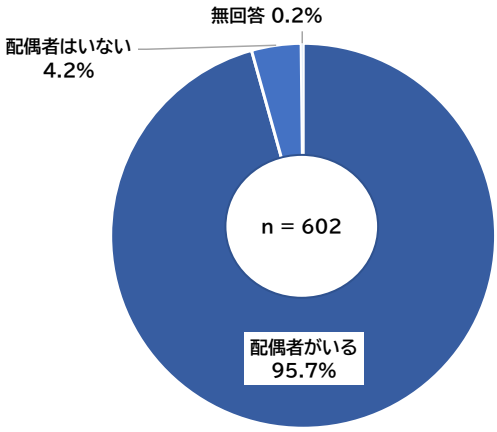
### （７）調査票回答者の配偶者の有無

**問６　この調査票にご回答いただいている方に、配偶者はいらっしゃいますか。（○は１つ）**

【調査票回答者】




【調査票回答者の配偶者の有無】




調査票回答者は、「母親」が 82.2%、「父親」が 17.3%となっている。

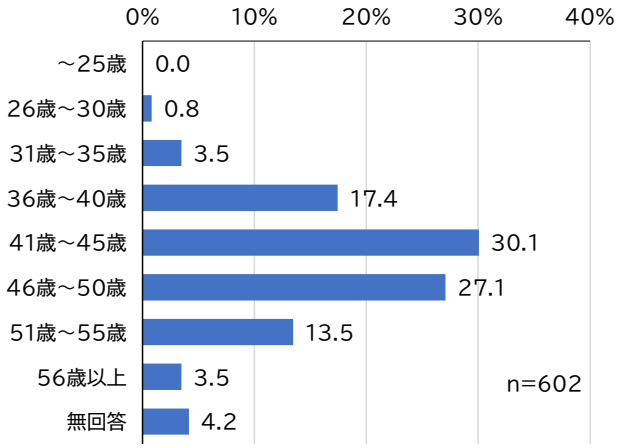
調査票回答者の配偶者の有無は、「配偶者がいる」が 95.7%、「配偶者はいない」は 4.2%となっている。

### （８）父親、母親の年齢

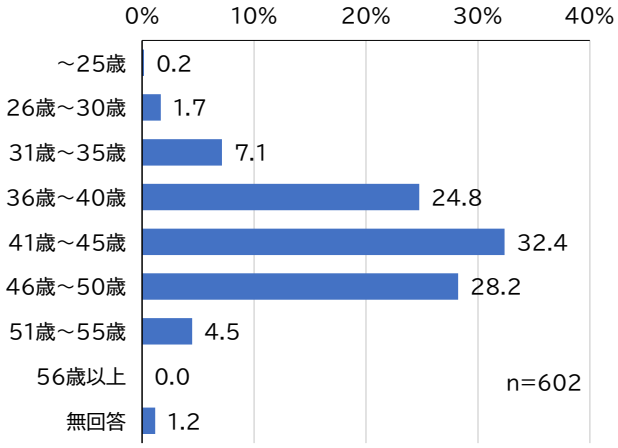
**問７　父親、母親の年齢（令和５年４月１日現在の年齢）を伺います。該当する年齢層を下から選び番号をご記入ください。（数字で記入）**

※ ひとり親家庭の場合は、養育している親の年齢のみご記入ください。

【父親の年齢】




【母親の年齢】

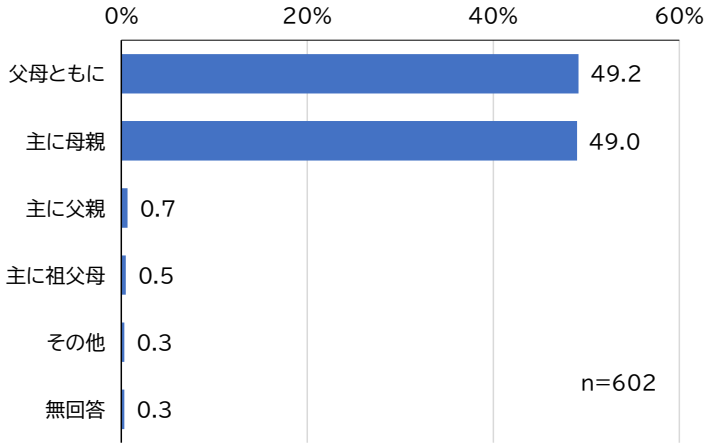


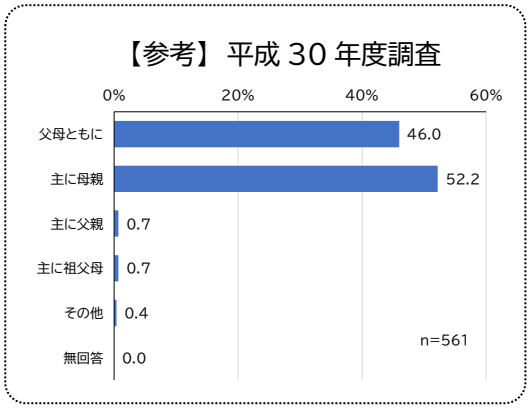

父親の年齢は、「41 歳～45 歳」が 30.1%で最も高く、次いでが 26.2%、「46 歳～50 歳」が 27.1%、「36 歳～40 歳」が 17.4%となっている。

母親の年齢は、「41 歳～45 歳」が 32.4%で最も高く、次いで「46 歳～50 歳」が 28.2%、「36 歳～40 歳」が 24.8%となっている。

### （９）子育てを主に行っている人

**問８「お子さん」の子育て（教育を含む）を主に行っているのは、「お子さん」からみてどなたですか。（◯は１つ）**



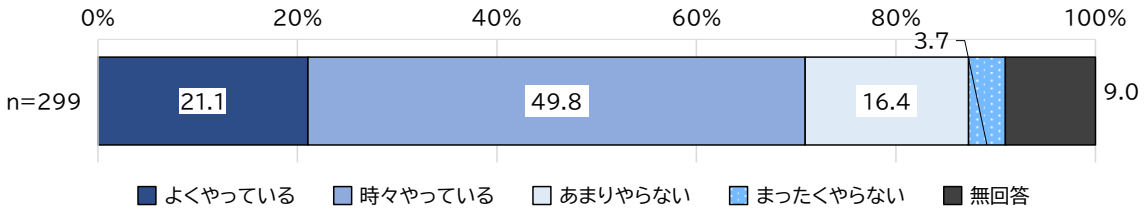




子育てを主に行っている人は、「父母ともに」と「主に母親」がそれぞれ 49.2%、49.0%で拮抗して高くなっている。

平成 30 年度調査と比較すると、「主に母親」が 3.2 ポイン増加し、「父母ともに」が 3.2 ポイント減少している。

### （10）配偶者の子育て協力状況

**【問８で「主に母親」もしくは「主に父親」に回答された方（ひとり親家庭の場合は回答不要）】**
**問８-1 その配偶者は、子育ての分担を協力して行っていますか。（◯は１つ）**

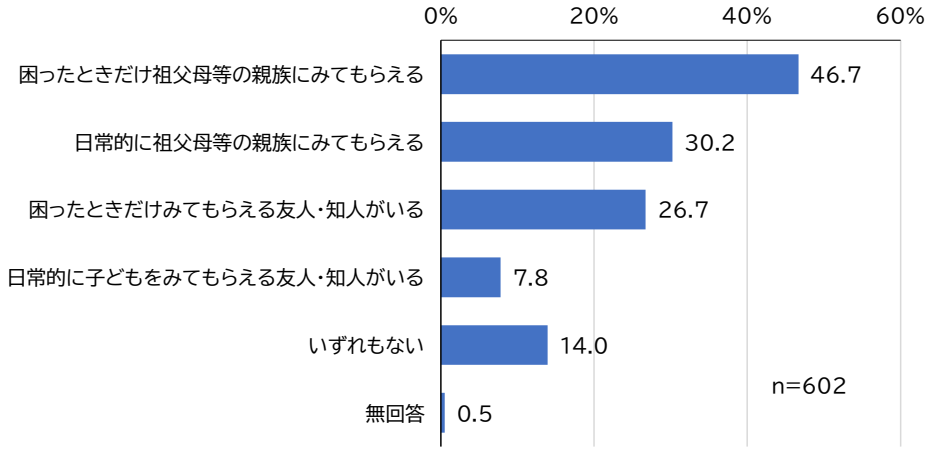



配偶者の子育て協力状況は、「時々やっている」が 49.8%で最も高く、次いで「よくやっている」が 21.1%となっている。

## ２．子どもの育ちをめぐる環境について

### （１）子どもをみてもらえる親族・知人の有無

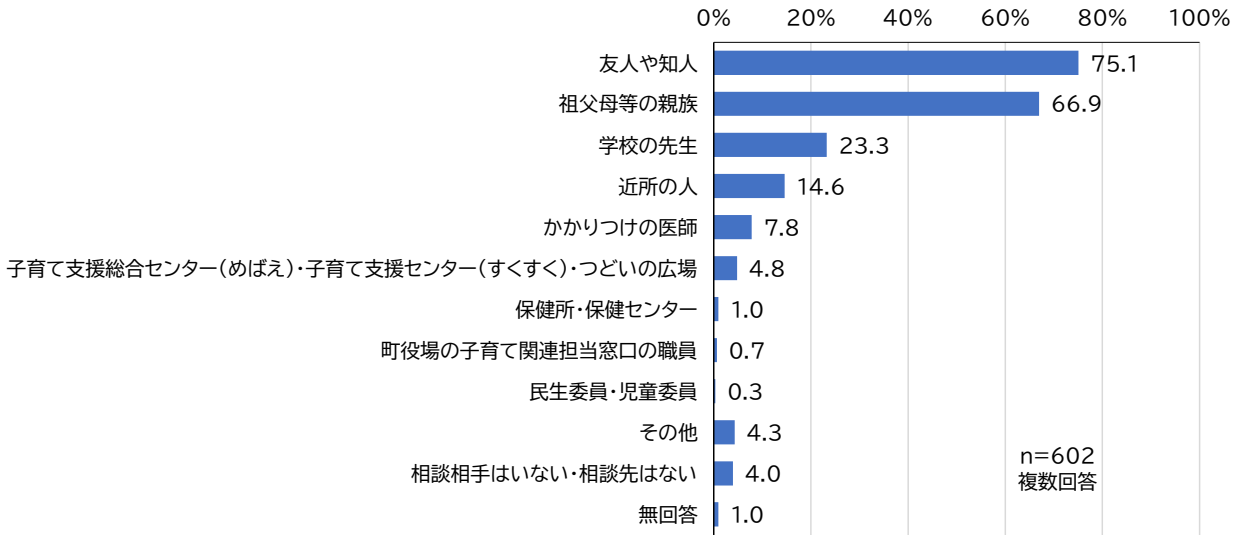
**問９　日頃、「お子さん」をみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）**




子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「困ったときだけ祖父母等の親族にみてもらえる」が 46.7%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 30.2%、「困ったときだけみてもらえる友人・知人がいる」が 26.7%となっている。一方「いずれもいない」は 14.0%となっている。

### （２）子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人

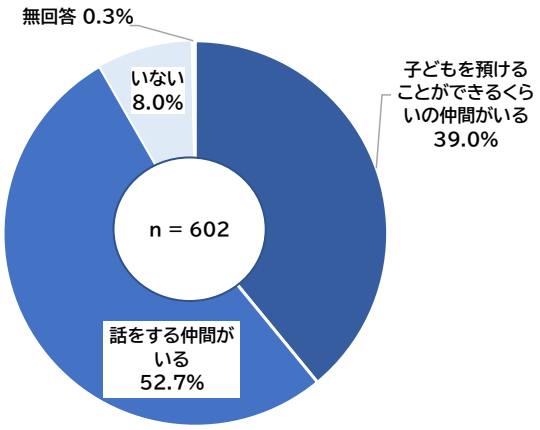
**問 10　「お子さん」の子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（あてはまるものすべてに○）**




子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人は、「友人や知人」が 75.1%で最も高く、次いでが「祖父母等の親族」66.9%、「学校の先生」が 23.3%となっている。一方、「相談相手はいない・相談先はない」は 4.0%となっている。

### （３）子育ての仲間の有無

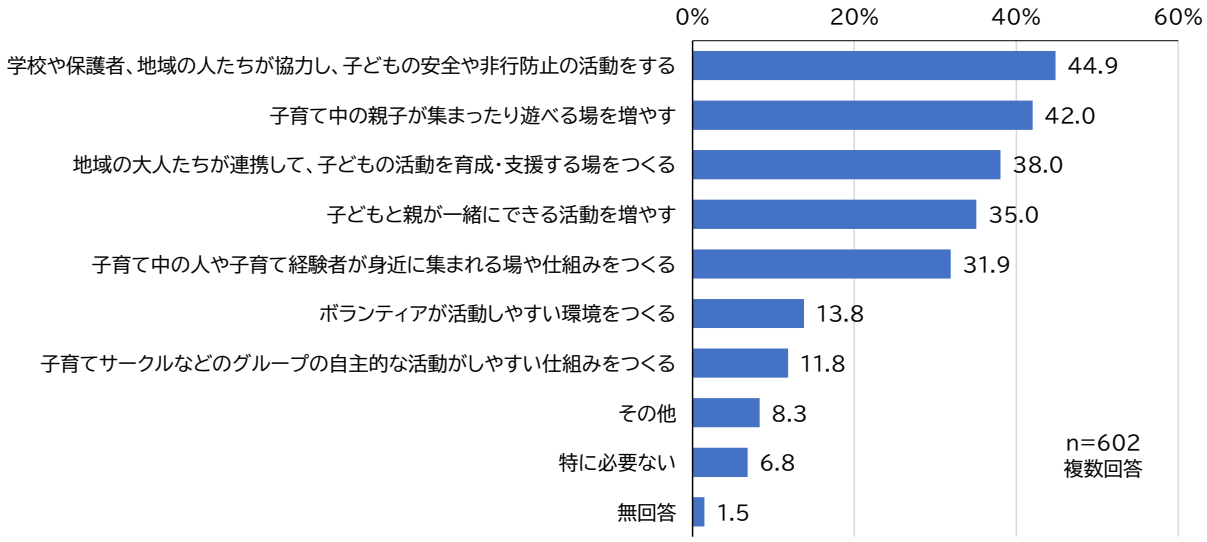
**問 11　あなたの周りには子育ての仲間がいますか。（◯は１つ）**




子育ての仲間の有無は、「話をする仲間がいる」が 52.7%で最も高く、次いで「子どもを預けることができるくらいの仲間がいる」が 39.0%となっている。一方、「いない」は 8.0%となっている。

### （４）安心して子育てをするために必要な地域の取組

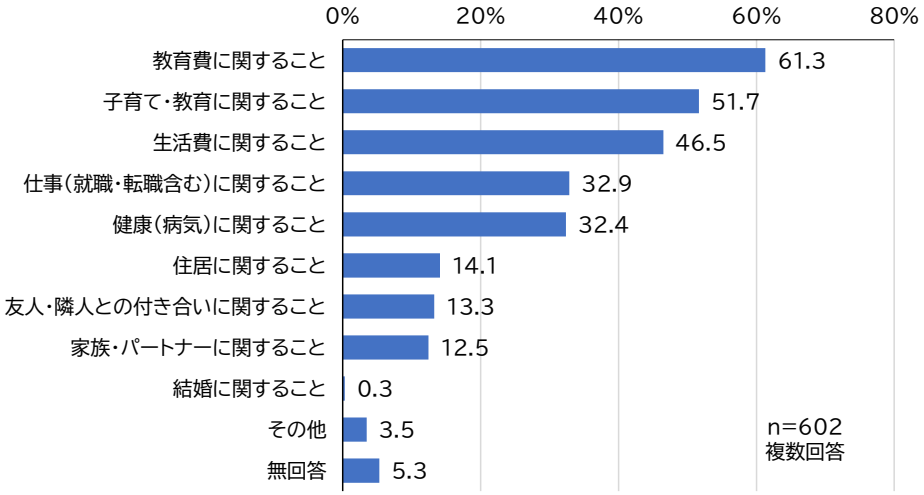
**問 12　安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに◯）**




安心して子育てをするために必要な地域の取組は、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする」が 44.9%で最も高く、次いで「子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす」が 42.0%、「地域の大人たちが連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる」が 38.0%となっている。一方、「特に必要ない」は 6.8%となっている。

### （５）生活するうえでの不安や悩み

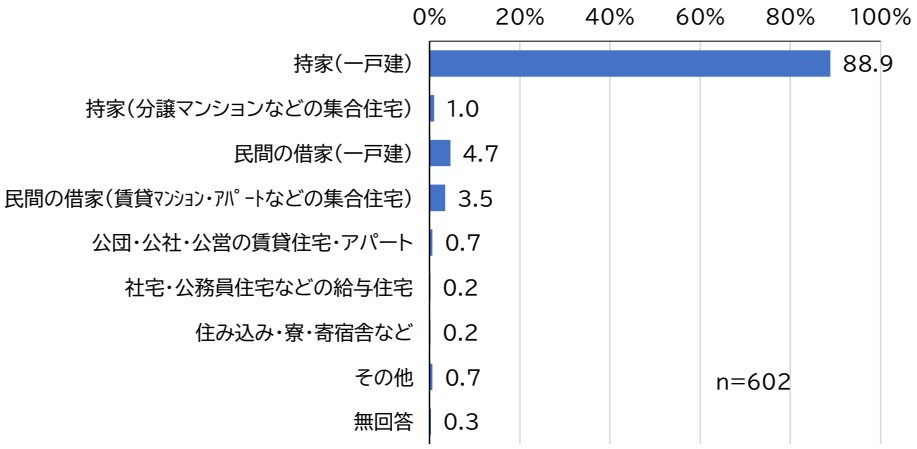
**問 13　生活するうえで、どのような不安や悩みをもっていますか。（あてはまるものすべてに○）**




生活するうえでの不安や悩みは、「教育費に関すること」が 61.3％で最も高く、次いで「子育て・教育に関すること」が 51.7％、「生活費に関すること」が 46.5％となっている。

### （６）現在の住居形態

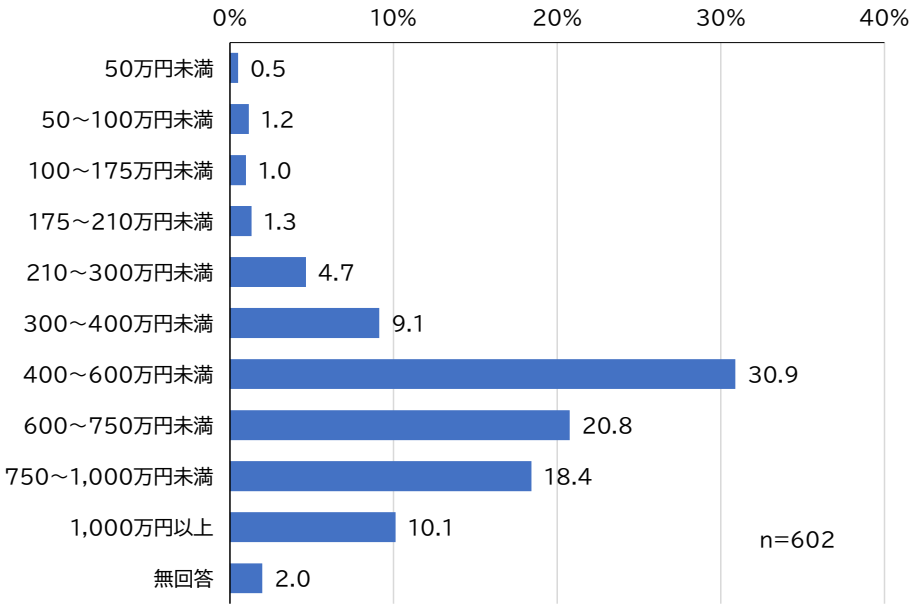
**問 14　現在のお住まいは、次のうちどれにあたりますか。（○は１つ）**




現在の住居形態は、「持家（一戸建）」が 88.9％で最も高く、次いで「民間の借家（一戸建）」が 4.7％、「民間の借家（賃貸マンション・アパートなどの集合住宅）」が 3.5％となっている。

### （７）昨年の世帯全員の合計の手取り収入

**問 15　昨年の世帯全員の合計の手取り収入（税金や保険料を引いた、実際に手元に入ってくるお金）は、次のうちどれにあたりますか。（◯は１つ）**

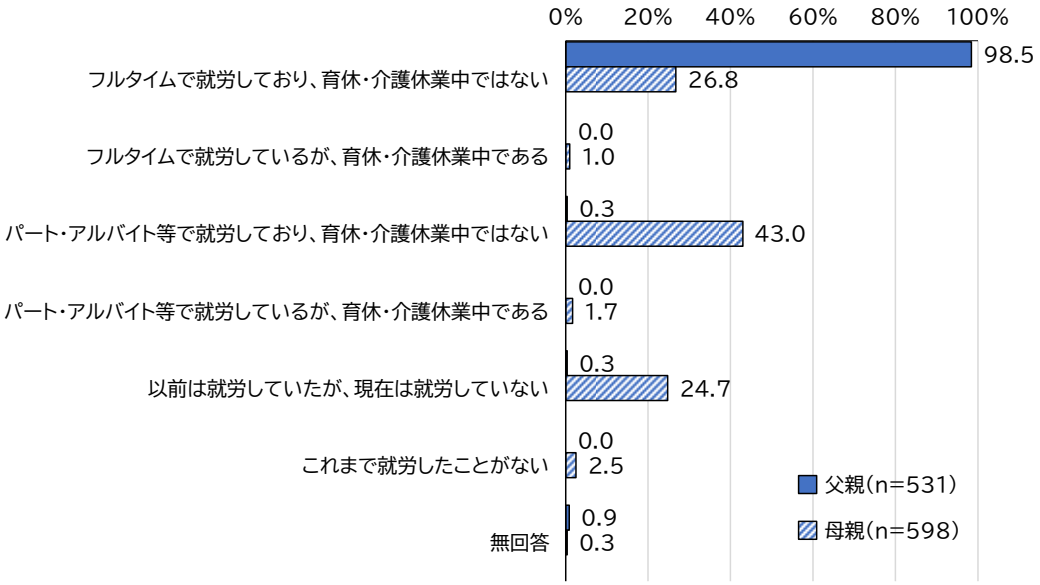



昨年の世帯全員の合計の手取り収入は、「400～600 万円未満」が 30.9%で最も高く、次いで「600～750 万円未満」が 20.8%、「750～1,000 万円未満」が 18.4%となっている。

## ３．保護者の就労状況について

### （１）父母の就労状況

**問 16　「お子さん」の保護者のそれぞれの就労状況等は、次のうちどれにあたりますか。（自営業、家族従事者を含む）（それぞれに◯は１つ）**




父親の就労状況等は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 98.5%と９割以上を占めている。

母親の就労状況等は、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 43.0%で最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 26.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 24.7%となっている。

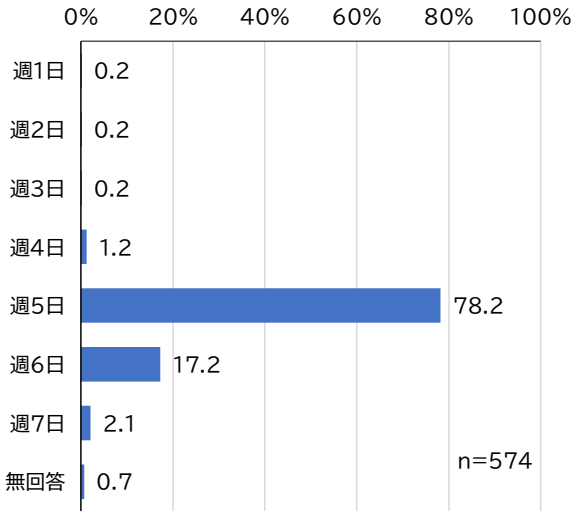
## （２） １週間当たりの就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅時間、通勤時間（片道）

**【問 16 で「フルタイム」または「パート・アルバイト等」で就労していると回答された方】**

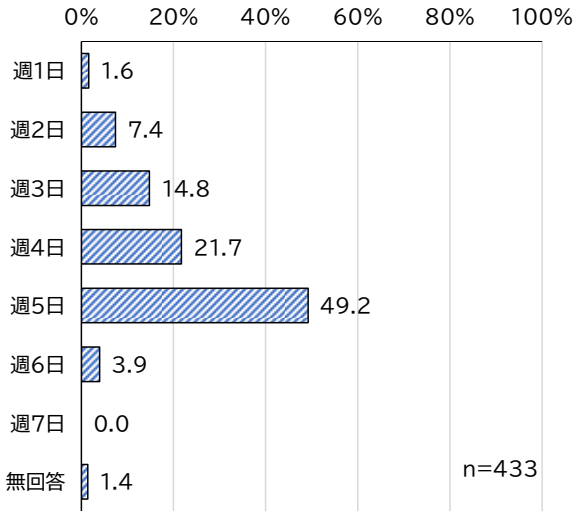
**問 16-1　「１週間当たりの就労日数」と「１日当たりの就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」「帰宅時間」「通勤時間（片道）」は、どれくらいですか。（数字で記入）**

※　就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※　産休･育休･介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数字を記入）
※　時間は必ず 24 時間制でお答えください。（例）18 時 30 分

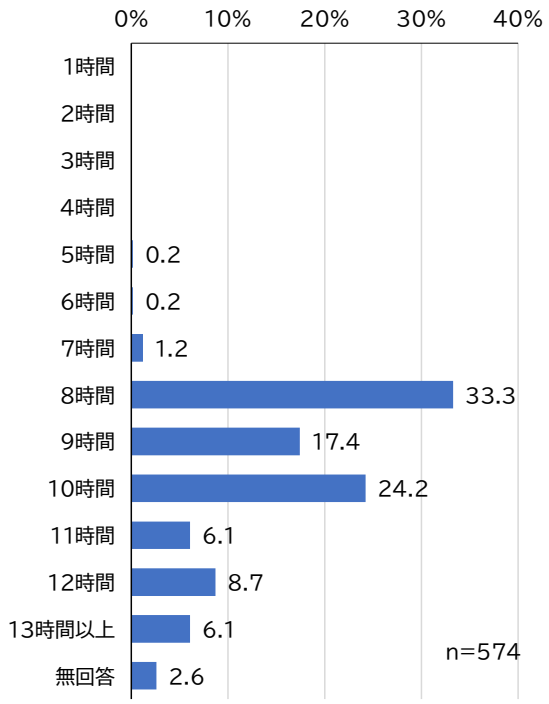
【父親の就労日数】



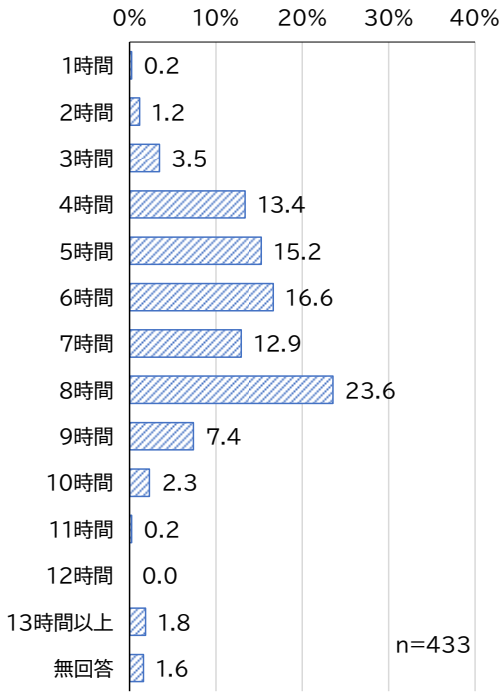

【母親の就労日数】



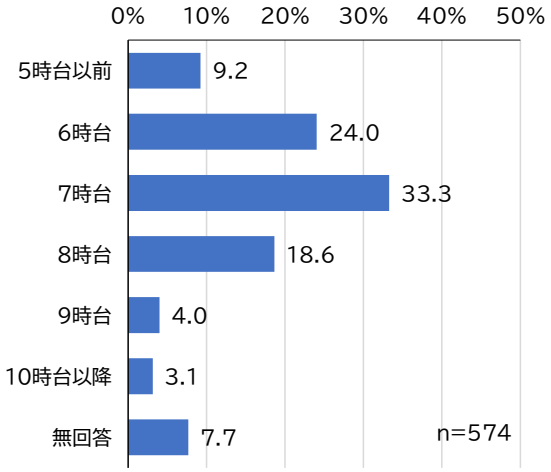

【父親の就労時間】



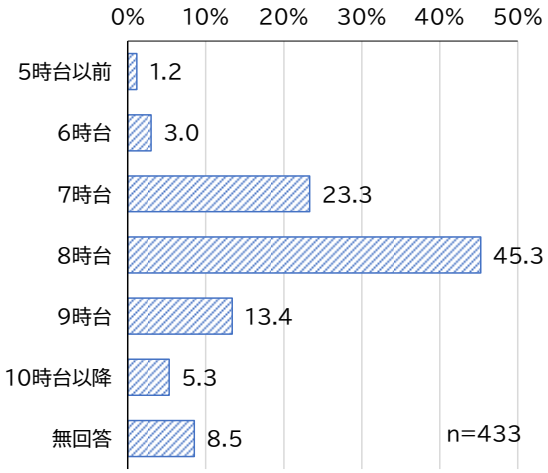

【母親の就労時間】



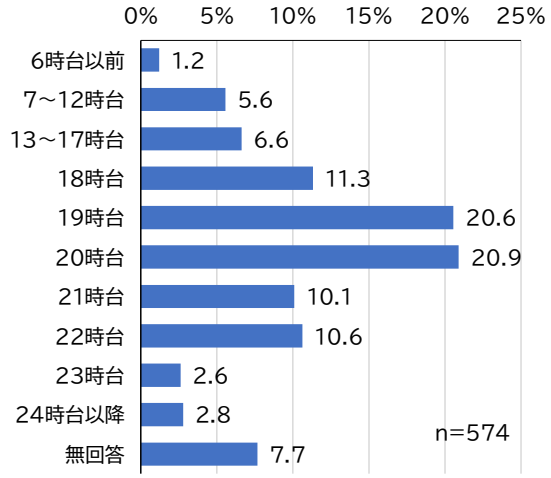
【父親の家を出る時間】



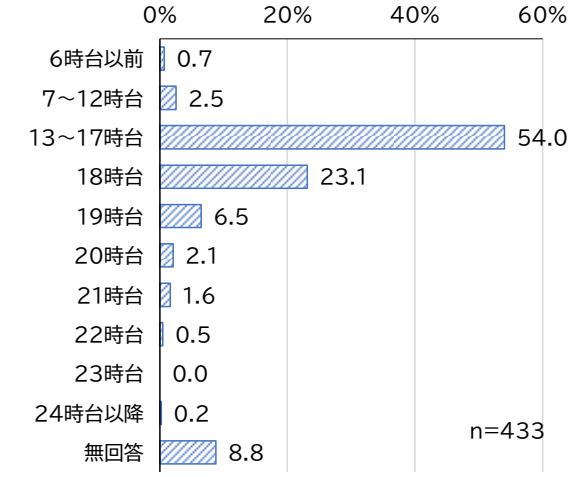

【母親の家を出る時間】



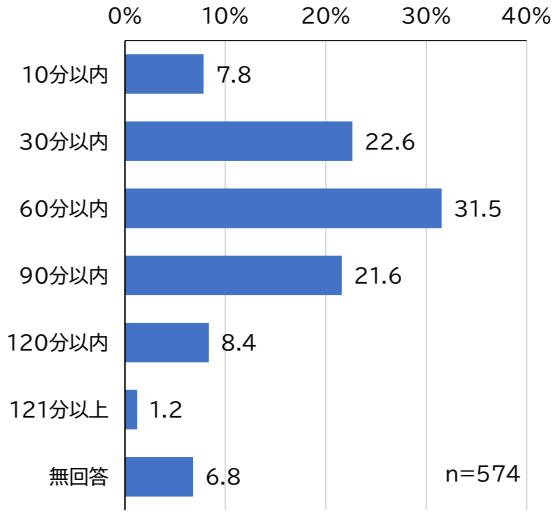

【父親の帰宅時間】



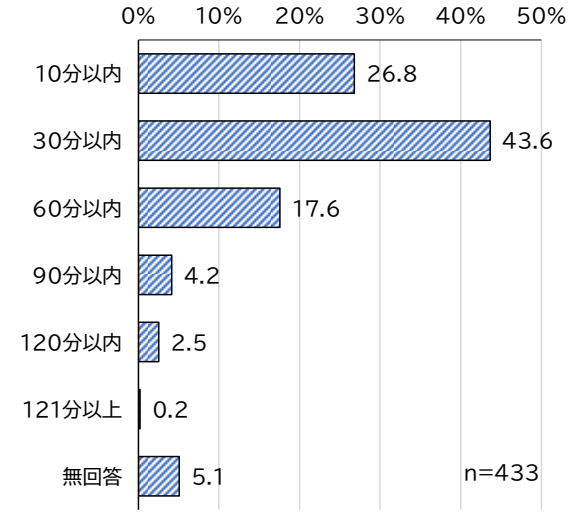

【母親の帰宅時間】




【父親の通勤時間（片道）】




【母親の通勤時間（片道）】



父親の就労日数は、「週５日」が 78.2％で最も高く、次いで「週６日」が 17.2％となっている。

父親の就労時間は、「８時間」が 33.3％で最も高く、次いで「10 時間」が 24.2％、「９時間」が 17.4％となっている。

父親の家を出る時間は、「７時台」が 33.3％で最も高く、次いで「６時台」が 24.0％、「８時台」が 18.6％となっている。

父親の帰宅時間は、「20 時台」が 20.9％で最も高く、次いで「19 時台」が 20.6％、「18 時台」が 11.3％となっている。

父親の通勤時間は、「60 分以内」が 31.5％で最も高く、次いで「30 分以内」が 22.6％、「90 分以内」が 21.6％となっている。

母親の就労日数は、「週５日」が 29.2％で最も高く、次いで「週４日」が 21.7％となっている。

母親の就労時間は、「８時間」が 23.6％で最も高く、次いで「６時間」が 16.6％、「５時間」が 15.2％となっている。

母親の家を出る時間は、「８時台」が 45.3％で最も高く、次いで「７時台」が 23.3％、「９時台」が 13.4％となっている。

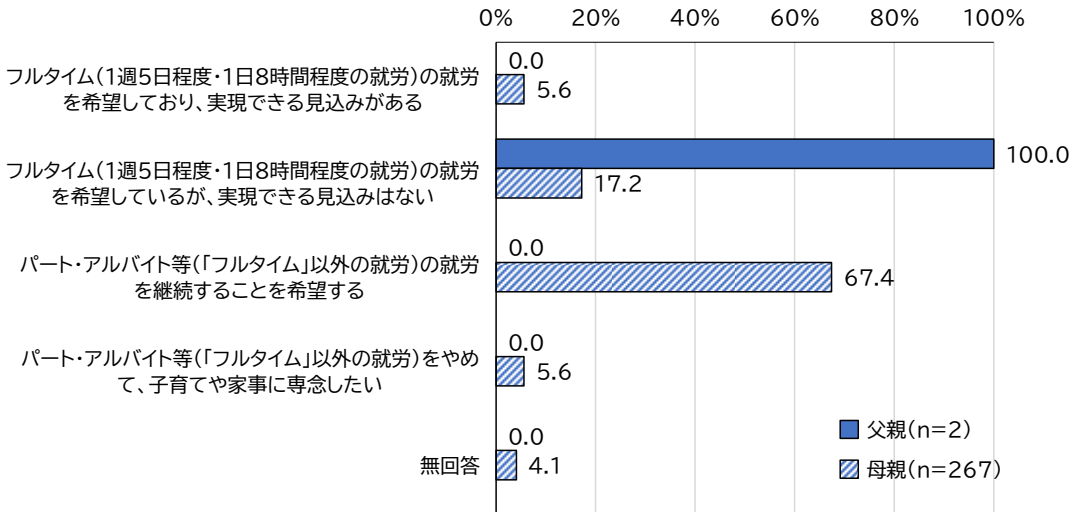
母親の帰宅時間は、「13～17 時台」が 54.0％で最も高く、次いで「18 時台」が 23.1％、「19 時台」が 6.5％となっている。

母親の通勤時間は、「30 分以内」が 43.6％で最も高く、次いで「10 分以内」が 26.8％、「60 分以内」が 17.6％となっている。

### （３）フルタイムへの転換希望

**【問 16 で「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」で就労していると回答された方】**

**問 16-2　今後の就労希望をお聞かせください。（それぞれに◯は１つ）**



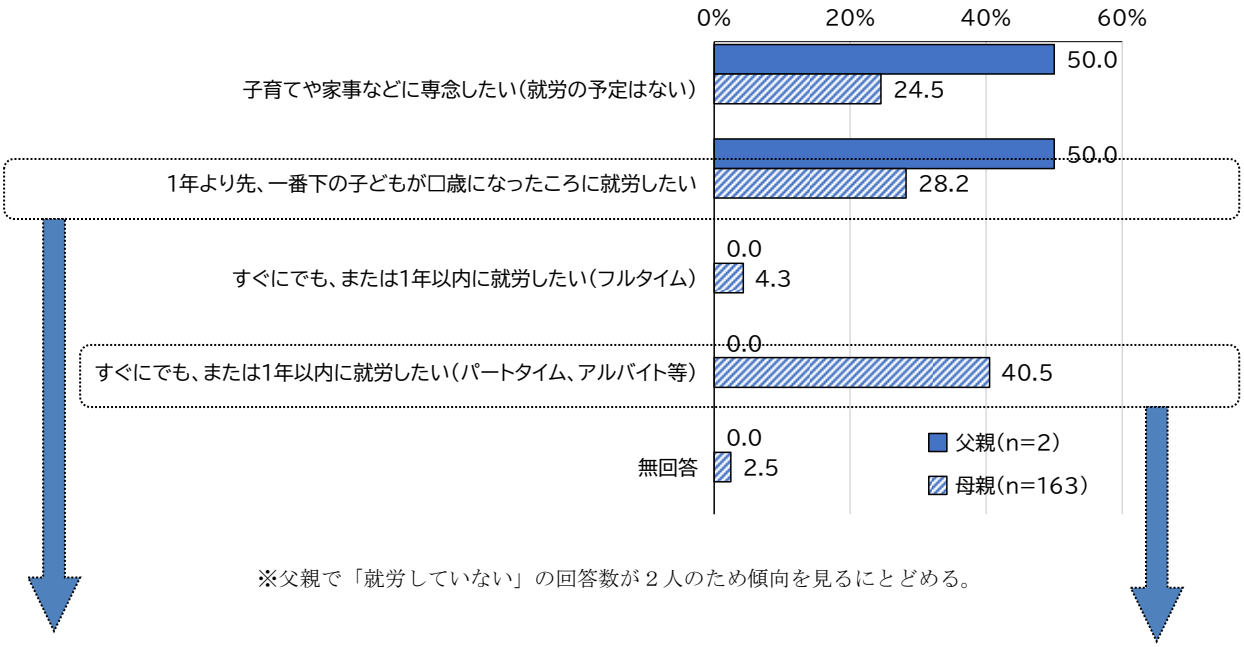

※父親のフルタイムへの転換希望は、回答数が２人のため傾向を見るにとどめる。

母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を継続することを希望する」が 67.4％で最も高く、次いで「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）の就労を希望しているが、実現できる見込みはない」が 17.2％となっている。一方、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）をやめて、子育てや家事に専念したい」は「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）の就労を希望しており、実現できる見込みがある」と同率で 5.6％となっている。

### （４）就労希望

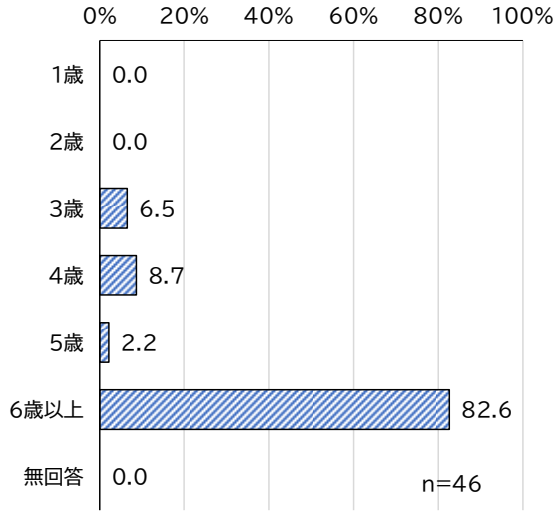
**【問 16 で「就労していない」と回答された方】**

**問 16-3　今後の就労希望はありますか。（それぞれに○は１つ）**

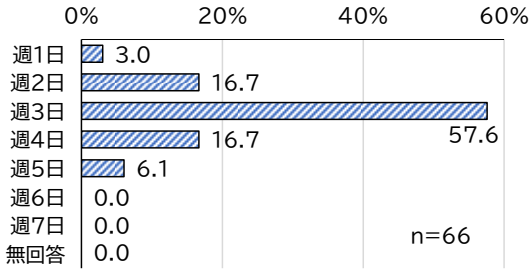



※父親で「就労していない」の回答数が２人のため傾向を見るにとどめる。

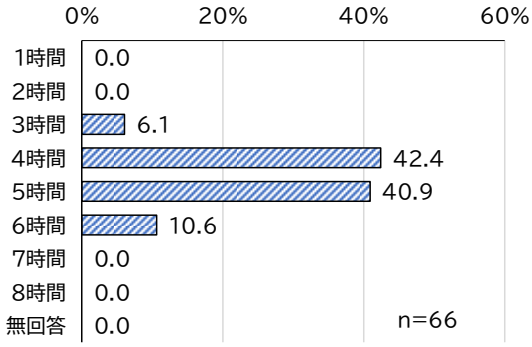
**【母親　就労希望時期（末子の年齢）】**




**【母親のアルバイトの就労希望日数】**




**【母親のアルバイトの就労希望時間】**




母親の就労希望は、「すぐにでも、または１年以内に就労したい（パートタイム、アルバイト等）」が 40.5%で最も高く、次いで「１年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」が 28.2%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 24.5%となっている。

母親の就労を希望する時期は、子どもが「６歳以上」になったらが 82.6%で最も高くなっている。

母親の「すぐにでも、または１年以内に就労したい（パートタイム、アルバイト等）」の就労希望日数は、「週３日」が 57.6%で最も高く、次いで「週４日」と「週２日」が同率で 16.7%となっている。

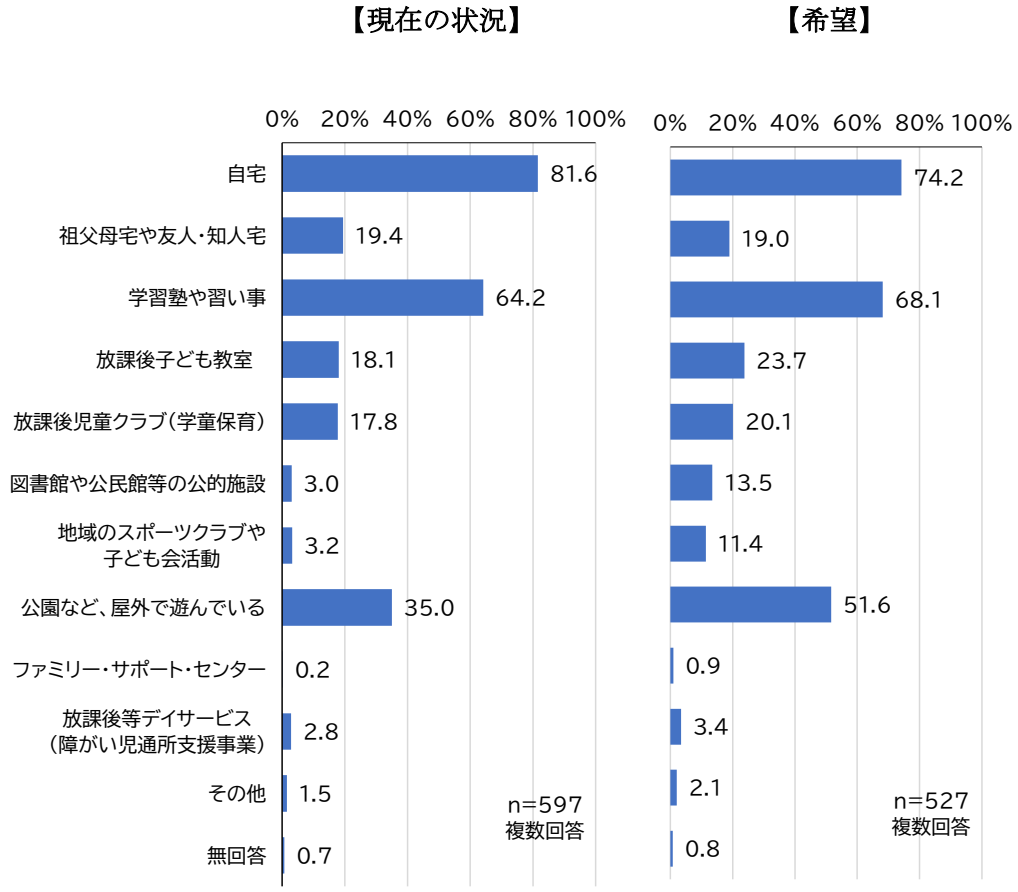
就労時間は、「４時間」が 42.4%で最も高く、次いで「５時間」が 40.9%となっている。

## ４．放課後の過ごし方について

### （１）平日の放課後の子どもの居場所

**問 17　平日の放課後、「お子さん」は現在どのような場所で過ごしていますか。また、希望としてはどのように過ごさせたいですか。現在の状況を A 欄に、希望を B 欄にご記入ください。それぞれの内容ごとに１週（月）間あたりの日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」については、利用を希望する時間も数字でご記入ください。**

※ なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。




※ 「放課後子ども教室」は、現在、学年ごとに各週で実施しています。月あたりの日数でご記入ください。

平日の放課後の子どもの居場所は、現在の状況・希望ともに、「自宅」が最も高く、次いで「学習塾や習い事」、「公園など、屋外で遊んでいる」と大きな差はないが、現在の状況の方が「自宅」の割合は高く、希望の方が「学習塾や習い事」と「公園など、屋外で遊んでいる」、「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ（学童保育）」、「図書館や公民館等の公的施設」、「地域のスポーツクラブや子ども会活動」で高くなっている。

学年別でみると、現在の状況・希望ともに、「自宅」の割合は学年が上がるほど高くなり、「放課後児童クラブ（学童保育）」は学年が上がるほど低くなる傾向がうかがわれます。

「放課後童クラブ(学童保育)」の利用希望を学年別にみると、「利用したい」は１年生が 45.5%で最も高く、学年が上がるほど利用希望は減少し５年生、６年生では１割を切って少なくなります。

**学年別 × 平日の放課後の子どもの居場所 【現在状況】**

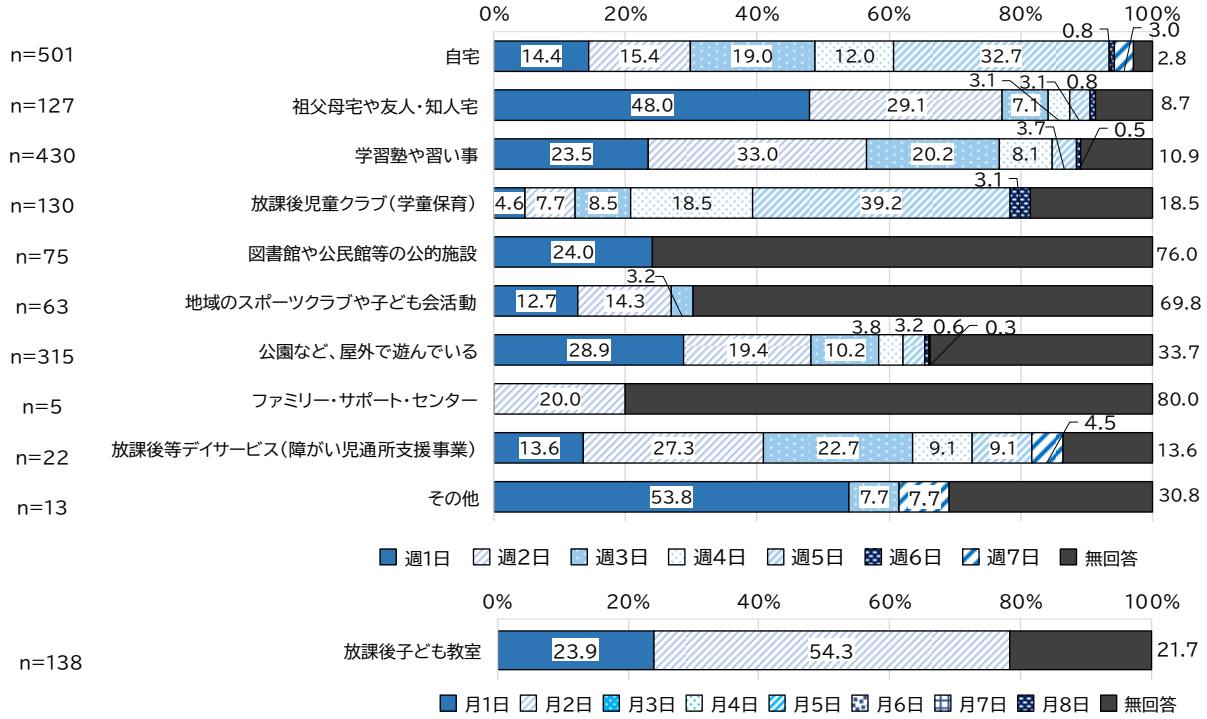
| | | 合計 | 問17A 平日の放課後を過ごす場所【現在の状況】 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 自宅 | 祖父母宅や友人・知人宅 | 学習塾や習い事 | 放課後子ども教室 | 放課後児童クラブ（学童保育） | 図書館や公民館等の公的施設 | 地域のスポーツクラブや子ども会活動 | 公園など、屋外で遊んでいる | ファミリー・サポート・センター | 放課後等デイサービス（障がい児通所支援事業） | その他 | 無回答 |
| 全体 | | 597 | 81.6 | 19.4 | 64.2 | 18.1 | 17.8 | 3.0 | 3.2 | 35.0 | 0.2 | 2.8 | 1.5 | 0.7 |
| 学年 | １年生 | 104 | 67.3 | 14.4 | 55.8 | 36.5 | 38.5 | 5.8 | 1.0 | 25.0 | 0.0 | 3.8 | 1.0 | 1.0 |
| | ２年生 | 102 | 73.5 | 20.6 | 64.7 | 28.4 | 32.4 | 4.9 | 3.9 | 32.4 | 1.0 | 4.9 | 2.0 | 0.0 |
| | ３年生 | 88 | 81.8 | 29.5 | 65.9 | 20.5 | 19.3 | 1.1 | 4.5 | 43.2 | 0.0 | 1.1 | 1.1 | 0.0 |
| | ４年生 | 79 | 82.3 | 12.7 | 60.8 | 10.1 | 12.7 | 2.5 | 2.5 | 40.5 | 0.0 | 1.3 | 1.3 | 2.5 |
| | ５年生 | 113 | 94.7 | 22.1 | 74.3 | 5.3 | 2.7 | 0.9 | 1.8 | 36.3 | 0.0 | 1.8 | 2.7 | 0.0 |
| | ６年生 | 105 | 90.5 | 16.2 | 63.8 | 8.6 | 2.9 | 2.9 | 5.7 | 35.2 | 0.0 | 3.8 | 1.0 | 0.0 |

**学年別 × 平日の放課後の子どもの居場所 【希望】**

| | | 合計 | 問17A 平日の放課後を過ごす場所【希望】 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 自宅 | 祖父母宅や友人・知人宅 | 学習塾や習い事 | 放課後子ども教室 | 放課後児童クラブ（学童保育） | 図書館や公民館等の公的施設 | 地域のスポーツクラブや子ども会活動 | 公園など、屋外で遊んでいる | ファミリー・サポート・センター | 放課後等デイサービス（障がい児通所支援事業） | その他 | 無回答 |
| 全体 | | 527 | 74.2 | 19.0 | 68.1 | 23.7 | 20.1 | 13.5 | 11.4 | 51.6 | 0.9 | 3.4 | 2.1 | 0.8 |
| 学年 | １年生 | 88 | 63.6 | 14.8 | 58.0 | 46.6 | 45.5 | 10.2 | 14.8 | 38.6 | 0.0 | 3.4 | 1.1 | 1.1 |
| | ２年生 | 94 | 72.3 | 18.1 | 63.8 | 33.0 | 36.2 | 9.6 | 7.4 | 48.9 | 1.1 | 7.4 | 4.3 | 0.0 |
| | ３年生 | 84 | 67.9 | 27.4 | 69.0 | 26.2 | 20.2 | 14.3 | 13.1 | 57.1 | 1.2 | 2.4 | 1.2 | 0.0 |
| | ４年生 | 69 | 69.6 | 10.1 | 68.1 | 17.4 | 14.5 | 21.7 | 14.5 | 52.2 | 0.0 | 1.4 | 2.9 | 2.9 |
| | ５年生 | 97 | 83.5 | 22.7 | 78.4 | 9.3 | 3.1 | 13.4 | 6.2 | 60.8 | 0.0 | 1.0 | 2.1 | 0.0 |
| | ６年生 | 89 | 86.5 | 18.0 | 71.9 | 11.2 | 2.2 | 14.6 | 14.6 | 50.6 | 3.4 | 4.5 | 1.1 | 0.0 |

## ○利用日数

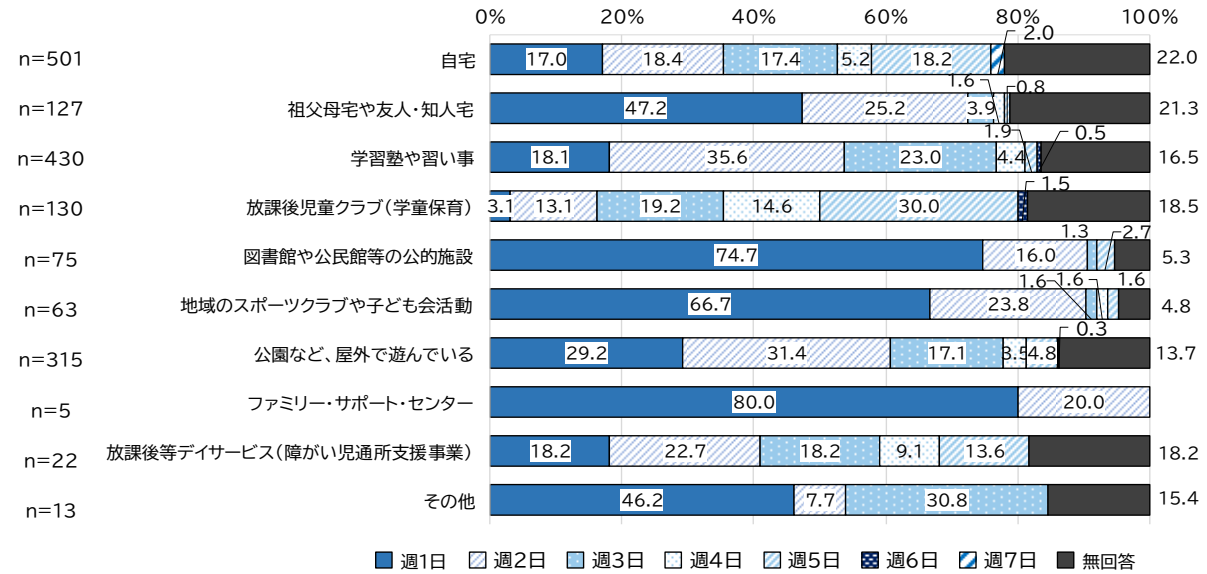
【現在】

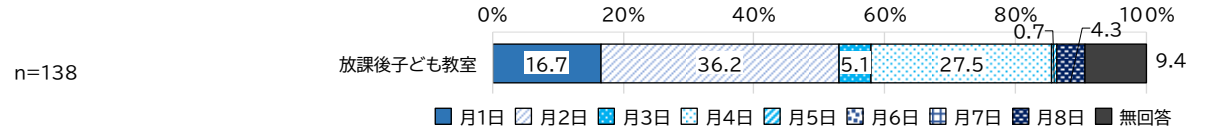






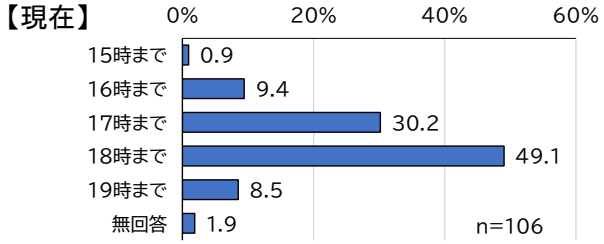
【希望】



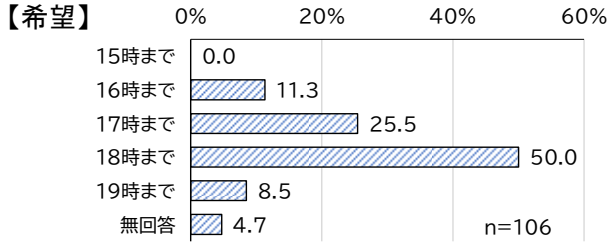




## ○利用時間　放課後児童クラブ（学童保育）　　下校時から（～時まで）

【現在】

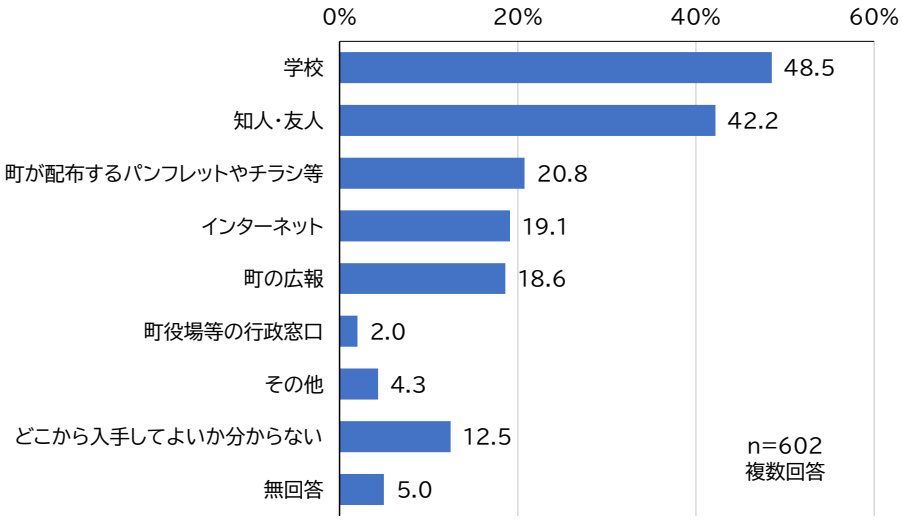



【希望】



### （２）放課後の過ごし方に関する情報の入手先

**問 17-1　放課後の過ごし方に関する情報を、どこから入手していますか。**
**（あてはまるものすべてに○）**

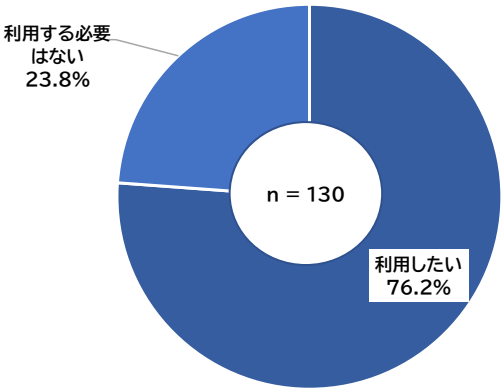



放課後の過ごし方に関する情報の入手先は、「学校」が 48.5%で最も高く、次いで「知人・友人」が 42.2%、「町が配布するパンフレットやチラシ等」、「インターネット」、「町の広報」がそれぞれ 20.8%、19.1%、18.6%となっている。一方、「どこから入手してよいか分からない」は 12.5%となっている。

### （３）小学校卒業までの放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

**【問 17 で「放課後児童クラブ（学童保育）」に回答した方】**

**問 17-2　「お子さん」について、小学校卒業まで放課後児童クラブ（学童保育）を利用できるとすれば利用したいですか。（○は１つ）**

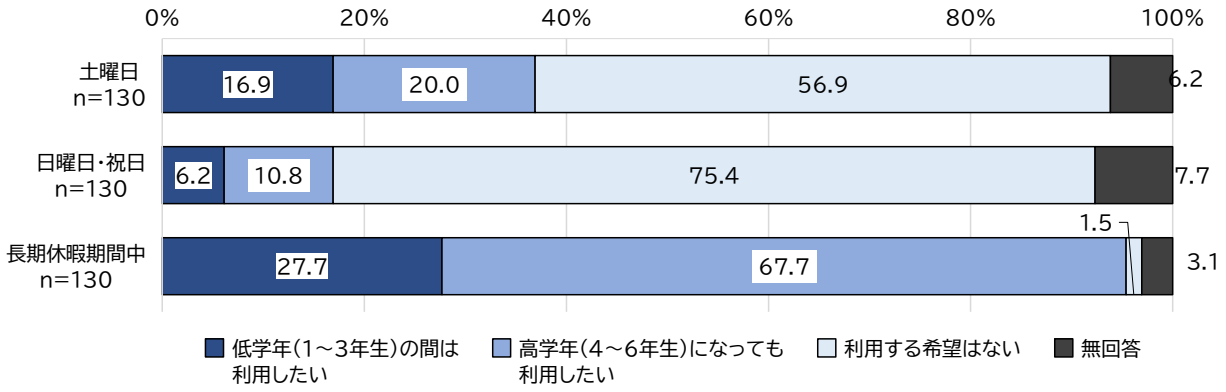



小学校卒業までの放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「利用したい」が 76.2%で高く、「利用する必要はない」は 23.8%となっている。

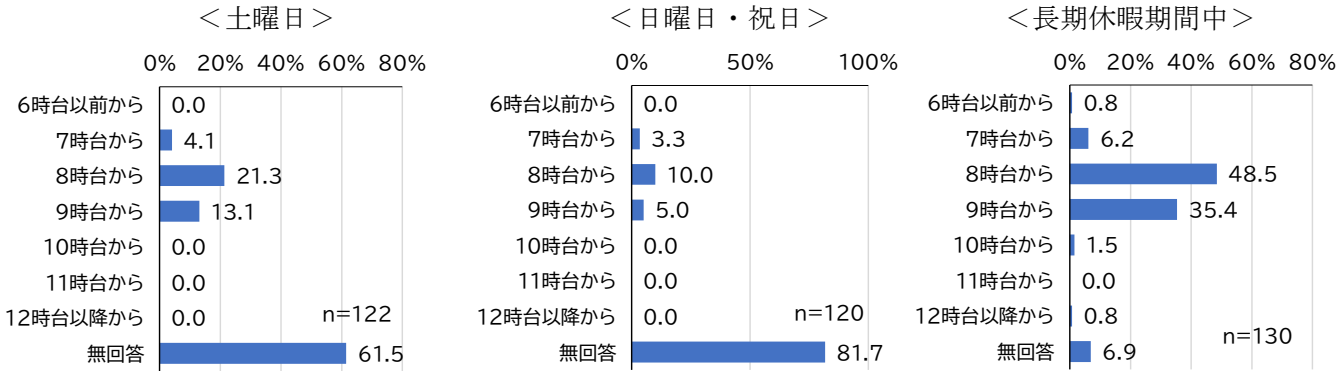
### （４）放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

**【問 17 で「放課後児童クラブ（学童保育）」に回答した方】**

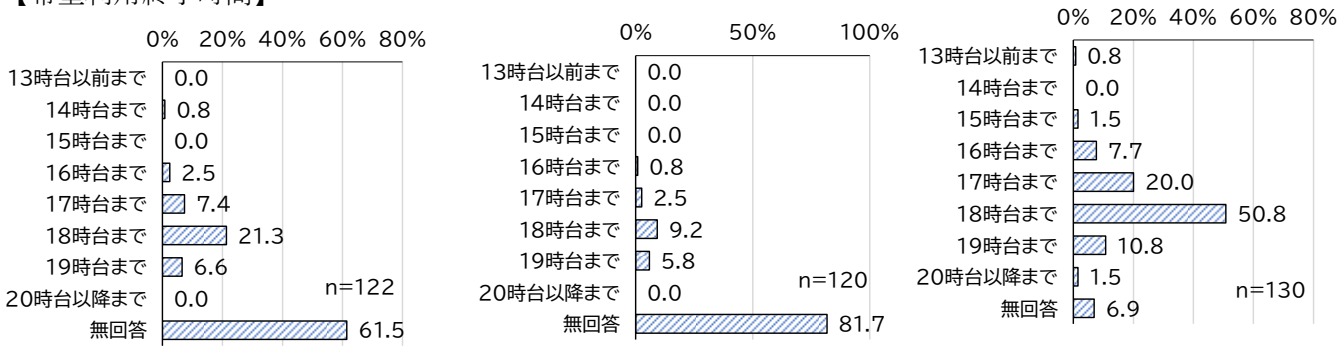
**問 17-3　土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。それぞれあてはまる番号１つに○をつけ、利用したい時間帯を数字でご記入ください。**




【希望利用開始時間】




【希望利用終了時間】




放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する希望はない」が最も高くなっている。特に日曜日・祝日は 75.4%と高くなっている。

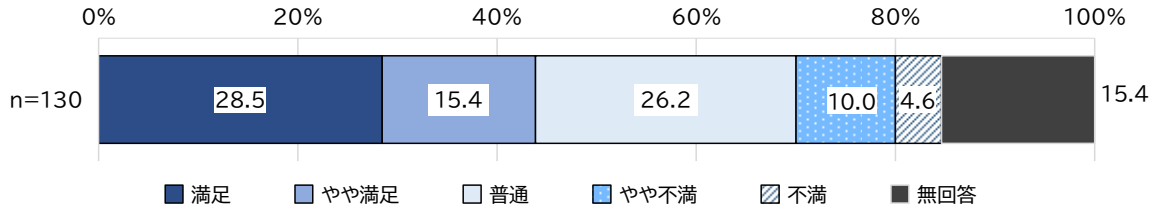
夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望は、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 67.7%で最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 27.7%となっている。

土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中ともに希望利用開始時間は「９時台から」、希望利用終了時間は、「18 時台まで」が最も高くなっている。

### （５）保護者から見た放課後児童クラブ（学童保育）の満足度

**【問 17 で「放課後児童クラブ（学童保育）」に回答をした方】**

**問 17-4　放課後児童クラブ（学童保育）を利用して、保護者から見て満足していますか。（◯は１つ）**

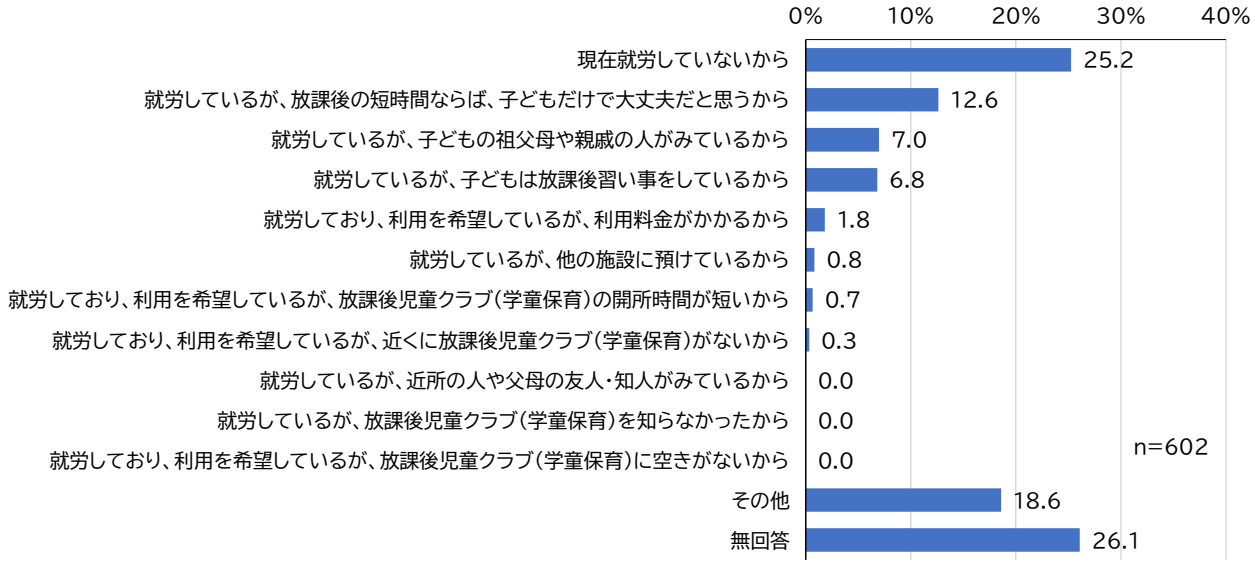



保護者から見た放課後児童クラブ（学童保育）の満足度は、満足が 28.5%で最も高く、「満足」と「やや満足」を足すと 43.9%で４割を超えている。

### （６）放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない理由

**【問 17 で「放課後児童クラブ（学童保育）」に回答しなかった方】**

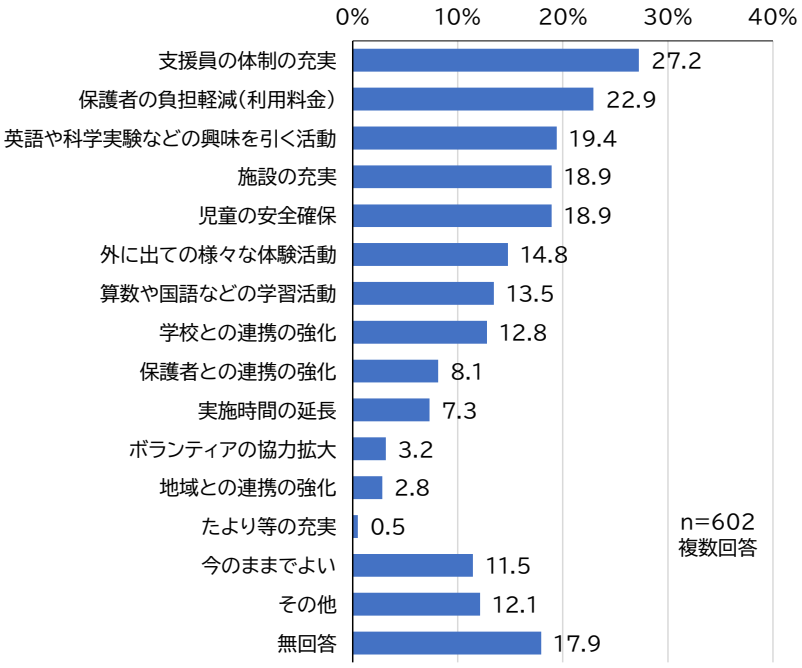
**問 18　「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用していない方に伺います。これらの事業を利用しない理由は以下のうちどれですか。（◯は１つ）**




放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない理由は、「現在就労していないから」が 25.2%で最も高く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけで大丈夫だと思うから」が 12.6%、「就労しているが、子どもの祖父母や親戚の人がみているから」が 7.0%、「就労しているが、子どもは放課後習い事をしているから」が 6.8%となっている。

### （７）放課後児童クラブ（学童保育）に今後望むこと

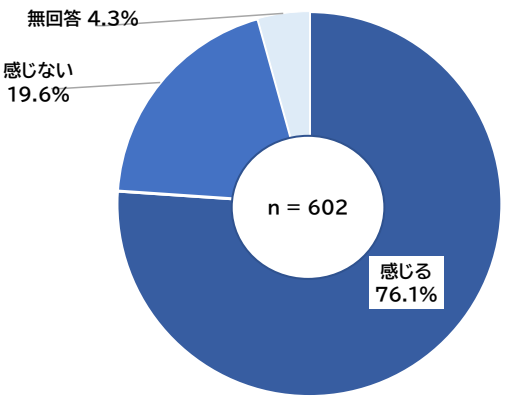
**問 19　放課後児童クラブ（学童保育）に今後望むことは何ですか（◯は３つまで）**




放課後児童クラブ（学童保育）に今後望むことは、「支援員の体制の充実」が 27.2%で最も高く、次いで「保護者の負担軽減(利用料金)」が 22.9%、「英語や科学実験などの興味を引く活動」が 19.4%、「施設の充実」と「児童の安全確保」が同率で 18.9%となっている。一方「今のままでよい」は 11.5%となっている。

### （８）小学生の子どもが自宅で１人またはきょうだいのみで過ごすことへの不安

**問 20　小学生の子どもが家で１人、または、きょうだいのみで過ごすことに不安を感じますか。（◯は１つ）**




小学生の子どもが自宅で１人またはきょうだいのみで過ごすことへの不安は、「感じる」が 76.1%、「感じない」が 19.6%となっている。

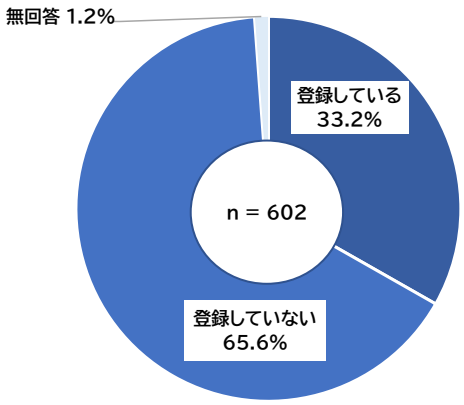
## ５．放課後子ども教室について

放課後子ども教室とは、

地域の方々の協力を得て、放課後等に子どもたちの遊び場（居場所）の確保を目的とし、保護者の就労の有無に関わらず利用することができます。利用には、事前登録が必要で、年間登録料（保険料）がかかります。大磯町では、原則毎週水曜日（給食の有る日）に実施しています。自由遊びが原則ですが、ボランティアの協力や大学との提携等により、各種イベントを開催しております。

### （１）放課後子ども教室の登録状況

**問 21　放課後子ども教室に登録をしていますか。（◯は１つ）**

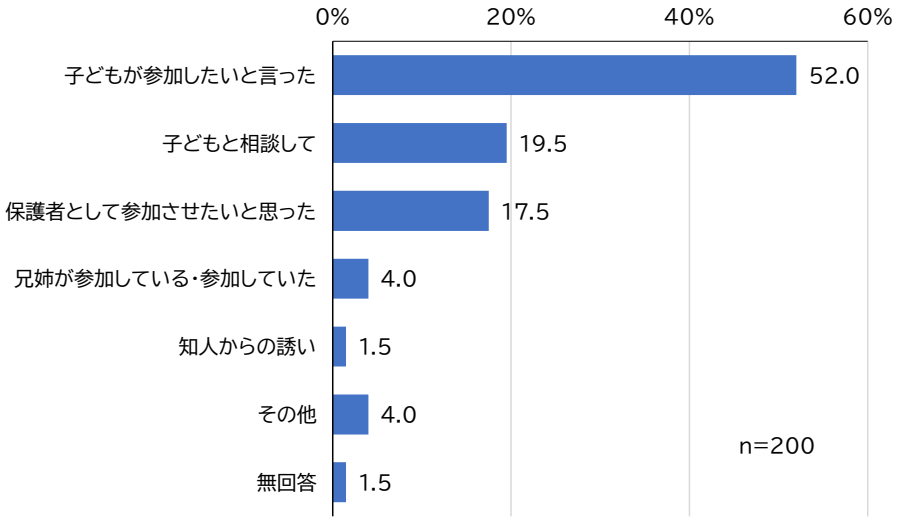



放課後子ども教室の登録状況は、「登録していない」が 65.6%、「登録している」が 33.2%となっている。

### （２）放課後子ども教室に登録をした理由

**【問 21 で「登録している」に回答した方】**

**問 21-1　①　放課後子ども教室に登録をした理由は何ですか。（◯は１つ）**

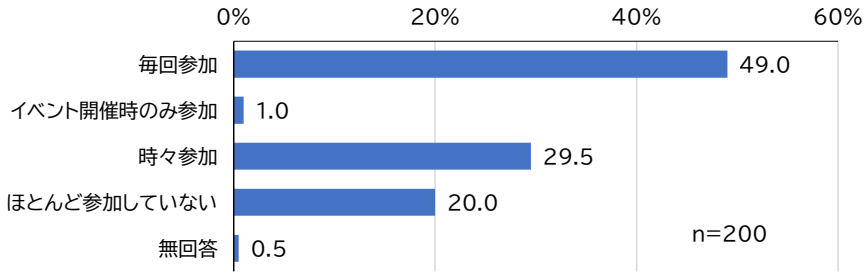



放課後子ども教室に登録をした理由は、「子どもが参加したいと言った」が 52.0%で最も高く、次いで「子どもと相談して」が 19.5%、「保護者として参加させたいと思った」が 17.5%となっている。

### （３）放課後子ども教室の参加状況

**【問 21 で「登録している」に回答した方】**

**問 21-1　②　放課後子ども教室には、どのくらい参加していますか。（◯は１つ）**

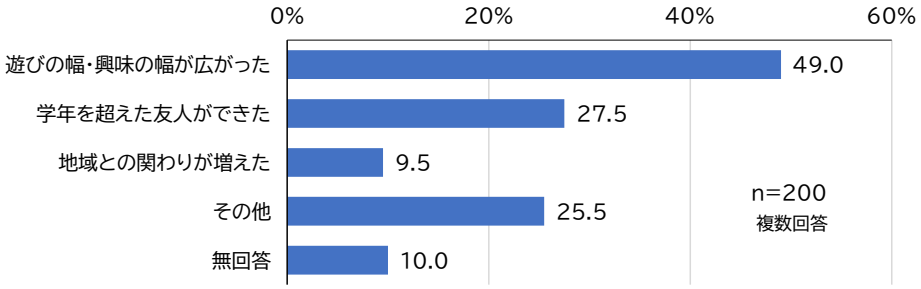



放課後子ども教室の参加状況は、「毎回参加」が 49.0％で最も高く、次いで「時々参加」が 29.5％、「ほとんど参加していない」が 20.0％となっている。

### （４）放課後子ども教室に参加してよかったこと

**【問 21 で「登録している」に回答した方】**

**問 21-1　③　放課後子ども教室に参加してよかったことは何ですか。（あてはまるものすべてに◯）**

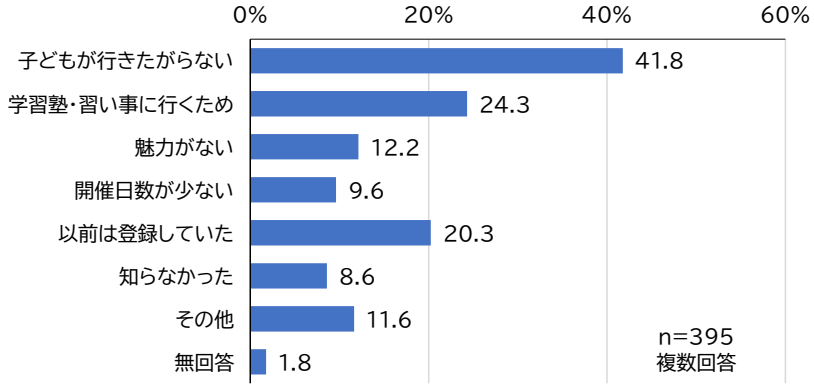



放課後子ども教室に参加してよかったことは、「遊びの幅・興味の幅が広がった」が 49.0％で最も高く、次いで「学年を超えた友人ができた」が 27.5％、「地域との関わりが増えた」9.5％となっている。

### （５）放課後子ども教室に登録をしなかった理由

**【問 21 で「登録していていない」に回答した方】**

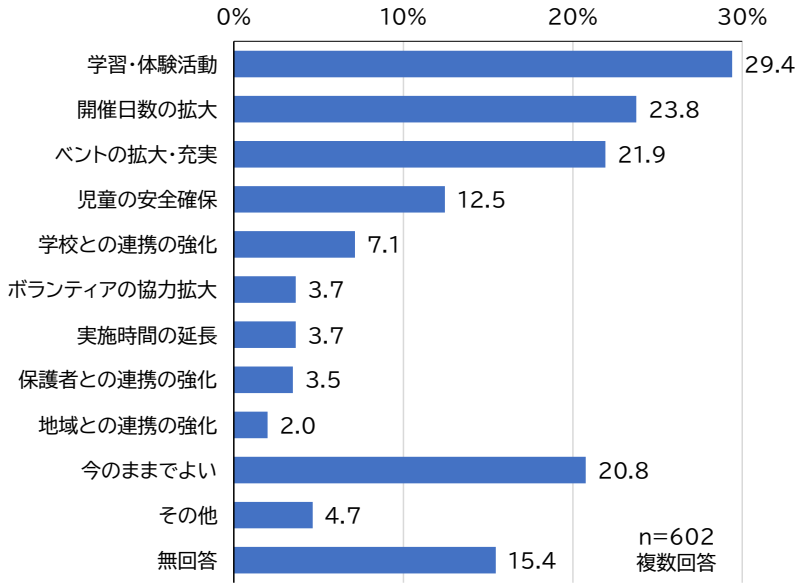
**問 21-2　登録をしなかった理由は何ですか。（◯は２つまで）**



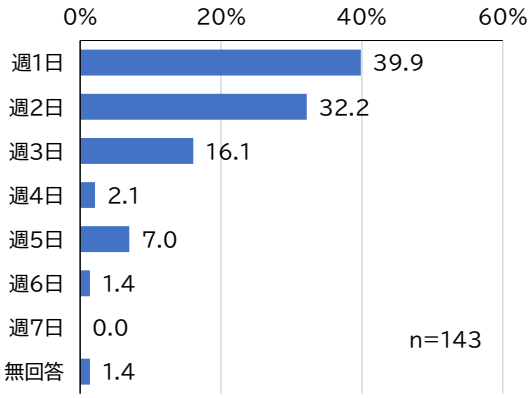

放課後子ども教室に登録をしなかった理由は、「子どもが行きたがらない」が 41.8％で最も高く、次いで「学習塾・習い事に行くため」が 24.3％、「魅力がない」が 12.2％となっている。一方、「以前は登録していた」が 20.3％、「知らなかった」は 8.6％となっている。

### （６）今後の放課後子ども教室に望むこと

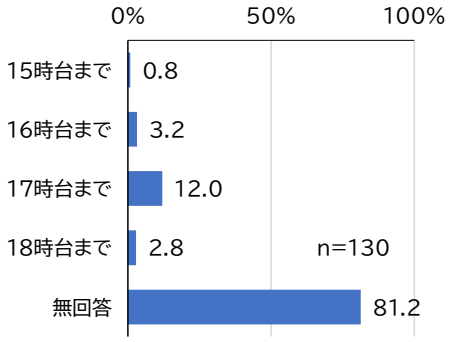
**問 22　今後の放課後子ども教室に望むことは何ですか。（◯は２つまで、枠内には数字を記入）**




【開催日数の拡大希望（日数）】




【開催日数の拡大希望（時間）】




今後の放課後子ども教室に望むことは、「学習・体験活動」が 29.4%で最も高く、次いで「開催日数の拡大」が 23.8%、「ベントの拡大・充実」が 21.9%となっている。一方「今のままでよい」は 20.8%となっている。

開催日数の拡大希望について日数は「週１回」が 39.9%、時間は「17 時台まで」が 12.0%で最も高くなっている。

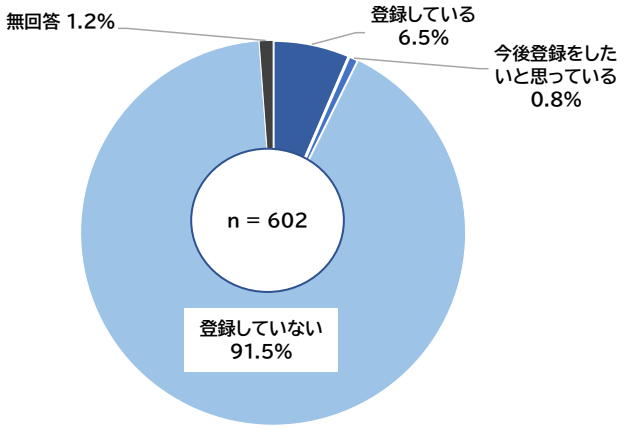
## ６．朝の子どもの居場所づくりについて

朝の子どもの居場所づくり事業とは、

地域のボランティア等の協力のもと、小学校の始業前（7：15～8：30）に学童施設を利用して子どもたちが安全・安心に過ごすことのできる居場所を設け、保護者の就労の有無に関わらず、全ての小学生が利用することができる事業です。（利用には、事前登録と登録保険料が必要です。また、利用の際は、保護者が実施場所に送り届ける必要があります。）

### （１）朝の子どもの居場所づくりの登録状況

**問 23　朝の子どもの居場所づくりに登録をしていますか。（◯は１つ）**

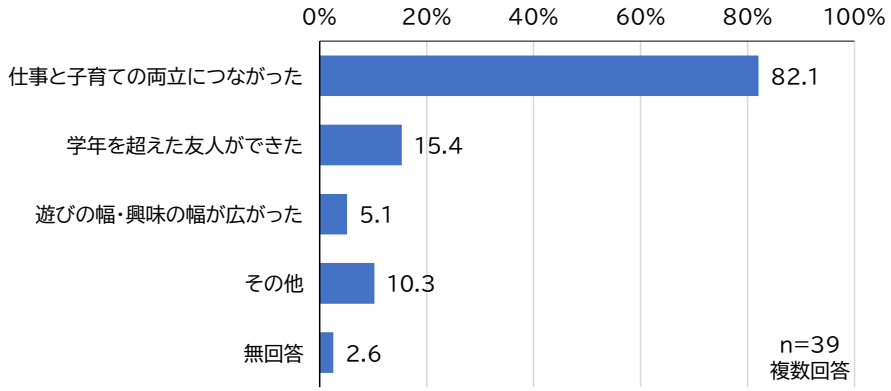



朝の子どもの居場所づくりの登録状況は、「登録していない」が 91.5%で９割を超えている。一方「登録している」は 6.5%、「今後登録したいと思っている」は 0.8%となっている。

### （２）朝の子どもの居場所づくりに登録してよかったこと

**【問 23 で「登録している」に回答した方】**

**問 23-1　朝の子どもの居場所づくりを利用してよかったことはありますか。（あてはまるものすべてに◯）**

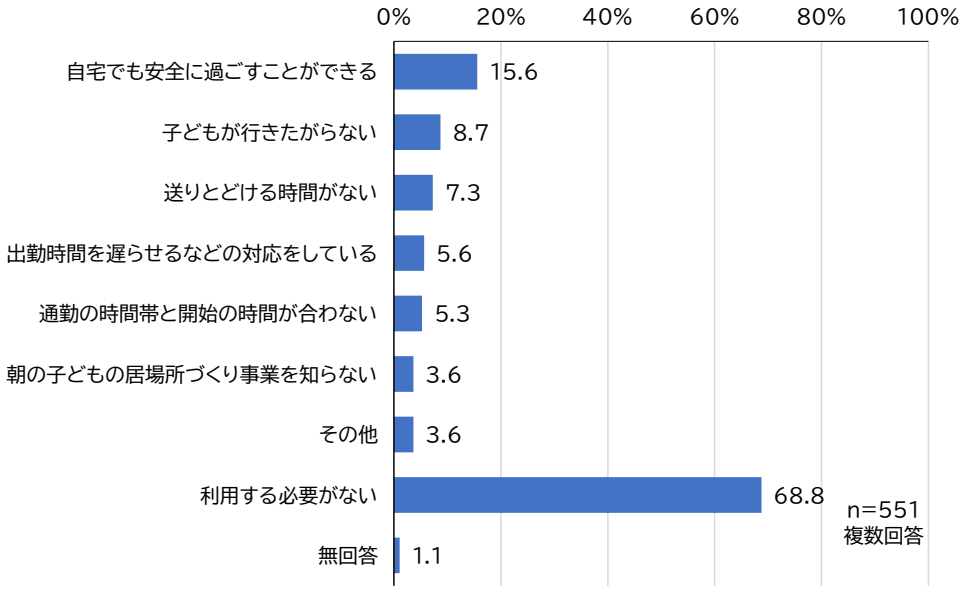



朝の子どもの居場所づくりに登録してよかったことは、「仕事と子育ての両立につながった」が 82.1%で最も高く、次いで「学年を超えた友人ができた」が 15.4%、「遊びの幅・興味の幅が広がった」が 5.1%となっている。

### （３）朝の子どもの居場所づくりに登録していない理由

**【問 23 で「登録していない」に回答した方】**

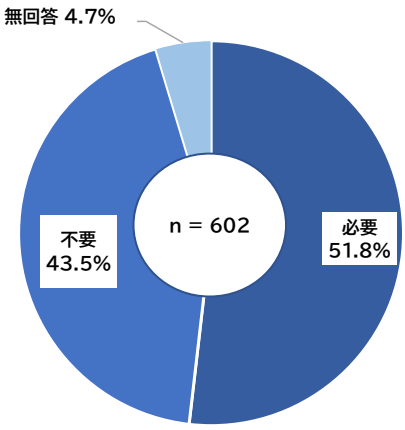
**問 23-2　登録していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**




放課後子ども教室に登録をしていない理由は、「自宅でも安全に過ごすことができる」が 15.6%で最も高く、次いで「子どもが行きたがらない」が 8.7%、「送りとどける時間がない」が 7.3%となっている。

### （４）朝の子どもの居場所の必要性

**問 24　「お子さん」にとって「朝の子どもの居場所」は必要であると思いますか。（○は１つ）**




朝の子どもの居場所の必要性は、「必要」が 51.8%、「不要」が 43.5%となっている。

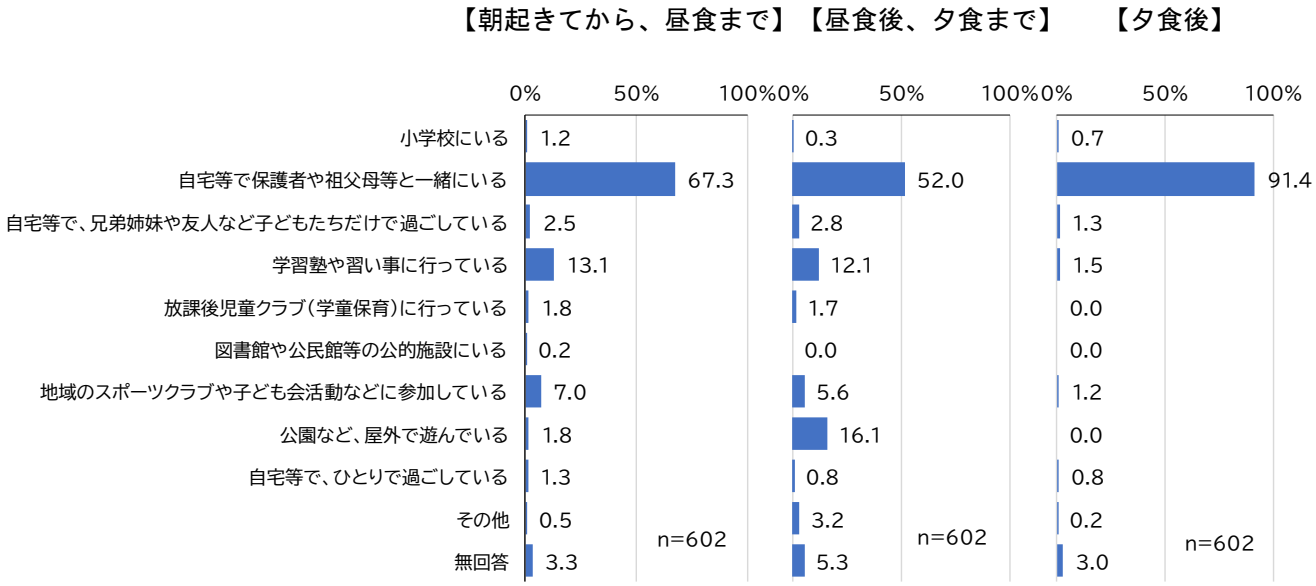
## 7．土曜日・休日や長期休暇中の過ごし方について

### （1）子どもの土曜日や休日の過ごし方

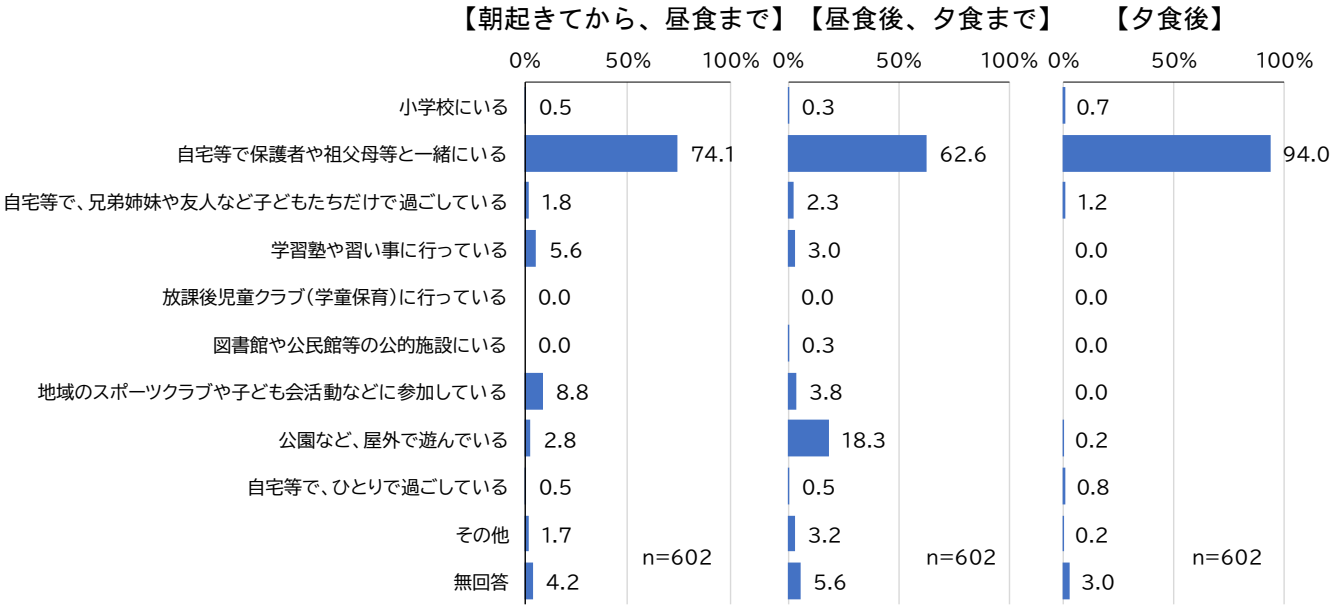
**問 25　学校が休みの土曜日や休日（日曜日・祝日）、「お子さん」は、どのように過ごしていますか。**

※　時間帯ごとに一番多い過ごし方を、次から選んで、上の表に番号を１つずつご記入ください。

**＜土曜日＞**




**＜休日（日曜日・祝日）＞**

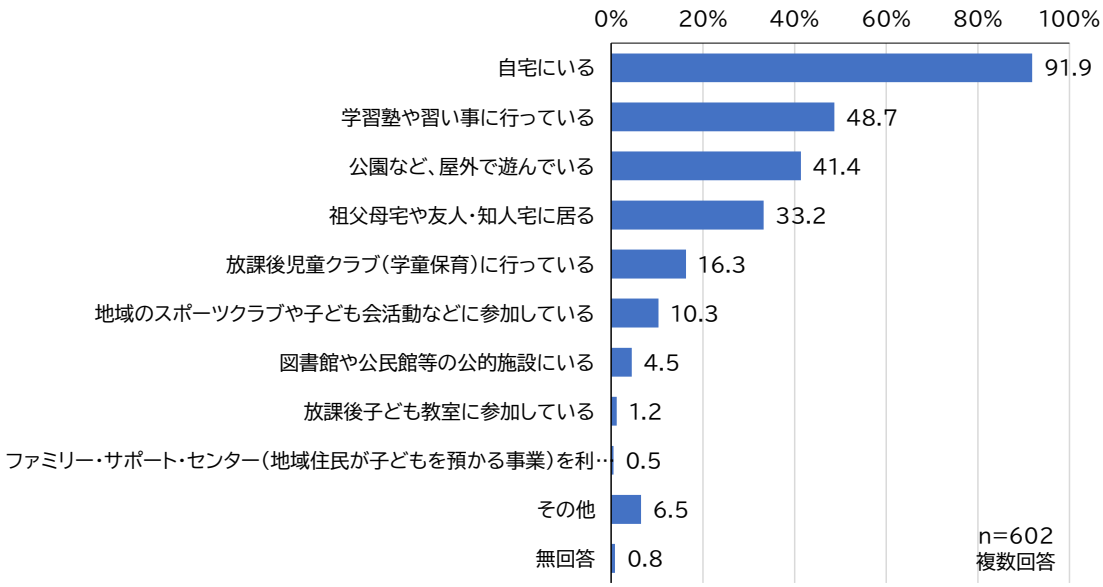



子どもの土曜日と休日（日曜日・祝日）の過ごし方は、「自宅等で保護者や祖父母等と一緒にいる」が朝起きてから～夕方後まですべての項目で最も高くなっている。また、【昼食後、夕食まで】に「公園など、屋外で遊んでいる」が土曜日で 16.1%、日曜日・祝日で 18.3%と高くなっている。

土曜日についてみると、【朝起きてから、昼食まで】【昼食後、夕食まで】に「地域のスポーツクラブや子ども会活動などに参加している」と「学習塾や習い事に行っている」がそれぞれ高くなっている。

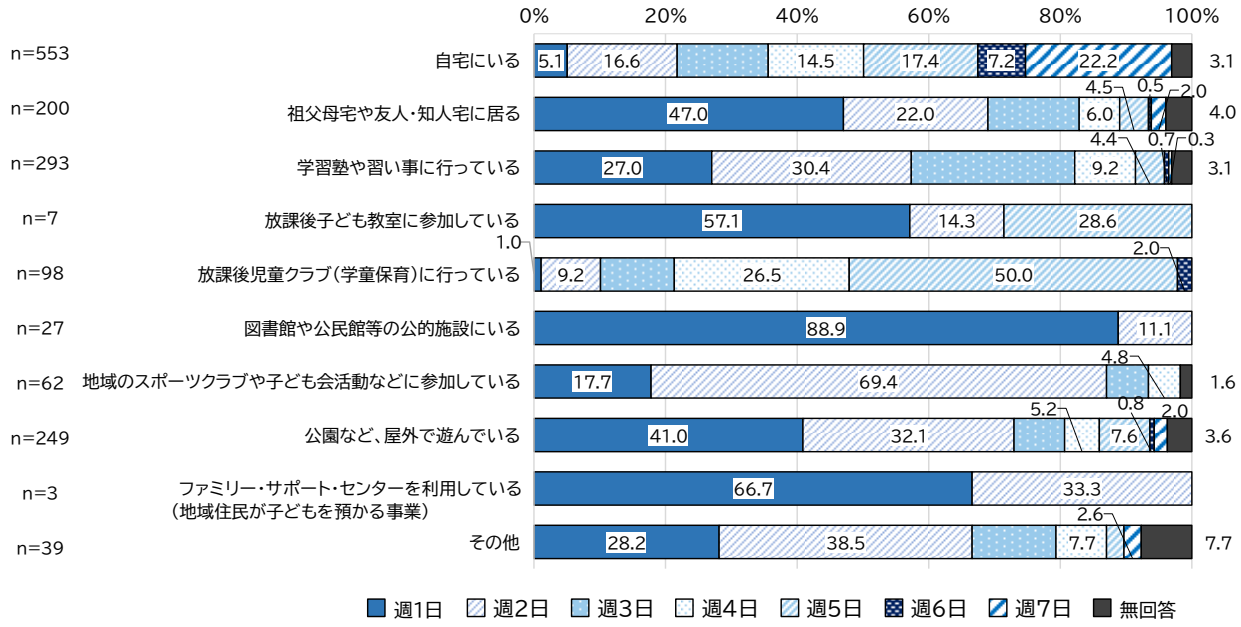
### （２）学校が長期休暇期間中、子どもはどのような場所で過ごしているか

**問 26　学校が長期休暇期間中は、「お子さん」はどのような場所で過ごしていますか。（当てはまるものすべてに○）また、ある場合は、週当たりの日数をご記入ください。（数字で記入）**




長期休暇期間中、子どもがどのような場所で過ごしているかは、「自宅にいる」が 91.9%で最も高く、次いで「学習塾や習い事に行っている」が 48.7%、「公園など、屋外で遊んでいる」が 41.4%となっている。

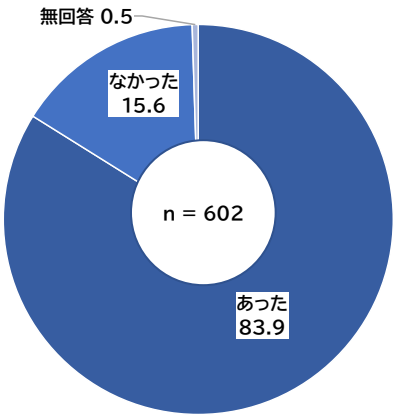
**○週当たりの日数**



## ８．子どもの病気の際の対応について

### （１）子どもが病気やけがで学校を休まなければならなかったこと

**問 27　この１年間に、「お子さん」が病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありましたか。（◯は１つ）**



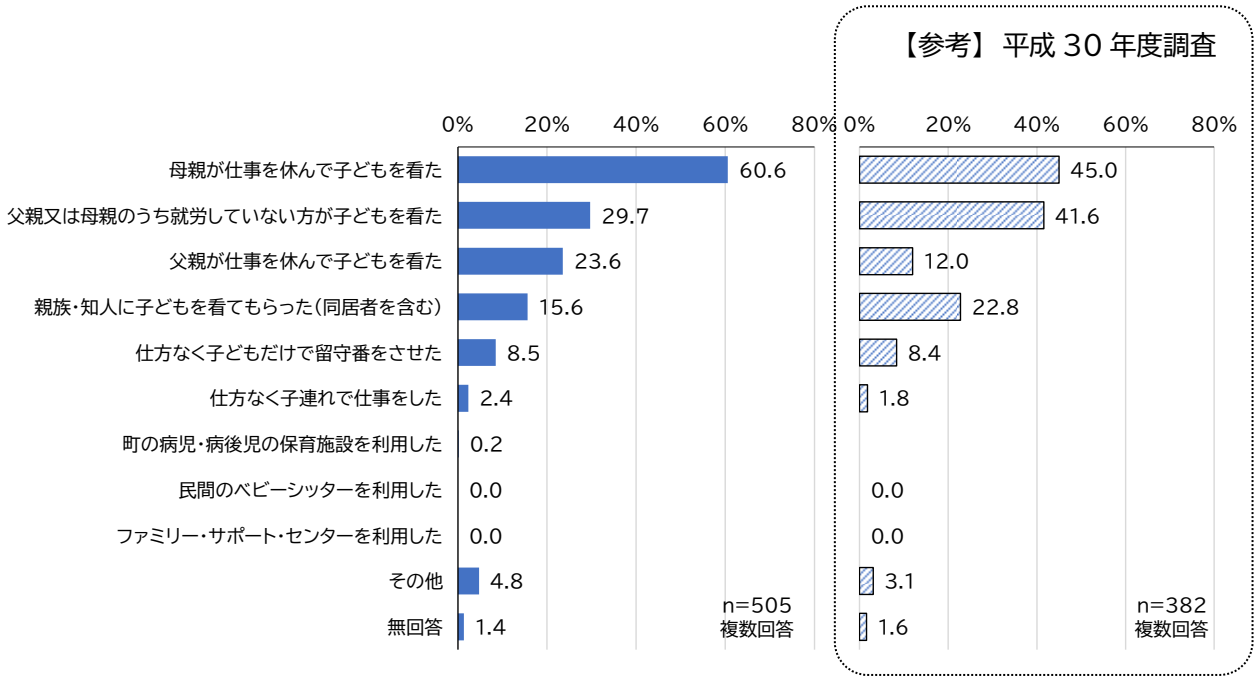

子どもが病気やけがで学校を休まなければならなかったことは、「あった」が 83.9%、「なかった」が 15.6%となっている。

### （２）子どもが病気やけがで学校を休んだ場合の対処方法

**【問 27 で、この１年間に「お子さん」が病気やけがで学校を休まなくてはならなかったことが「あった」と回答された方】**

**問 27-1　「お子さん」が病気やけがで学校を休まなければならなかった場合に、この１年間に行った対処方法をお答えください。（あてはまるものすべてに○）また、それぞれの日数もご記入ください。（数字を記入）**

※　半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。

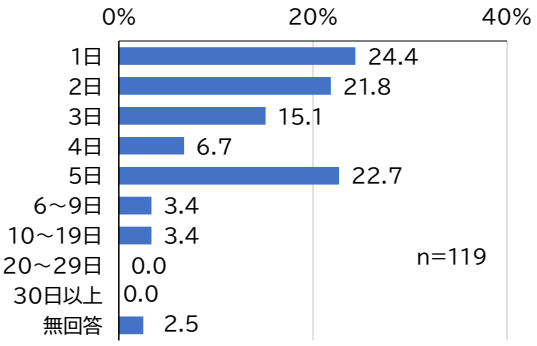



子どもが病気やけがで学校を休んだ場合の対処方法は、「母親が仕事を休んで子どもを看た」が 60.6%で最も高く、次いで「父親が仕事を休んで子どもを看た」が 29.7%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」が 23.6%、「親族・知人に子どもを看てもらった（同居者を含む）」が 15.6%となっている。

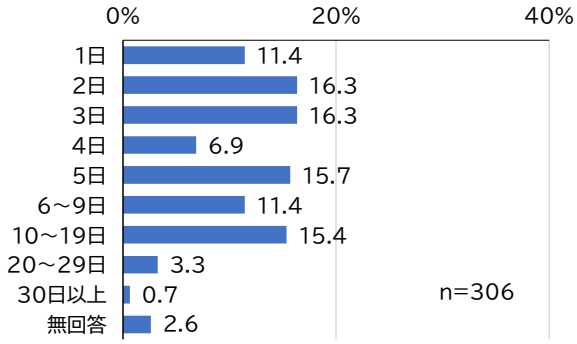
平成 30 年度調査と比較すると、「母親が仕事を休んで子どもを看た」、「父親が仕事を休んで子どもを看た」がそれぞれ 15.6 ポイント、11.6 ポイント増加している。一方、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」、「親族・知人に子どもを看てもらった（同居者を含む）」はそれぞれ 11.9 ポイント、702 ポイント減少している。

**○対処の日数（年間）**

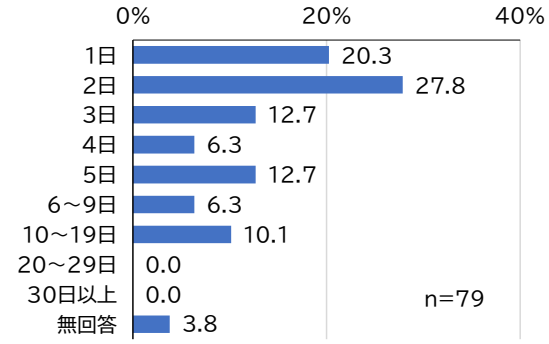
【父親が仕事を休んで子どもを看た】



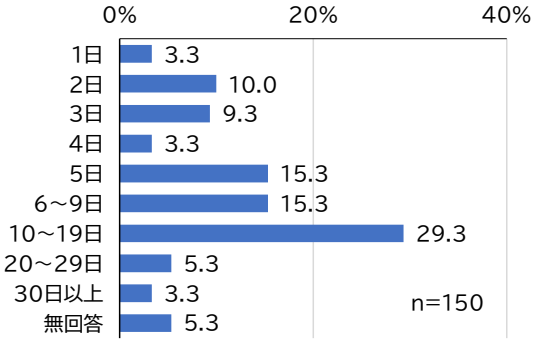

【母親が仕事を休んで子どもを看た】



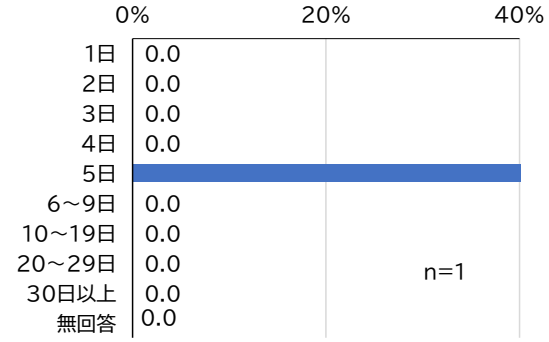

【親族・知人に子どもを看てもらった】



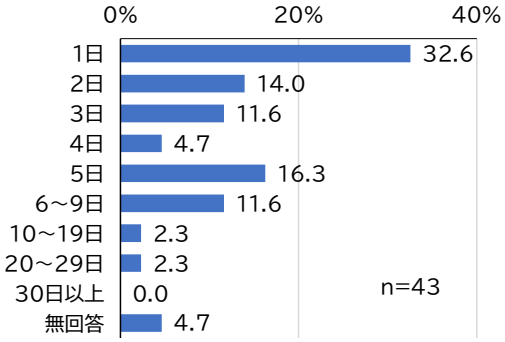

【父親又は母親のうち就労していない方が看た】



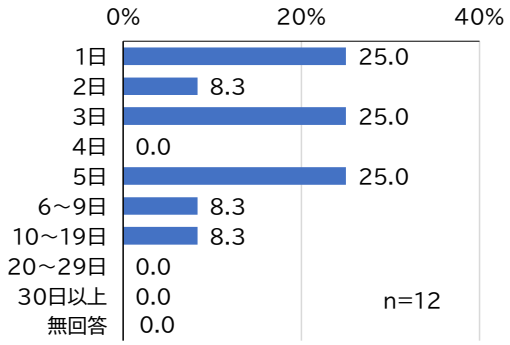

【町の病児・病後児の保育施設を利用した】



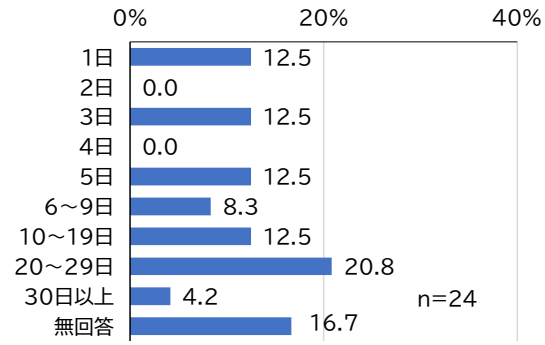

【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】




【仕方なく子連れで仕事をした】




【その他】



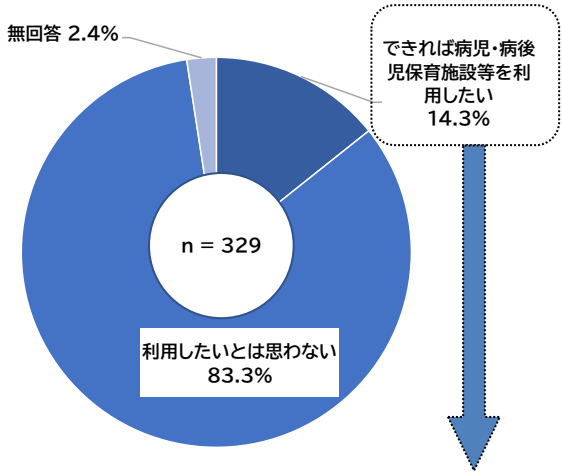

※「民間のベビーシッターを利用した」、「ファミリー・サポート・センターを利用した」は回答者なしのため図を省略している。

### （３）父親か母親が休んだ場合「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか

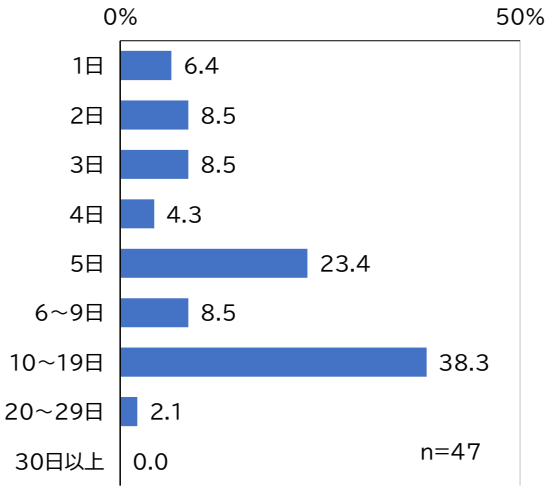
**【問 27-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答された方】**

**問 27-2　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。（◯は１つ）また、その日数もご記入ください。（数字を記入）**

※　病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医等の受診が必要となります。




【利用希望日数（年間）】



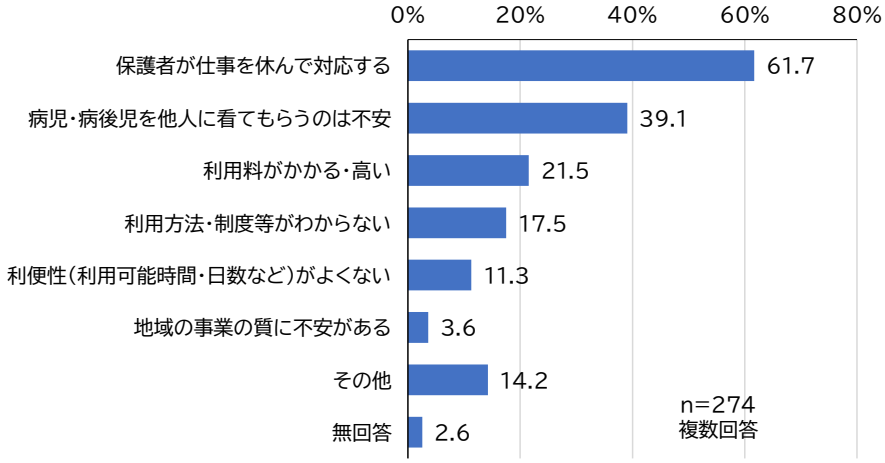

父親か母親が休んだ場合「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかは、「利用したいとは思わない」が 83.3%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は 14.3%となっている。

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と回答した方の利用希望日数は、年間「10～19 日」が 38.3%で最も高く、次いで「５日」が 23.4%となっている。

### （４）病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

**【問 27-2 で「利用したいとは思わない」に回答された方】**

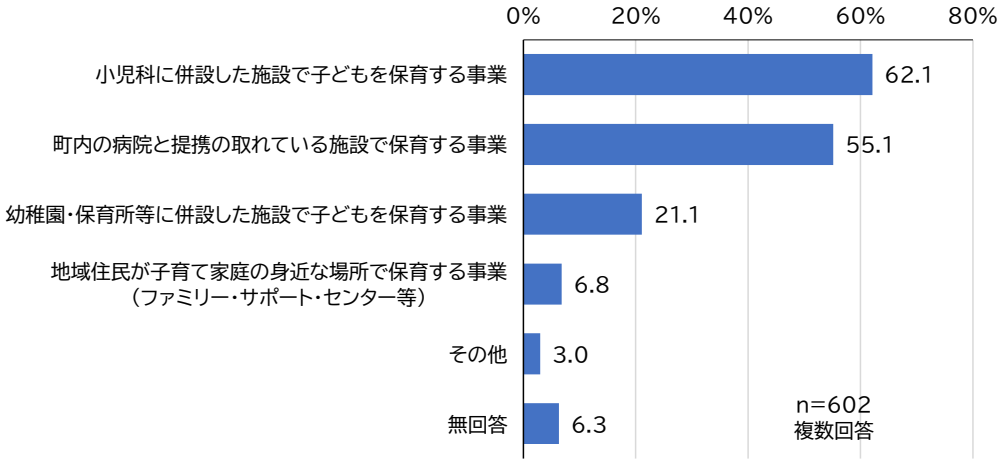
**問 27-3　そう思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**




病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「保護者が仕事を休んで対応する」が 61.7％で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 39.1％、「利用料がかかる・高い」が 21.5％となっている。

### （５）子どもの病気やけがで預ける場合、望ましい事業形態

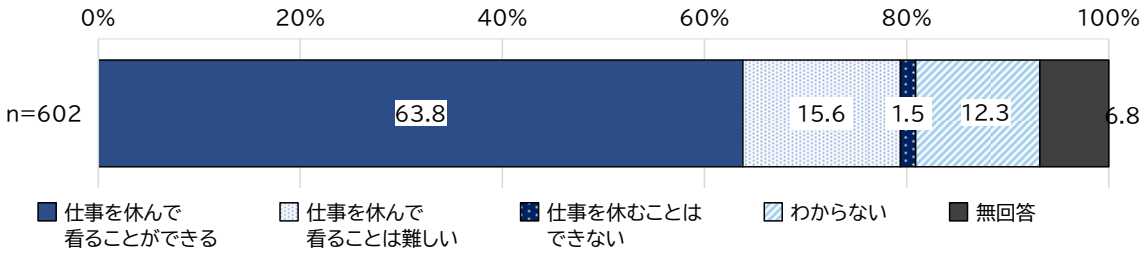
**問 27-4　病気やけがで「お子さん」を預けるとしたら、どのような事業形態が望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）**




子どもの病気やけがで預ける場合、望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 62.1％で最も高く、次いで「町内の病院と提携の取れている施設で保育する事業」が 55.1％、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 21.1％となっている。

### （６）子どもが病気やけがの場合、仕事を休んで看ることができるか

**問 28　「お子さん」が病気やけがの場合に、仕事を休んで看ることができますか。（◯は１つ）**

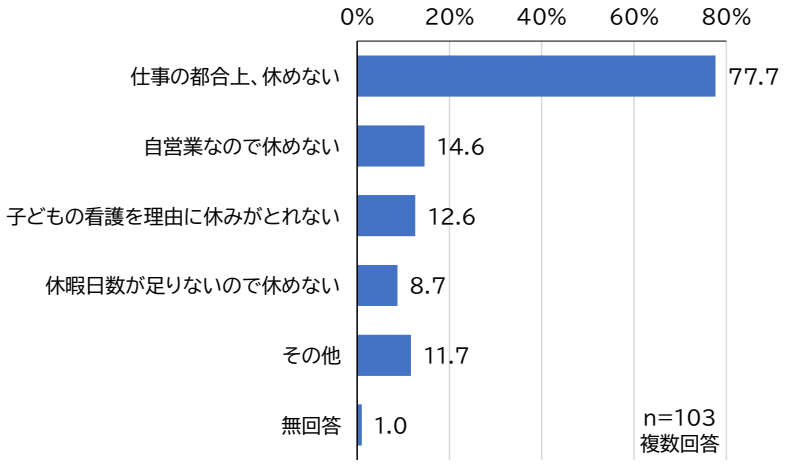



子どもが病気やけがの場合、仕事を休んで看ることができるかは、「仕事を休んで看ることができる」が 63.8%、「仕事を休んで看ることは難しい」が 15.6%、「わからない」が 12.3%となっている。

### （７）仕事を休んで看ることは難しい理由

**【問 28 で「仕事を休んで看ることは難しい」もしく「仕事を休むことはできない」に回答された方】**

**問 28-1　仕事を休んで看ることが難しい、できない理由をお答えください。（あてはまるものすべてに◯）**



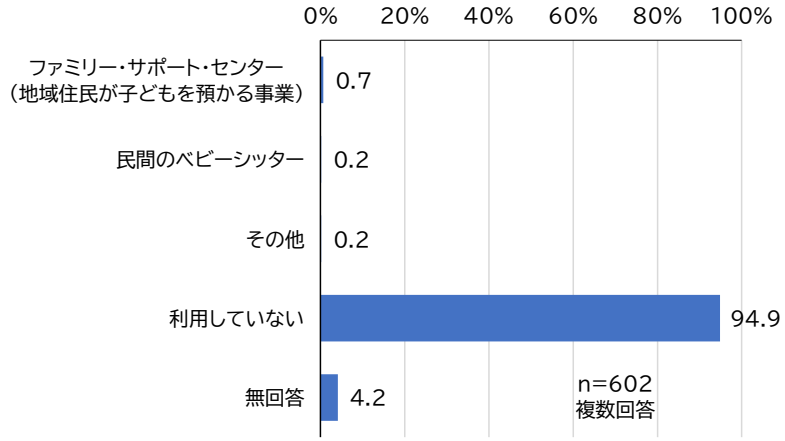

仕事を休んで看ることは難しい理由は、「仕事の都合上、休めない」が 77.7%で最も高く、次いで「自営業なので休めない」が 14.6%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 12.6%、となっている。

## ９．不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

### （１）日中の定期的な保育や病気のため以外に、現在不定期※に利用している事業

※ 私用、親の通院、不定期の就労等の目的

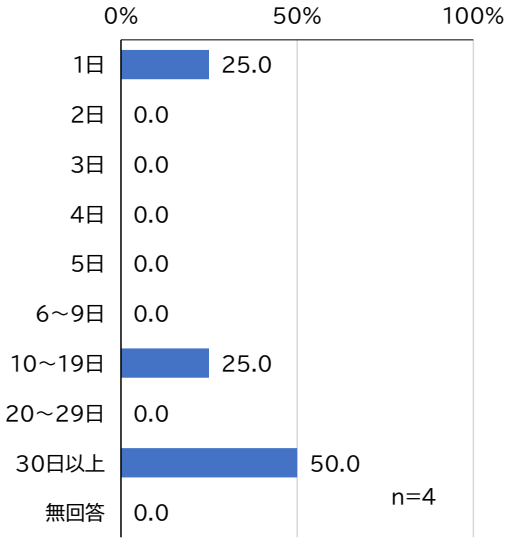
**問 29　「お子さん」について、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で現在不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものすべてに○）また、ある場合は１年間の利用日数（おおよそ）をご記入ください。（数字を記入）**



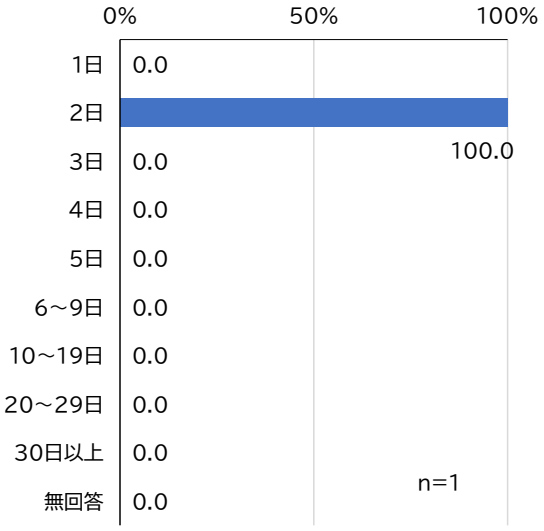

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で現在不定期に利用している事業は、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」が 0.7%、「民間のベビーシッター」が 0.2%でともに１割に満たない。一方「利用していない」は 94.9%で９割以上を占めている。

**〇現在の利用日数（年間）**

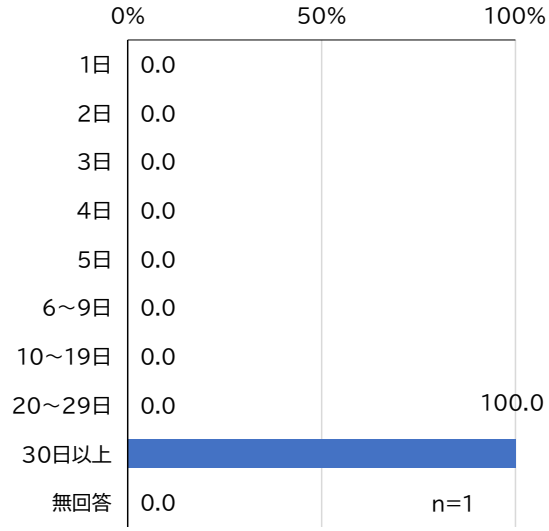
【ファミリー・サポート・センター】




【民間のベビーシッター】



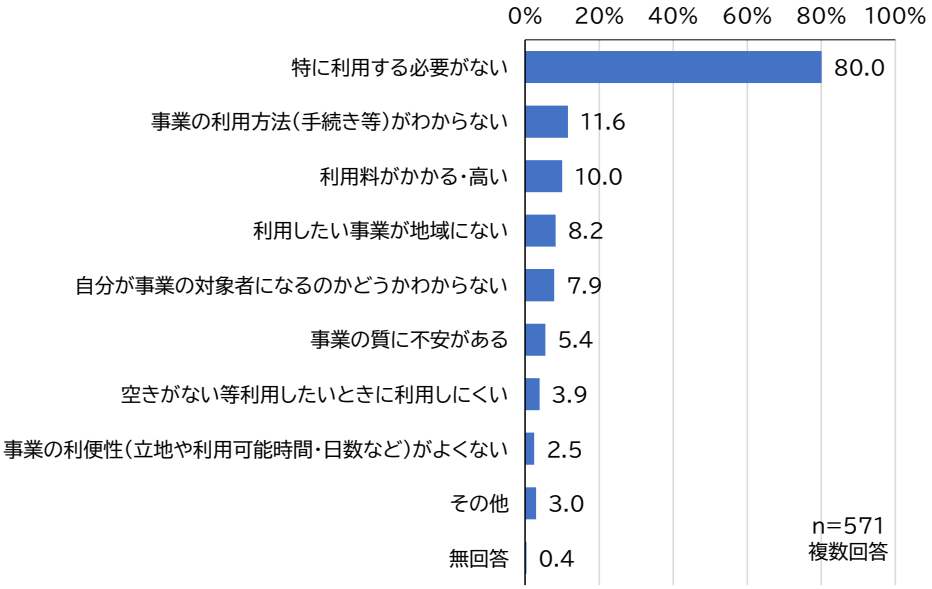

【その他】



### （２）私用等の目的で、現在不定期に事業を利用していない理由

**【問 29 で「利用していない」に回答された方】**

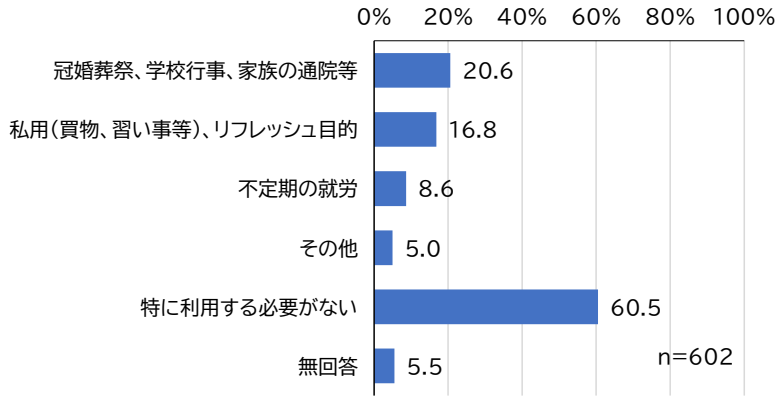
**問 29-1　利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**




日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、現在不定期に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 80.0%と８割で最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 11.6%、「利用料がかかる・高い」が 10.0%となっている。

### （３）どのようなときに子どもを一時的に預かる事業を利用したいか

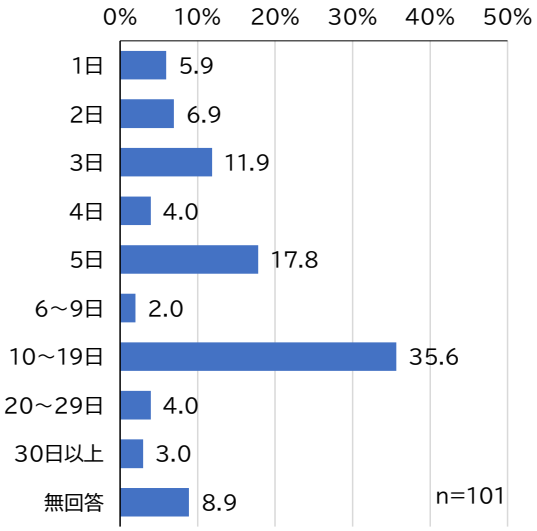
**問 30　どのようなときに、「お子さん」を一時的に預かる事業（問 27-1）を利用したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）また、ある場合は必要な日数をご記入ください。（数字を記入）**



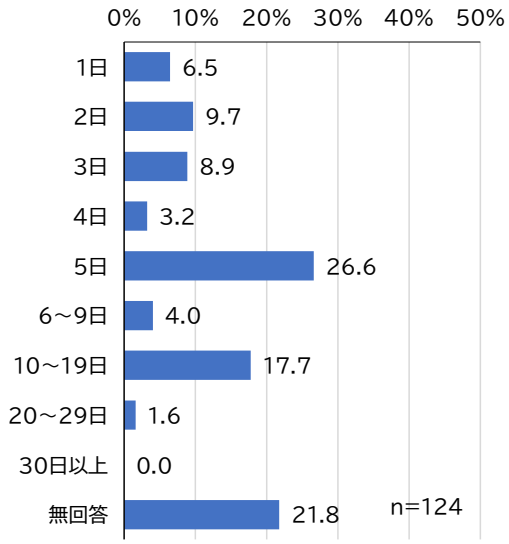

どのようなときに子どもを一時的に預かる事業を利用したいかは、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」が 20.6%で最も高く、次いで「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が 16.8%、「不定期の就労」が 8.6%となっている。一方「特に利用する必要がない」は 60.5%と６割を超えて高くなっている。

**〇必要な日数（年間）**

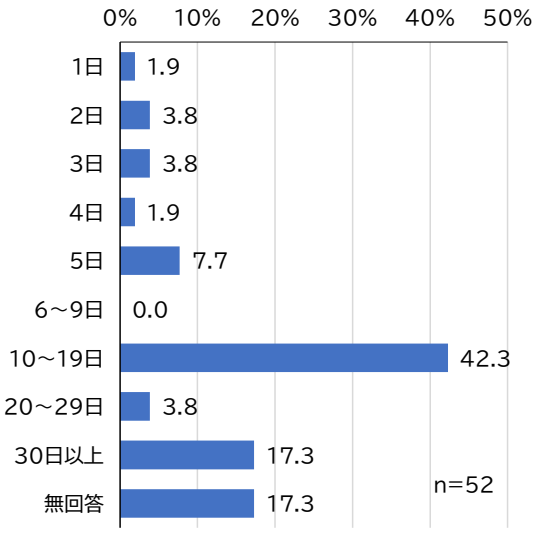
【私用・リフレッシュ目的】



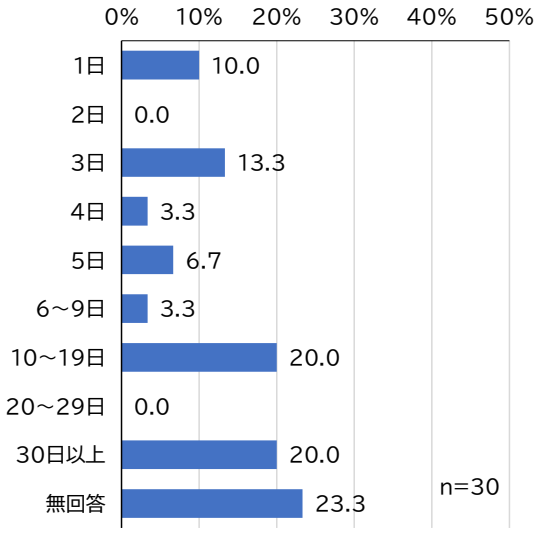

【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】




【不定期の就労】



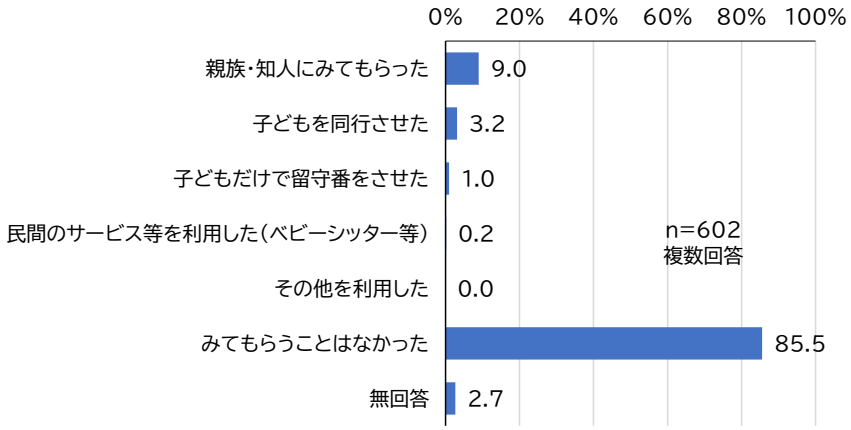

【その他】




各事業のそれぞれ希望する日数は、「不定期の就労」と「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」では「10～19 日」がそれぞれ 42.3%、35.6%で最も高くなっている。「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」では「５日」が 26.6%で最も高くなっている。

### （４）保護者の用事により子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったこと

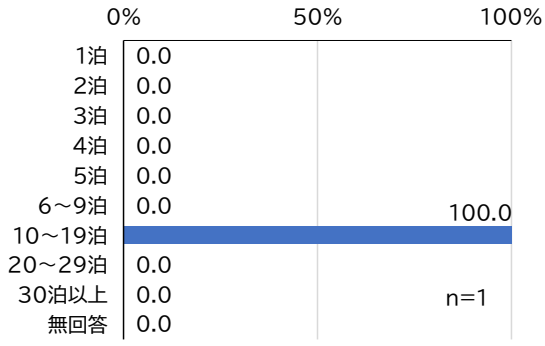
**問 31　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、「お子さん」を泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（あてはまるものすべてに○）（預け先が見つからなかった場合も含みます）また、ある場合は日数もご記入ください。（数字を記入）**



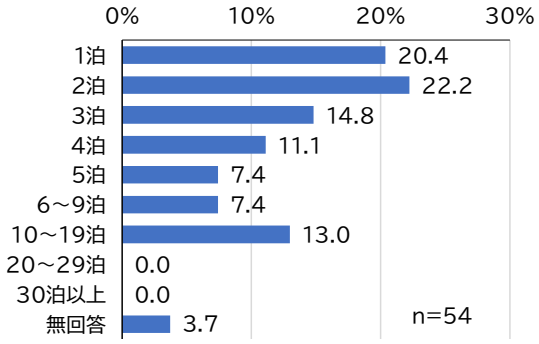

保護者の用事により子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったことは、「親族・知人にみてもらった」が 9.0%で最も高く、次いで「子どもを同行させた」が 3.2%、「子どもだけで留守番をさせた」が 1.0%となっている。一方「みてもらうことはなかった」は 85.5%と８割を超えて高くなっている。

**○みてもらった日数（年間）**

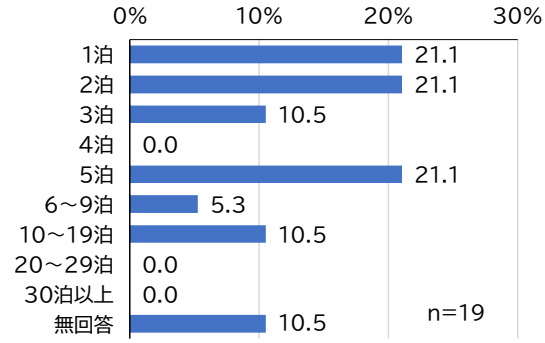
【民間のサービス等】



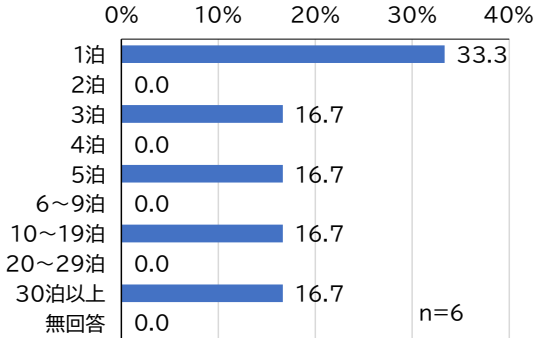

【親族・知人にみてもらった】




【子どもだけで留守番をさせた】



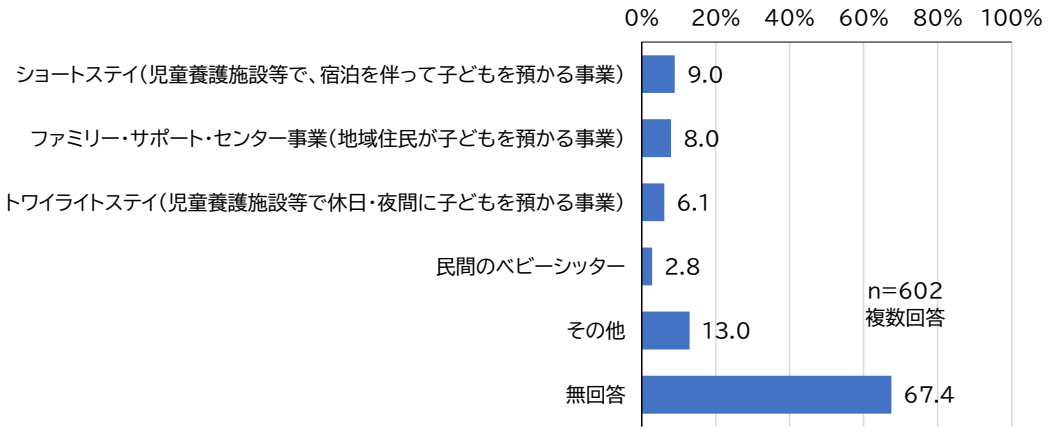

【子どもを同行させた】



### （５）子どもを預かりまたは宿泊を伴う事業として利用したいもの

**問 32　「お子さん」を預かりまたは宿泊を伴う事業として、利用できるものがあれば何を利用したいですか。（あてはまるものすべてに○）また、ある場合は必要な日数をご記入ください。（数字を記入）**

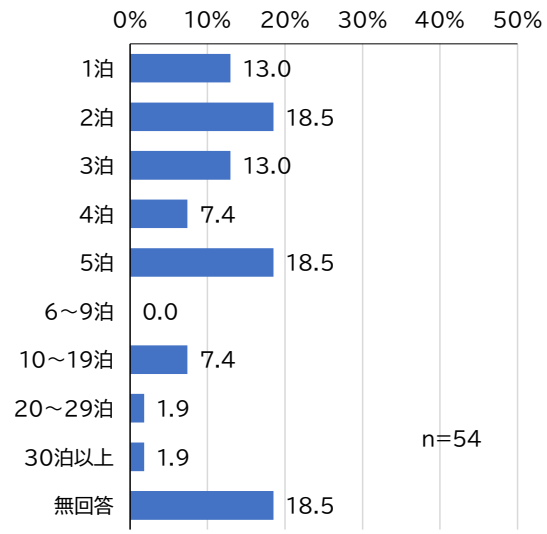
※　事業の利用には一定の利用料金がかかります。



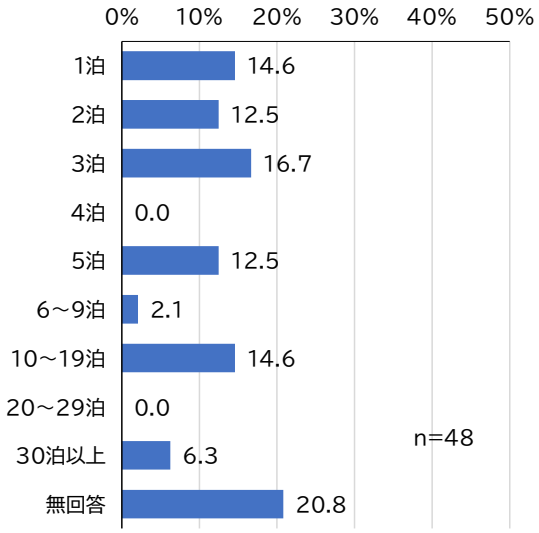

子どもを預かりまたは宿泊を伴う事業として利用したいものは、「ショートステイ（児童養護施設等で、宿泊を伴って子どもを預かる事業）」が 9.0%で最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター事業（地域住民が子どもを預かる事業）」が 8.0%、「トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間に子どもを預かる事業）」が 6.1%となっている。

**〇利用したい日数（年間）**

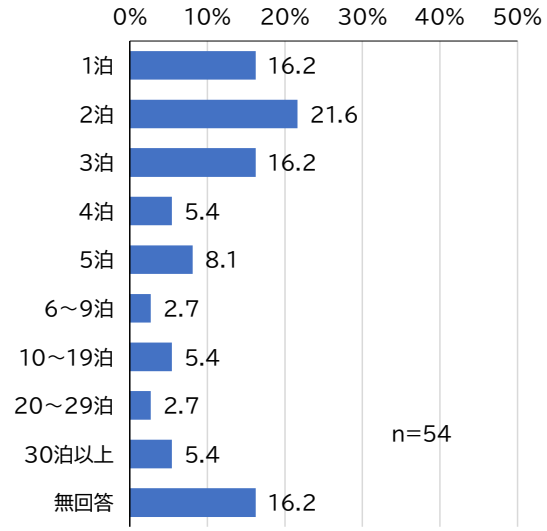
【ショートステイ】



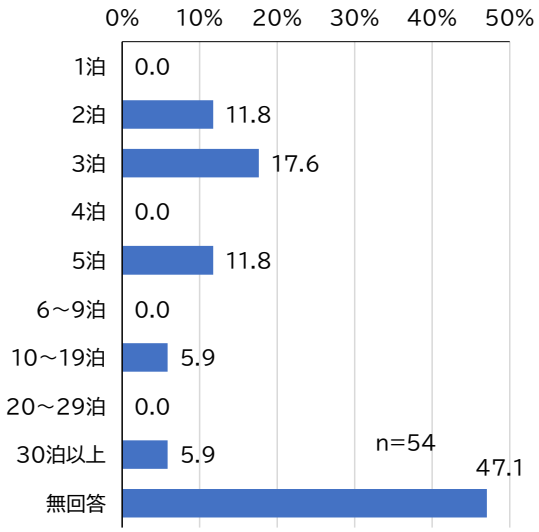

【ファミリー・サポート・センター事業】



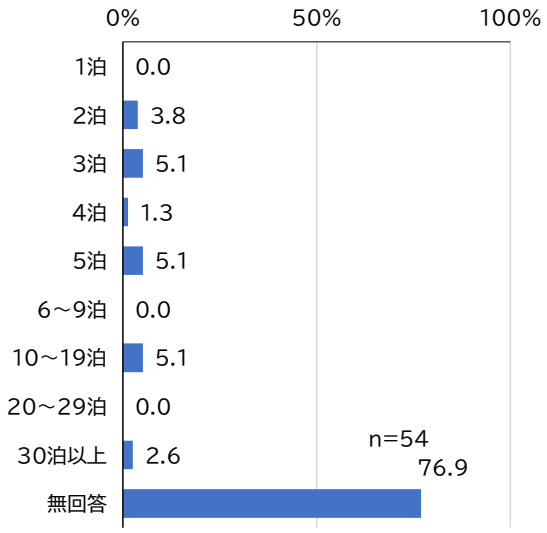

【トワイライトステイ】




【民間のベビーシッター】




【その他】

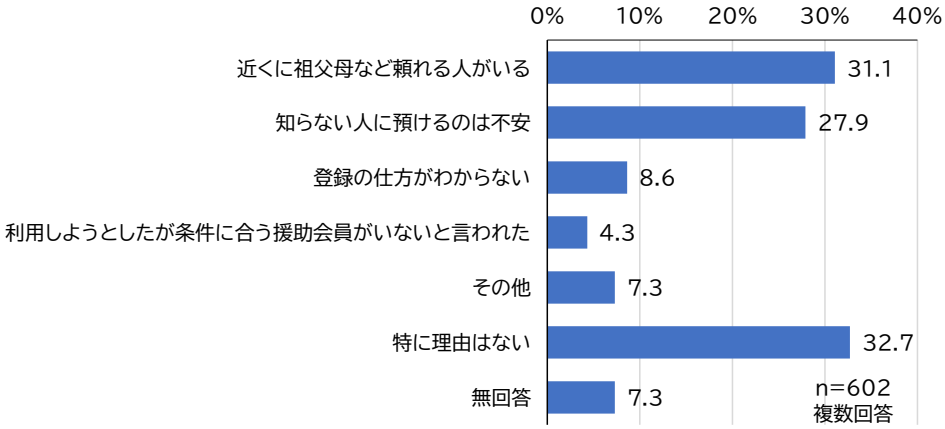


### （６）ファミリー・サポート・センターを利用したことのない理由

**【今までファミリー・サポート・センター※を利用したことがない方】**

**問 33　利用したことのない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

※ 保育所・習い事等への送迎や自宅での育児ができないときに、一時的に子どもの預かりなどのお手伝いをする事業です。（有料）

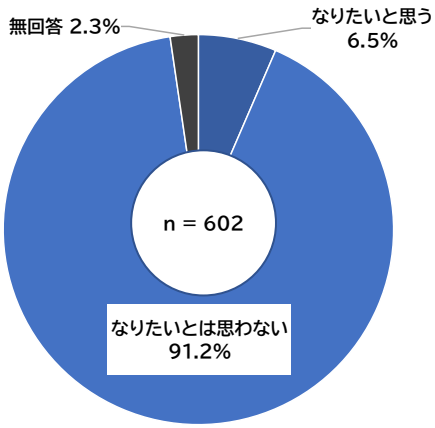



ファミリー・サポート・センターを利用したことのない理由は、「近くに祖父母など頼れる人がいる」が 31.1％で最も高く、次いで「知らない人に預けるのは不安」が 27.9％、「登録の仕方がわからない」が 8.6％となっている。

### （７）今後、ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思うか

**問 34　今後、ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思いますか。（○は１つ）**

※　援助会員とは保育ニーズのある保護者からお子さんを預かり、自宅で保育したり、保育所・学童等への送迎の援助等を行う活動です。

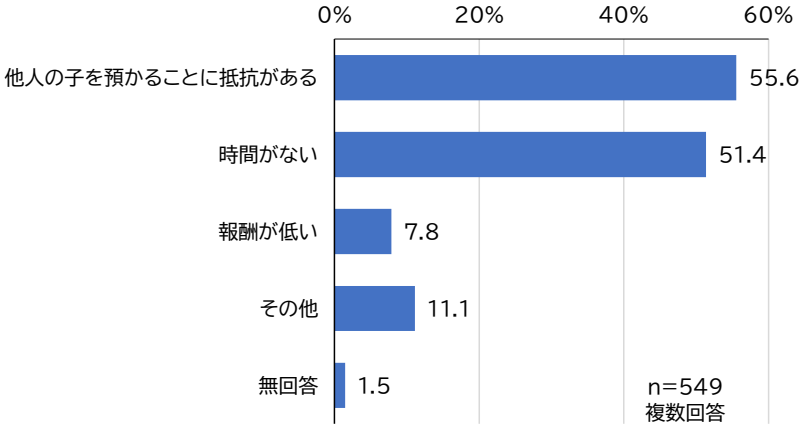



今後、ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思うかは、「なりたいとは思わない」が 91.2％、一方「なりたいと思う」は 6.5％と１割に満たない。

### （８）ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいとは思わない理由

**【問 34 で「なりたいとは思わない」に回答された方】**

**問 34-1　その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

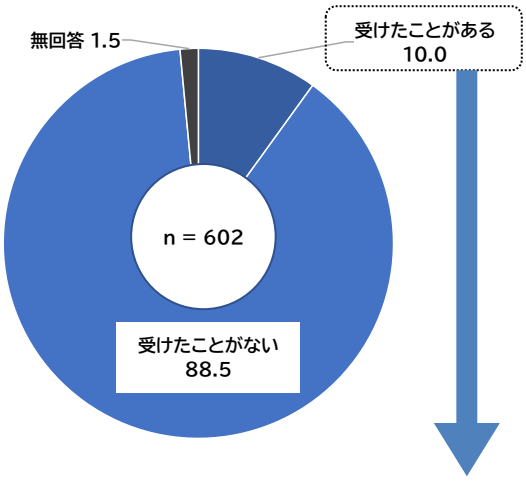



ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいとは思わない理由は、「他人の子を預かることに抵抗がある」が 55.6%で最も高く、次いで「時間がない」が 51.4%、「報酬が低い」が 7.8%となっている。

## 10. 子どもの障がい、発達の状況について

### （１）子どもの発達に関して医師の診断の有無

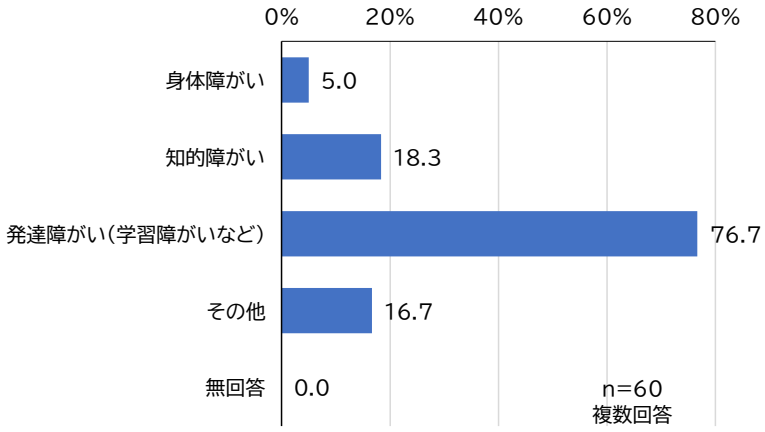
**問 35　これまで、「お子さん」の発達に関して、何らかの医師の診断を受けたことがありますか。**
**（○は１つ）**




子どもの発達に関して医師の診断の有無については、「受けたことがない」が 88.5%、「受けたことがある」が 10.0%となっている。

### （２）子どもの発達に関しての診断の内容

**【問 35 で「受けたことがある」に回答された方】**
**問 35-1　それはどんな診断ですか。（あてはまるものすべてに○）**

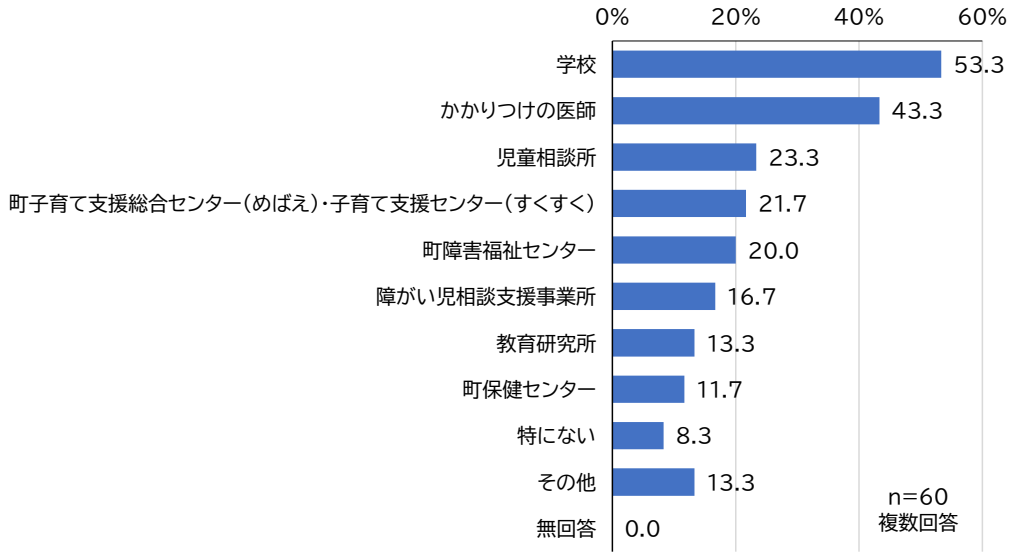



子どもの発達に関しての診断の内容は、「発達障がい(学習障がいなど)」が 76.7%で最も高く、次いで「知的障がい」が 18.3%、「身体障がい」が 5.0%となっている。

### （３）子どもの発達、障がいについて相談している地域の相談機関

**【問 35 で「受けたことがある」に回答された方】**

**問 35-2　お子さんの発達、障がいについて相談している地域の相談機関はどちらですか。（あてはまるものすべてに○）**

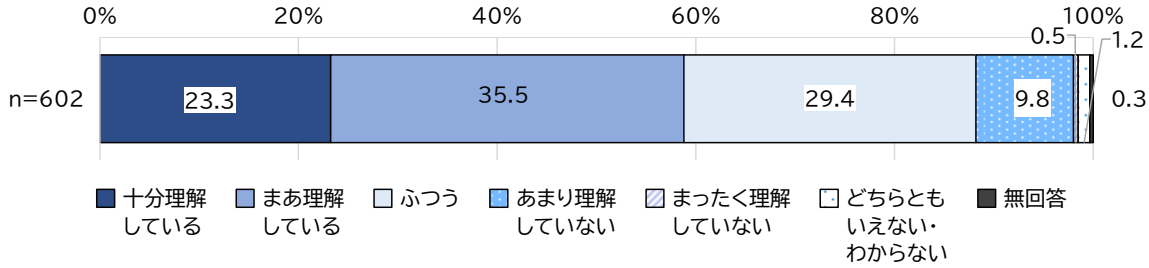



子どもの発達、障がいについて相談している地域の相談機関は、「学校」が 53.3％で最も高く、「かかりつけの医師」が 43.3％、「児童相談所」が 23.3％となっている。。

## 11. 子ども学習状況等について

### （１）子どもの学習の理解度

**問 36　「お子さん」の学習の理解度はどのくらいですか。（◯は１つ）**




子どもの学習の理解度は、「まあ理解している」が 35.5%で最も高く、次いで「ふつう」が 29.4%、「十分理解している」が 23.3%となっている。

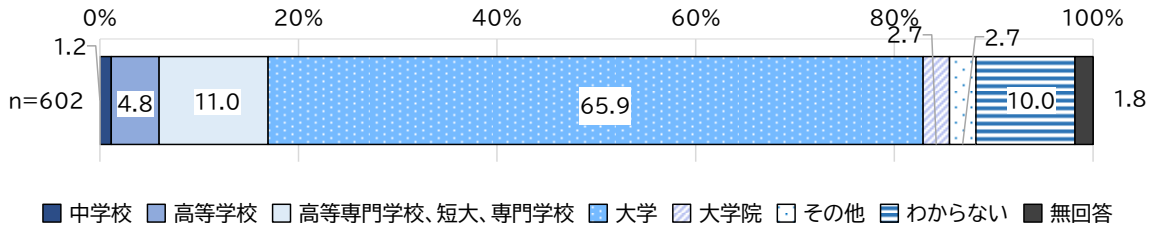
学年別にみると、「1 年生から 5 年生までは「まあ理解している」が最も高く、６年生では「ふつう」が最も高くなっている。

**学年別　×　学習の理解度**

| | | 合計 | 問36 「お子さん」の学習の理解度 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 十分理解している | まあ理解している | ふつう | あまり理解していない | まったく理解していない | どちらともいえない・わからない | 無回答 |
| 全体 | | 602 | 23.3 | 35.5 | 29.4 | 9.8 | 0.5 | 1.2 | 0.3 |
| 学年 | １年生 | 104 | 23.1 | 35.6 | 29.8 | 7.7 | 1.0 | 1.9 | 1.0 |
| | ２年生 | 105 | 21.0 | 34.3 | 26.7 | 16.2 | 1.0 | 1.0 | 0.0 |
| | ３年生 | 89 | 19.1 | 40.4 | 25.8 | 12.4 | 0.0 | 2.2 | 0.0 |
| | ４年生 | 79 | 22.8 | 36.7 | 34.2 | 3.8 | 0.0 | 1.3 | 1.3 |
| | ５年生 | 113 | 26.5 | 36.3 | 26.5 | 8.8 | 0.9 | 0.9 | 0.0 |
| | ６年生 | 106 | 25.5 | 32.1 | 33.0 | 9.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

### （２）子どもの進学について

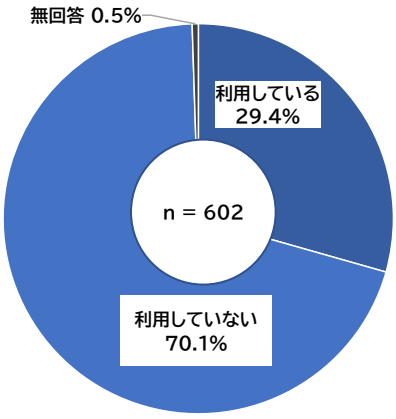
**問 37　「お子さん」の進学について、どこまで希望されますか。（◯は１つ）**




子どもの進学については、「大学」が 65.9%で最も高く、次いで「高等専門学校、短大、専門学校」が 11.0%、「高等学校」が 4.8%となっている。

### （３）子どもの学習塾や家庭教師の利用状況

**問 38　「お子さん」は学習塾や家庭教師を利用していますか。（◯は１つ）**




子どもの学習塾や家庭教師の利用状況は、「利用していない」が 70.1%、「利用している」が 29.4%となっている。

学年別にみると「利用している」は１～２年生で２割弱、３～４年生で２割台、５～６年生で４割代と高くなっている。

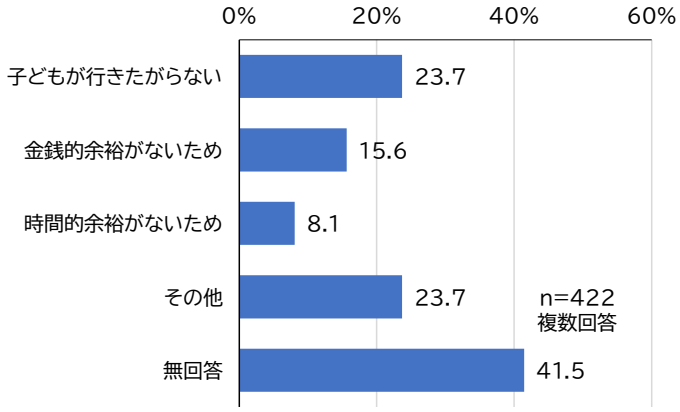
学年別　×　学習塾や家庭教師の利用

| | | 合計 | 問38 「お子さん」は学習塾や家庭教師を利用しているか | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 利用している | 利用していない | 無回答 |
| 全体 | | 602 | 29.4 | 70.1 | 0.5 |
| 学年 | １年生 | 104 | 13.5 | 85.6 | 1.0 |
| | ２年生 | 105 | 17.1 | 82.9 | 0.0 |
| | ３年生 | 89 | 22.5 | 77.5 | 0.0 |
| | ４年生 | 79 | 29.1 | 68.4 | 2.5 |
| | ５年生 | 113 | 46.0 | 54.0 | 0.0 |
| | ６年生 | 106 | 46.2 | 53.8 | 0.0 |

### （４）子どもが学習塾や家庭教師の利用をしていない理由

**【問 38 で「利用していない」に回答された方】**

**問 38-1　利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに◯）**

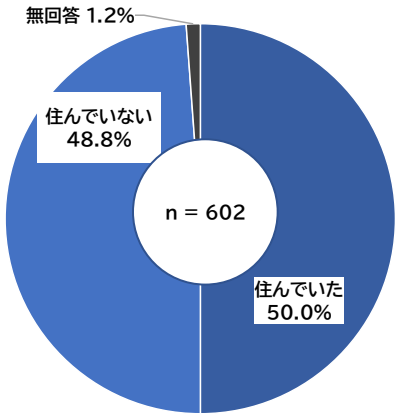



子どもが学習塾や家庭教師の利用をしていない理由は、「子どもが行きたがらない」が 23.7%、「金銭的余裕がないため」が 15.6%、「時間的余裕がないため」が 8.1%となっている。

## 12. 現状での子育て環境について

### （１）最初に子どもが生まれたとき、または妊娠の際、大磯町に居住していたか

**問 39　最初にお子さんが生まれたとき、又は妊娠の際、大磯町にお住まいでしたか。（◯は１つ）**

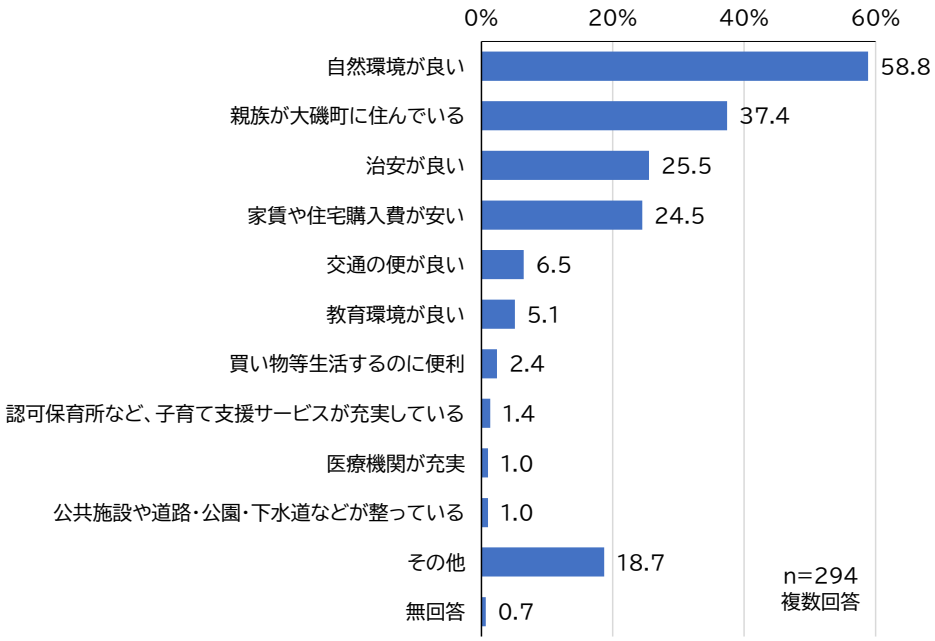



最初に子どもが生まれたとき、または妊娠の際、大磯町に居住していたかは、「住んでいた」が 50.0%、「住んでいない」が 48.8%となっている。

### （２）大磯町に転入した理由

**【問 39 で「住んでいない」に回答した方】**

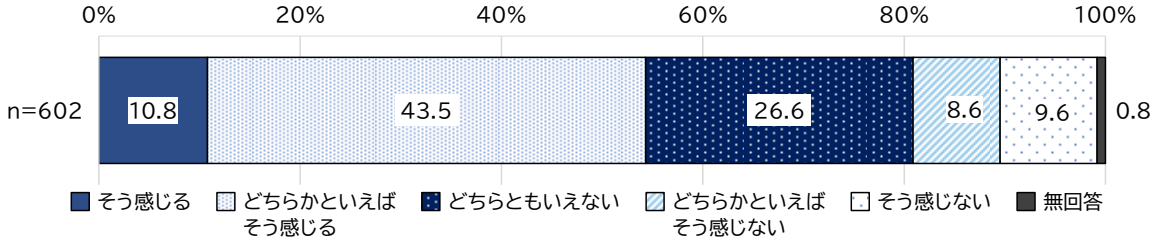
**問 39-1　大磯町に転入した理由をお聞かせください。（あてはまるものすべてに◯）**




大磯町に転入した理由は、「自然環境が良い」が 58.8%で最も高く、次いで「親族が大磯町に住んでいる」が 37.4%、「治安が良い」が 25.5%、「家賃や住宅購入費が安い」が 24.5%となっている。

### （３）子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるか

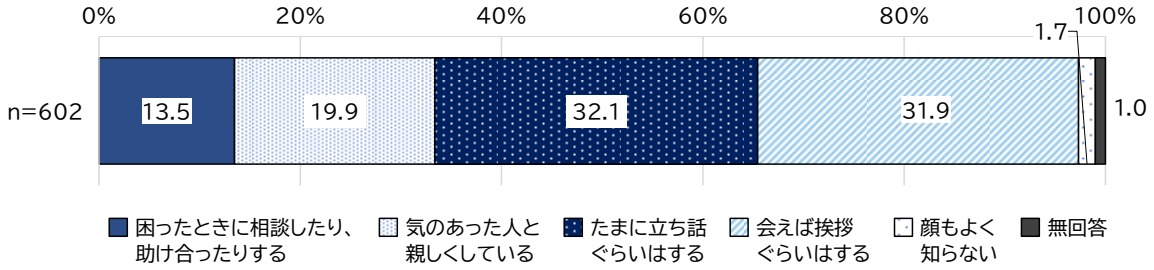
**問 40　子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じますか（◯は１つ）**




子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるかは、「どちらかといえばそう感じる」が 43.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 26.6%となっている。

### （４）近所の人との付き合い方

**問 41　最近、近所の人とどのような付き合い方をしていますか（◯は１つ）**




近所の人との付き合い方は、「たまに立ち話ぐらいはする」が 32.1%で最も高く、次いで「会えば挨拶ぐらいはする」が 31.9%、「気のあった人と親しくしている」が 19.9%となっている。

## （５）近隣市町村に、大磯町にもあったらいいと思う「子どもを対象とした施設」

**問 42　近隣市町村に、大磯町にもあったらいいなと思う「子どもを対象とした施設」が有りましたら、「施設名」と「所在地（市区町村名）」を１つ記入してください。**

227 名の方から 244 件の意見をいただきました。

| 所在地（市区町村名） | 子どもを対象とした施設名 | 件数 |
|---|---|---|
| 平塚市 | 平塚総合公園 | 29 |
| | こどもの家（大野・みなと・山城） | 25 |
| | 湘南あそびマーレ | 6 |
| | 総合公園温水プール | 6 |
| | ららぽーと湘南平塚 | 2 |
| | ビーライトしんわ、ジョイフルなど放課後デイサービス（運動作業療法メイン） | 2 |
| | スターバックスコーヒー | 2 |
| | 平塚市中央図書館 | 1 |
| | 児童相談所 | 1 |
| | 湘南さくら塾 | 1 |
| | 神奈中スイミング | 1 |
| | ガウディア | 1 |
| | 病児保育　麦・もんもん | 1 |
| | こども発達支援室くれよん | 1 |
| 二宮町 | 生涯学習センター　ラディアン | 5 |
| | 東大果樹園跡地、はらっぱ広場（プレイパーク） | 4 |
| | 二宮温水プール | 4 |
| | あそびの庭 | 1 |
| | 吾妻山公園 | 1 |
| 茅ヶ崎市 | 湘南夢わくわく公園（スケートボード場） | 3 |
| | 柳島スポーツ公園 | 1 |
| | 茅ヶ崎里山公園 | 1 |
| 藤沢市 | KidsDuo | 4 |
| | 地域子どもの家 | 3 |
| | 辻堂海浜公園 | 3 |
| | 湘南台文化センターこども館 | 2 |
| | 藤沢小年の森 | 2 |
| | ココテラス湘南 | 1 |
| | 藤沢市役所　青少年自習室 | 1 |
| 小田原市 | 小田原市川東タウンセンター　マロニエ子育て支援センター | 8 |
| | 児童プラザラッコ | 4 |
| | こどもの森わんぱくらんど | 4 |
| | フォレストアドベンチャー・小田原 | 2 |
| 大和市 | シリウス（げんきっこ広場） | 4 |
| | 温水プール | 1 |
| 横浜市 | こどもログハウス | 3 |
| | 仲町台地区センター | 2 |
| | 瀬谷中央公園こどもログハウス | 1 |
| | 特別支援学校はまっ子ふれあいスクール | 1 |
| | どんぐりの家 | 1 |
| | フィールドアスレチック横浜つくし野コース | 1 |
| | こどもの杜（青葉台） | 1 |
| | アースプラザ（栄区） | 1 |
| | 横浜市栄スポーツセンター | 1 |
| 横須賀市 | ソレイユの丘 | 2 |
| 川崎市 | 子ども夢パーク | 9 |
| 厚木市 | あつぎこどもの森公園 | 1 |
| | 東丹沢グリーンパーク | 1 |
| | ぼうさいの丘公園 | 1 |
| 秦野市 | 温水プール | 4 |
| | 秦野市カルチャーパーク | 3 |
| | 秦野NITTAパークおおね（おおね公園） | 3 |
| | 秦野市中央運動公園 | 3 |
| | 秦野市交通公園 | 3 |
| | 保育ママ | 1 |
| | 秦野市丹沢野外活動センター | 1 |
| 伊勢原市 | 伊勢原市立子ども科学館 | 1 |
| 相模原市 | 相模原スポーツ・レクリエーションパーク | 1 |
| | アクアリウムさがみはら | 1 |
| 高座郡寒川町 | スポーツ振興体育館（シンコースポーツ寒川アリーナ） | 1 |
| 愛甲郡愛川町 | スケートボードパーク | 1 |
| 中井町 | 中井町中央公園 | 2 |
| 東京都世田谷区 | キッズパーク | 1 |
| | 「アップス」希望丘青少年交流センター | 1 |
| 東京都練馬区 | 大泉ぴよぴよ | 1 |
| 東京都江東区 | キッザニア（豊洲） | 2 |
| 東京都府中市 | 府中市こどもの国ポムポム | 1 |
| 東京都町田市 | 町田市立子どもセンターまあち | 1 |
| 東京都港区 | ダイアログ | 1 |
| 東京都港区 | ダイバーシティミュージアム | 1 |
| 東京都足立区 | ギャラクシティ | 1 |
| 静岡県焼津市 | 公園 | 1 |
| 静岡県富士市 | 富士山こどもの国 | 1 |
| 大磯町にあると良いと思う施設 | 児童館 | 9 |
| | 室内プール | 4 |
| | 大きな公園 | 4 |
| | 安心して遊べる場所 | 3 |
| | 給食センター | 2 |
| | ミニバスケットゴール | 2 |
| | フリースクール | 2 |
| | 小学校にプール施設 | 2 |
| | 図書館（小学生が静かに自習できる） | 2 |
| | インターナショナルスクール | 1 |
| | 放課後デイサービス | 1 |
| | 子ども食堂 | 1 |
| | こどもの家 | 1 |
| | ふわふわドーム | 1 |
| | コンビニ | 1 |
| | 駄菓子屋 | 1 |
| | 小児科 | 1 |
| | 体育館 | 1 |
| | サッカーができる公園 | 1 |
| | 音楽ホール | 1 |
| | 公園付巨大図書館 | 1 |
| NCR跡地 | 町立体育館、グランド | 1 |
| 合計 | | 244 |

## （６）近隣市町村に、大磯町にもあったらいいと思う「子どもを対象とした制度や仕組み」

**問 43　近隣市町村に、大磯町でもあったらいいなと思う「子どもを対象とした制度や仕組み」が有りましたら、「制度や仕組みの内容」と「実施市区町村名」１つ記入してください**

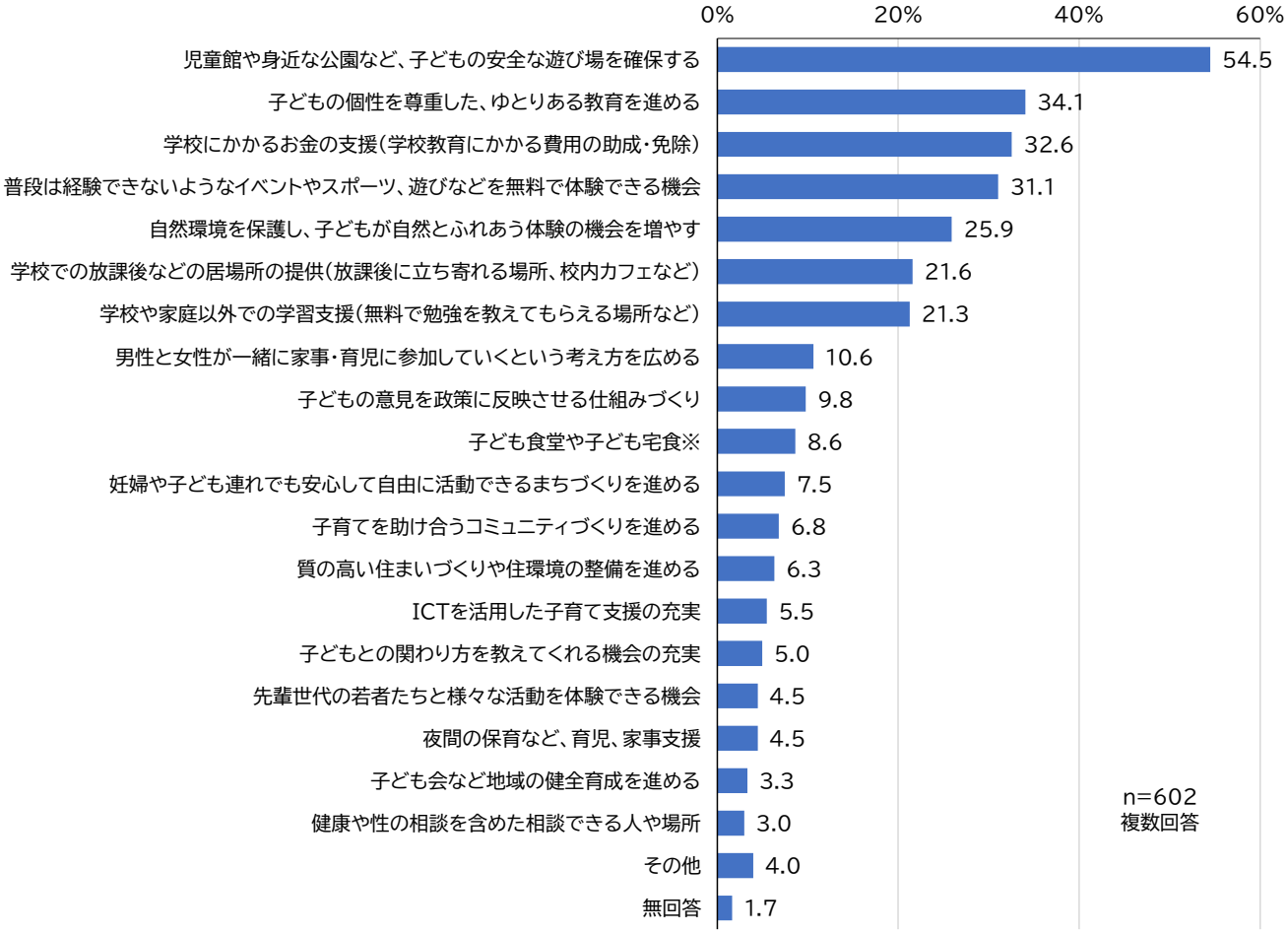
137 名の方から 143 件の意見をいただきました。

| 所在地（市区町村名） | 子どもを対象とした施設や事業名 | 件数 |
|---|---|---|
| 平塚市 | 子どもの家 | 3 |
| | 中学校の完全給食 | 2 |
| | ヘルメット購入時の助成金 | 2 |
| | 病児保育の対象が、小学3年生や小学6年生までな点 | 2 |
| | ドリームパスポート（プロスポーツ観戦が無料） | 2 |
| | 留守家庭児童登録 | 1 |
| | 1人親下水道代を無料 | 1 |
| | 子ども学習支援グループ須賀の寺子屋 | 1 |
| | 子ども食堂 | 1 |
| | インフルワクチン補助 | 1 |
| | インクルーシブな教育（遊具、公園、プール等） | 1 |
| | 子ども大学ひらつか | 1 |
| 平塚市・二宮町 | 将棋クラブ、サークル（子どもだけでも参加できるサークル） | 1 |
| 平塚市・秦野市 | 東海大学とのイベント | 1 |
| 二宮町 | （中学校）給食センター施設 | 4 |
| | プレーパーク | 2 |
| | 発達の勉強星山麻木先生 | 2 |
| | 東大果樹園後地の活動 | 2 |
| | にのみや子ども自然塾 | 1 |
| | 全小学校へのスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの設置 | 1 |
| | 町のプール教室 | 1 |
| | 吾妻山公園（アスレチック） | 1 |
| 藤沢市 | 図書館の勉強（自習）での利用 | 1 |
| | 中学校の給食 | 1 |
| | 少年の森 | 1 |
| | おむつのゴミ無料 | 1 |
| | 藤沢市サマースクール事業 | 1 |
| | 18以下医療費無料化 | 1 |
| 茅ヶ崎市 | 放課後デイサービス利用の際の交通費支給 | 1 |
| | フィールドアスレチックの様な自然の中で体を動かせるもの | 1 |
| 小田原市 | マロニエ | 1 |
| | わんぱくランド | 1 |
| | NPO法人全国てらこやネットワーク | 1 |
| | 社会福祉法人　宝安寺（発達支援） | 1 |
| 小田原市・鎌倉市 | 子育て世代が無料で参加できるイベントの実施、施設利用 | 1 |
| 大和市 | 小学生向けの教育研究所イベント等（教育委員会教育研究所主催） | 1 |
| | 寺子屋 | 2 |
| 横浜市（都筑区仲町台） | 街全体が自然な遊歩道や公園が充実 | 2 |
| 横浜市川崎市等 | 学童、放課後クラブ無料（保険料のみ） | 2 |
| | 習い事が複数できる施設 | 2 |
| | 放課後キッズクラブ（学童よりも利用しやすく、子供も自由に遊べる | 2 |
| 横浜市 | 横浜ラポール＝インクルーシブな教育 | 1 |
| | 子育てりぶいん | 1 |
| | こども宇宙科学館 | 1 |
| | 中学校給食無償化 | 1 |
| 鎌倉市 | 第2子保育料無料 | 1 |
| | 放課後子どもひろば | 1 |

| 所在地（市区町村名） | 子どもを対象とした施設や事業名 | 件数 |
|---|---|---|
| 逗子市 | とびうおクラブ（放課後クラブ）放課後、毎日利用できる登録なしの学童保育のようなもの | 2 |
| | 原っぱ大学 | 2 |
| | 子ども文化センター（多摩区） | 1 |
| | フリースクールの公立化（子ども権利に関する条例をつくりそのためにどうすればよいか真剣に話し合う。時には学校の教師もこの様なフリースクールで学ぶというか就労する） | 1 |
| | 寺子屋事業 | 1 |
| 厚木市 | 紙おむつ・おしりふき支給や代金補助 | 3 |
| | 自転車購入費・ヘルメット代補助 | 1 |
| | スポーツ表彰や補助金 | 1 |
| | 行動援護サービス | 1 |
| 秦野市 | おおね公園 | 1 |
| 相模原市 | 相模原市総合学習センター（不登校対策、対応取り組み事例集） | 1 |
| 寒川町 | 中高一貫校 | 1 |
| 東京都 | 全高校の授業料実質無償化 | 7 |
| | 018サポート（18才以下に所得制限無しで月5000円） | 1 |
| 東京都・辻堂 | オールイングリッシュのアフタースクール | 1 |
| 東京都・横浜市 | 英語を軸にして、学べる環境 | 1 |
| 東京都新宿区 | 東京おもちゃ美術館 | 1 |
| 東京都豊島区 | 家事と子育てを手伝うホームヘルパー（体調不良の時も） | 1 |
| 東京都中野区 | 男性へのHPVワクチン | 1 |
| 品川区、港区、横浜市、箱根町、三島市、仙台市、etc | 産後ドゥーラ利用の助成 | 2 |
| 足柄上郡山北町 | 「0～15歳までの一貫教育・保育」の特に“切れ目のない支援体制” | 2 |
| 埼玉県さいたま市 | 家事と子育てを手伝うホームヘルパー（体調不良の時も） | 1 |
| 千葉県流山市 | 送迎保育ステーション | 1 |
| 静岡県袋井市 | あそびば　もこ・あ・もこ | 1 |
| 大阪府 | 学校外の教育資金助成（習い事・塾代助成） | 1 |
| 沖縄（南城市など）、茨城県境町 | 海外短期留学 | 1 |
| 愛知県名古屋市 | 放課後トワイライトスクール　いつでもだれでも行ける学習と遊びの場　土曜日も含む週6日　長期休暇中も開催 | 1 |
| 福岡県福岡市 | 子ども習い事応援事業 | 1 |
| 京都府南丹市 | 子育て弁当、子宝手当、入学祝金 | 2 |
| 大分県豊後高田市 | 子育て応援祝い金＋8つの無料 | 1 |
| 大磯町にあると良いと思う施設 | 中学校の給食（自校式） | 15 |
| | 所得を問わない児童手当の拡充 | 2 |
| | 大型店舗（コストコ等） | 2 |
| | アスレチック設備やボールをけってもOK広場のある公園 | 2 |
| | オンライン授業の実施 | 1 |
| | 時短勤務体制の拡充（小6まで） | 1 |
| | こどもの条例を町として設けること | 1 |
| | 小さい子供から大きな子供まで遊べる公園、施設が欲しい（踊場公園こどもログハウス（横浜市児童館）森の空中あそびパカブ（南足柄市）瀬谷中央公園こどもログハウス（横浜市瀬谷区）） | 1 |
| | プール（小磯小学校） | 1 |
| | 一時預かり（幼稚園が運営している）含土曜日 | 1 |
| | 夕方、公園で子供が遊んでいる時にみていてくれる職員がいるとよい | 1 |
| | 地産地消の体験 | 1 |
| | 室内の遊び場 | 1 |
| | 学校にお泊り保育 | 1 |
| | コンビニ（西小磯） | 1 |
| | 小学校の宿題（特に長期休み時） | 1 |
| | 児童館 | 1 |
| | ぷちおおいその回数を増やして欲しい | 1 |
| | 第1子は高校、できれば大学費用助成 | 1 |
| 合計 | | 173 |

### （７）子どもを健やかに産み育てるために必要と思われること

**問 44　子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることは、どのようなことですか。（◯は３つまで）**

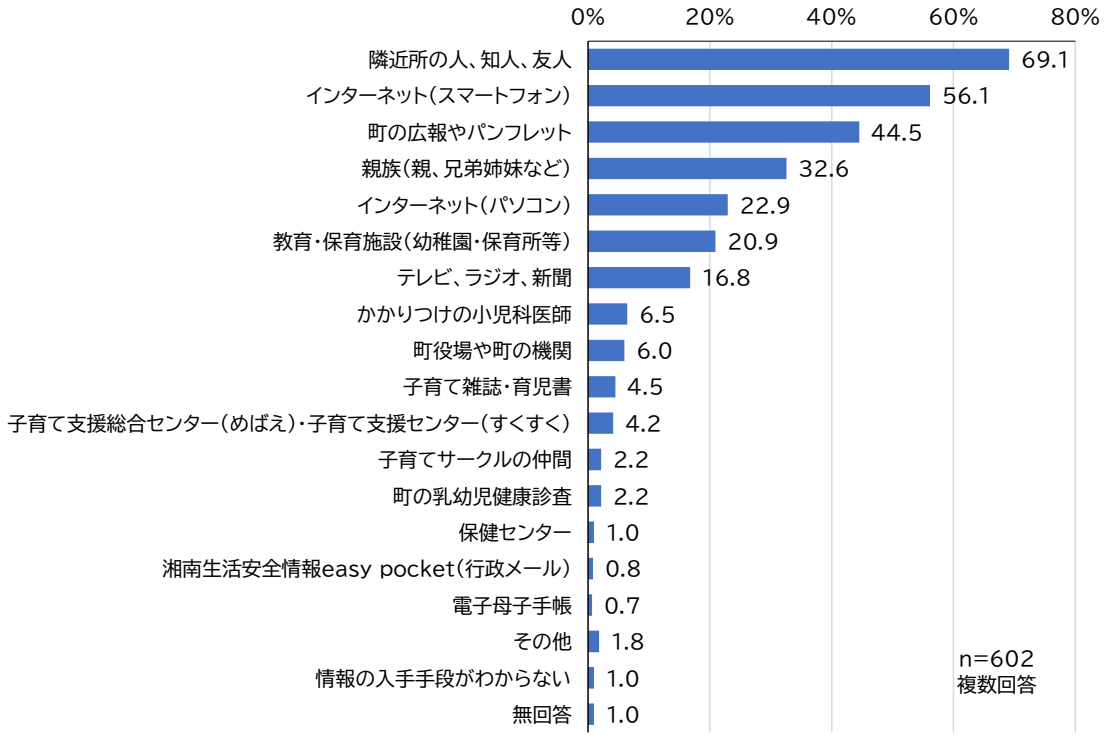



※　「子ども食堂や子ども宅食」とは、子どもがいる家に無料で食べ物が届く仕組み
※　「フードバンク」とは、寄付された食料を必要とする人に届ける活動

子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることは、「児童館や身近な公園など、子どもの安全な遊び場を確保する」が 54.5％で最も高く、次いで「子どもの個性を尊重した、ゆとりある教育を進める」が 34.1％、「学校にかかるお金の支援（学校教育にかかる費用の助成・免除）」が 32.6％、「普段は経験できないようなイベントやスポーツ、遊びなどを無料で体験できる機会」31.1％となっている。

### （８）子育てに関する情報の入手手段

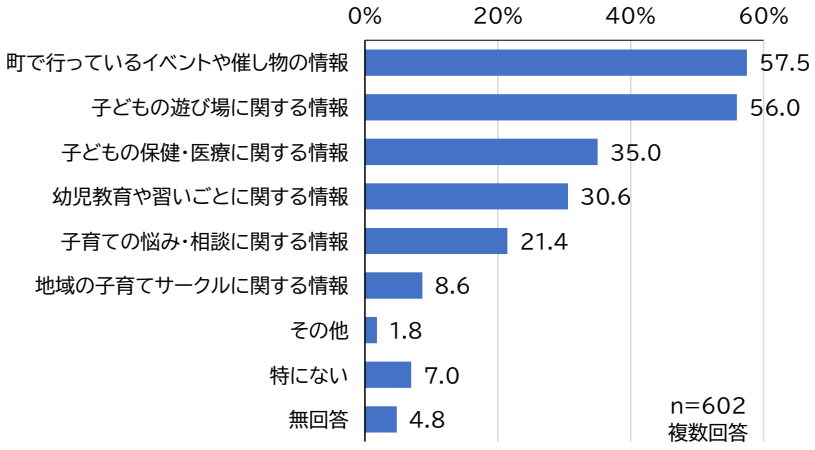
**問 45　子育てに関する情報をどのように入手していますか。（あてはまるものすべてに○）**




子育てに関する情報の入手手段は、「隣近所の人、知人、友人」が 69.1%、「インターネット（スマートフォン）」が 56.1%、「町の広報やパンフレット」が 44.5%、「親族（親、兄弟姉妹など）」が 32.6%となっている。

### （９）子育てに関して求める情報

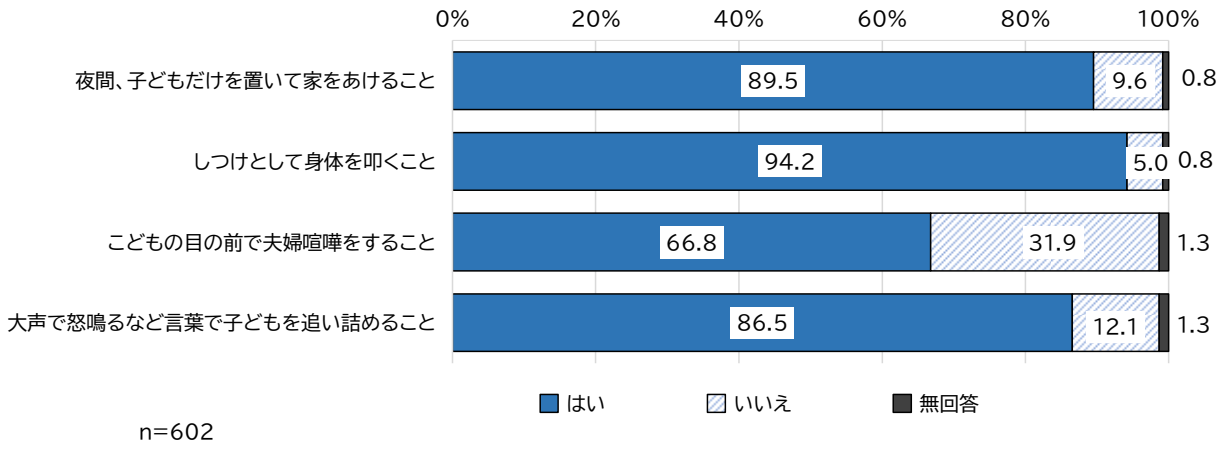
**問 46　子育てに関してどのような情報があればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）**




子育てに関して求める情報は、「町で行っているイベントや催し物の情報」が 57.5%で最も高く、次いで「子どもの遊び場に関する情報」が 56.0%、「子どもの保健・医療に関する情報」が 35.0%となっている。

### （10）児童虐待にあたることの認知

**問 47　各項目が児童虐待にあたることを知っていますか。（それぞれに○は１つ）**

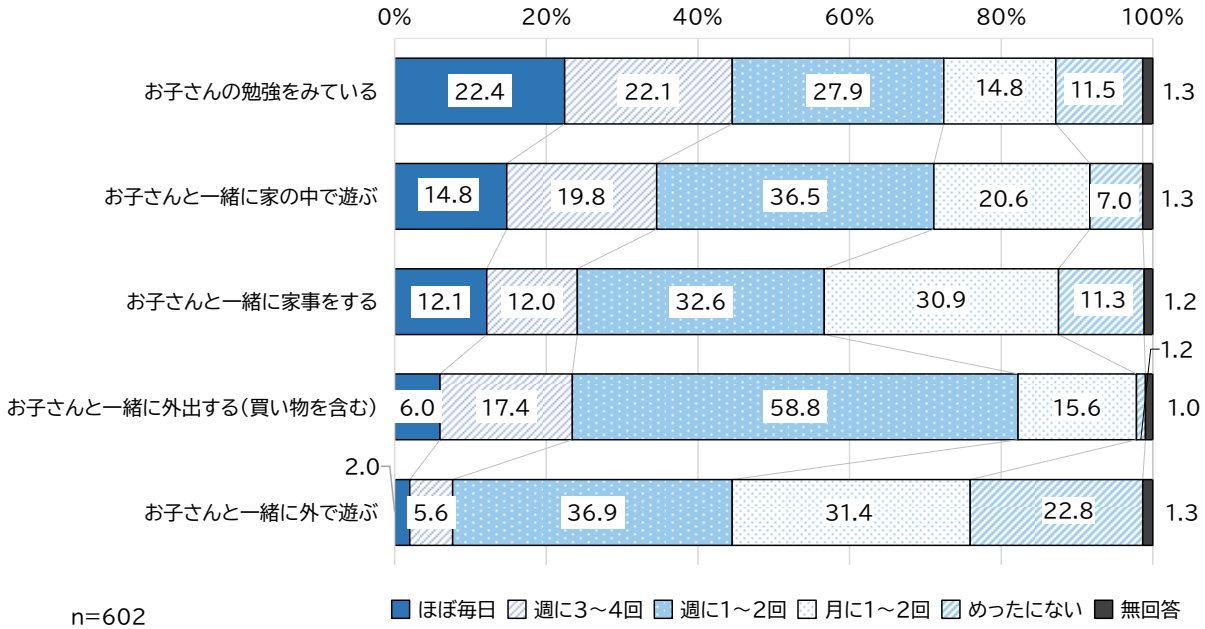



n=602

児童虐待にあたることの認知について、「しつけとして身体を叩くこと」では 94.2%、「夜間、子どもだけを置いて家をあけること」では 89.5%、「大声で怒鳴るなど言葉で子どもを追い詰めること」では 86.5%、「こどもの目の前で夫婦喧嘩をすること」では 66.8%が児童虐待にあたると認知している。

### （11）子どもと家庭ですることについて

**問 48　あなたのご家庭では、「お子さん」と次のことをすることがありますか。（それぞれに○は1つ）**




n=602

子どもと家庭ですることについて、全ての項目で「週に１～２回」が最も高くなっている。次いで高いのは、『お子さんの勉強をみている』では「ほぼ毎日」が、『お子さんと一緒に外出する（買い物を含む）』では「週に３～４回」が、『お子さんと一緒に家の中で遊ぶ』、『お子さんと一緒に家事をする』、『お子さんと一緒に外で遊ぶ』では「めったにない」となっている。

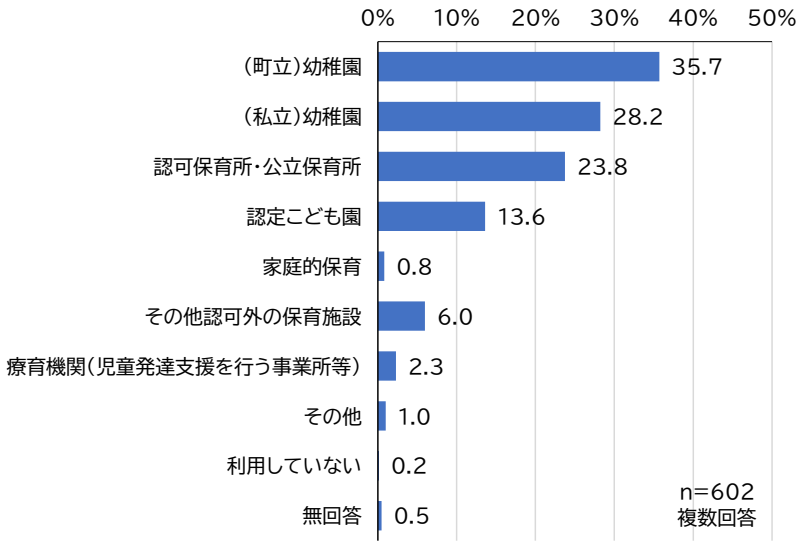
家庭でお子さんの勉強をみる頻度を学年別にみると、１年生で「ほぼ毎日」が最も高く，３年生では「週に３～４回」がそれ以外では「週に１～２回」が高くなっている。

**学年別　×　お子さんの勉強をみている**

| | | 合計 | 問48ア．お子さんの勉強をみている | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ほぼ毎日 | 週に３～４回 | 週に１～２回 | 月に１～２回 | めったにない | 無回答 |
| 全体 | | 602 | 22.4 | 22.1 | 27.9 | 14.8 | 11.5 | 1.3 |
| 学年 | １年生 | 104 | 38.5 | 30.8 | 17.3 | 6.7 | 4.8 | 1.9 |
| | ２年生 | 105 | 23.8 | 28.6 | 30.5 | 14.3 | 1.9 | 1.0 |
| | ３年生 | 89 | 21.3 | 37.1 | 25.8 | 11.2 | 3.4 | 1.1 |
| | ４年生 | 79 | 21.5 | 16.5 | 36.7 | 11.4 | 10.1 | 3.8 |
| | ５年生 | 113 | 12.4 | 10.6 | 27.4 | 27.4 | 21.2 | 0.9 |
| | ６年生 | 106 | 16.0 | 11.3 | 32.1 | 16.0 | 24.5 | 0.0 |

### （12）お子さんが小学校入学前に利用していた教育・保育事業

**問 49　「お子さん」は、小学校入学前は主にどのような教育・保育事業を利用していましたか。（あてはまるものすべてに○）**

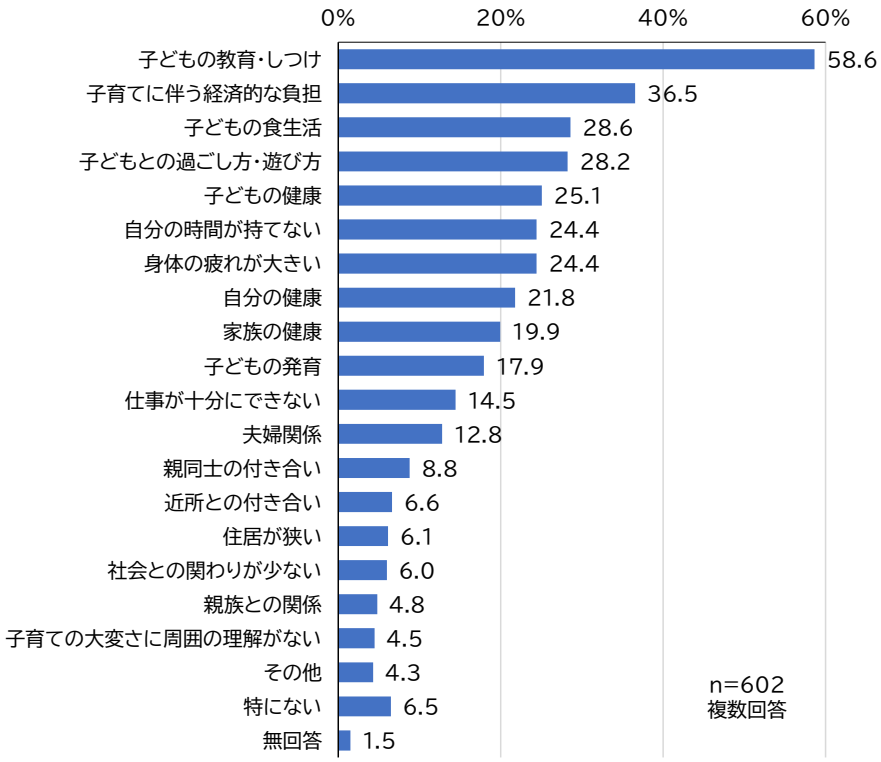



お子さんが小学校入学前に利用していた教育・保育事業は、「(町立) 幼稚園」が 35.7%で最も高く、次いで「(私立) 幼稚園」が 28.2%、「認可保育所・公立保育所」が 23.8%、「認定こども園」が 13.6%となっている。

## 13. 現状での子育て環境の満足度について

### （1）子育てをしていて感じている悩み

**問 50　現在、子育てをしていて感じている悩みは何ですか。（あてはまるものすべてに○）**




子育てをしていて感じている悩みは、「子どもの教育・しつけ」が 58.6%で最もお高く、次いで「子育てに伴う経済的な負担」が 36.5%、「子どもの食生活」が 28.6%、「子どもとの過ごし方・遊び方」が 28.2%となっている。

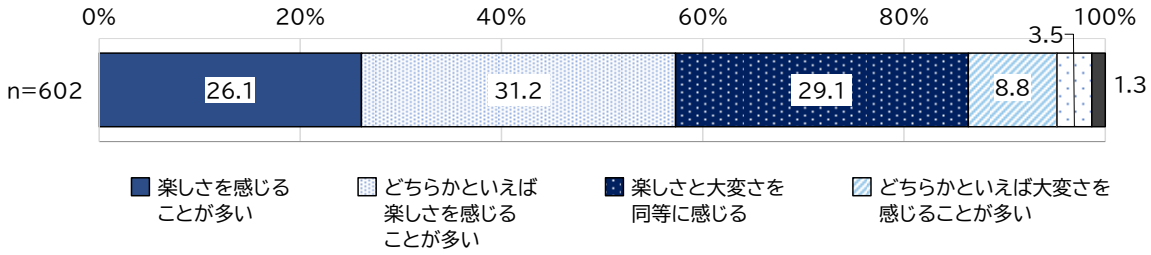
家庭類型別にみると、「ひとり親」では「子どもの食生活」、「子どもとの過ごし方・遊び方」、「子どもの健康」、「自分の健康」、「子育てに伴う経済的な負担」、「身体の疲れが大きい」で全体より 10 ポイント以上高くなっている。

**家庭類型別　×　現在、子育てをして感じる悩み**

| | | 合計 | 問50 現在、子育てをしていて、感じる悩み | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 子どもの食生活 | 子どもとの過ごし方・遊び方 | 子どもの健康 | 子どもの教育・しつけ | 子どもの発育 | 夫婦関係 | 親族との関係 | 親同士の付き合い | 自分の健康 | 家族の健康 | 社会との関わりが少ない | 近所との付き合い | 住居が狭い | 子育ての大変さに周囲の理解がない | 仕事が十分にできない | 自分の時間が持てない | 子育てに伴う経済的な負担 | 身体の疲れが大きい | その他 | 特にない | 無回答 |
| | 全体 | 602 | 28.6 | 28.2 | 25.1 | 58.6 | 17.9 | 12.8 | 4.8 | 8.8 | 21.8 | 19.9 | 6.0 | 6.6 | 6.1 | 4.5 | 14.5 | 24.4 | 36.5 | 24.4 | 4.3 | 6.5 | 1.5 |
| 現在の家庭類型 | ひとり親（就労形態に関わらず） | 25 | **40.0** | **48.0** | **40.0** | 68.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 8.0 | **44.0** | 20.0 | 4.0 | 4.0 | 8.0 | 12.0 | 12.0 | 32.0 | **64.0** | **40.0** | 8.0 | 0.0 | 4.0 |
| | 両親ともにフルタイムで就労 | 146 | 27.4 | 30.1 | 21.2 | 56.2 | 13.0 | 11.6 | 2.7 | 7.5 | 13.7 | 11.6 | 8.2 | 6.8 | 4.8 | 2.1 | 15.1 | 37.0 | 28.1 | 30.1 | 5.5 | 4.8 | 2.1 |
| | 両親のいずれかがフルタイム、いずれかがパートタイム就労 | 258 | 27.9 | 26.7 | 21.7 | 57.8 | 18.6 | 12.8 | 5.8 | 10.1 | 19.4 | 20.5 | 2.7 | 3.9 | 5.8 | 4.7 | 12.4 | 20.9 | 39.9 | 19.0 | 3.9 | 8.9 | 1.2 |
| | 両親のいずれかがフルタイムで就労している | 160 | 30.6 | 26.9 | 32.5 | 61.9 | 21.9 | 15.0 | 6.3 | 8.8 | 28.8 | 26.9 | 9.4 | 11.3 | 8.1 | 5.0 | 18.1 | 18.8 | 35.6 | 26.9 | 3.1 | 4.4 | 1.3 |
| | 分類不能 | 12 | 0.0 | 8.3 | 16.7 | 41.7 | 8.3 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 16.7 | 8.3 | 8.3 | 0.0 | 8.3 | 8.3 | 8.3 | 25.0 | 8.3 | 8.3 | 16.7 | 0.0 |

### （２）子育てをしていて、楽しさと大変さとどちらを感じることが多いか

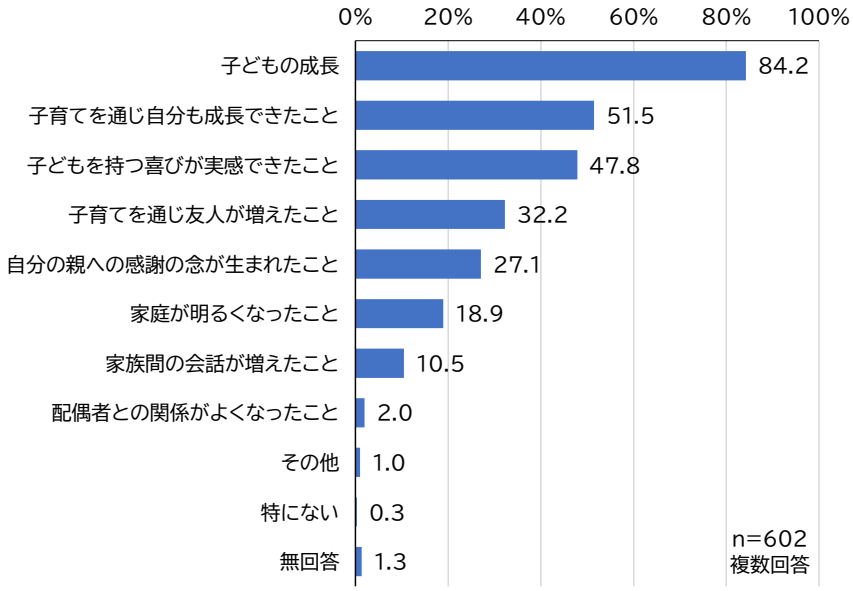
**問 51　現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じることが多いですか。（◯は１つ）**




子育てをしていて、楽しさと大変さとどちらを感じることが多いかは、「どちらかといえば楽しさを感じることが多い」が 31.2%で最も高く、次いで「楽しさと大変さを同等に感じる」が 29.1%、「楽しさを感じることが多い」が 26.1%となっており、８割以上の方は、楽しさを感じている。

### （３）子育てをしてよかったこと、嬉しかったこと

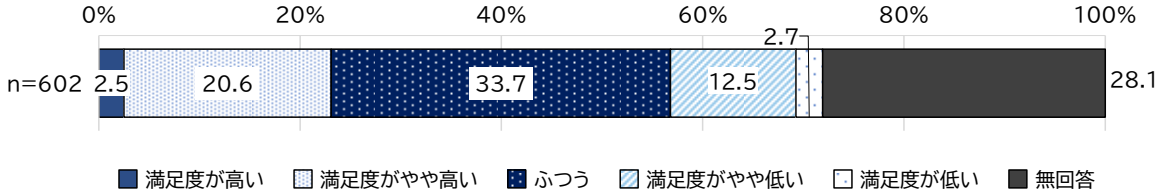
**問 52　子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは何ですか。（◯は３つまで）**




子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは、「子どもの成長」が 84.2%で最も高く、次いで「子育てを通じ自分も成長できたこと」が 51.5%、「子どもを持つ喜びが実感できたこと」が 47.8%となっている。

### （４）地域における子育ての環境や支援の満足度

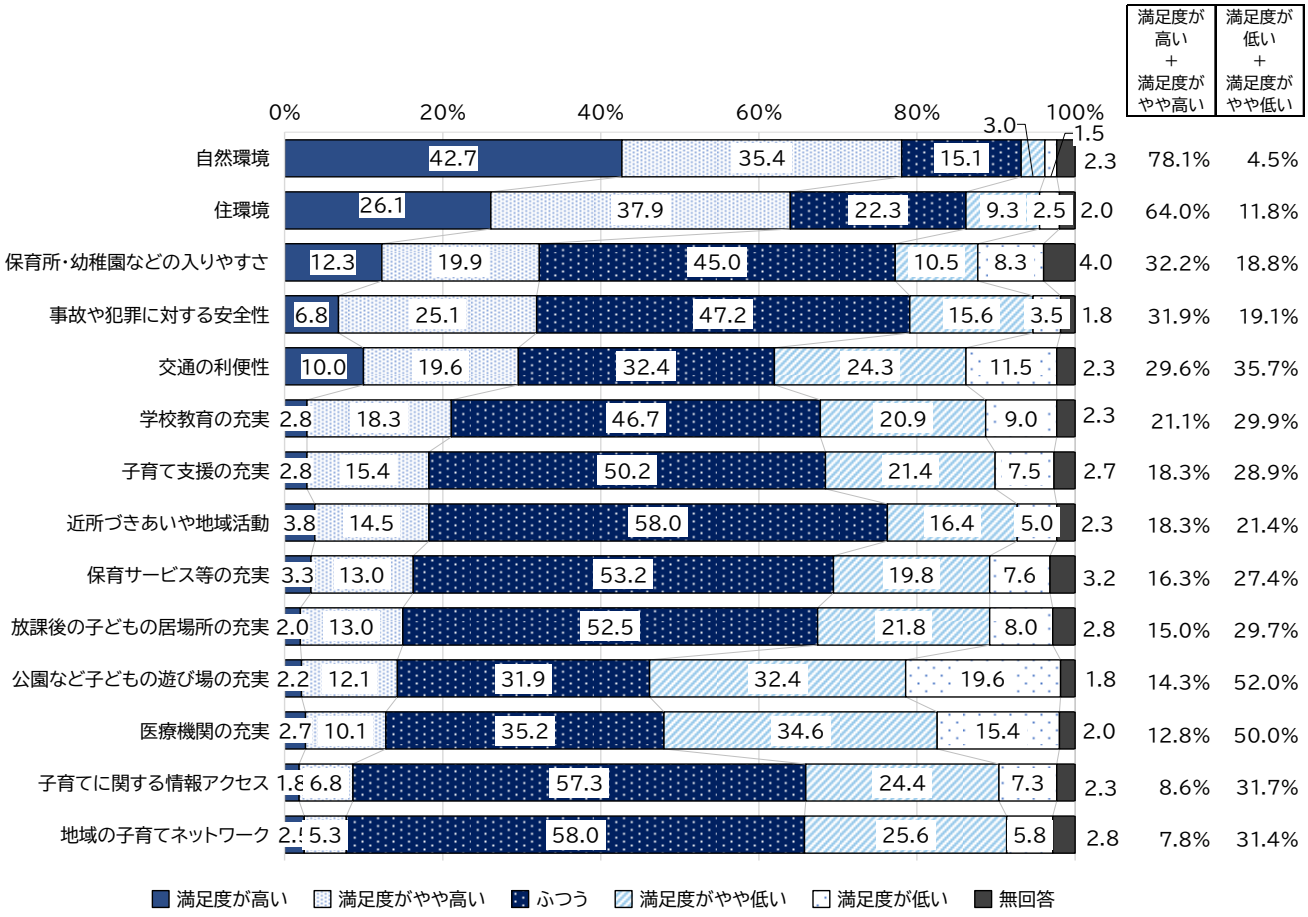
**問 53　お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。（◯は１つ）**




地域における子育ての環境や支援の満足度は、「ふつう」が 33.7％で最も高く、次いで「満足度がやや高い」が 20.6％、「満足度がやや低い」が 12.5％となっている。

### （５）各種環境の満足度

**問 54　各項目の満足度を教えてください。（それぞれ「１～５」のいずれかに◯を１つ）**

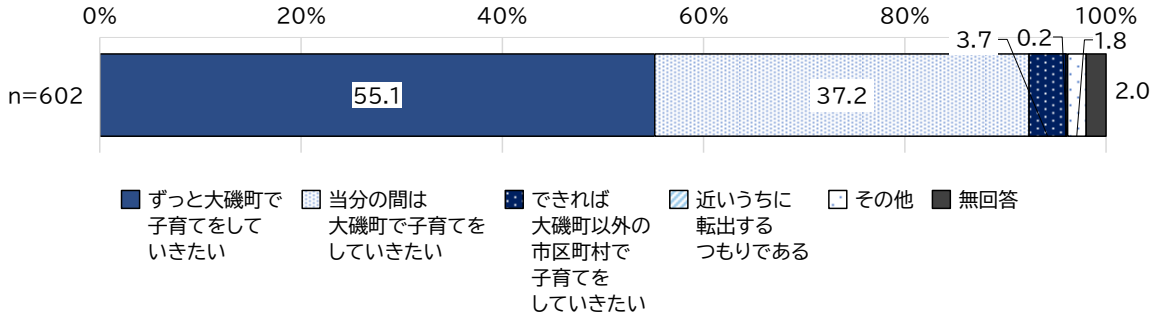



地域における子育ての環境や支援の満足度は、「満足度が高い」と「満足度がやや高い」を足した『満足度が高い』割合は、「自然環境」が 78.1％で最も高く、次いで「住環境」が 64.0％、「保育所・幼稚園などの入りやすさ」が 32.2％となっている。

一方、「満足度が低い」と「満足度がやや低い」を足した『満足度が低い』割合は、「公園など子どもの遊び場の充実」が 52.0％で最も高く、次いで「医療機関の充実「が 50.0％、「交通の利便性」が 35.7％となっている。

### （６）今後も、大磯町で子育てをしていきたいと思うか

**問 55　今後も、大磯町で子育てをしていきたいと思いますか。（◯は１つ）**

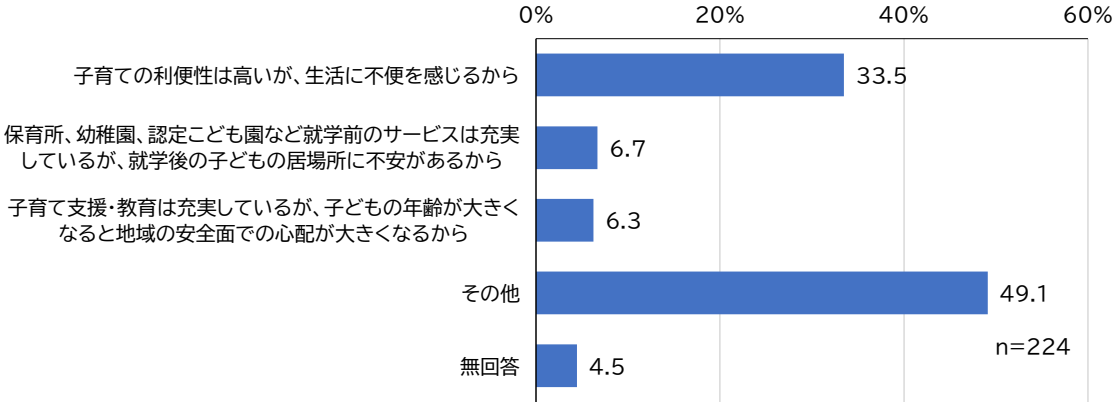



今後も、大磯町で子育てをしていきたいと思うかは、「ずっと大磯町で子育てをしていきたい」が 55.1%で最も高く、次いで「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」が 37.2%となっている。

### （７）「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」理由

**【問 55 で「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」に回答した方】**

**問 55-1　「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」と思う理由は何ですか。（◯は１つ）**




「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」理由は、「子育ての利便性は高いが、生活に不便を感じるから」が 33.5%で最も高く、次いで「保育所、幼稚園、認定こども園など就学前のサービスは充実しているが、就学後の子どもの居場所に不安があるから」が 6.7%、「子育て支援・教育は充実しているが、子どもの年齢が大きくなると地域の安全面での心配が大きくなるから」が 6.3%となっている。

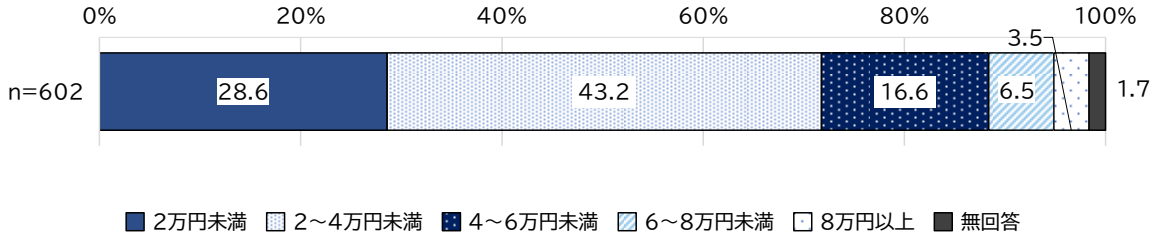
その他では、72 名の方から 77 件の意見が挙げられました。

| その他内容 | 件数 | その他内容 | 件数 |
|---|---|---|---|
| 家を買った | 10 | 町の政策が変わりすぎて | 4 |
| 状況に適した所に住みたいため | 8 | （不安大磯幼稚園がこども園になる計画がなくなるなど） | |
| 子どもの支援・教育サービスが不十分 | 8 | 生活が不便だから | 4 |
| 子どもの成長に合わせて考えたい | 6 | 危ないところが多い | 3 |
| 実家があるため | 5 | 小児科がないため | 2 |
| 仕事の都合（転勤の可能性） | 5 | 教育面が不安 | 2 |
| 先のことはわからない | 5 | お金 | 1 |
| 学校が子どもに合わなかったら引越す | 4 | 災害時に不安 | 1 |
| 小学校の良い噂をきかないため | 4 | 狭い町でプライバシーが守れない | 1 |
| 中学校以降の選択肢が少ない | 4 | 合計 | 77 |

## 14. 子育てにかかる費用等について

### （１） １ヶ月あたりにかかる子育ての費用

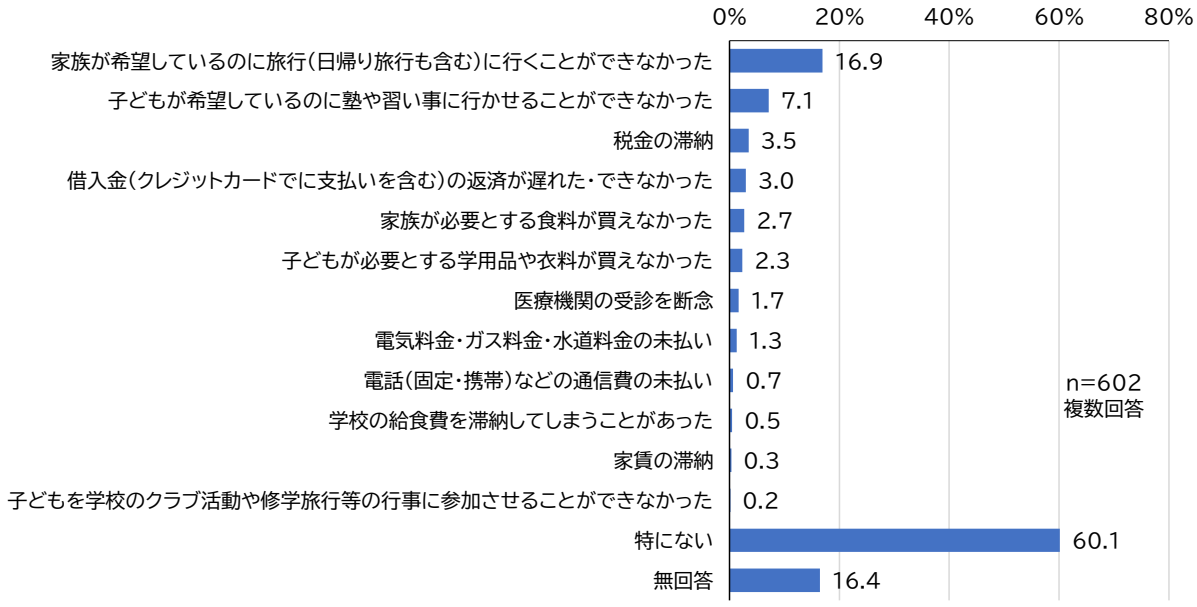
**問 56　「お子さん」の子育てにかかっている費用は１カ月いくら位ですか。食費は除いてください。（◯は１つ）**




１ヶ月あたりにかかる子育ての費用は、「2～4 万円未満」が 43.2%で最も高く、次いで「2 万円未満」が 28.6%、「4～6 万円未満」が 16.6%となっている。

### （２）過去１年間に経済的理由により経験したこと

**問 57　「お子さん」の世帯では、過去１年間に経済的理由により、次のような経験をしたことはありますか。（あてはまるものすべてに◯）**




過去１年間に経済的理由により経験したことは、「特にない」が 60.1%で最も高くなっている。

経験をしたことについては、「家族が希望しているのに旅行（日帰り旅行も含む）に行くことができなかった」が 16.9%で最も高く、次いで「子どもが希望しているのに塾や習い事に行かせることができなかった」が 7.1%、「税金の滞納」が 3.5%となっている。

### （3）今後、子育て支援策として充実していけばよいこと

**問 58　最後に今後、子育て支援策として、どのようなことが充実していけばよいとお考えですか。ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。**

自由記述では、312 名の方から 661 件の意見をいただきました。

| 意見内容 | 件数 | 意見内容 | 件数 |
|---|---|---|---|
| 経済的に苦しい、経済的支援、無償化 | 59 | 一人親への支援充実 | 5 |
| 給食の充実（中学校給食、無償化） | 50 | 高齢者視点からの脱却、子ども中心 | 5 |
| 学童、預け先の充実（臨時、長期休暇） | 47 | 妊娠、出産、周産期支援 | 5 |
| 公園の充実、整備、増設 | 40 | 病児保育 | 5 |
| 遊び場の充実 | 32 | 幼・保・小・中の連携 | 5 |
| 医療の充実 | 29 | 学校や地域役員の負担軽減、見直し | 5 |
| 教育内容の充実、学力向上（行事、部活含む） | 28 | 公共交通機関の充実 | 5 |
| 子育て世代への協力、子育てしやすい環境 | 19 | 駐車場・駐輪場の充実 | 5 |
| 学校環境の整備、改善、充実 | 19 | 学校からの情報発信、連携 | 4 |
| 児童館、子ども関連施設の設置、充実 | 18 | 学用品・制服（高い、再利用・リサイクルしたい） | 4 |
| 障害児の支援、発達障害児支援・療育の充実 | 18 | 公共施設の充実 | 4 |
| 豊かな自然環境を活かす | 17 | 親の資質向上、保護者への教育 | 4 |
| イベントの開催、体験学習など | 16 | 交通安全対策 | 4 |
| 教員、保育者の増員、負担軽減 | 16 | 親（特に母親）の負担軽減 | 4 |
| 保育園・幼稚園、こども園の充実、改善（待機児童問題含む） | 15 | 第2子以降への支援（多胎児支援含む） | 3 |
| スポーツ環境の充実 | 13 | 食の安全 | 3 |
| 防犯・防災対策、安全安心 | 11 | 教員、保育者の待遇改善 | 3 |
| 不登校対策、支援 | 10 | 学校の増設、学区の見直し | 3 |
| 交流の推進（地域住民、保護者、他世代） | 10 | 生涯学習、高齢者の学習 | 3 |
| 教員、保育者の資質向上 | 9 | IT化（オンライン化、デジタル化） | 3 |
| 勉強できる環境、場所の充実 | 9 | 広報、広聴の充実 | 3 |
| 商業施設（物販、飲食）の充実、誘致 | 9 | 図書館の充実 | 3 |
| いじめ問題、トラブルへの対処 | 8 | 子ども食堂 | 2 |
| 相談（法律相談、トラブル解決、いじめ等） | 8 | 父親の意識改革、ジェンダーレス | 2 |
| 習い事の充実 | 8 | ほかの自治体を参考にしてほしい | 2 |
| 雇用環境の改善、働きやすく休みやすく | 8 | 行政サービスの充実、職員の資質向上 | 1 |
| 道路、歩道の整備 | 8 | 多様なニーズに基づいた支援 | 1 |
| 移動支援、送迎 | 7 | アンケートについて | 16 |
| 大磯らしさ、魅力を活かす | 6 | その他 | 2 |
| | | | 661 |

今後、子育て支援策として充実していけばよいことは、「経済的に苦しい、経済的支援、無償化」に関することが 59 件で最も高く、次いで「給食の充実（中学校給食、無償化）」が 50 件、「学童、預け先の充実（臨時、長期休暇）」が 47 件の順となっている。